naga_hyosi2bun 05.3.4 4:15 PM ページ1

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（93）

永迫平遺跡（第二分冊）

二〇〇五年三月 鹿児島県立埋蔵文化財センター

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（93）

南九州西回り自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 Ⅷ

（伊集院ＩＣ～市来ＩＣ）

第２分冊

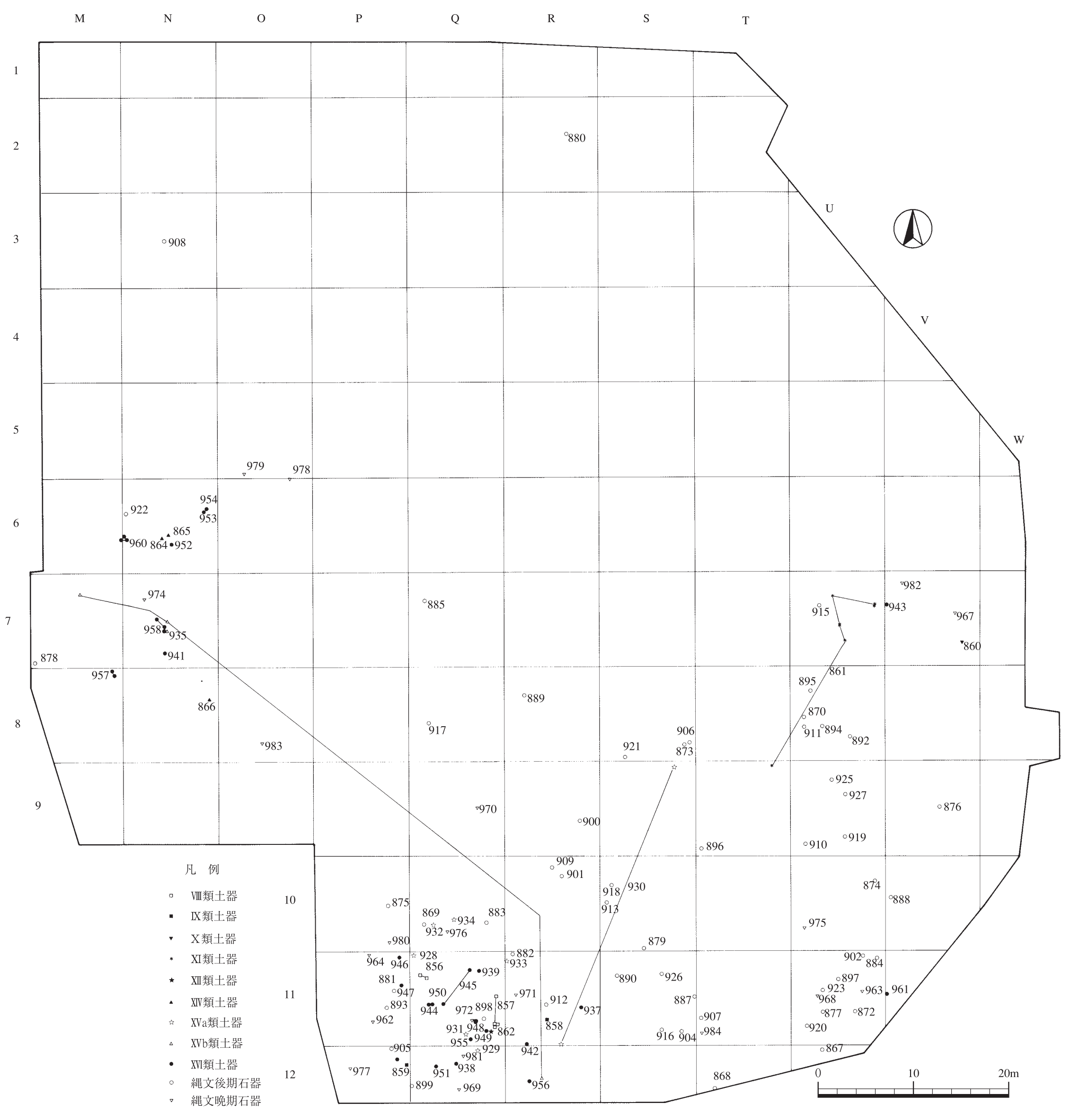
永迫平遺跡（ながさこびらいせき）

（日置郡伊集院町）

2005年３月

鹿児島県立埋蔵文化財センター

第175図　遺構全体図（２）



第176図　遺物出土状況図（３）

4　縄文時代後期

(1) 遺　　構

Ⅳ層上面で検出された遺構で，Ⅲ層を埋土とするものである。遺物包含層としてのⅢ層は，縄文時代後期から古墳時代までであるため，各遺構の出土遺物による判定や，埋土中の木炭などによる年代測定などを踏まえて最終的な時代・時期を決定しなければならないことは当然であるが，実際問題として各遺構から時期を示すものが出土するとは限らない。どちらかと言えば，そのようなものは出土することの方が極めて稀であると言える。本遺跡でも，それぞれの遺構からは遺物がほとんど出土していないため，時期を決定することはできない。そのため，これらは遺物の出土した遺構から考えて縄文時代後期から晩期にかけての時期と判断し，少なくとも弥生・古墳時代まで下らないことは明確であることから，ここでまとめて取り扱うことにする。

①ピット（第 177 図）

Ｒ・Ｓ－７・８区からまとまって検出された。総数 27 基検出されたが，建物あるいは柵状に並ぶものではない。直径は 20 ～ 40cm で，平均すれば 30cm 程度である。深さは 11 ～ 30cm で，平均すると 22 ～ 23cm というところである。

②土　坑（第 178 図～第 181 図）

大きく分けて，調査区の西側及び中央部，東側の 3 か所から検出された。区域的なまとまりで，その形状に差異が見られると考えられるため，最初に西側の一群を扱った後，各区の個々の土坑について述べていくことにする。

西側の一群は，楕円形や不整形の割合に大型のものを中心として，その周囲に円形及び楕円形の小さなピット様のものが見られるものである。Ｏ－８区周辺にまとまっている土坑群は，三角形気味の不整形の土坑を中心として，その西側に長楕円形の土坑が軸方向を北西，次に南西に移して掘られ，その先には円形で割と大型の土坑が深く掘られている。また，不整形の土坑の北西及び南東にはそれぞれ大型の楕円形の土坑が離れて掘られている。また，その周辺には大小の円形土坑が取り囲んでいる。これらは，切り合いが見られないばかりか，ある“流れ”をもって広域に分布していることから，一連の遺構である可能性がある。ただし，性格は類例が見あたらないことから不明と言わざるを得ない。

Ｎ－５区にまとまっている土坑群は，土層の横転によって攪乱を受けていることから本来の形状を捉えることはできなかったが，楕円形あるいは 2 基が並んだ溝状の土坑を中心にその北東部に小ピットが分布する状態で検出された。楕円形の 2 つの土坑は浅いのに比べて，周辺の小ピット群は比較的深いと言える。性格なども不明である。

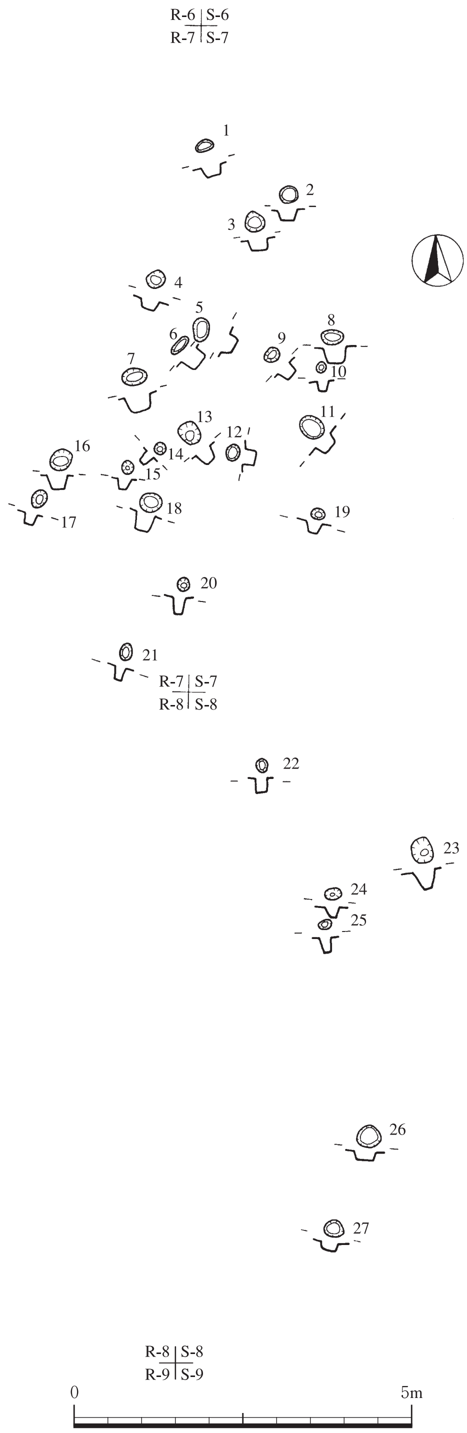
次に，西側の一群以外の土坑について述べたい。Ⅴ層で検出された土坑と同様に分類を行った。ⅠＡ類は円形で単純なものである。4 基がこれに該当する。大きさはほとんど変わらないと言って良いが,深さは浅いものから深いものまで各種見られる。ⅠＢ類は円形でも内部に段を持ったり，土坑やピットを持つ複合したものである。5 基がこの中に入る。深さも含めて内部の構造がそれぞれで大きく異なっている。中には斜めに掘り込まれたものもあり，また，底面が不安定なものがあるなど，機能的にだいぶ異なっているものと考えられる。

Ⅱ A 類は楕円形で単純なものである。大きさや深さ，掘り込みの方向などがバラエティに富んでいることから，機能的にも異なっていることが考えられる。7 基がこの中に分類できるようである。Ⅱ B 類は楕円形でも複合したものである。12 基がこの中に含まれる。内部にピットを持つもののうち，全体のほぼ中央部，あるいは長軸方向の一方の辺の中央部付近にあるものと，長軸の一方の隅に若干斜め方向にあるものとでは，その機能は異なっている可能性が考えられる。後者は場合によっては山芋などの根菜類を掘り出すために掘られた穴と指摘する人もいると思われる。また，大型のものでも，緩やかな傾斜をもつように掘られたものも，あるいは根菜類の掘り出しのために掘られた穴ということも考えられる。大型の楕円形の土坑が 2 基隣接して掘られたものも，特異なものと言えよう。

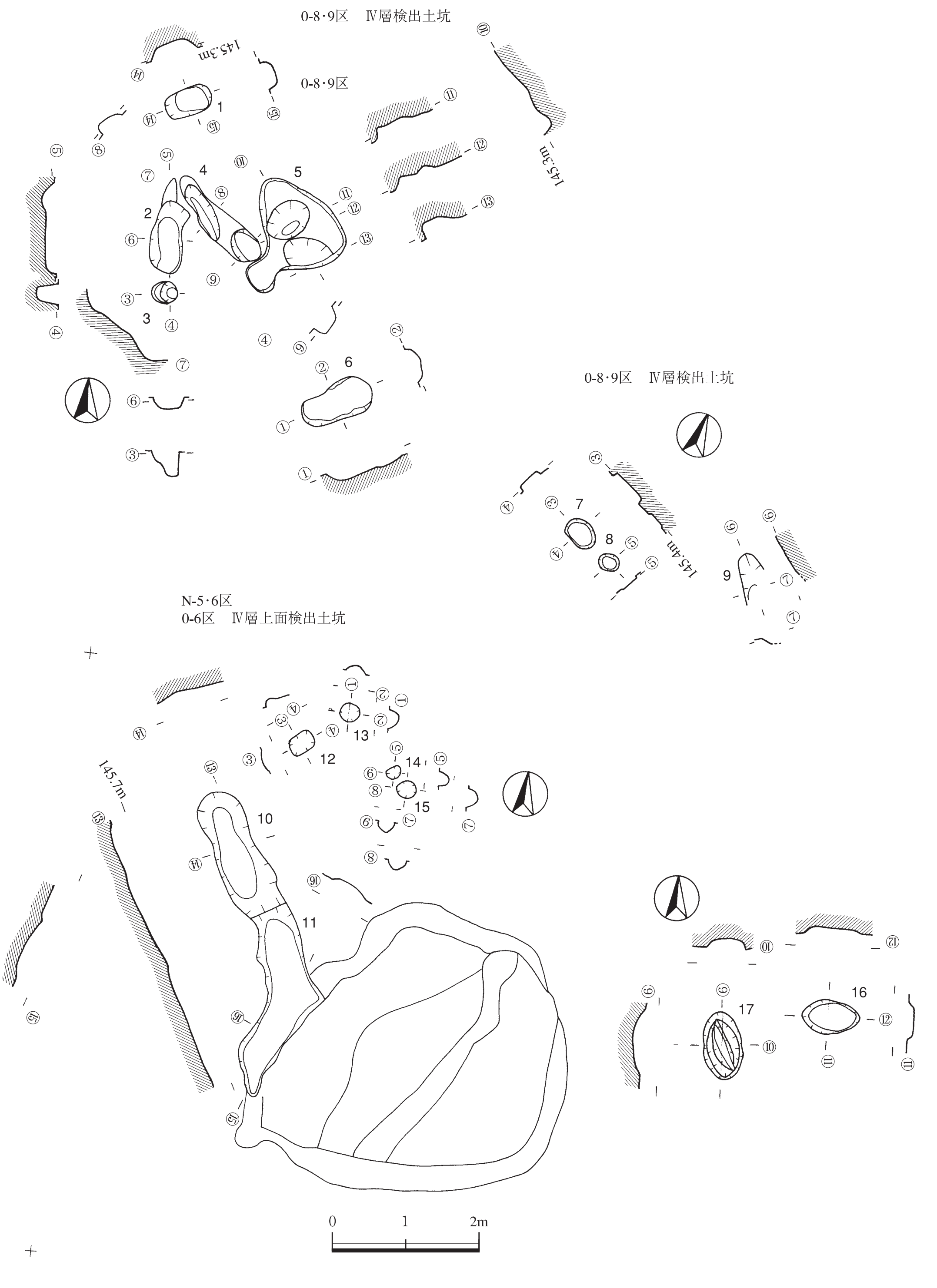
Ⅲ類は四角形を基本形とするもので 2 基が該当する。いずれも内部に土坑あるいはピットを有する複合タイプでⅢ B 類である。このうち，底面にピットが 4 基深く掘られているものは，上部が削平されている可能性があることを考慮すれば，落とし穴と考えられるものである。

Ⅳ類は不整形のものである。単純な掘り方をするもので，Ⅳ A 類には 4 基が該当する。全体的に深さはそれほど深くはない。内部が複合するⅣ B 類は 8 基である。規模や形状，深さなどにバリエーションがあり，機能的にも分かれると考えられる。

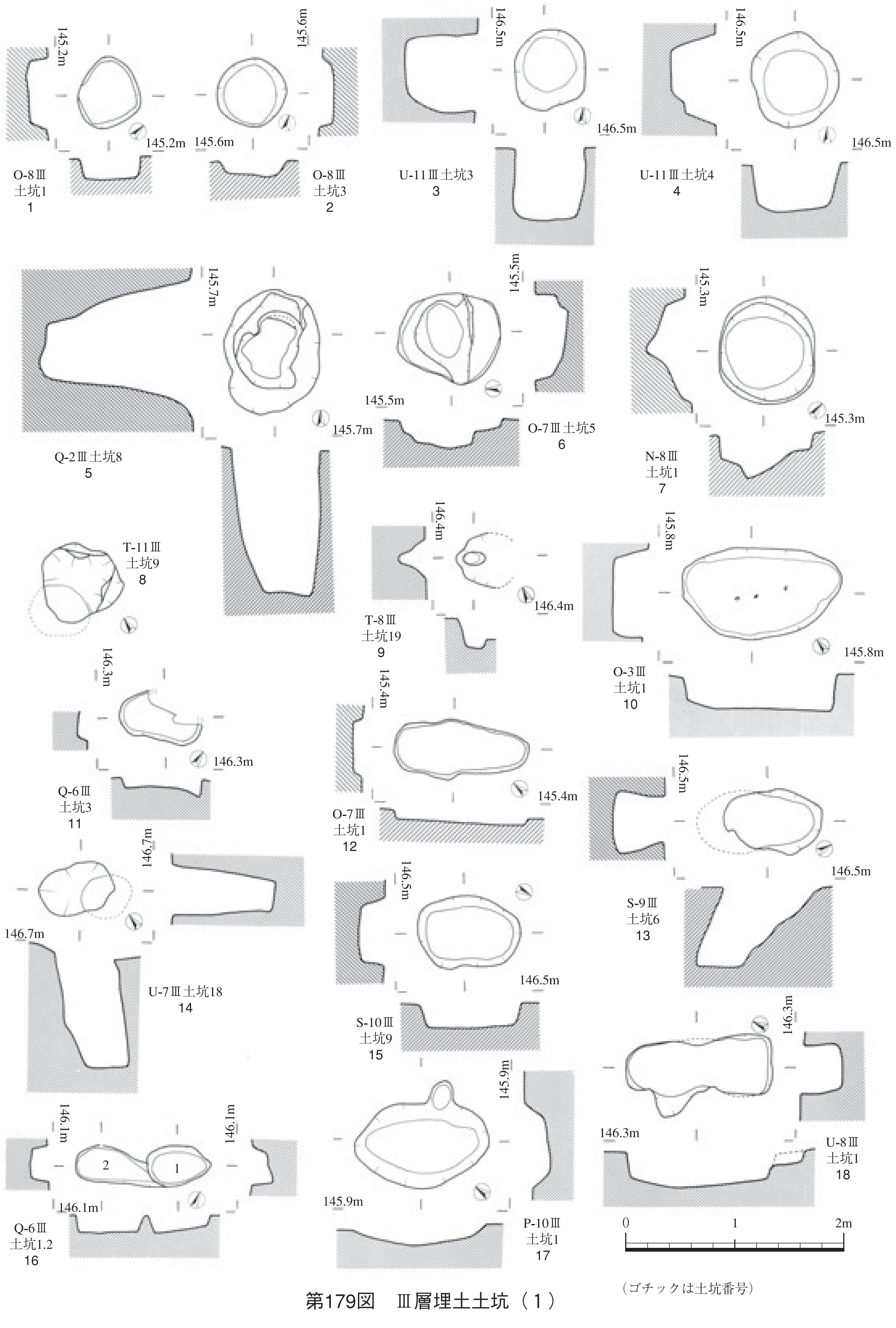
(2) 遺　　物



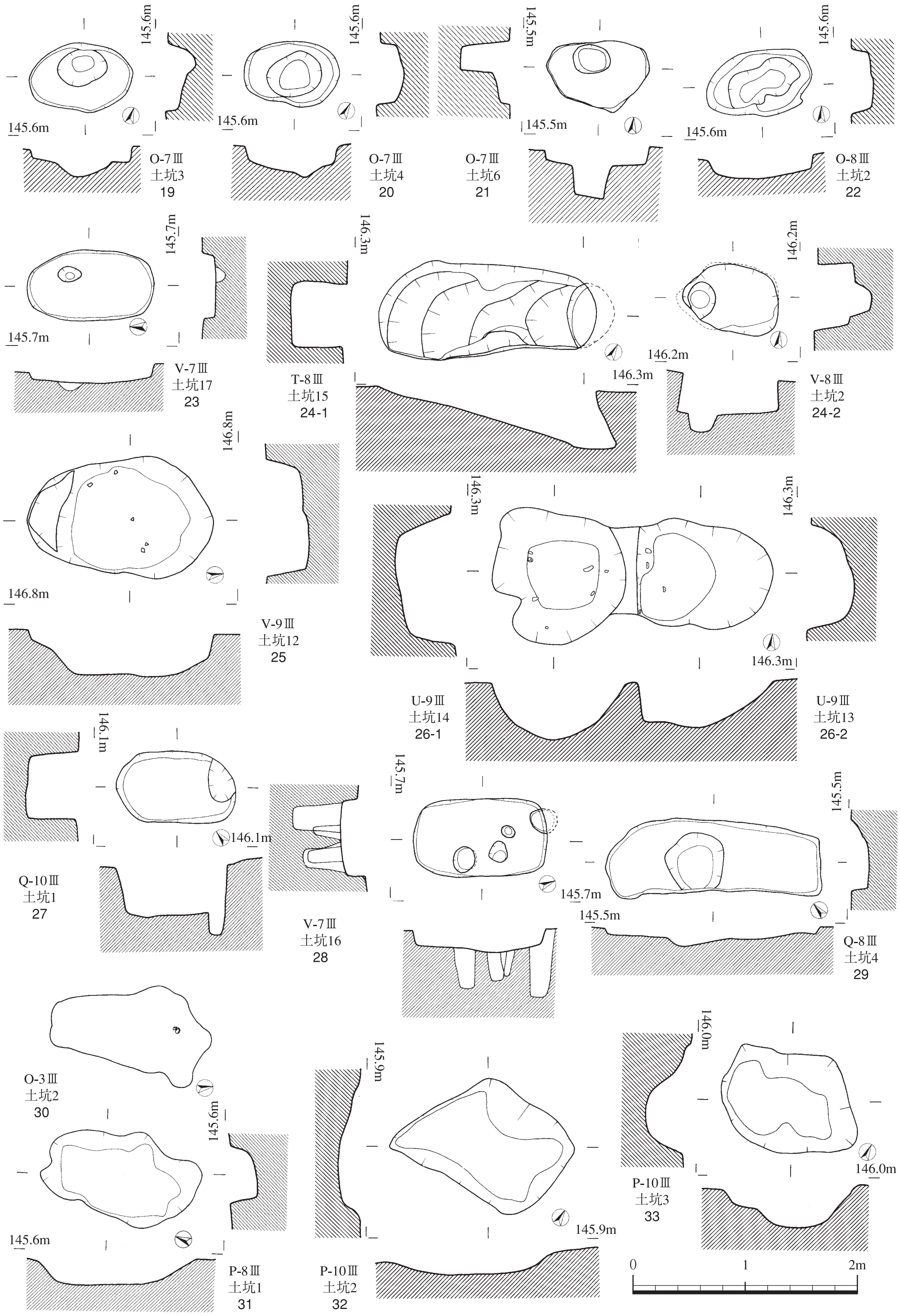
第177図　Ⅲ層埋土ピット群



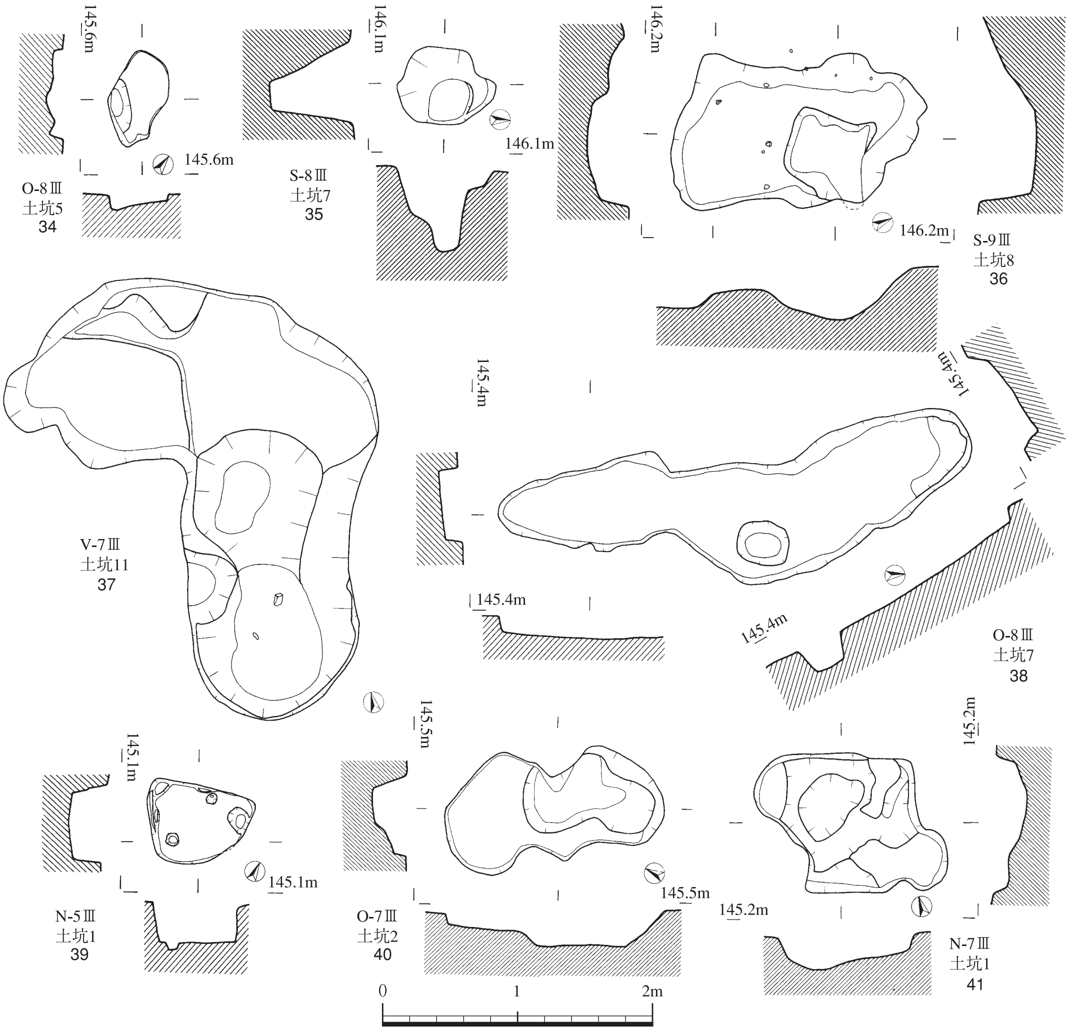
第178図　Ⅲ層埋土土坑群



第179図　Ⅲ層埋土土坑（１）



第180図　Ⅲ層埋土土坑（２）



第181図　Ⅲ層埋土土坑（3）

①土　器

縄文時代後期に該当する土器は，出土量こそ少ないもののバラエティーに富む。

【Ⅷ類土器】（第 182 図　856・857）

856 は深鉢の頸部と思われる。屈曲部の直下に，浅い平行沈線文が 3 条確認できる。沈線の端部は押圧され，僅かなくぼみをもつ。器外面には指の圧痕が強く残る。857 は文様が確認できないが，外面の指の圧痕など雰囲気が 856 に似るため，ここに分類した。岩崎上層式土器に比定できる。

【Ⅸ類土器】（第 182 図　858・859）

858 は頸部のくびれや胴部の張りが弱い深鉢の破片である。頸部屈曲部以下に横方向や斜方向の沈線で構成された文様帯をもつ。口唇部にナデによる平坦面をもち，内面は口縁部付近のみ指ナデが施されている。859 は深鉢で，外反した口縁部の直下に幅 7mm の太い 2 条の平行沈線文が巡る。ただ，この破片の左下隅には沈線が幅半分生きている。この土器の文様は平行沈線文の下位にも施されていたことを指摘しておきたい。858・859 ともに，Ⅷ類土器よりも深くはっきりとした沈線文が施されている。指宿式土器に比定できる。

【Ⅹ類土器】（第 182 図　860）

860 は口縁部に粘土帯を貼り付けて肥厚させた浅鉢土器である。肥厚させた口縁の端部に幅 15mm の平坦面を作り出し，そこに貝殻腹縁による押圧文を連続的に施文している。胎土は，2 ～ 5mm 大の白色粒子が混入しており，粗い。市来式土器に比定できる。

【ⅩⅠ類土器】（第 182 図　861）

861 は平底から胴部に向けて外傾しながら立ちあがる器形を呈し，深鉢である可能性が高い。外面はミガキ調整によってなめらかに仕上げられ，内面にも丁寧なナデが施される。北久根山第一型式の鉢の底部に類似する。

【ⅩⅡ類土器】（第 182 図　862）

862 はやや内傾する口縁部片である。口縁部下の緩やかな屈曲部をまたぎ，上下にわたって幅 2mm の細い沈線文からなる文様帯をもつ。納曽式土器にあたる可能性が高い。

【ⅩⅢ類土器】（第 182 図　863）

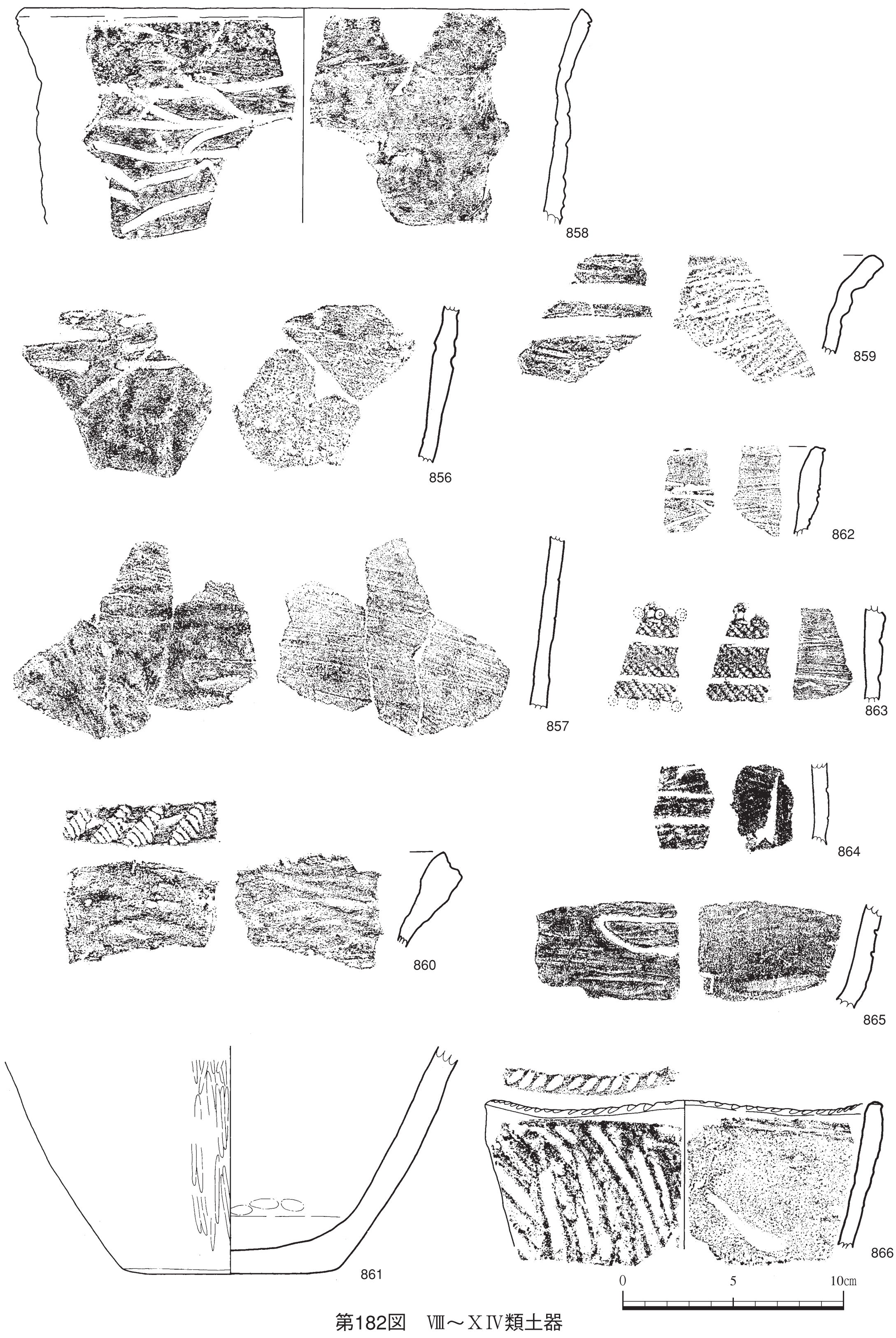
863 は平たい小破片であるが，おそらく深鉢の胴部片である。幅 3mm の平行沈線を施文後，LR の縄文を押捺し，さらに棒状工具による刺突連点文を施している。連点文は，割れ口と重なっていることが頷けるほど，深く刺突されている。

文様の特徴と，器形の屈曲が緩やかな個体と考えられる点から，既存の土器型式では辛川式土器，あるいは西平式土器の古手の時期に該当する可能性が高い。

【ⅩⅣ類土器】（第 182 図　864 ～ 866）

その他，後期に該当すると思われるが，型式の判断できない土器を一括した。

864・865 は同一個体で，深鉢の胴部片であると思われる。文様は幅 2mm の細い沈線からなり，内面は丁寧な指ナデが施される。866 は口縁部に向けて緩やかに外傾する深鉢である。器外面には貝殻条痕が施され，口唇部は丁寧になでられた後，貝殻による刻目が施される。胎土は，5 ～ 7mm 大の白色粒子が混入しており，粗い。



第182図　Ⅷ～ⅩⅣ類土器

②石　器（第 183 図～第 193 図）

Ⅳ層は出土する土器から縄文時代後期の遺物包含層であることがわかっている。したがってこの層から出土する石器も縄文後期と考えられる。

867 ～ 875 は石鏃である。867 と 868 は基部が平坦となる平基式，869 ～ 873 は内側に凹む凹基式，874 と 875 は基部が外に出る凸基式である。867 はⅤ層出土の小型の鏃に類似する。868 は 867 より大型化し，若干丸味を帯びる。凹基式の 5 点は，869 ～ 873 へと長さが長くなる。形状も正三角形から二等辺三角形となるとともに，幅に対して長さが長くなるように並べてある。基部の凹みが最も大きいのは 871 であるが，ほかはほとんど変わらないと言って良い。869 ～ 872 は一方の面に打ち欠いたままの部分が広く残っているものの，剥片鏃ということではない。875 はほかに比べて極めて大きく，一方の面に自然面が広く残るほか，反対の面には打ち欠いたままの広い面が残っている。874 も一方に自然面が残っている。また，基部及び側面が整っているとは言い難いものである。

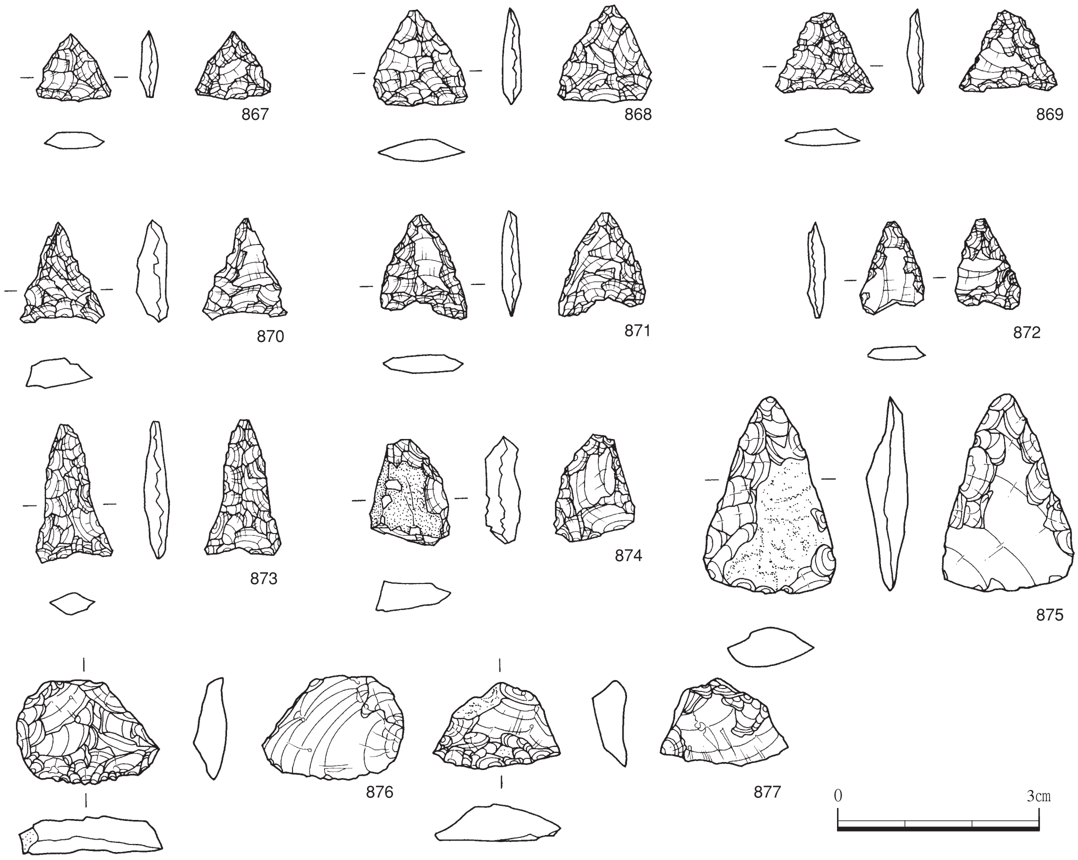
876 と 877 はスクレイパーである。刃部はいずれも 1 つの面のみを調整しており，逆の面は打ち欠いたままの状態で，調整は行われていない。

878 ～ 883 は石斧である。881 の打製石斧以外は磨製の石斧である。878 は完形のもので，全体を打ち欠いて形を整えた後で，刃部を局部的に磨いて仕上げている。879 は基部の一部を欠くものの，ほとんどの部分を自然面として残し，刃部のみを磨くことによって製作したものである。880 も打ち欠いた後に刃部のみを局部的に磨いて仕上げた局部磨製の石斧である。刃部以外は大きく欠いている。

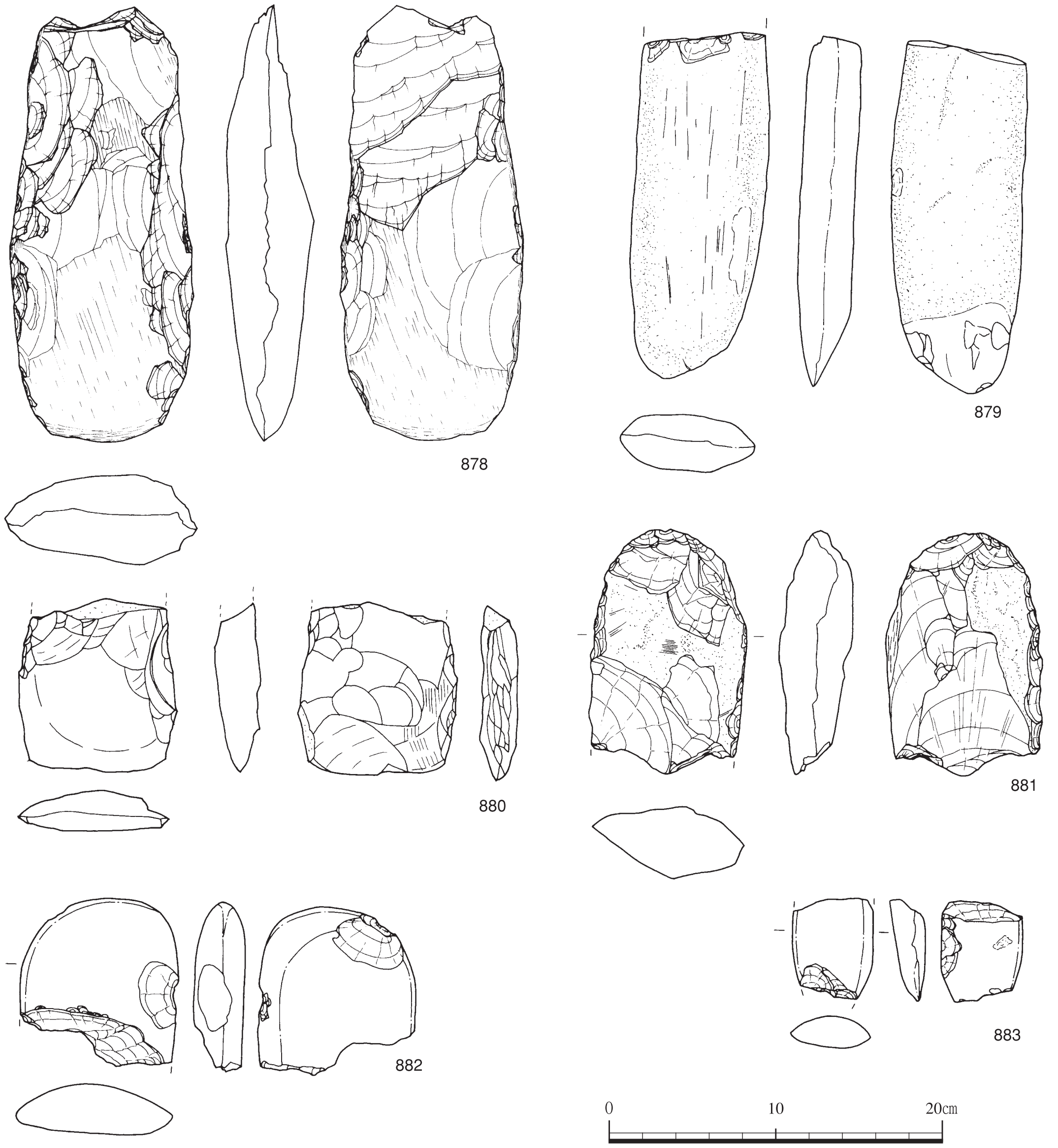
882 は基部のみ，883 は小型のもので刃部・基部両端を欠いており，いずれも全体を磨いて仕上げている。881 は自然面を一部に残す打製石斧の基部である。

第 185 図は，886 を除いて石皿として使用していたものと考えられるものである。884 は不整形の厚い扁平な石で，一つの面が磨られて窪んでいることから石皿と捉えている。885 も厚みのある四角形と思われる扁平な石の一つの面を大きく窪めている。石皿としての使用が明確なものといえる。887 は小片であるが，厚みがあって一つの面がよく磨られていることから石皿としての使用が考えられるものである。886 はほかに比べて厚みが約半分であり，一つの面を不整形に主として長軸方向への一方向の擦痕が見られることから，砥石であろうと考えられるものである。

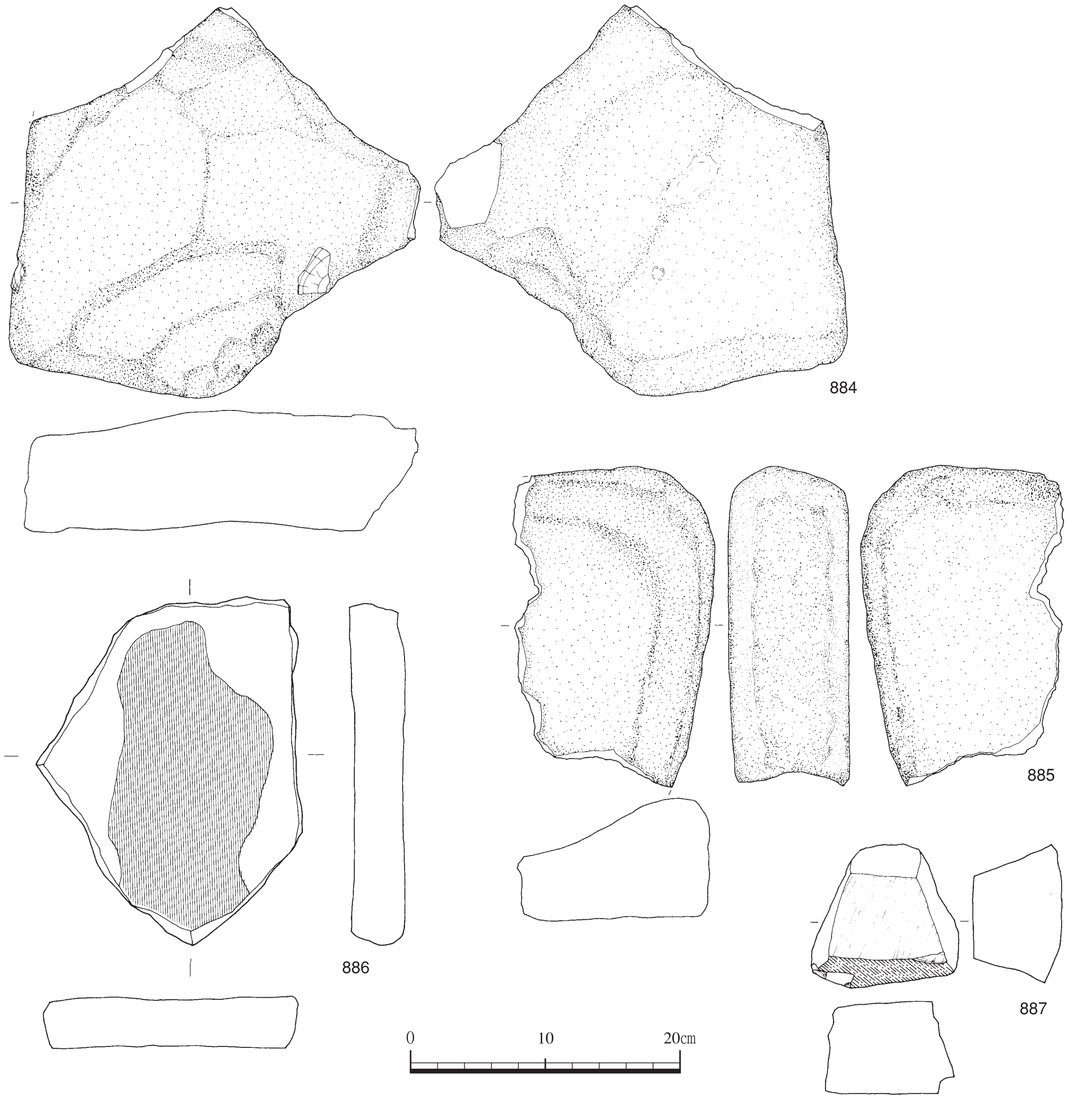
888 ～ 903 は磨石，906 ～ 904 は凹石，905 ～ 912 は敲石である。磨石は円形，楕円形，不整形のものと，非常に小さい円礫を使用している。円形及び楕円形のものは，広い面を磨り，側面を敲打に使用しているものが多い。小円礫のものは，主として短軸方向を磨る面として利用し，長軸方向は少なくとも一つの稜を敲打で使用している様子が観察できる。中には，敲打によって大きく破損しているものも見られる。凹石にも角張った楕円形を呈するものと不整形の礫を使用しているものがある。906 は一つの側面を敲打するほか，広い二つの面に凹みが見られる。901 の広い一つの面の敲打痕は 1 か所にまとまらず，散在しているため凹みとまではなっていない。905 は長軸方向の一つの先端を敲打面として使用している。907 は長軸方向の一つの稜から全体の 3 分の 2 ほどの範囲に極めて粗い剥離が見られるため敲石としたが，礫が全体的に火熱を受けているためそれによる剥離の可能性も考えられる。いずれにしても人為的なものとして掲載した。909



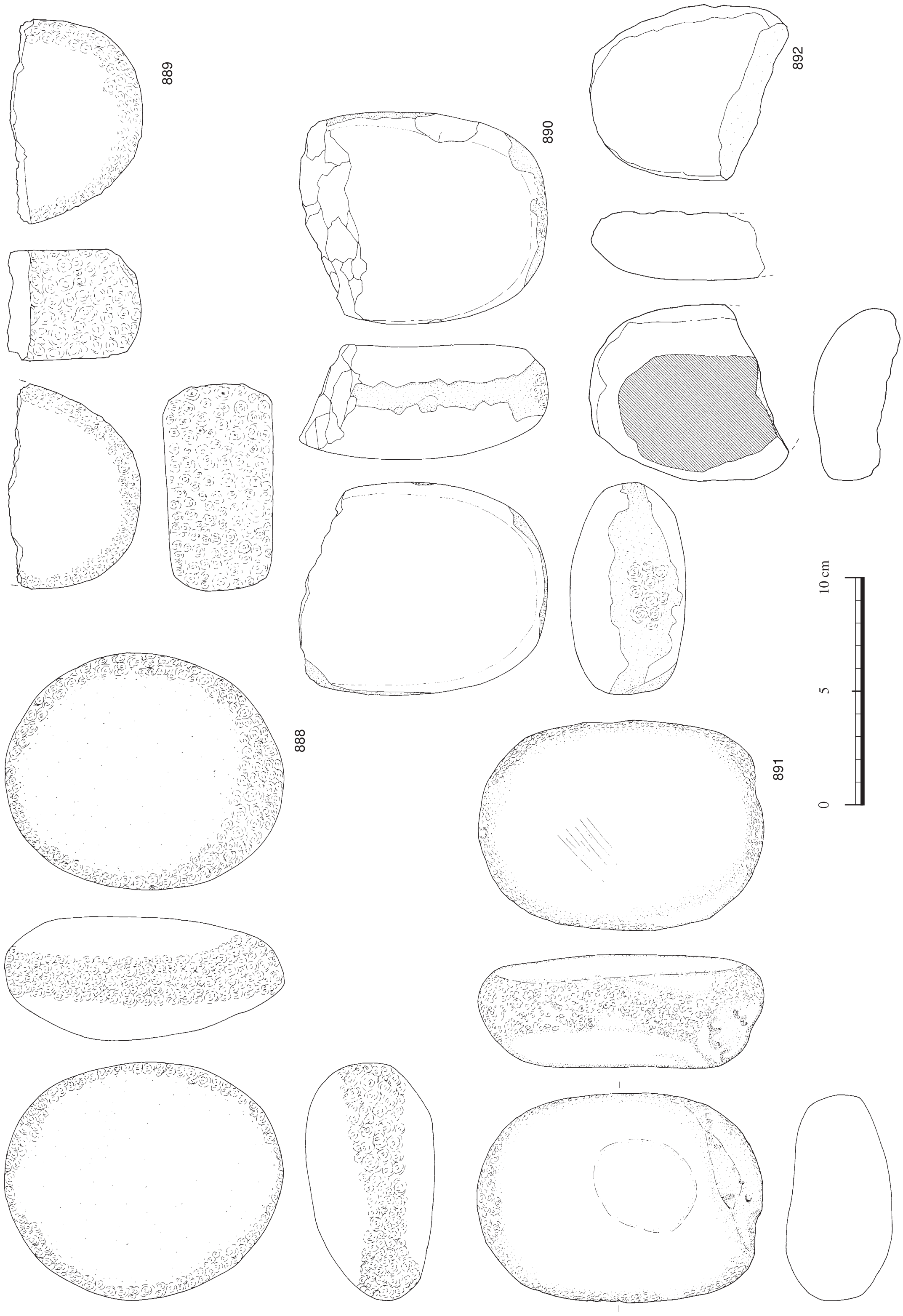
第183図　後期石器（１）



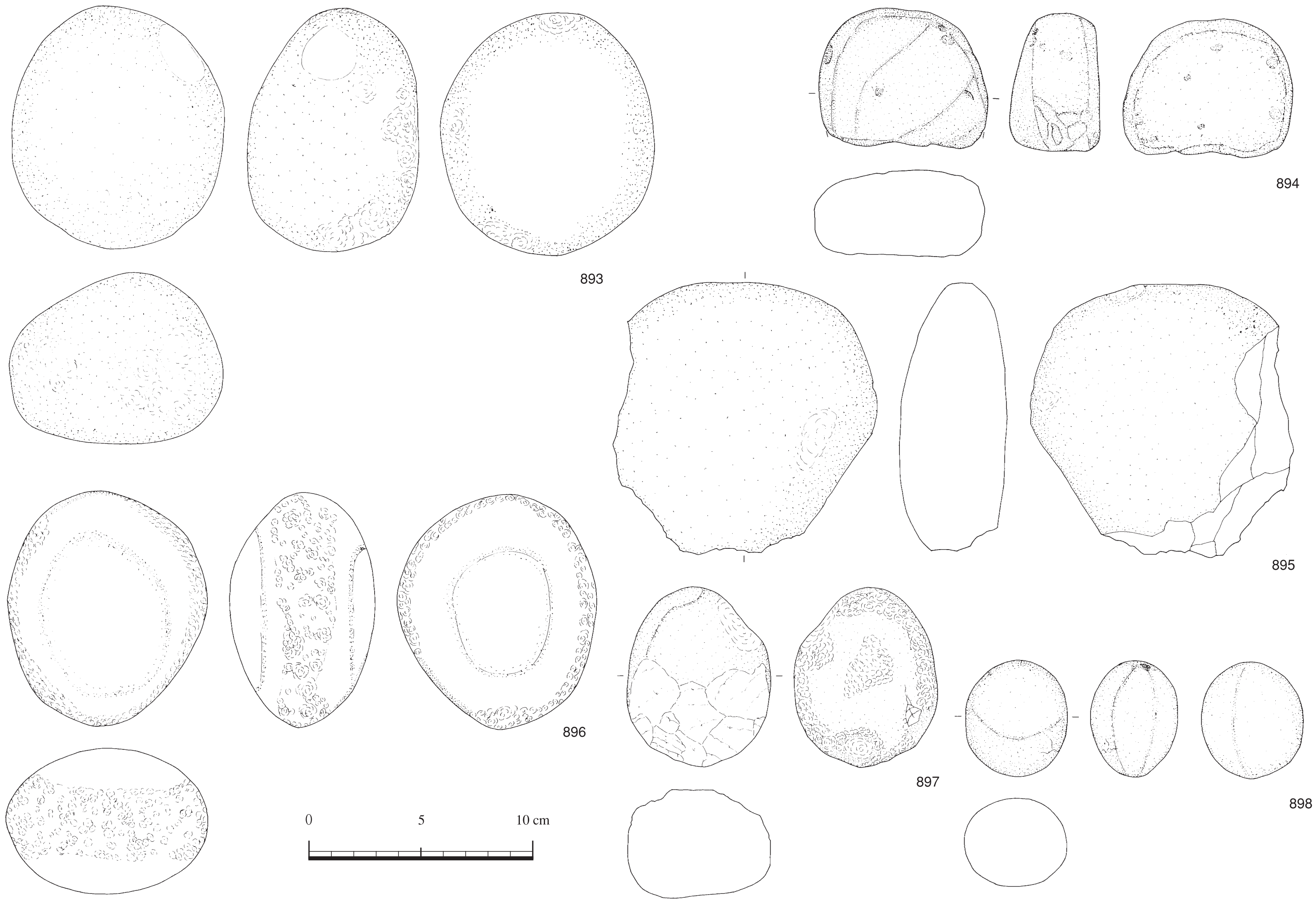
第184図　後期石器（２）



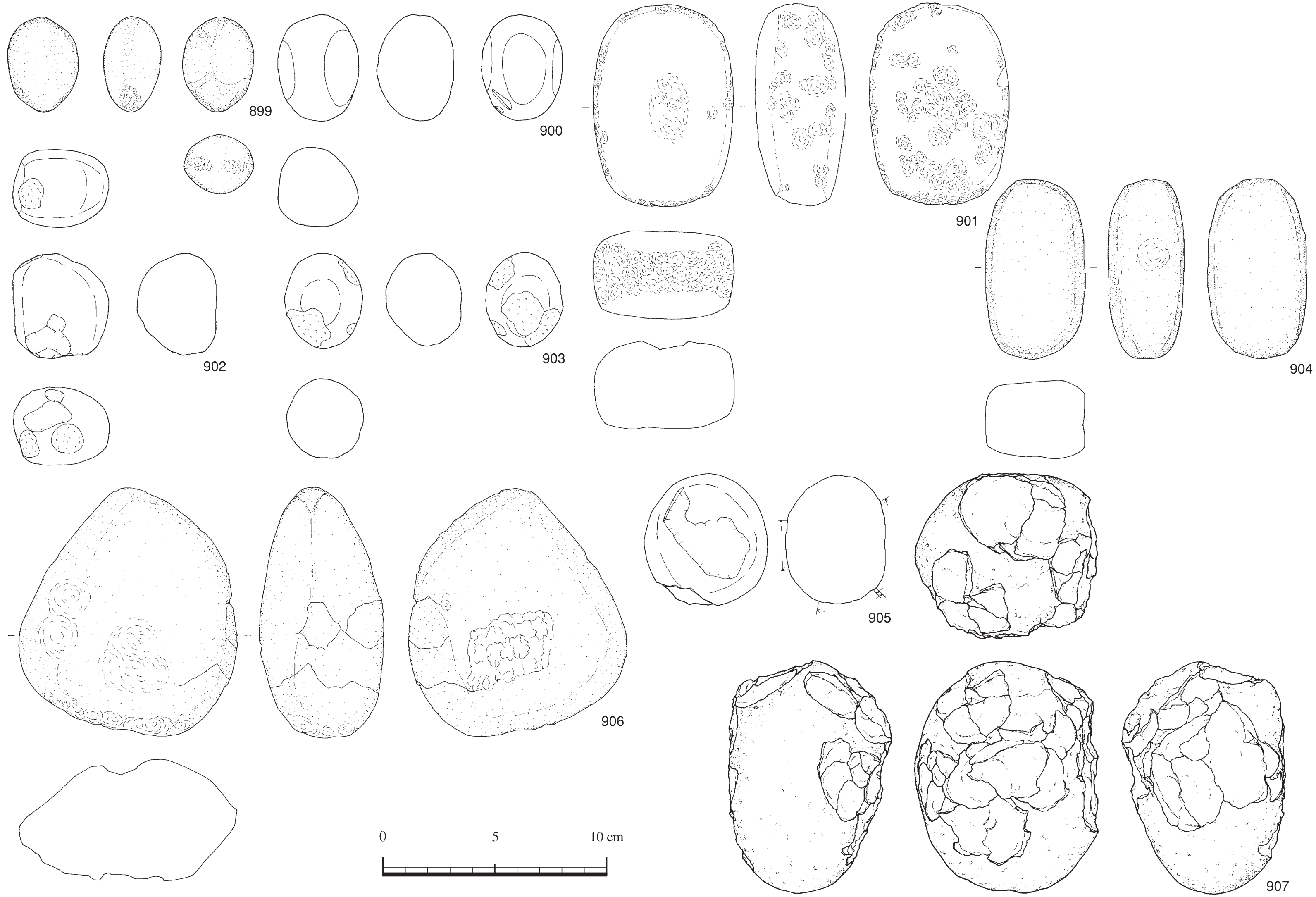
第185図　後期石器（３）



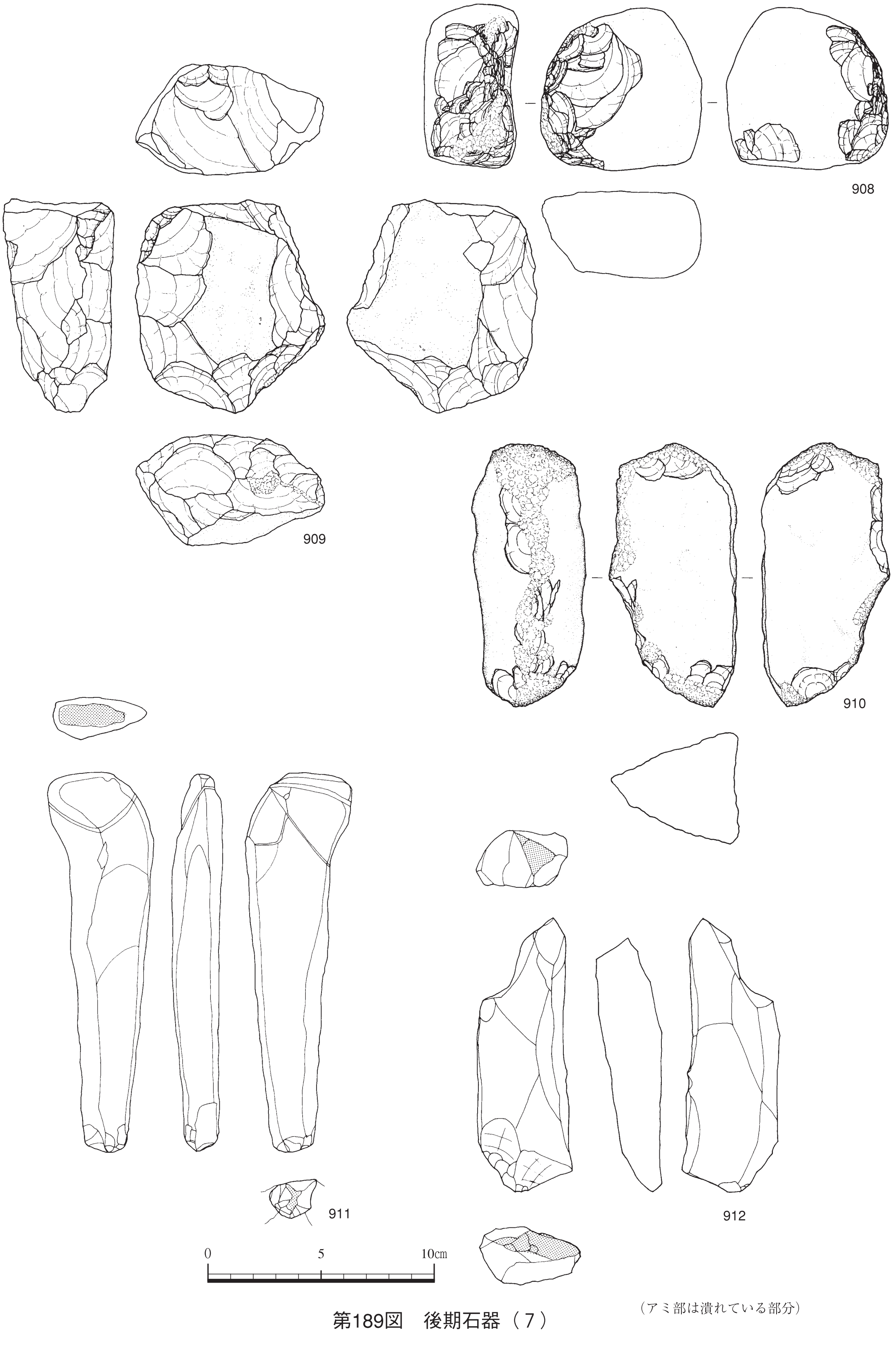
第186図　後期石器（4）



第187図　後期石器（５）



第188図　後期石器（6）



（アミ部は潰れている部分）

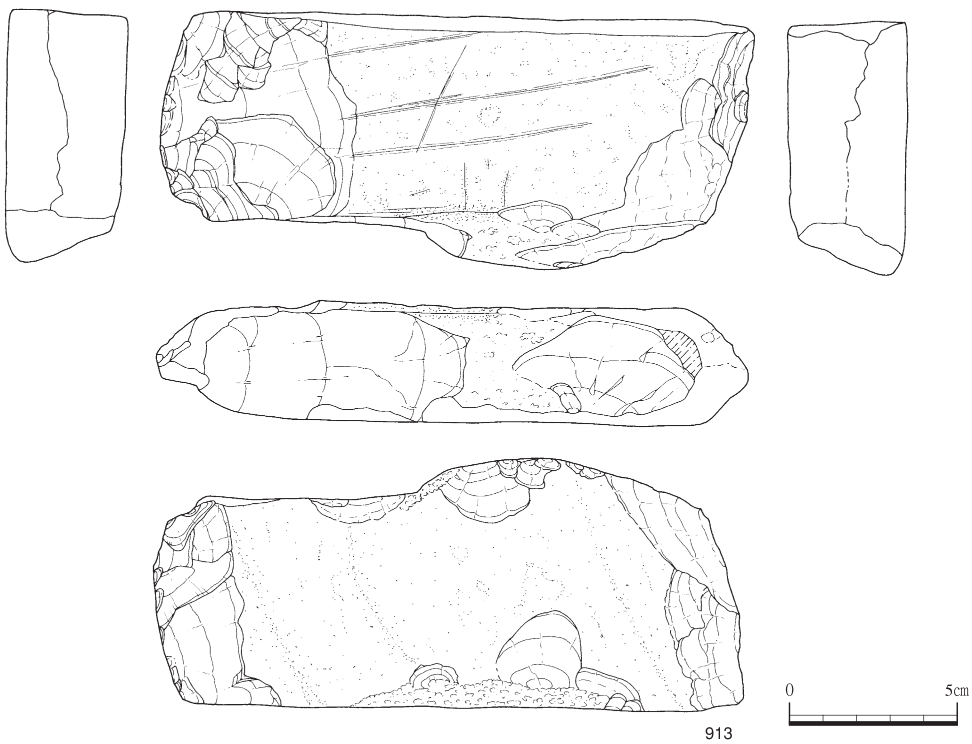
第189図　後期石器（７）

～ 910 は円あるいは角礫の基本的に一つの辺を敲打面として使用している。911 と 912 は 2 か所に敲打による潰れた部分が観察されることから，鈍い一つの端を敲打したものと考えられる。

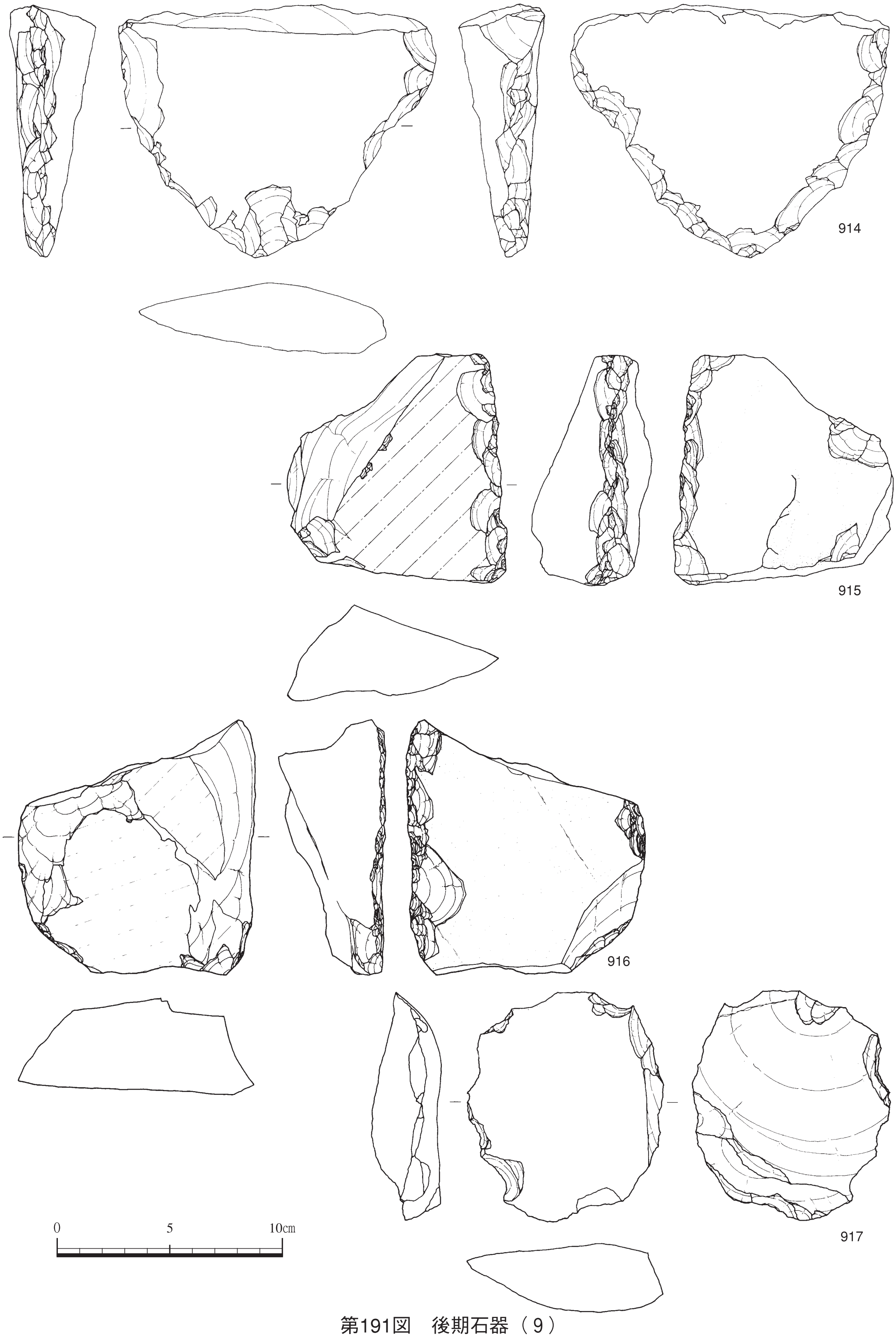
913 は楔形石器である。扁平な板石の長軸の両面を加工して尖らせ，そこを楔のように利用していると考えられる。石材は砂岩であるが，加工し，使用した面がそれほど潰れてはいないことから，割合に硬質なものと考えられる。

914 ～ 922 は礫石器である。角礫，あるいは打ち欠いてある程度の厚みをもった礫の一つないし二つの辺を加工して刃部を作り出している。使用に当たって手に合うような形に調整しているように感じられる。つまり，右あるいは左の手に持ったとき，刃部を外側に向けて手のひらに入れ，人差し指で基部を覆った際に，いわゆる非常に“手に馴染んだ”状態となるのである。刃部の摩耗の状況などから長期に亘って使用したとは考えられないものがほとんどで，極めて即座に間に合わせ的に製作したと思われるものである。

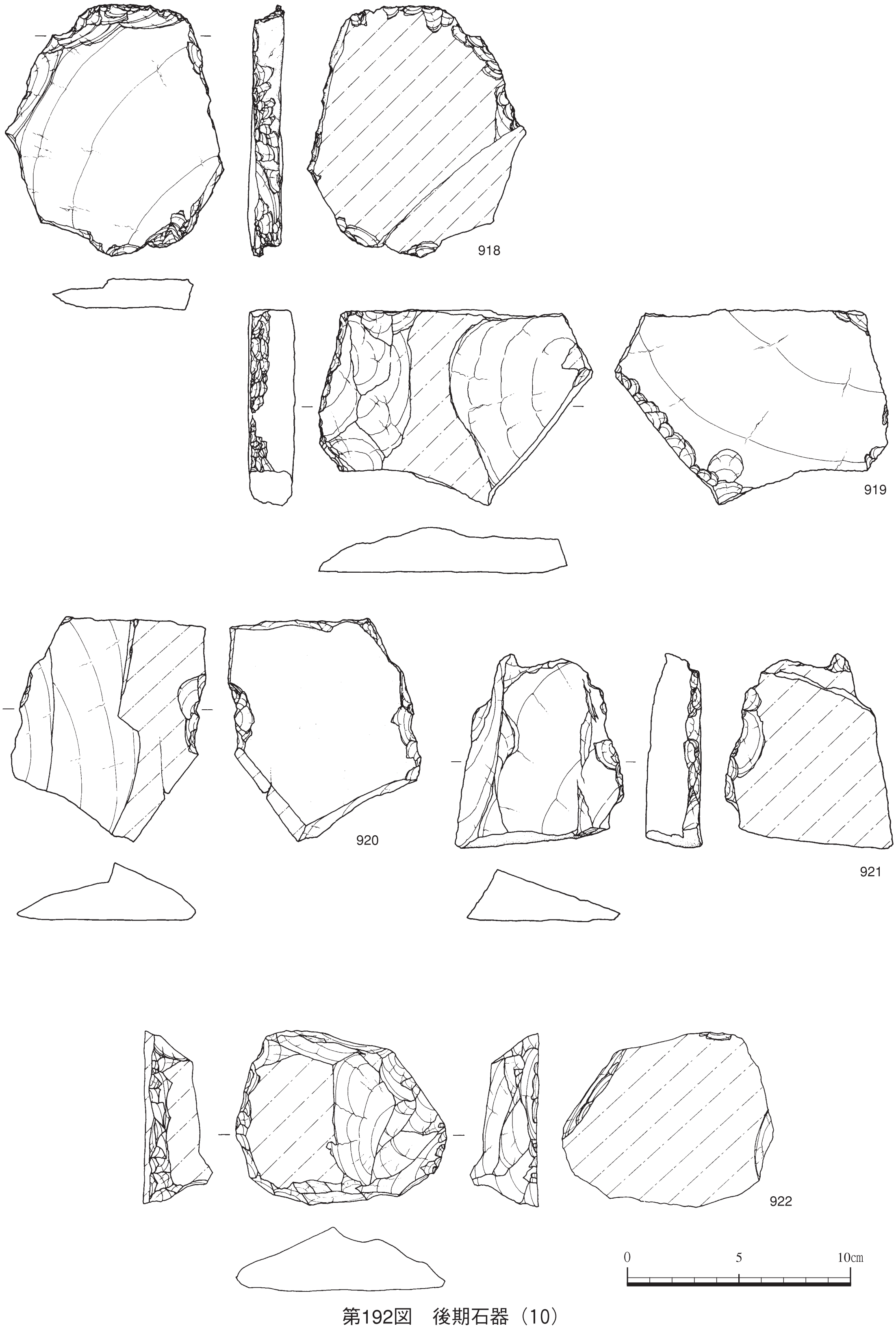
923 と 924 は使用痕のある剥片である。一ないし二辺に加工を施し，そこを使用している。いずれも一つの面に稜を作り出しており，断面形は三角形状をなしている。925 ～ 927 は石核である。すべて黒曜石を石材としている。自然面を残したままのものである。



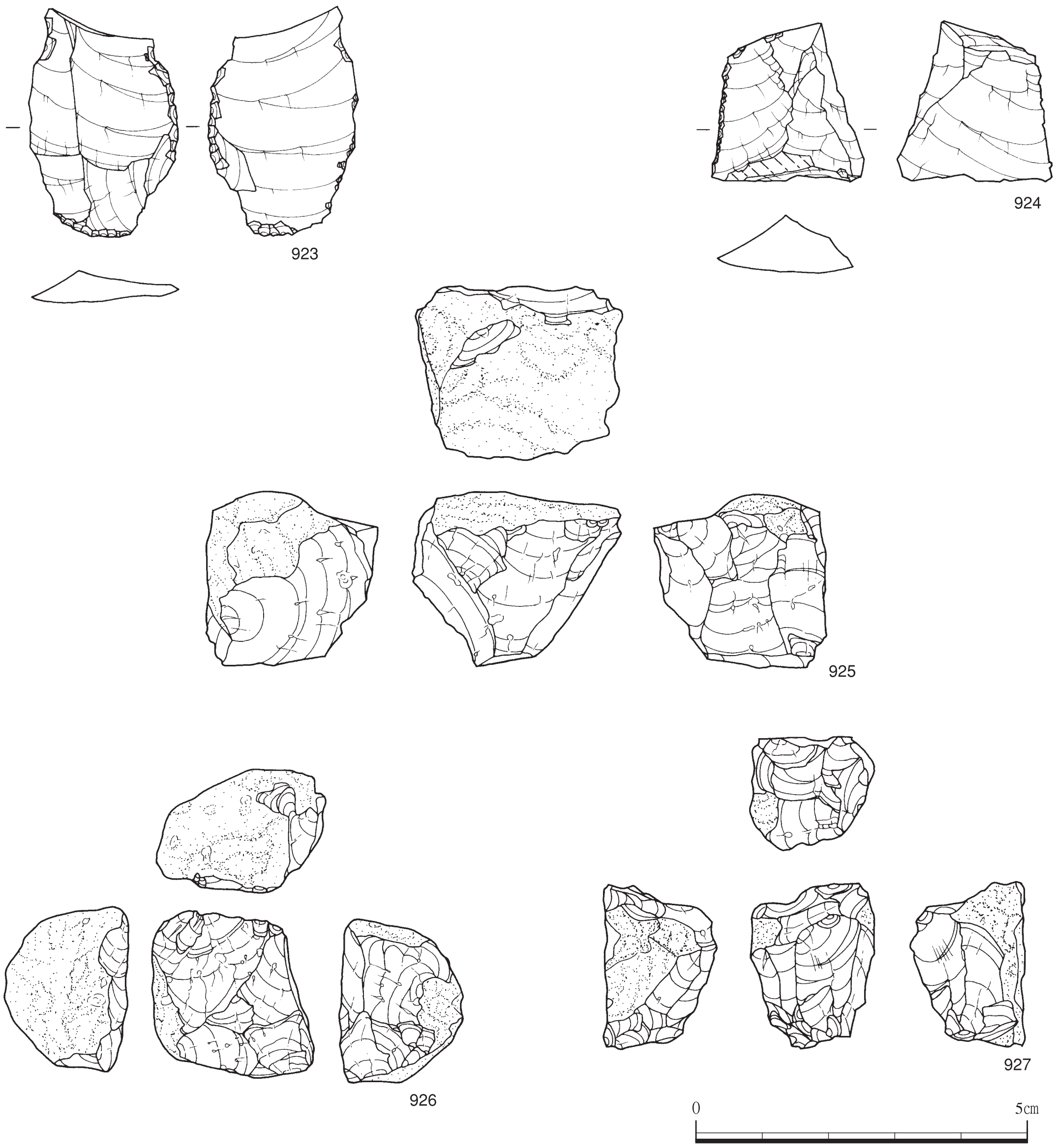
第190図　後期石器（８）



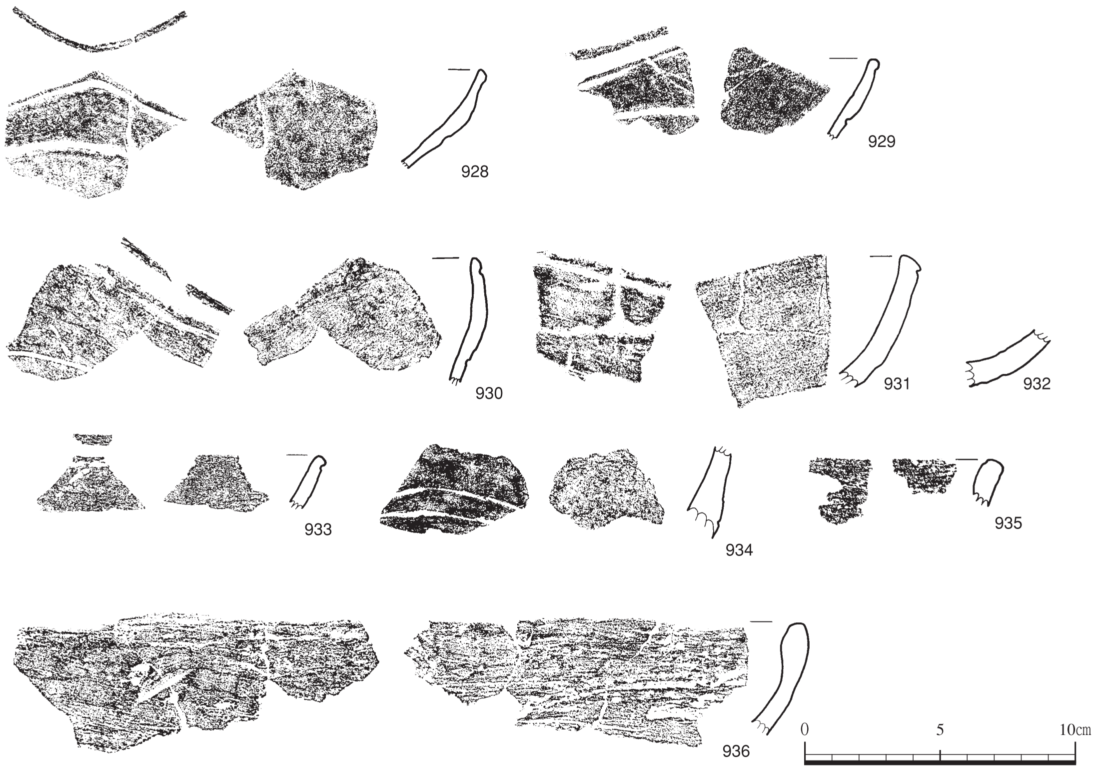
第191図　後期石器（９）



第192図　後期石器（10）



第193図　後期石器（11）



第194図　ＸⅤ類土器

5　縄文時代晩期

〇遺　　物

①土　器

【ＸⅤ類土器】

縄文時代晩期に該当する浅鉢型土器である。器形と器面調整の違いによって細分した。

〈ＸⅤａ類土器〉（第 194 図　928 ～ 934）

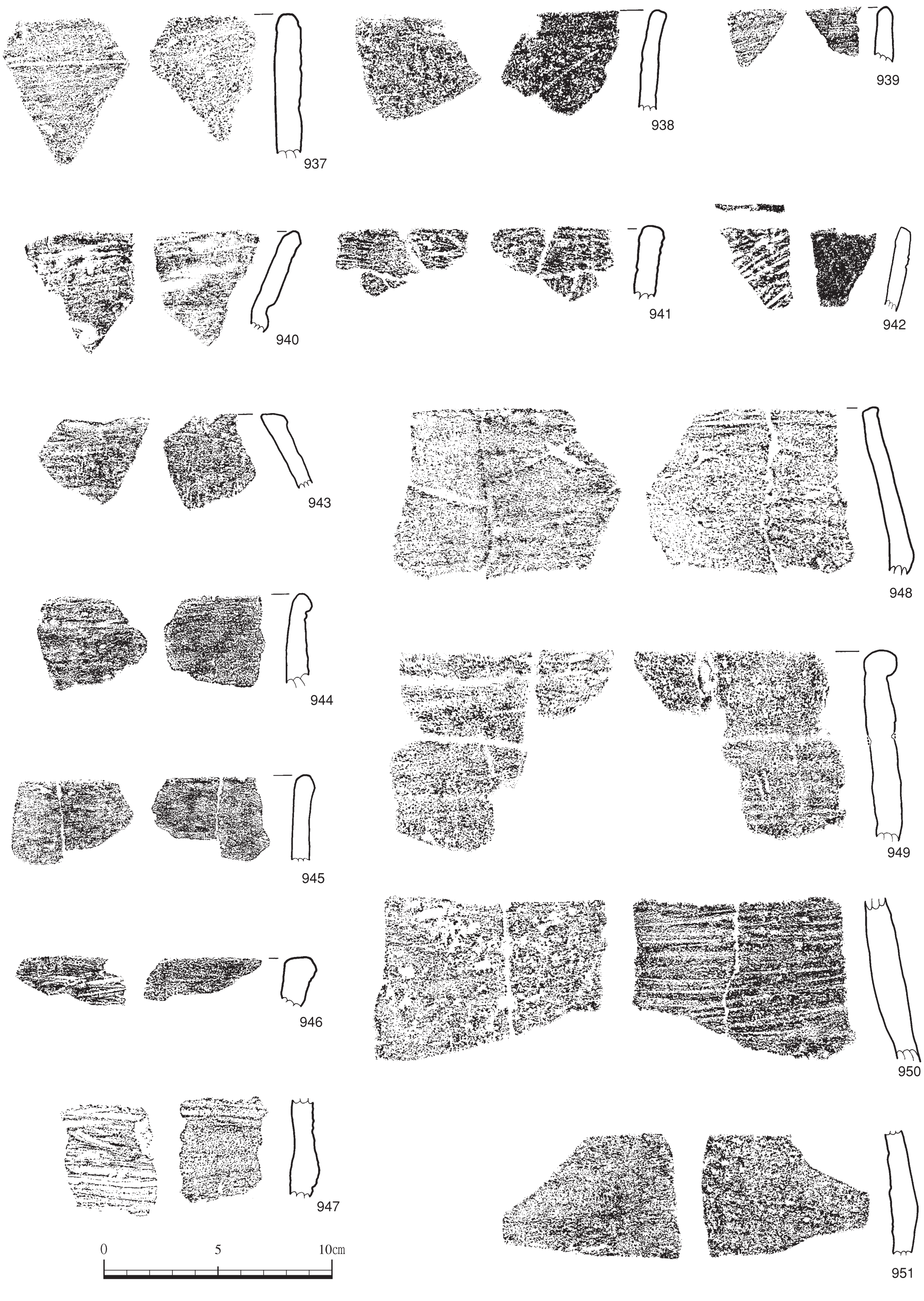
研磨された精製浅鉢であり，波状口縁を呈するものである。口縁部直下に，口縁の形状に沿って 1 条，その下に横方向に 1 条の沈線文が巡る一群である。

928 ～ 930 は黒色磨研土器である。931・932 は同一個体であり, 外面に赤色顔料がわずかに残る。933 は明褐色で，小破片のため波状口縁を呈するのかは明らかではない。934 は明褐色を呈する底部片で，外面に 2 本の沈線文が巡る。

〈ＸⅤｂ類土器〉（第 194 図　935・936）

ＸⅤａ類土器に比べて研磨が粗雑であり, ケズリ・ナデによる調整がより明確に確認できる。また, 胎土も粗くいわゆる半精製の浅鉢である。

935・936 は口縁部がわずかに内弯し，若干波状口縁気味となる。器外面はケズリ・ナデ調整で, 口唇部はナデによる平坦面をもつ。口縁内面の肥厚は，その下部が削られていることによる。胎土には 5 ～ 7mm 大の白色の小礫，3mm 以下の輝石が多く含まれ，粗い。

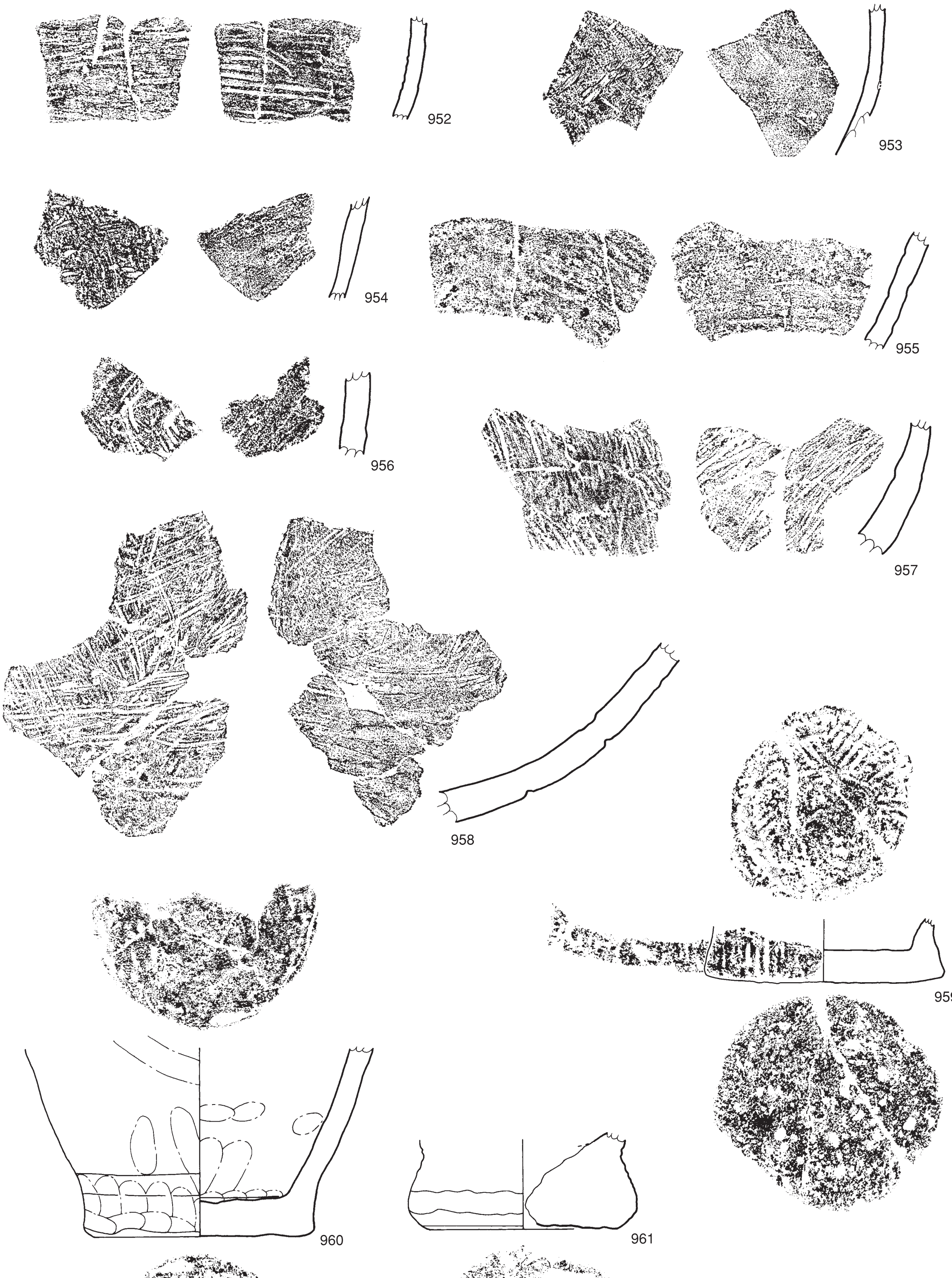


第195図　ＸⅥ類土器（１）

【ＸⅥ類土器】（第 195 図・第 196 図）
縄文時代晩期該当の粗製の深鉢型土器である。

937 は端部が丸くおさまる直線的な口縁部で，外面に条痕がうっすらと確認できるが，胎土が脆く器面が劣化している。938 も器面の劣化が激しい。口縁端部は平坦である。939･940･942 は，口縁端部の断面形態が指先でつまむようなナデによって尖り気味になっている。内面には共通して丁寧なナデが施される。941 は口縁端部にナデによる幅広の平坦面をもち，内外面には横方向の粗いケズリ痕が残る。943 は内傾する口縁部で内外面ともナデ調整である。944 の口縁部は，粘土帯の貼付けによって肥厚している。945 はわずかに肥厚する口縁部を有する。944・945 は共通して外面はナデ，内面は丁寧なミガキ調整であり，胎土についても 2mm 大の白色粒子が目立つよく似た胎土で作られている。946・947 は同一個体である。器形は胴部に屈曲部をもち，ゆるやかに内傾して口縁部へと至る。外面は口縁部直下から胴部まで条痕文が施される。胎土に白色の小礫や砂粒を多く含み，焼成は良好で堅く焼き締まっている。948・951 も同一個体で，胴部に緩やかな屈曲部をもつ。器面は粗く，焼成は甘い。949 は粘土帯の貼付けによって口縁部が玉縁状を呈し，胴部でやはり緩やかに屈曲する形状を呈している。器面は全面ナデ調整である。950 は口縁部直下の破片である。内面は強い横ナデ，外面は横方向の粗いケズリの後ナデ調整をしている。
952 ～ 958 は正確な位置が判別しづらいが，胴部片にあたる。952 は内外面に横位の条痕文がみられ，外面のみ上からなでている。953・954 は同一個体で，外面には縦のケズリの上に，横に走る棒状工具の擦痕が多く残る。内面はケズリの上から丁寧なナデが施される。955 は内面が横のケズリ，外面が不定方向の雑なナデによる調整である。956 の外面には条痕が部分的にみられ内面はナデ調整である。957・958 は同一個体であり，内外面に細い条痕が不定方向に走る。内面にはその上から横ナデが部分的にみられる。胎土が特徴的で，5mm 大の白色・黒色の小礫が多く含まれている。焼成は良く，器壁は締まっている。
957 ～ 959 は深鉢の底部である。959 の底面は外側に張り出し，底部内面は平坦である。内面の縁に放射状に条痕が残り，同様の条痕が底部付近の外面にもみられる。円盤貼付けで成形した可能性が高い。960 も底面が外側に張り出し，内面が平坦である。しかし，底面や内外面の調整が主にユビオサエである点が相違する。961 は若干上げ底の底部で，底面から 1 ㎝上が最も張り出す形状である。内面が平坦面をもつのかもたないのかは定かではない。器面に赤く硬化した面が広がり，焼成後に加熱を受けたものとみられる。

晩期の土器は，精製浅鉢・粗製深鉢が確認された。
ＸⅤ・ＸⅥ類土器は，それぞれ，波状口縁をもつ黒色磨研土器の浅鉢，平底の底面が張り出し条痕をもつ粗製の深鉢で，いずれも「黒川式」土器にあたる。両者の遺構内等での共伴関係は確認されていないが，セットで用いられた可能性は充分考えられる。



第196図　ＸⅥ類土器（２）

②石　器（第 197 図～第 199 図）

Ⅲ層は縄文時代晩期から古墳時代にかけての遺物包含層であるが，石器は基本的に縄文時代の遺物と考えられることから縄文時代晩期のものとして捉えている。

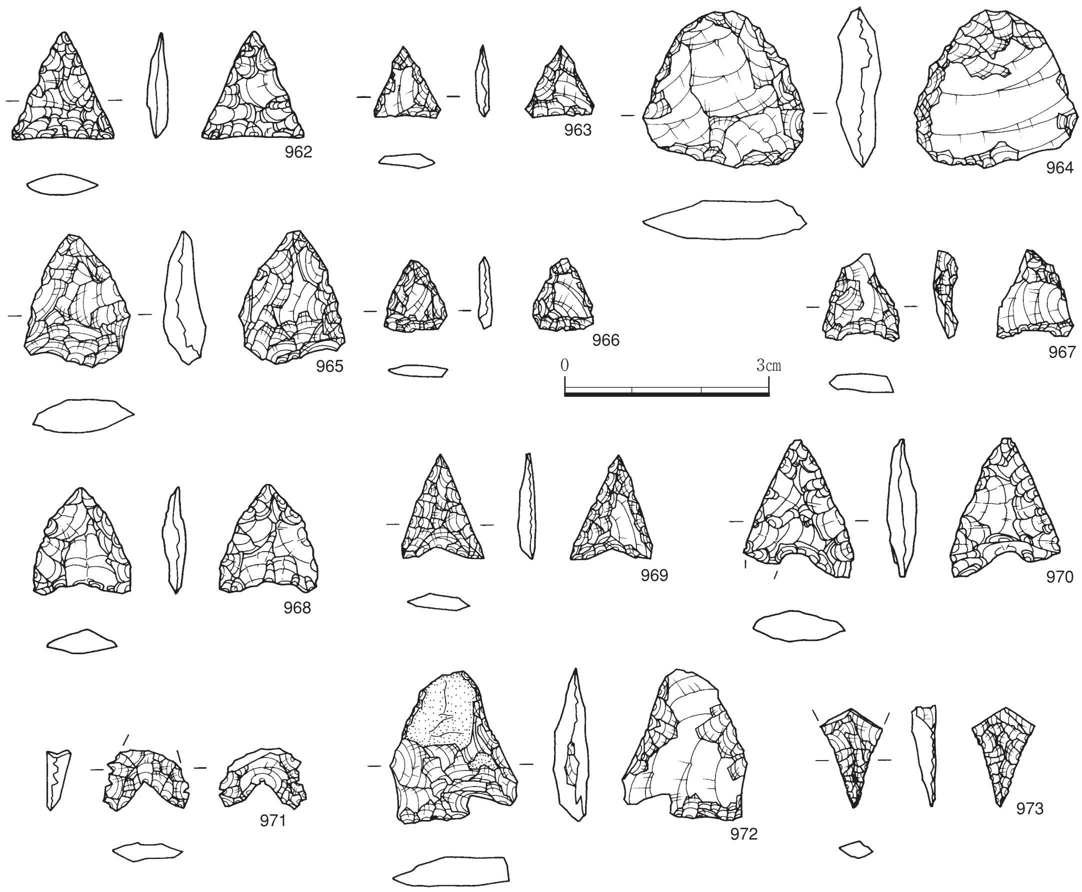
962 ～ 972 は石鏃である。962 と 963 は三角形の鏃である。963 は早期に多く見られるような小型の鏃である。962 はそれよりも長い鏃で，各辺が直線的によく整っている。いずれも平基式である。964 ～ 966 は基部が若干外部に張り出す凸基式の鏃である。その中でも 964 は極めて大型のものであり，先端部は丸まっている。965 と 966 は形状が整っていない印象を受ける。964 と 965 は断面が極めて厚い。967 ～ 971 は基部が凹む凹基式の基部をもつ石鏃である。967 と 971 は先端部を欠いている。968 は先端部から基部に向かう辺が，1 回外方向に大きく屈折しており，基部が凹んだ五角形鏃に近い形状をしている。969 は両側の辺が直線的で先端部が鋭い三角形となる。970 と 971 は基部の抉りが深い長脚の鏃である。972 はその形状や先端部が割合に薄く鋭いことから石鏃と考えている。一方の面に自然面が残り，反対の面には剥離したままの面を広く残している。細かな調整は両側面と基部に施されており，基部は凹み状に破損していると考えられ，きれいに整っている状態ではない。973 は両側面が下部に向かって幅が狭く，先端部の角度が鋭くなっており，石錐と考えられる。基部は欠き，折損したものと考えられる。

979 と 980 は石斧である。そのうちの 979 は磨製石斧の刃部である。側面を中心として広い表裏二面にも部分的に敲打の跡が見られることから，礫を打ち欠いてある程度の大きさに揃えた後に，主として敲打によって全体の形を整え，最後に刃部を丁寧に磨いて仕上げたものと考えられる。若干撥形を呈するタイプと言える。980 は自然面を大きく残し，両側面を主に調整して製作したと考えられる打製石斧の基部である。

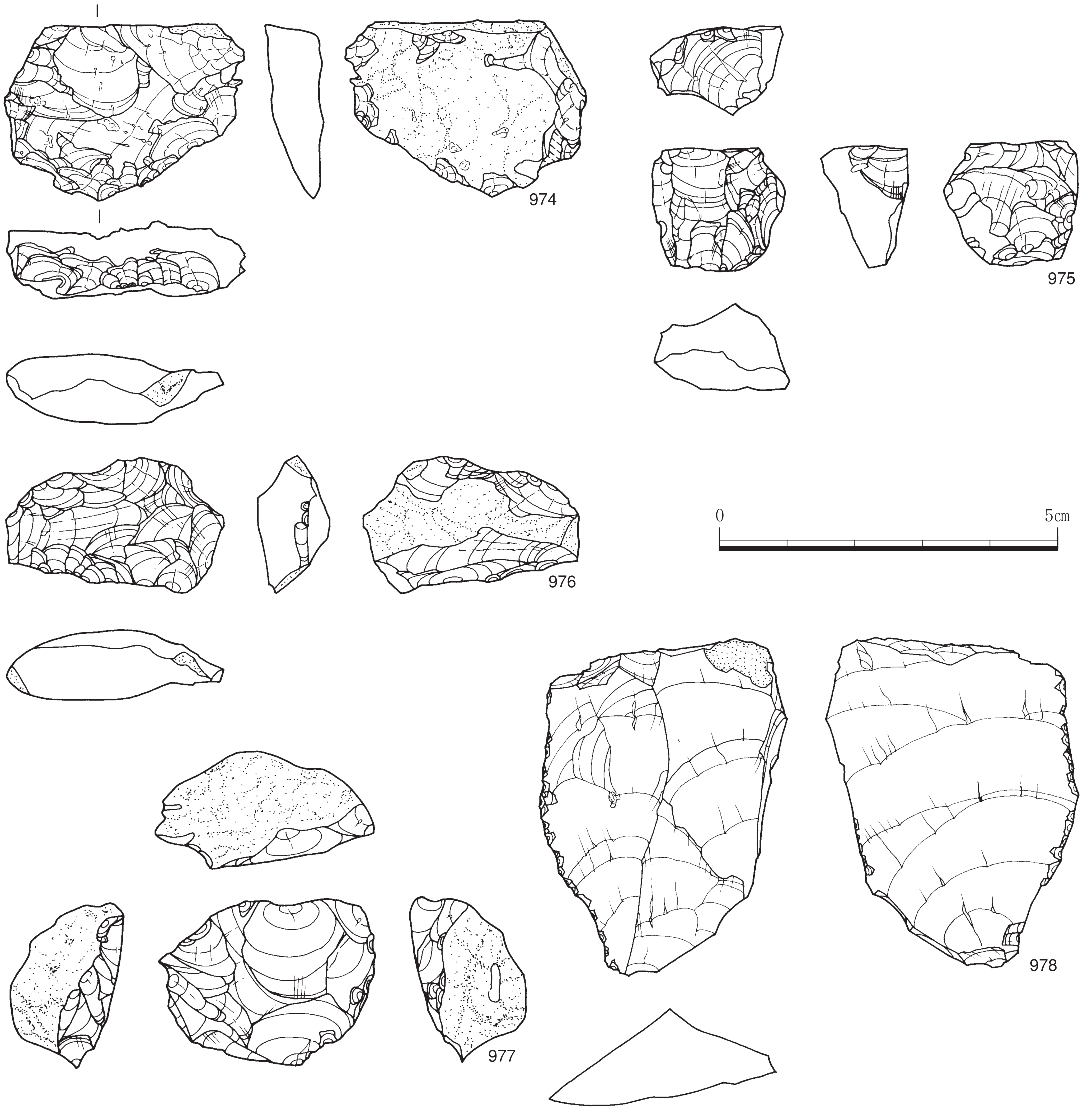
981 と 982 は礫石器である。角礫の自然礫そのままか，打ち欠いて形を整えた礫片の一ないし二つの辺に調整を加え，使用面としている。

983 と 984 は凹石，985 は小型の敲石である。凹石は四角形の自然礫を用いており，広い面と側面に激しい凹みが見られる 984 のようなものと，983 のように広い面の片方と，側面の一方に凹みを持ち，広い面のもう片方には帯状の擦痕が残るものがある。使用方法に差異があったと考えられる。985 は小円礫を用い，長軸方向の両端を敲打の使用面としている。

974 は黒曜石製のスクレイパーである。自然面を大きく残し，下部を調整して刃部としている。975 と 976 は楔形石器である。すべての面をきれいに剥ぎ取ってあるもの（975）と，自然面を残しているもの（976）とがある。977 は石核で，自然面が 3 つの面に残っている。978 は使用痕のある剥片で，長軸方向の 1 つの辺を調整し，使用している。一方の広い面に稜があるために，断面形は三角形となっている。

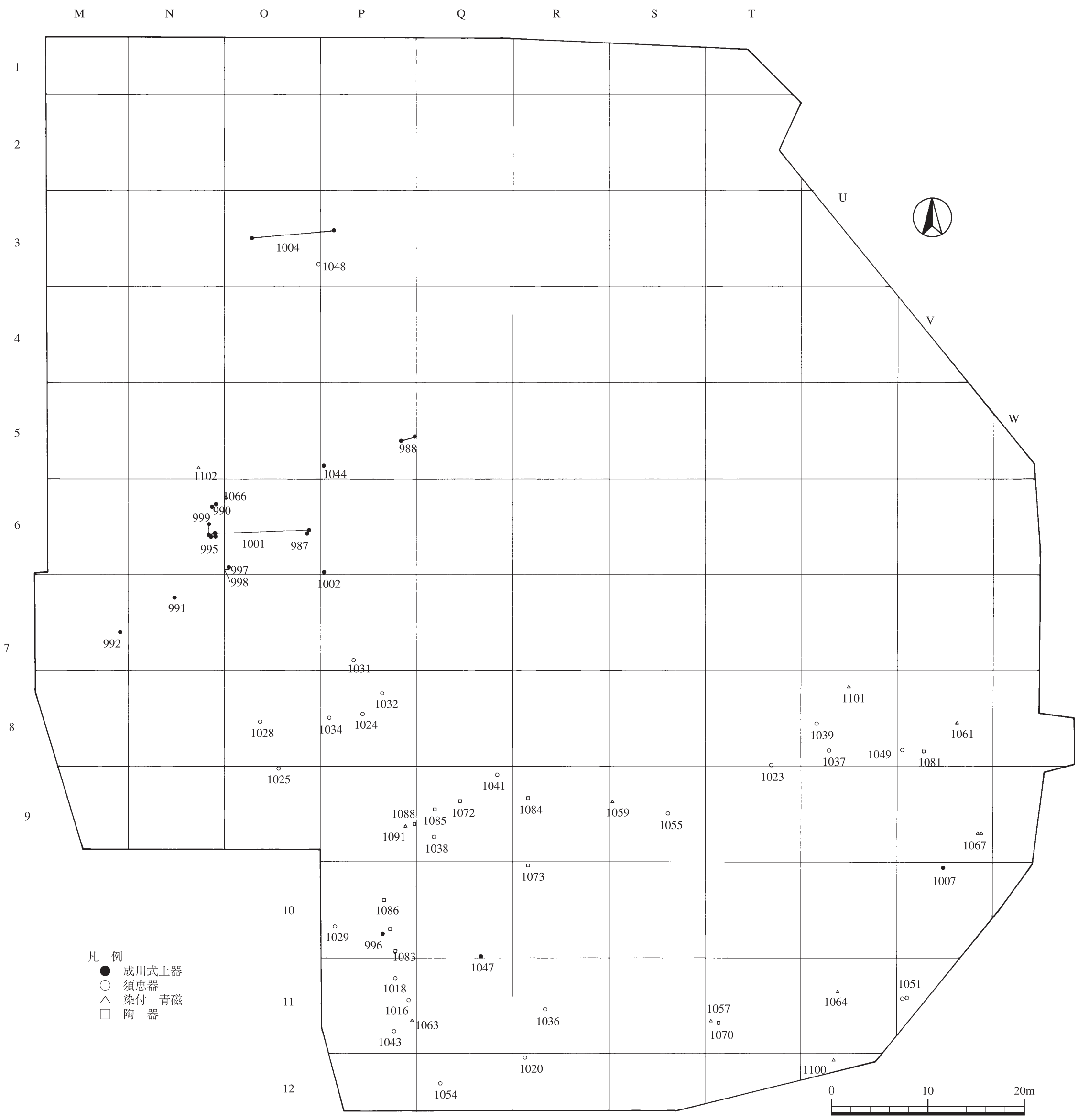


第197図　晩期石器（１）



第198図　晩期石器（２）

第199図　晩期石器（3）



第200図 遺物出土状況図（3）

6　古墳時代

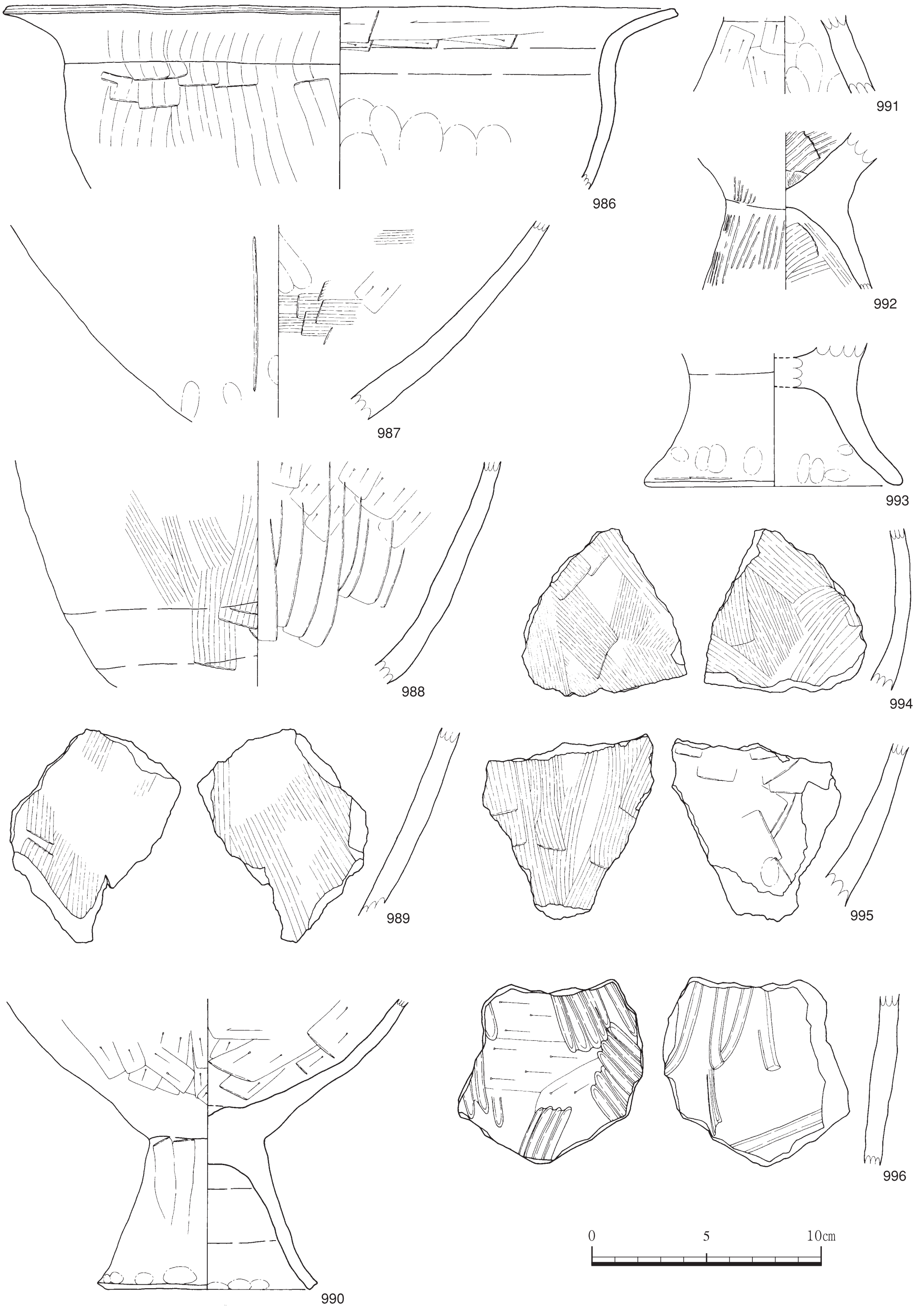
○遺　物（第 201 図・第 202 図）

Ⅲ層のアカホヤの 2 次堆積層から出土した。986 ～ 996 は甕形土器，997 ～ 1003 は壷形土器，1004 は鉢形土器，1005 は高坏である。甕形土器の 986 は，口縁部は外に向けて大きく開いており，口縁部は断面形が全体的に四角形であるが，中央部は細い箆状の施文具を使って丁寧に調整が行われているため，端部が凹んだようになっている。頸部は緩やかなカーブを描いて胴部へと繋がっている。口縁部及び頸部は基本的に横方向のナデ調整が施されている。胴部は割と急激に底部に向かってすぼまっており，調整は外面が縦方向のケズリ，内面は指頭によるナデが基本となっている。甕の胴部から底部にかけては，外面の調整はケズリ，ナデのほかハケ目が見られ，内面も同様な調整である。胴部から底部にかけての傾きも胴部が緩やかで底部付近で一気に底に向かって直線的にすぼまるものと，胴部上部から底部に向けて全体的に直線的にすぼまるものとが見られる。990 は胴部下部から底部にかけてのものである。胴部下部から低い角度で底部の脚部に繋がり，脚部は非常に高く安定したものである。調整は胴部の下部が内外面共にケズリによっており，脚部は内面にケズリの痕跡が見られるものの，大まかには指頭による調整が行われる。991 ～ 993 は脚部である。調整もケズリ，ハケ，ナデなど各種見られる。993 は脚部の裾が大きく外に向かって開いている。

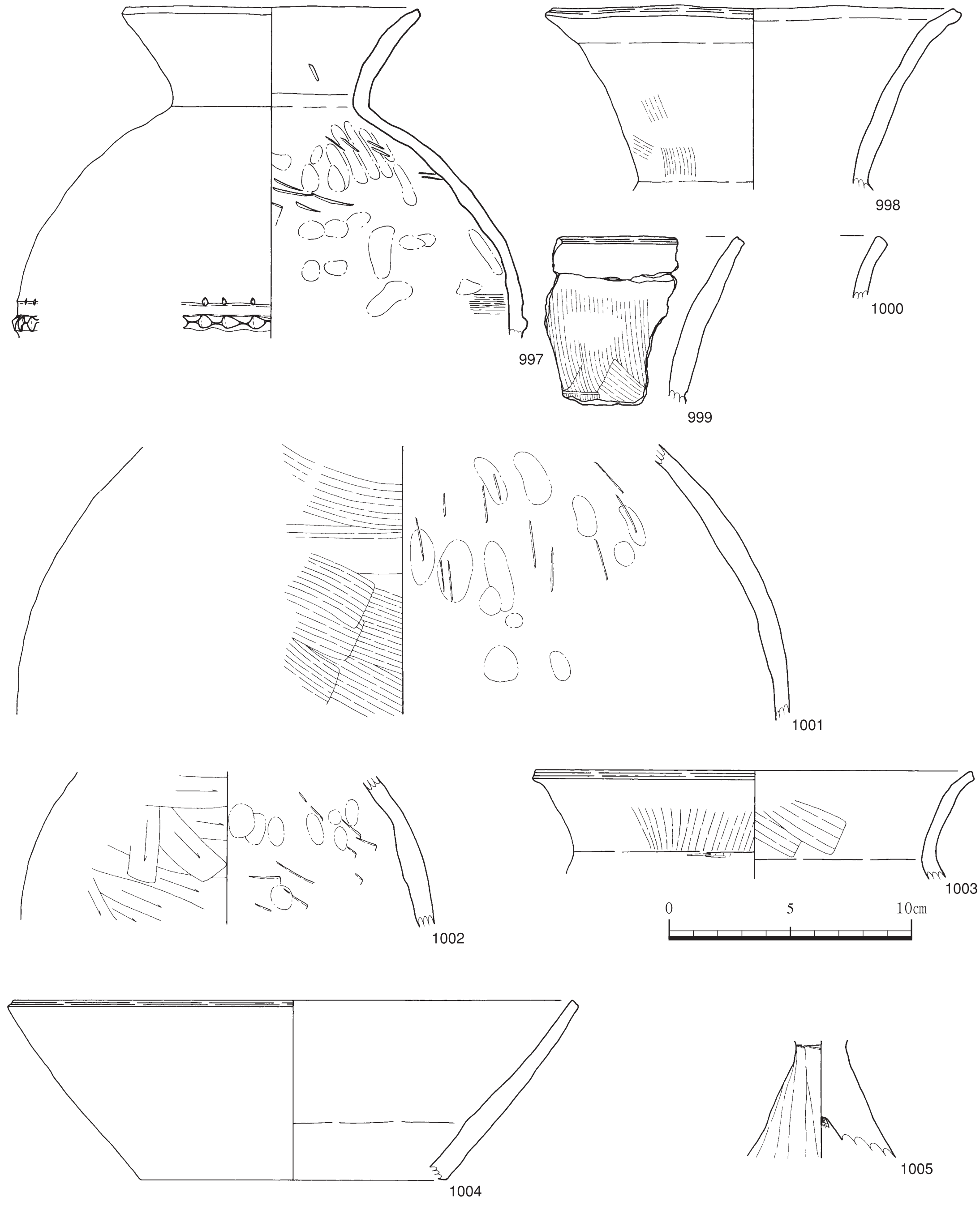
壷形土器は，基本的に長い口縁部が大きく開き，頸部は外面に明確な稜が見られる程に極端にすぼまっており，胴部は球状に大きくふくらんでいる。胴部の最大径付近に刻みを有する絡縄突帯を巡らしているものもある。底部は明確なものは出土していない。997 は口縁部から胴部にかけての部分である。内面はナデによる調整と指頭による調整が明瞭に残っている。外面の突帯の上部には若干離れた場所に極めて細い凹点が見られることから，突帯の上に施された刻みが箆状の施文具によって行われたことが明白である。998 の口縁部も 997 に似ているが，断面の形が 997 が中膨らみになっていて口唇端部が若干丸まるのに対して，998 はほぼ同じ厚さで上方に緩やかなカーブを描きながら四角形気味の口唇部に繋がっている。998 は 997 よりも大きな器形と考えられる。999 と 1000 はいずれも 998 に類似したタイプの口縁部である。999 は外面にケズリによる横方向の調整と，ハケ目による縦方向の調整が施されている。1001 は頸部から胴部にかけての部分であるが，外面は上部に斜め方向のハケ目が見られるほか，その下位には横方向のタタキ目が残っている。1002 は胴部最大径付近から底部に向かう胴部の下部である。最大径付近はほぼ直立しており，底部に向かっては急角度ですぼまっている。

1004 は鉢形土器である。当初，壷形土器の口縁部かと考えたが，下端部に小さいが明瞭な内部に向かって折れる面が見られたことから壷の口縁とすることはできないという結果にいたった。そこで鉢形土器と判断したものである。内面下位に若干稜が巡っていることから，段を有していると考えられる。調整は，内外面共に丁寧なナデによって仕上げてある。

1005 は高坏の脚部である。接合部も欠損しているため，坏部とはどのように接合してあったのか不明である。



第201図　成川式土器（1）



第202図　成川式土器（２）

7　平安時代

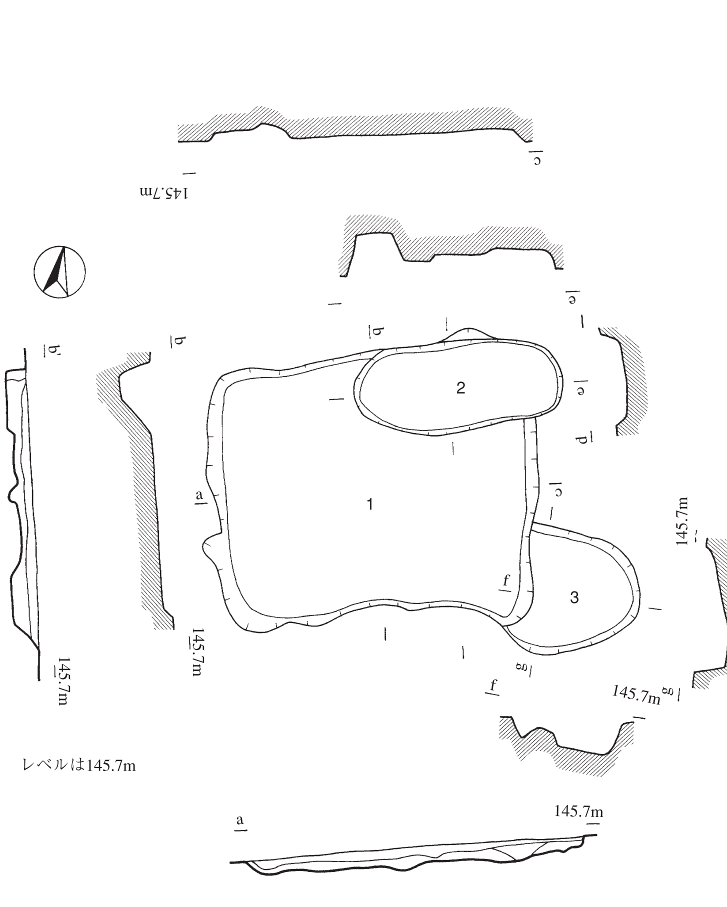
(1) 遺　構（第 203 図）

Ⅲ層上面でⅡ層を埋土とする土坑が検出された。Ⅱ層が古代から中・近世にかけての遺物包含層であることから，この遺構もこれらのうちのどれかの時期のものと考えて調査を行った結果，埋土中から古代の土師器が出土したことから，平安時代の遺構と考えるに至った。

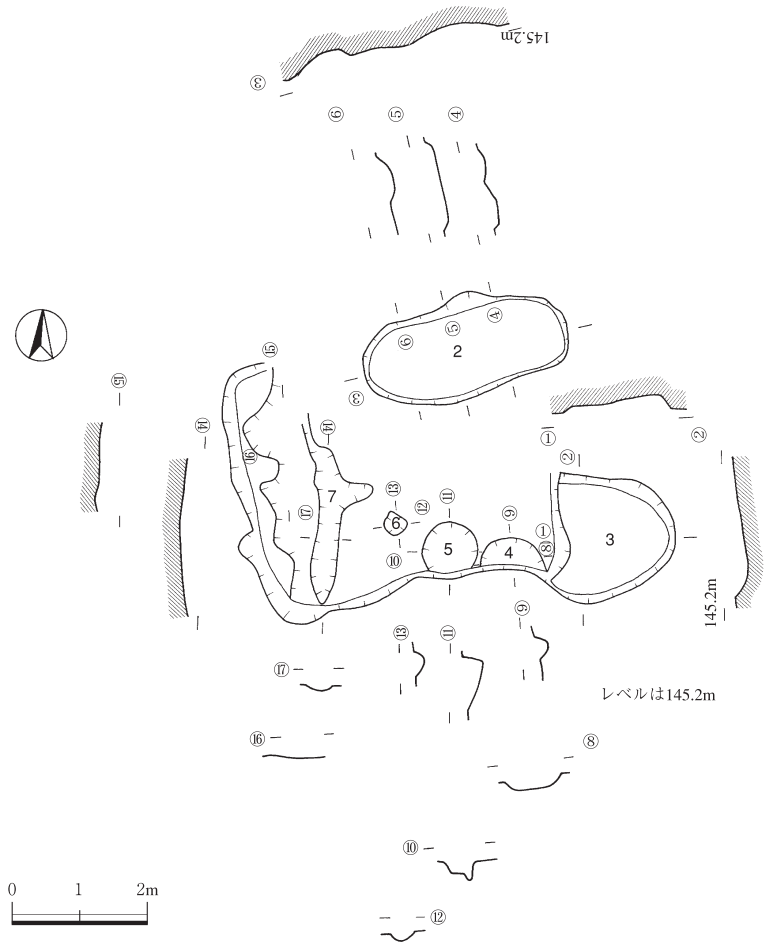
Ｎ－６・７区で検出された土坑で，当初は，方形のものが規模が極めて大きく，割合に整った長方形をしていたため住居跡の可能性が考えられた。しかし，最終的には内部に大小の円形のピットを持つ方形を基調とした土坑の周辺に，楕円形の土坑が複合した遺構であることがわかった。方形の大型の土坑は，長軸が 615cm，短軸が 465cm で，深さは 60cm である。埋土はⅡ層の黒色土を主体として焼土や木炭も多く含んでいる。底面は割合に平たく安定しているが，西側は長軸方向のほぼ４分の１程度にわたって縦に帯状に窪んでいる。また，南東部から南側中央部にかけて３基のピットがほぼ一列に並んだ状態で見られる。その中でも真ん中のものが規模が最も大きく，長径 85cm，短径 75cm で，深さは 34cm ある。次に大きなものは東側のもので，長径は 90cm，短径は 40cm，深さは 20cm である。南側は壁面となっている。最も小さいピットは直径が 35cm で，深さは 16cm である。３基のいずれのピットも底面が U 字状になっており，安定したものではないため柱の穴と認定することはできない。底面のほかの区域及び周辺に柱穴となるようなピットが検出されなかったため，本遺構を住居跡と認定することはできなかった。

周辺にある楕円形の土坑のうち，北東部にあるものは，長径 310cm，短径 140cm で，深さは最深部で 70cm である。土坑の底面は平坦ではなく，部分的に窪んでいるなど非常に不安定である。埋土はⅡ層の黒色土を中心に，木炭や焼土も含まれている。大型の方形の土坑よりも，埋土が全般的に薄いことから，Ⅱ層の黒色土の割に焼土の割合が多かったものと言える。南東部の土坑は大型の方形の土坑によって切られているため本来の規模は明確ではないが，残存の計測では長径が 190cm 以上，短径は 160cm，深さは最深部で 66cm ある。これも底部は不安定で，部分的に窪んだりしている。

これらすべての遺構は，形態的には方形あるいは楕円形で安定したものではあるが，内部または周辺に柱穴と認定できるようなピットが確認できなかったことから，住居跡及びそれに伴う遺構とすることはできなかった。加えて，埋土がⅡ層の黒色土を基本としながらも，木炭や焼土が全体に混じっていたことからも住居跡との認定はできず，土坑というほかはないとの結論に達した。これら遺構に木炭や焼土が多量に混じっていたものの，遺構の内面（特に壁面）が焼けてはいなかったことから，いずこかで焼いた（焼かれた）木質を中心とするものを，方形あるいは楕円形に掘った穴に埋めたものではないかと考えられる。ただ，そうしたとき，大型の方形の土坑中にある３基のピットをどう考えるかという課題は残る。しかし，いずれにしても住居の跡とは考えられないことから，土坑という名称に留めることにしたい。



N-6.7区Ⅲ層上面検出Ⅱ層埋土土坑



N-6.7区Ⅲ層上面検出層埋土土坑

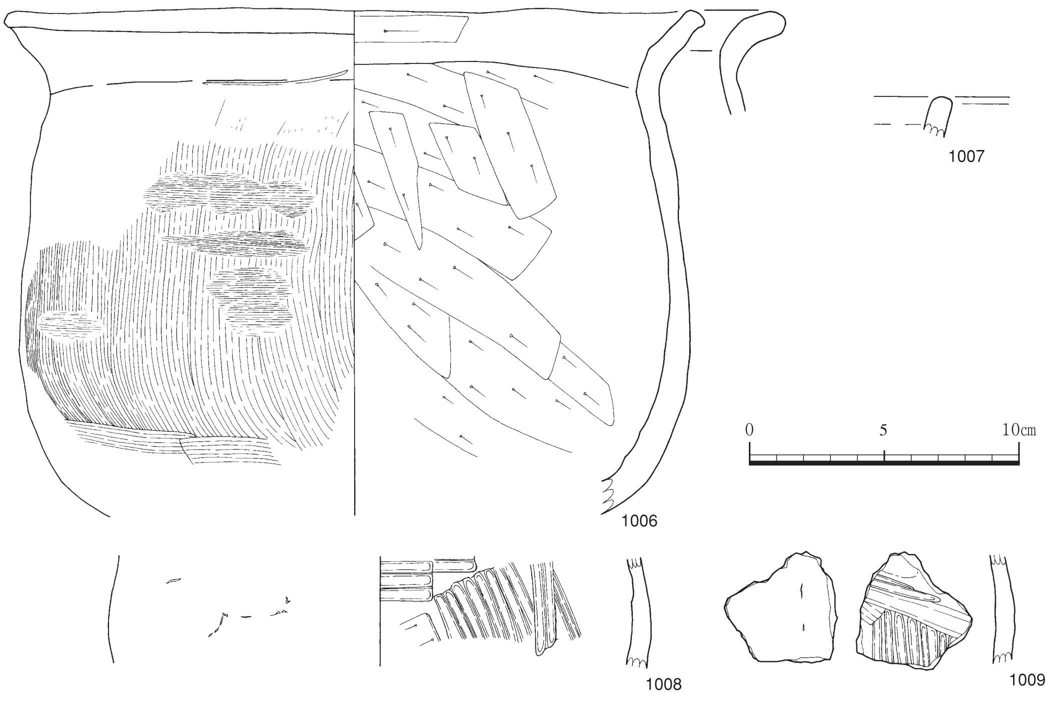
（ゴチックは土坑番号）

第203図　Ⅱ層埋土土坑

(2) 遺　物（第 204 図・第 205 図）

この時代の遺物としては，土師器が出土している。1006 〜 1009 は甕，1010 〜 1034 は坏や椀，皿の類である。

甕のうち，1006 は底部を欠くもののほぼ完形に復元されたものである。外面は胴部のほとんどが縦方向の，また底部付近は横方向のハケ目調整が見られ，内部には斜め方向のケズリの痕跡が残る。口縁部は大きく肥厚しているが，部分的には胴部とほぼ同程度の厚さのか所も見られる。そのほかの口縁部は肥厚するものがほとんどで，内面に明瞭あるいは不明瞭な稜をもつ。胴部には内面に叩き目の残るものも見られることから，内面調整にはケズリとタタキの 2 種類があることが考えられる。

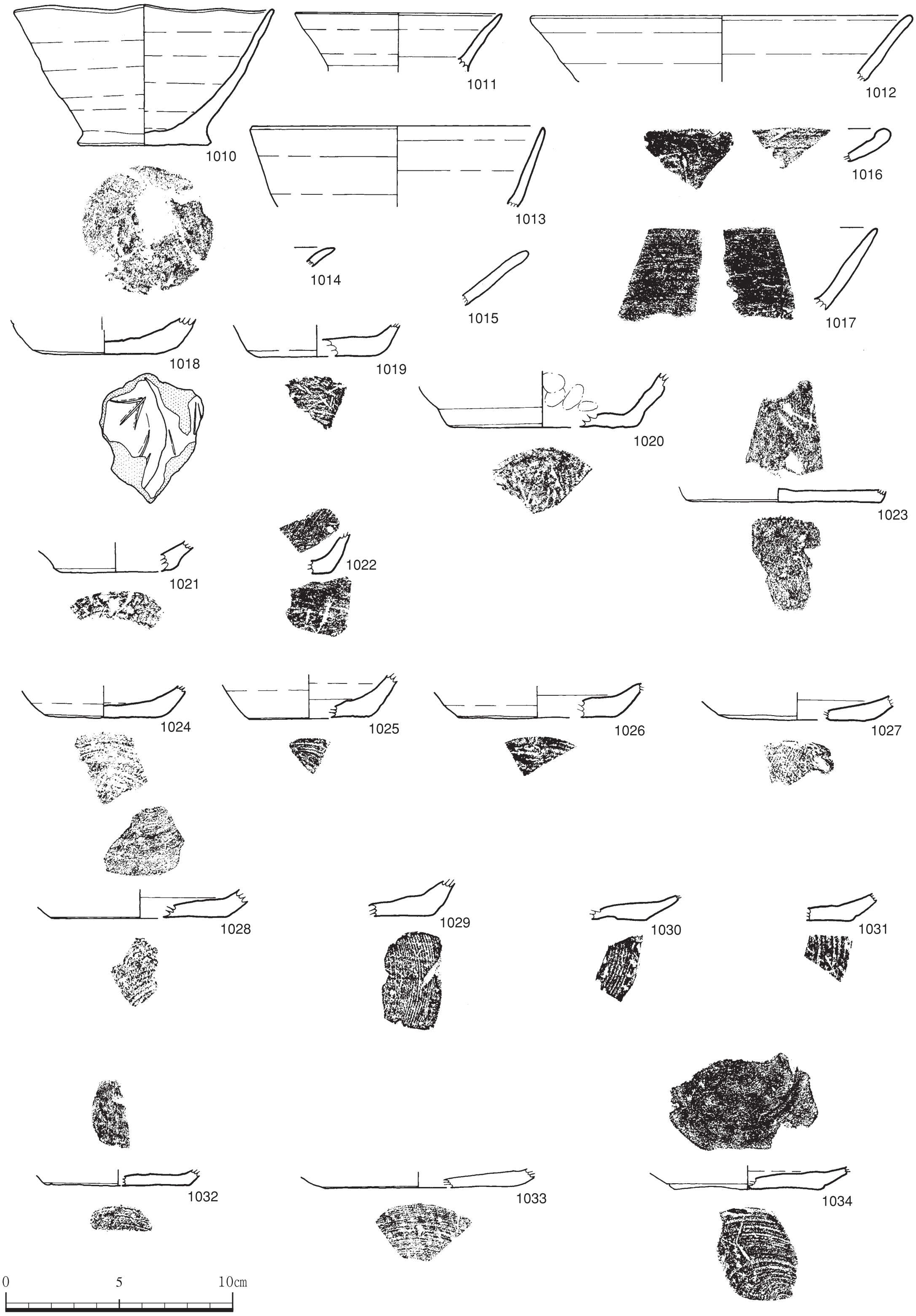


第204図　土師器（甕）

1010 ～ 1034 の坏，椀，皿については直径や器高，底部から口縁部への傾き等によって器種としての名称が異なって来るが，本遺跡出土の遺物は極めて小片であるため器種名を確定できなかったものも多かったことを付記しておく。1010 は本遺跡で唯一完形に復元された坏である。復元口径が 11.0cm，器高は 3.0cm である。内外面には鈍い稜が何段にもわたって見られ，外底はしっかりと整えられてはいない。1011 ～ 1017 は口縁部である。端部の形状が小さく丸まるものと割合に鋭く尖るものの大きく 2 種類に分かれるほか，1016 のようにまさに丸く玉縁状になるものも見られる。基本的には，器高が低く，直径が小さなものは皿の可能性が大きいと考えられ，器高が高く，直径が大きなものは坏または椀のいずれかと考えられる。しかし，実際的には器種を判断することのできる破片は少なく，推定される径の数値や，破片がそれより下位に続くか否かによっても違ってくるわけであり，一概には言えない。また，小片のため，推定口径が出せない程のものについては，さらに坏か椀か皿であるかの判別すらつけることができないものも多いと言える。しかし，このような小型の土師器は底部との境で破損することが多いことから，1014 ～ 1017 は皿または小型の坏あるいは椀の口縁部と考えることも可能ではあるが，最終的な名称を与えることはできない。

1018 ～ 1034 は底部である。1018，1019，1020，1023 は輪状となる筋が見られないことからヘラ切り，それ以外はそれが明確に見られることから糸切り底と考えられる。圧倒的に糸切り底が多いと言えよう。底部に厚みのある 1025 や 1026，1028 のようなものはこの時代の坏と考えられ，1032 は皿または坏であろう。

糸切り底をもつ土師器は，本県では基本的には鎌倉時代以降であることから，中世に入れた方がふさわしいと思われる。糸切りの痕跡は，非常に緻密なものが多い。底部から体部への立ち上がりが直立気味となるもののほとんどは坏，ほとんど起きあがらないものは皿である可能性が大きい。径に大小の差異があることから，細かく見ると時期に違いのあることが考えられる。



第205図　土師器（碗・坏・皿）

8　中世・近世

Ⅱ層の上面を清掃した段階及びⅡ層の遺物包含層の調査を行っている段階で遺構を検出し，Ⅱ層の調査中にその時期の遺物が出土した。

(1) 遺　構（第 206 図～第 210 図）

Ⅱ層の上面あるいはその中で溝状遺構及び道跡を検出した。

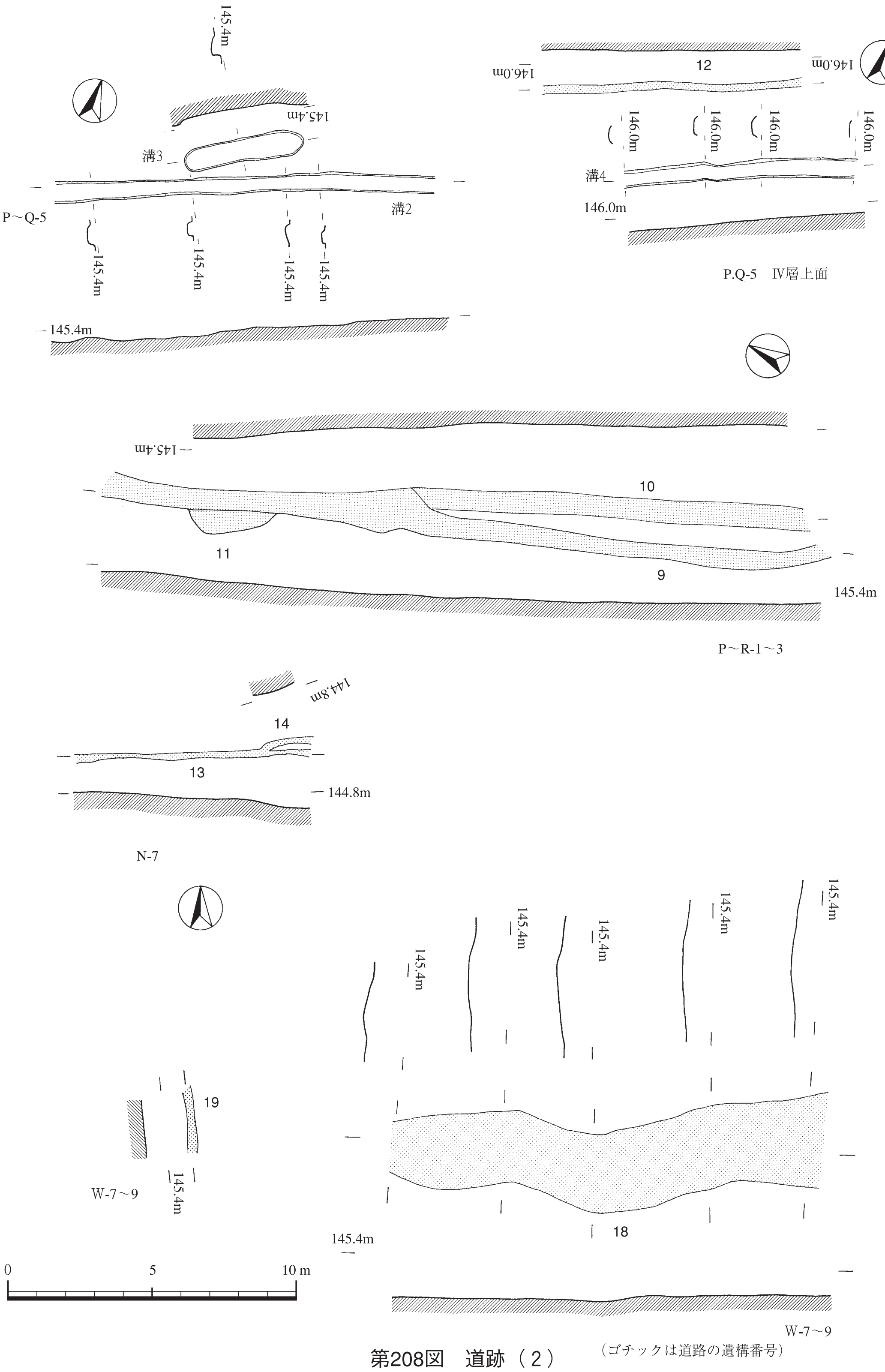
溝状遺構はＮ・Ｏ－５・６区で検出した。ほぼ東西方向に掘られた幅が 28 ～ 50cm，長さは 18.84m の遺構で，東から西に向かって深くなる。底はＵ字状となっており，水の流れる方向に向かって深さも深くなっている。埋土中から青磁や染付が出土していることから，中世頃と考えられるものの，若干時期が下る陶器片も見つかっていることから，時期は中世から近世にかけての時期とせざるを得ない。P･Q－５区で検出されたものは，幅は 26 ～ 40cm，長さは 8.12m の遺構で，ほぼ東西方向に掘られており，西側が低く，深さも深い。O･P－５区で検出したものは２本あり，１本目の長い方は，幅が 28 ～ 34cm，長さは 18.1m あり，短い方は幅が 38 ～ 48cm，長さが 4.02m ある。いずれも東西方向に掘られ，西側が低く，深い。最も小さいものは土坑状に残るものの，削平を受けている可能性が大きい。遺物の出土はなかったものの，形状や幅の規格，掘られている方向がすべて西側に向けて下がっていることなどから，Ｎ・Ｏ－５・６区で検出された遺構と同じ時期と考えて支障はないものと思われる。

道跡は，総計 19 本検出した。幅は 10 ～ 164cm，長さも 1.76m ～ 32.0m までの一般的な，比較的幅の狭い，硬化面がしっかりしたものが多い。その中で，Ｎ・Ｑ－１・６区で検出されたものは，交差するか所を持ち，幅，長さ共に抜きんでている。硬化の程度やⅡ層の中でも極めて上位に検出されたことなどから，近世あるいはそれ以降の時代が付与されるべきであるかも知れない。ただ，道跡は遺構中に利用している時期を明確に表すような遺物を含まないものがほとんどであることから，溝状遺構ほど明確な時期を決定することは非常に難しく，本遺跡の場合も時期を示す遺物は出土していないことから, 最終的な時期は決められなかった。Ⅱ層上面と考えた遺構であっても，土自体が黒味を帯びてはいても全体的に濁っているものであることから，Ⅰ層の表土との区別がつきにくい状態であったことが考えられ，その意味からも最終的な時期判断はできなかったということなのである。

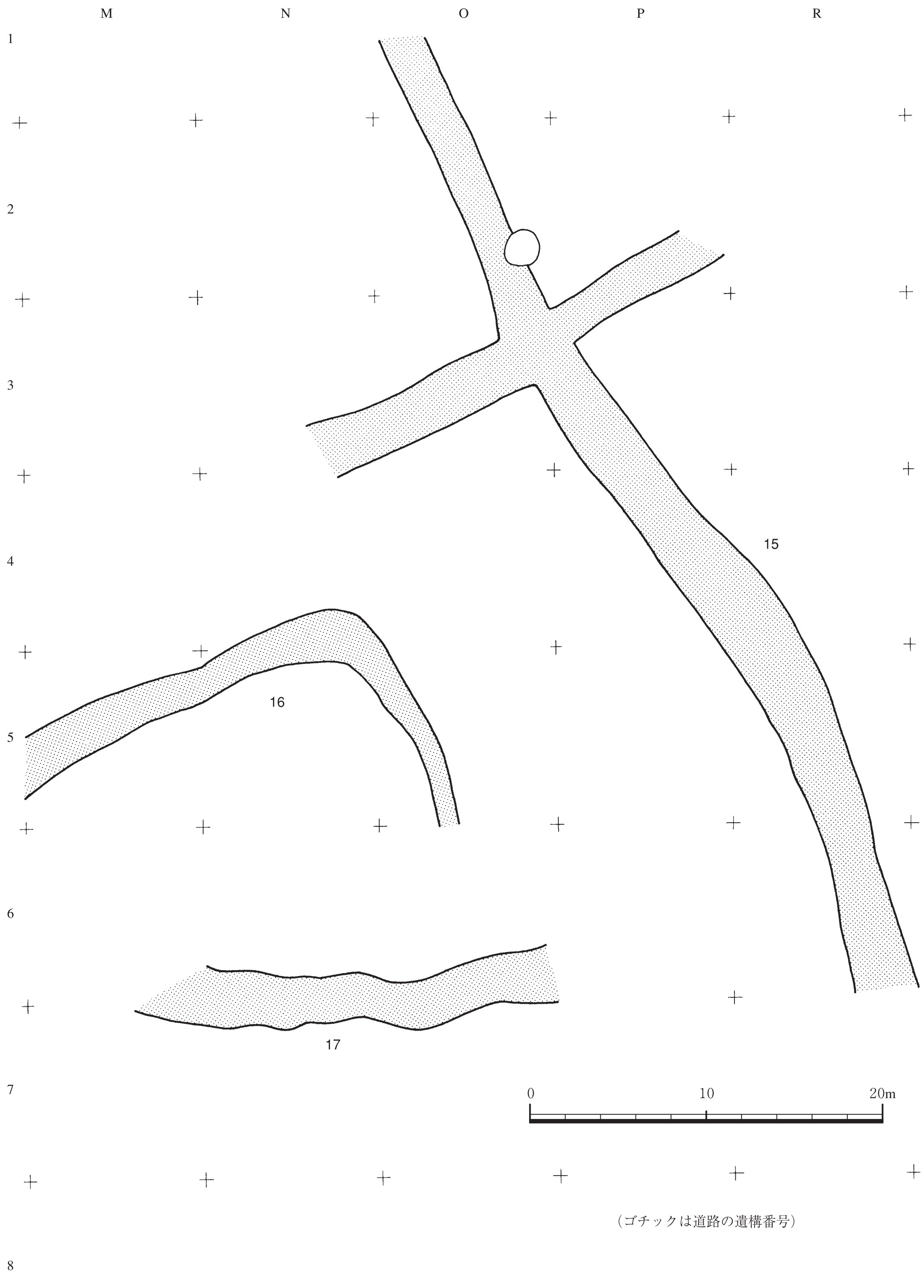
Ｍ・Ｏ－６・７区で検出された道跡は直線的に西に下っているのに対して，Ｍ・Ｏ－４・５区で確認した道跡は大きくカーブしている。また，大型の道跡を中心にして遺構の切り合いから前後関係を見てみると，西に直線的に下っているものはＮ・Ｏ－７区の小さな道を切っていると考えられることから小さな道より新しく，交差点を持つものもＭ～Ｑ－５・６区の小さな道を切っていることから小さな道より新しいと言える。ただ，大きくカーブするものは，Ｍ～Ｑ－５・６区の小さな道の下に検出されたことから，小さな道より古いと言える。そうした時，一般的に硬化の著しい幅の狭い道のみが古いとは言えなくなり，中世から近世にかけての道跡の中にも，ある程度の道幅を持った中世（あるいはそれ以前）の道があったと考えられるのである。

第206図　道跡全体図（２）

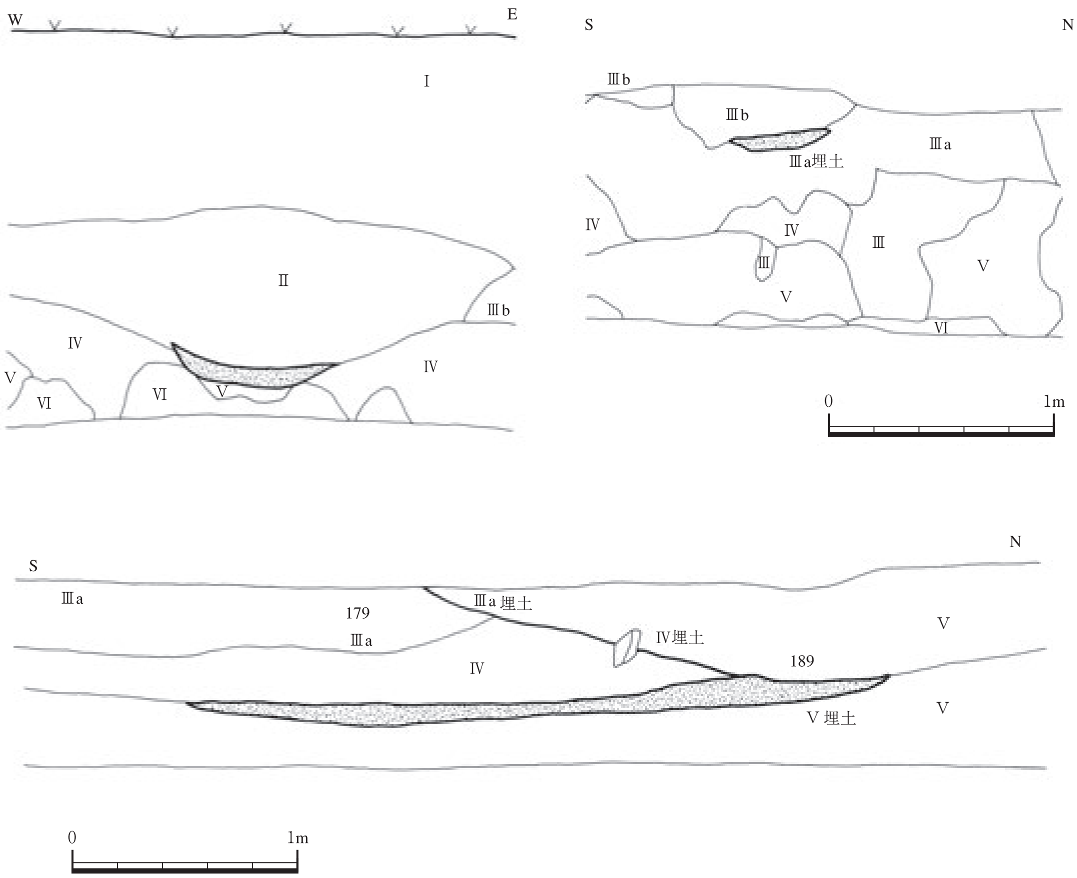
第207図　道跡（1）



第208図　道跡（2）　（ゴチックは道路の遺構番号）



第209図　道跡（３）


W
E
I
II
IIIb
IV
V
VI
VI
V
IV
S
N
IIIb
IIIb
IIIa
IIIa埋土
IV
IV
III
III
V
V
VI
0
1m
S
N
IIIa
179
IIIa埋土
IIIa
IV
IV埋土
189
V
V
V埋土
0
1m

第210図　道跡断面

(2) 遺　物

①土師器（第 211 図）

1048 ～ 1051 は台付きの椀（坏）である。すべて轆轤による製作と考えられる。台の直径や幅，高さなど規模は各種見られる。1048 は糸切りである。1049 も同じく台付きの椀（坏）であるが，内面にヘラによる丁寧な調整が見られる内黒の土師器である。1050 ～ 1052 も内黒の土師器である。椀または坏と考えられる。1050 は内面が丁寧な横方向のヘラミガキが顕著に残る。1052 の口縁部はほぼ直線的である。小型の椀か坏と考えられる。1053 は小型容器の把手である。1054 と 1055 は人形か装飾品の土製の型（かた）と考えられる。1054 は花（梅花か），1055 は人物で小子かとも考えられる。

②須恵器・瓦器（第 211 図）

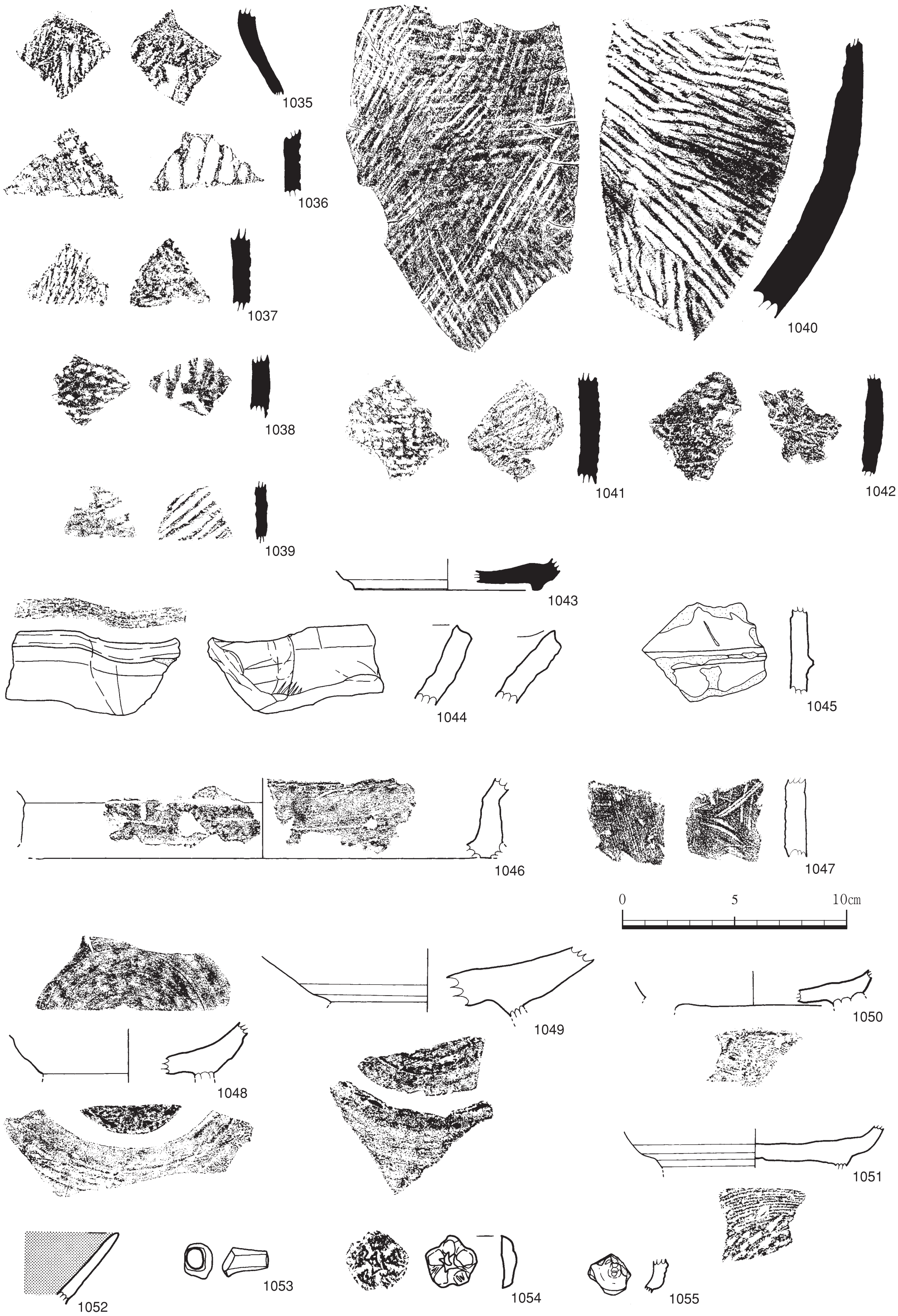
1035 ～ 1043 は須恵器である。1040 は大型の甕の胴部である。内面は平行叩き，外面はそれを斜めの 2 方向から行い，斜格子状となっている。1035 は壷の頸部，1036 ～ 1039 と 1041，1042 は甕または壷の胴部であろう。内面は平行叩きまたはナデ，外面は平行叩きまたは格子叩きで，一部にはナデの痕跡も見られる。1044 ～ 1047 は瓦器である。1044 は擂り鉢または捏ね鉢の注口の部分である。1045 は器高の高い容器の胴部で，突帯が一条巡る。1046 は大型の台付きの鉢の底部付近かと考えられ，底部付近からすぐに外に向けて開いている。1047 は小片のため器種は不明である。

③青　磁（第 212 図）

1056 ～ 1067 は青磁である。そのほとんどは碗または皿かと考えられるが，1067 は器形が大きく異なっており，花瓶または壷の一部と考えられる。1056 ～ 1059 は碗の口縁部から胴部であり，蓮弁が描かれる。1057 と 1059 は鎬の蓮弁，1056 は 1 つ 1 つの蓮弁を密に直線で描き，先端部もギザギザの直線で描くことで表している。1060 は口縁部が外反して丸まり，玉縁状となる。1061 の口縁部は肥厚している。1062 と 1063 は割合に薄手で，端部は外反する。1066 は碗の底部で，高台が付く。1064 は外面に波や渦巻きと見られる文様が描かれている。1065 は内底に文様があるが，文様の詳細は不明である。

④陶　器（第 213 図）

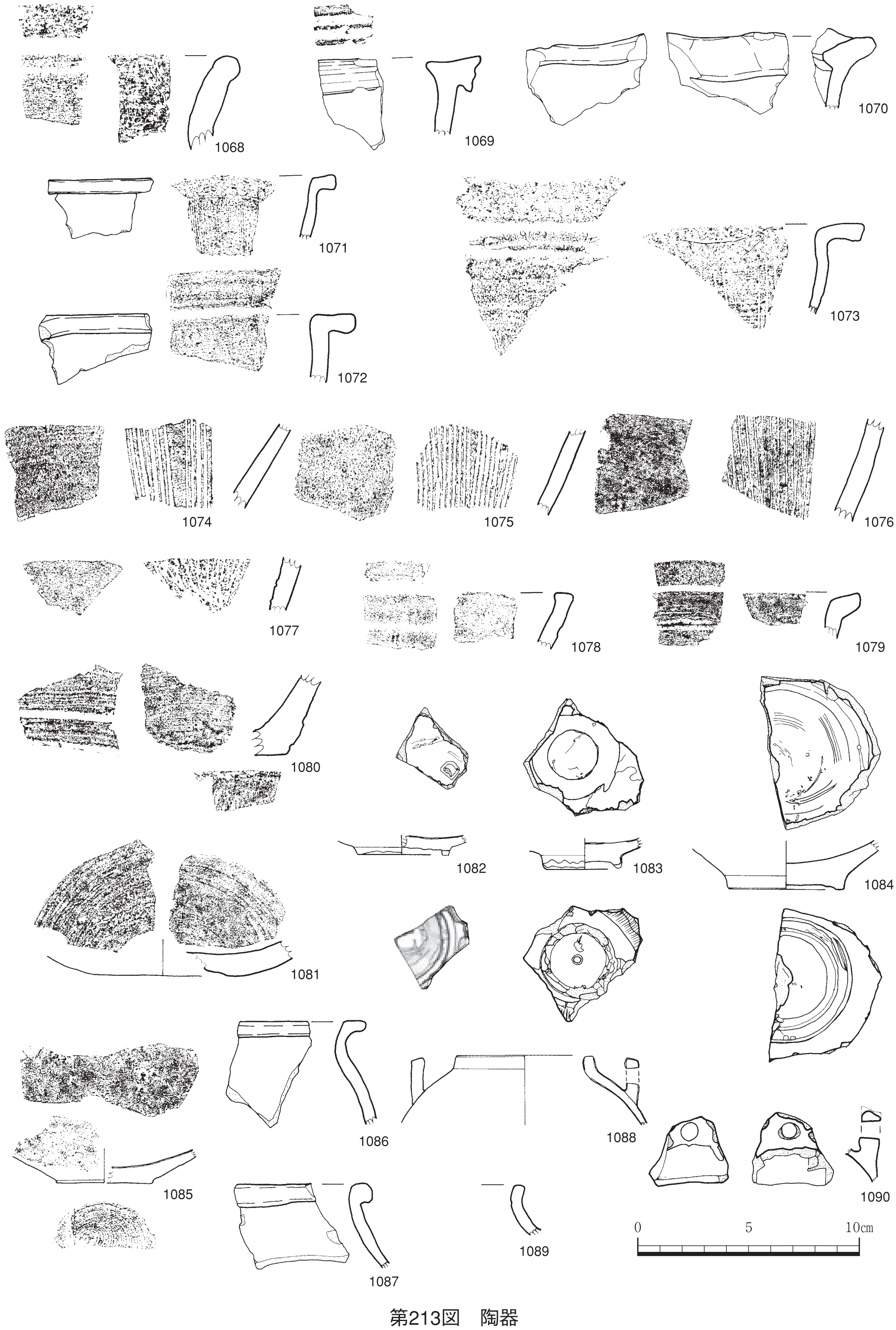
1068 ～ 1090 は陶器である。そのうち，1068 ～ 1070 は甕の口縁部である。形状もそれぞれで異なっている。1068 は頸部から外反して丸まる。1069 はL字状となっている口唇部を平たくし，内面に張り出しを設けているため，断面形は三角形となる。1070 は口唇部を丸め，全体を上部に引き上げて仕上げている。1071 ～ 1081 は擂り鉢または捏ね鉢である。擂り鉢の掻き目も幅や密度に差異が見られる。1080 と 1081 は掻き目が見られないことから捏ね鉢と考えられる。1082 ～ 1084 は碗，1085 ～ 1090 は茶家である。碗には，畳付きの部分には施釉は見られない。茶家は一般的な名称としては土瓶である。1090 は 1088 にもあるように土瓶の把手の部分である。全体として外面には茶褐色の施釉が掛かる。



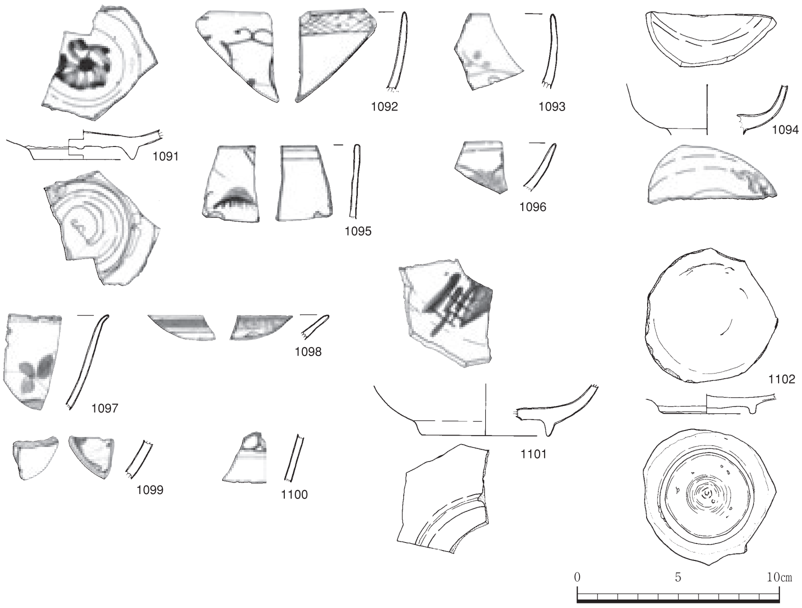
第211図　須恵器・瓦器・土師器

⑤染　付（第 214 図）

1091 ～ 1102 は染付である。1091 は内底見込みに梅花と思われる花が描かれ，外底には製作時の渦巻き状の紐の痕跡が残っており，粗い仕上げとなっている。1092 は外面に草の蔓様の文様が描かれ，内面の上部には 2 本の界線の内部を斜格子が巡っている。1094 は内外面共に大きな花が描かれ，その周囲は細かな網状の文様で埋められている。1095 ～ 1100 にも文様が描かれるが，何の文様かは不明である。1096 は松，1093 は木の芽か葉が描かれているようであるが，詳細は不明である。1099 も内面に山水風の絵が描かれるものの，何が描かれているかは明確ではない。1094 の内面には何も描かれない。1097 は端反りの口縁を持つ碗と考えられ，口径はそれほど大きいとは考えられない。1098 ～ 1100 は皿または碗の口縁部及びその付近である。1098 は外面上部に太い界線が，また，その下位には細い界線が巡っている。内面にも，上部に細い界線が巡らされている。1099・1100 の文様は不明確である。1101 は内面に雲あるいは松の枝様の文様が描かれる。1102 は内底には何も描かれていない。


1068
1069
1070
1071
1073
1072
1074
1075
1076
1077
1078
1079
1080
1082
1083
1084
1081
1086
1088
1085
1090
1089
1087
0
5
10cm

第213図　陶器



1091
1092
1093
1094
1095
1096
1097
1098
1099
1100
1101
1102
0
5
10cm

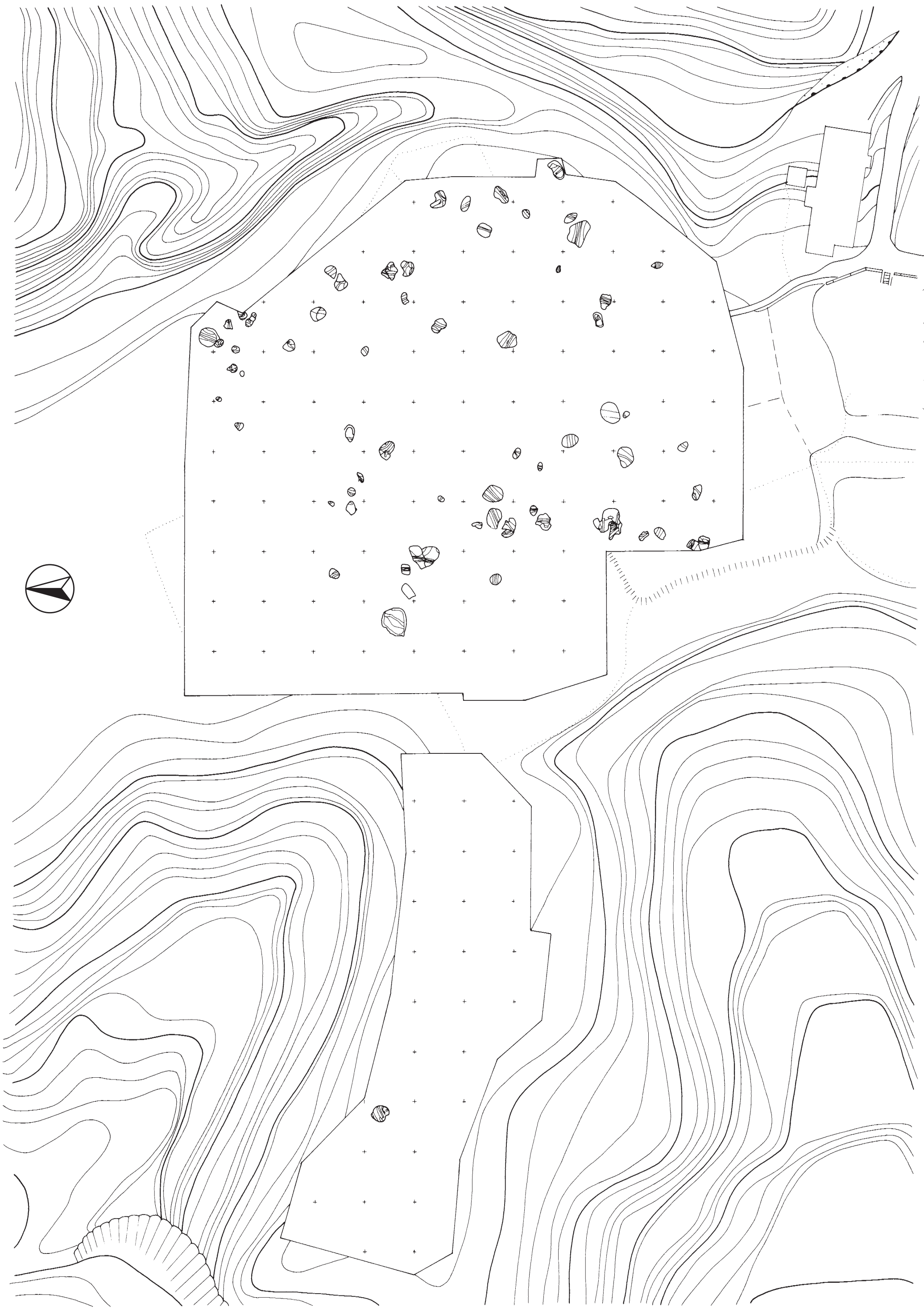
第214図　染付

9　地層の横転（第 215 図～第 221 図）

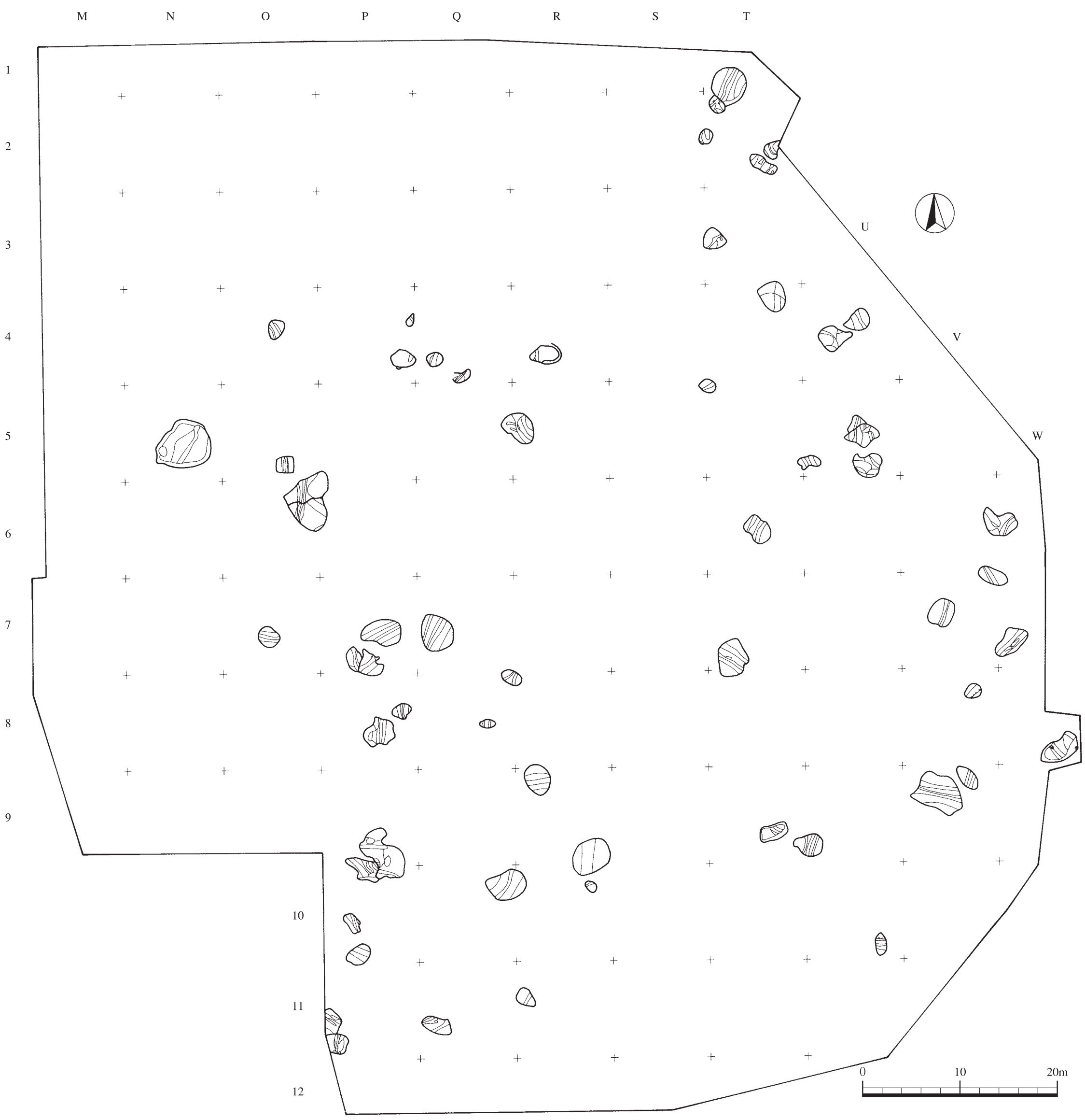
第 1 地点と第 2 地点で合わせて 67 か所検出した。人工の遺構ではないが，地面に残されたもので，遺構の損壊にも関係があるためまとめて掲載することにした。また，ここで扱うのは圧倒的に第 1 地点に多かったためである。

第3表　地層の横転一覧表

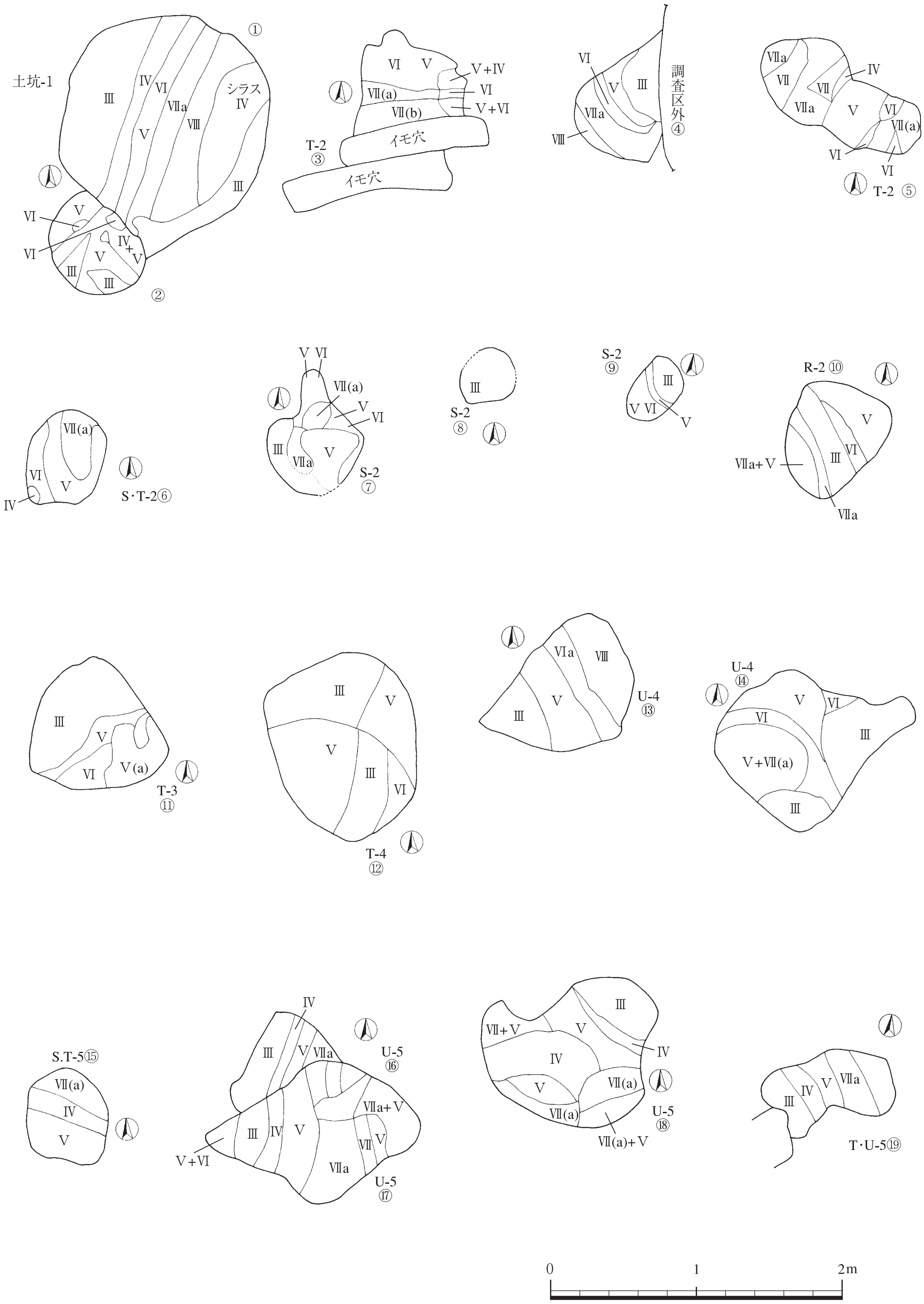
区	横転層位	軸方向	形態	形状	区	横転層位	軸方向	形態	形状
T－1	Ⅲ～Ⅸ	N68W	円形	複合	R－4	Ⅲ～Ⅶa	N77W	楕円形	単独
T－1	Ⅲ～Ⅵ	N34W	楕円形	複合	R・Q－5	Ⅲa～Ⅴ	N49E	楕円形	単独
T－2	Ⅴ～Ⅶb	N4W	長方形	単独	Q－4	Ⅱ～Ⅶa	N39W	方形	単独
T－2	Ⅲ～Ⅷ	N55E	楕円形	単独	Q－4	Ⅵ～Ⅶa	N83W	円形	単独
T－2	Ⅳ～Ⅶa	N50W	楕円形	複合	P－4	Ⅴ～Ⅶa	N34E	楕円形	単独
T－2	Ⅴ～Ⅷa	N73W	楕円形	複合	P－4	Ⅲ～Ⅶa	N69W	楕円形	単独
S・T－2	Ⅴ～Ⅶa	N60E	楕円形	単独	O－4	Ⅳ～Ⅶa	N30E	楕円形	単独
S－2	Ⅲ～Ⅶa	N65E	不整形	単独	N－5	Ⅲ～Ⅵ	N61W	楕円形	単独
S－2	Ⅲ	－	円形	単独	O－5	不明	－	長方形	単独
S－2	Ⅲ～Ⅵ	N30E	楕円形	単独	O－5	Ⅲa～Ⅵa	N85E	正方形	単独
R－2	Ⅲ～Ⅶa	N30E	楕円形	単独	O－6	Ⅲa～Ⅷ	N87E	楕円形	単独
T－3	Ⅲ～Ⅵ	N35W	楕円形	単独	O－7	Ⅲ～Ⅶ	NS	円形	単独
T－4	Ⅲ～Ⅵ	N80W	楕円形	単独	P－7	Ⅲ～Ⅴ	N85W	楕円形	単独
U－4	Ⅲ～Ⅷ	N58E	楕円形	単独	P－7	Ⅲ～Ⅶb	N16W	楕円形	単独
U－4	Ⅲ～Ⅶa	N15W	不整形	単独	T－7	Ⅲ～Ⅷ	N77E	不整形	単独
S・T－5	Ⅴ～Ⅶa	N53W	円形	単独	Q－7	Ⅲ～Ⅷ	N42W	楕円形	単独
U－5	Ⅲ～Ⅶa	N64W	台形	複合	P・Q－8	Ⅲ～Ⅶ	－	楕円形	単独
U－5	Ⅲ～Ⅶa	N87E	不整形	複合	Q－8	Ⅲ～Ⅶ	－	楕円形	単独
U－5	Ⅲ～Ⅶa	N40E	不整形	単独	P－8	Ⅲ～Ⅶb	N80E	楕円形	単独
T・U－5	Ⅲ～Ⅶa	N75E	楕円形	単独	P－8	Ⅲ～Ⅷ	NS	不整形	単独
T－6	Ⅲ～Ⅶb	N60W	楕円形	単独	R－9	Ⅲa～Ⅶb	N17E	不整形	単独
T－7	Ⅲ～Ⅷ	N35E	楕円形	単独	R－10	Ⅴ～Ⅵa	N40W	楕円形	単独
V・W－6	Ⅲ～Ⅷ	N17W	不整形	単独	Q－9	Ⅱ～Ⅶa	N88W	円形	単独
V－7	Ⅴ～Ⅶ	N55E	楕円形	単独	P・Q－10	Ⅲ～Ⅶb	N63W	楕円形	単独
V－7	Ⅳ～Ⅵa	N69W	円形	単独	P－9・10	Ⅲ～Ⅶa	N5W	不整形	複合
W－7	Ⅳ～Ⅶ	N47W	楕円形	単独	P－9・10	Ⅲ～Ⅶ	N55E	不整形	複合
V－8	Ⅳ～Ⅶ	N39W	楕円形	単独	P－10	Ⅲ～Ⅶ	－	方形	単独
V－9	Ⅴ～Ⅷ	N74W	楕円形	単独	P－10	Ⅳ～Ⅷb	N31E	楕円形	単独
V－9	Ⅲ～Ⅷ	N21E	不整形	単独	R－11	Ⅴ～Ⅶ	N64W	楕円形	単独
U－8	Ⅴ～Ⅶb	N38E	楕円形	単独	Q－11	Ⅲ～Ⅶb	N20W	楕円形	単独
T－9	Ⅲ～Ⅶb	N47E	方形	単独	P－11	Ⅱ～Ⅶa	N21E	楕円形	複合
T・U－9	Ⅲa～Ⅶb	N78W	楕円形	単独	P－11	Ⅲb～Ⅶb	N87W	楕円形	複合
T－10	Ⅴ～Ⅶa	N85W	楕円形	単独	第2地点				
U－10	Ⅲa～Ⅶb	N5E	楕円形	単独	D－6	Ⅲ～Ⅸ	N27W	楕円形	単独



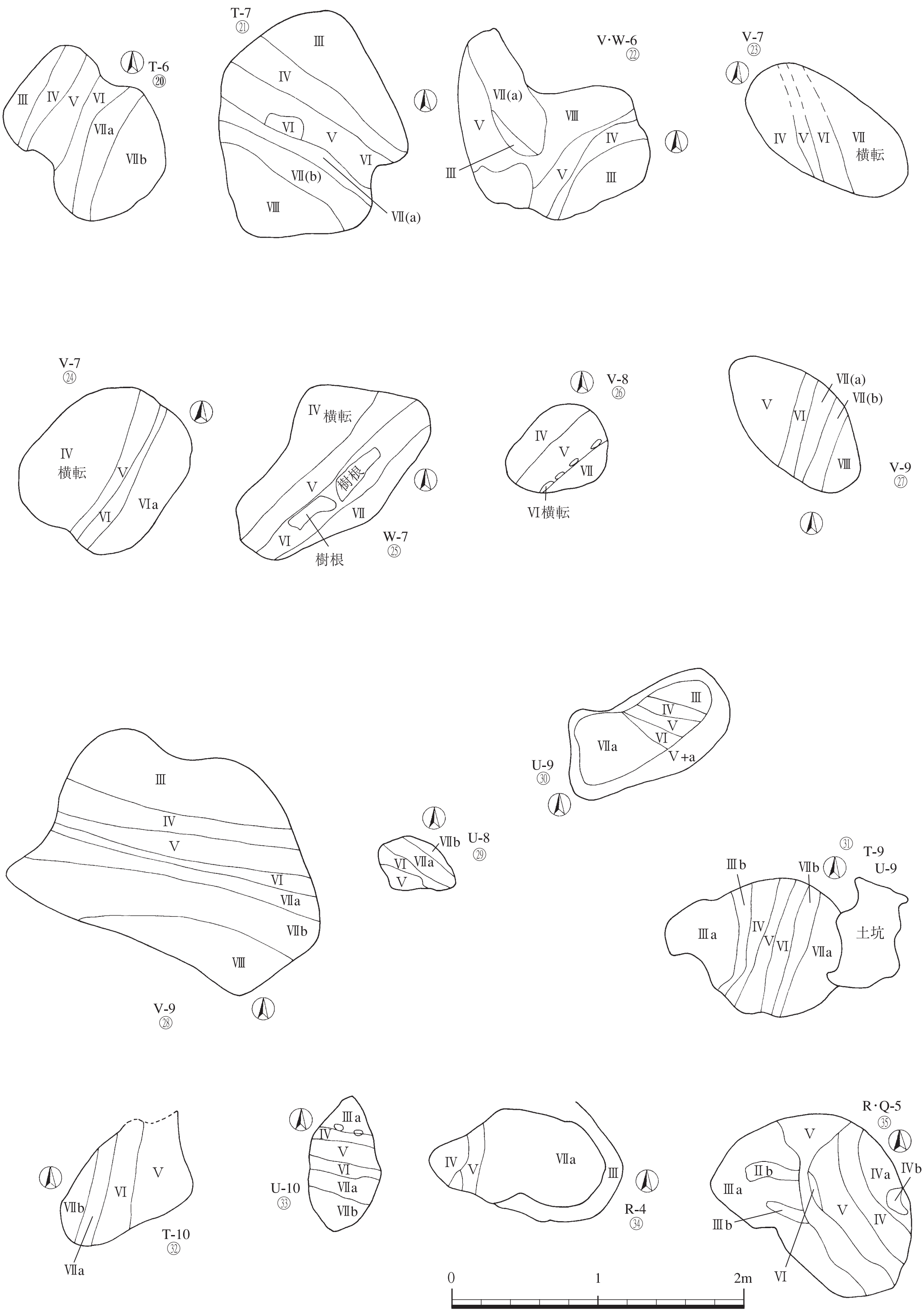
第215図　横転全体図



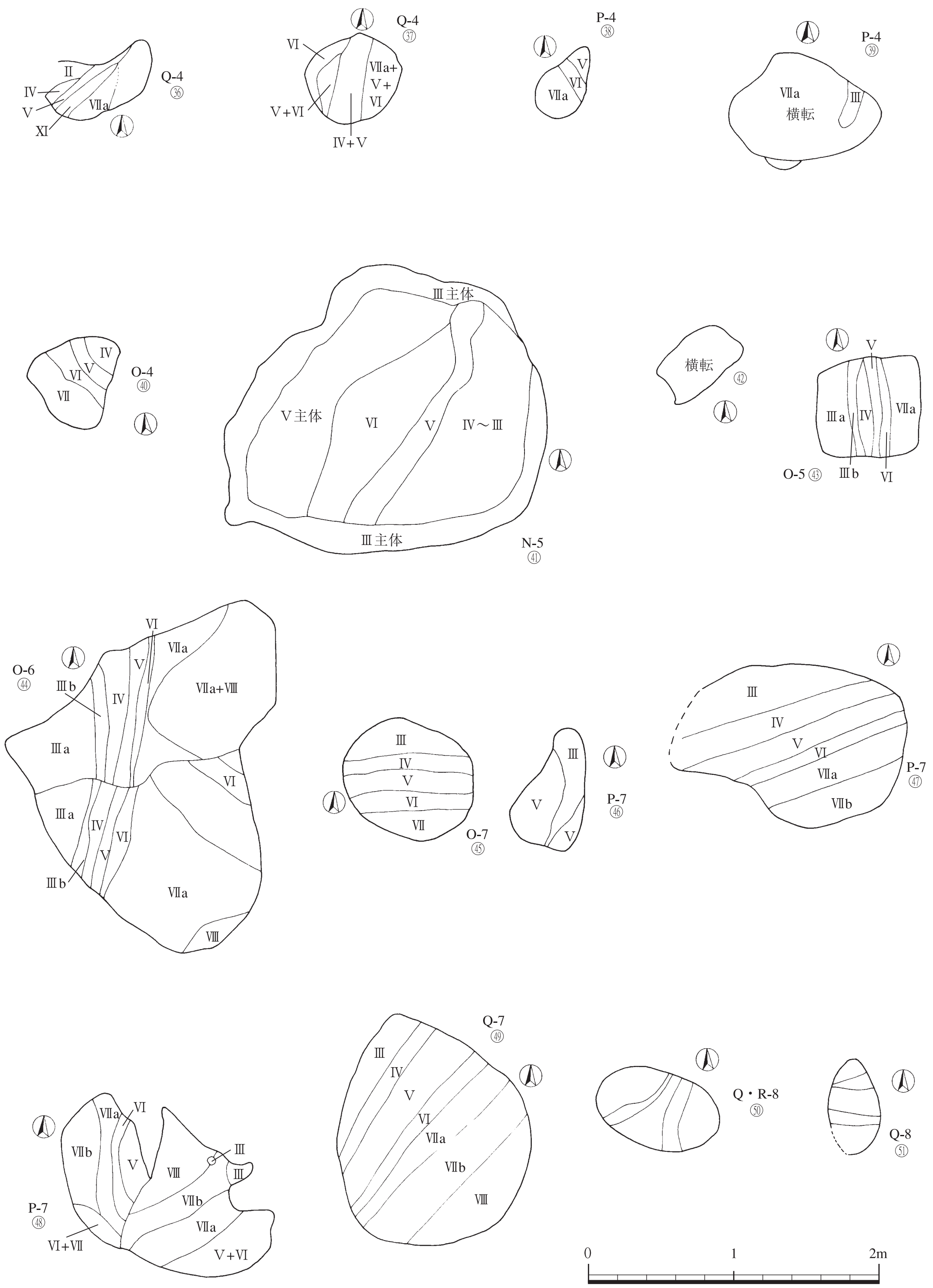
第216図　第１地点横転図


土坑-1
①
②
シラス
T-2
③
イモ穴
イモ穴
調査区外
④
T-2 ⑤
S·T-2⑥
S-2
⑦
S-2
⑧
S-2
⑨
R-2 ⑩
T-3
⑪
T-4
⑫
U-4
⑬
U-4
⑭
S.T-5⑮
U-5
⑯
U-5
⑰
U-5
⑱
T·U-5⑲
0
1
2m

第217図　横転（1）

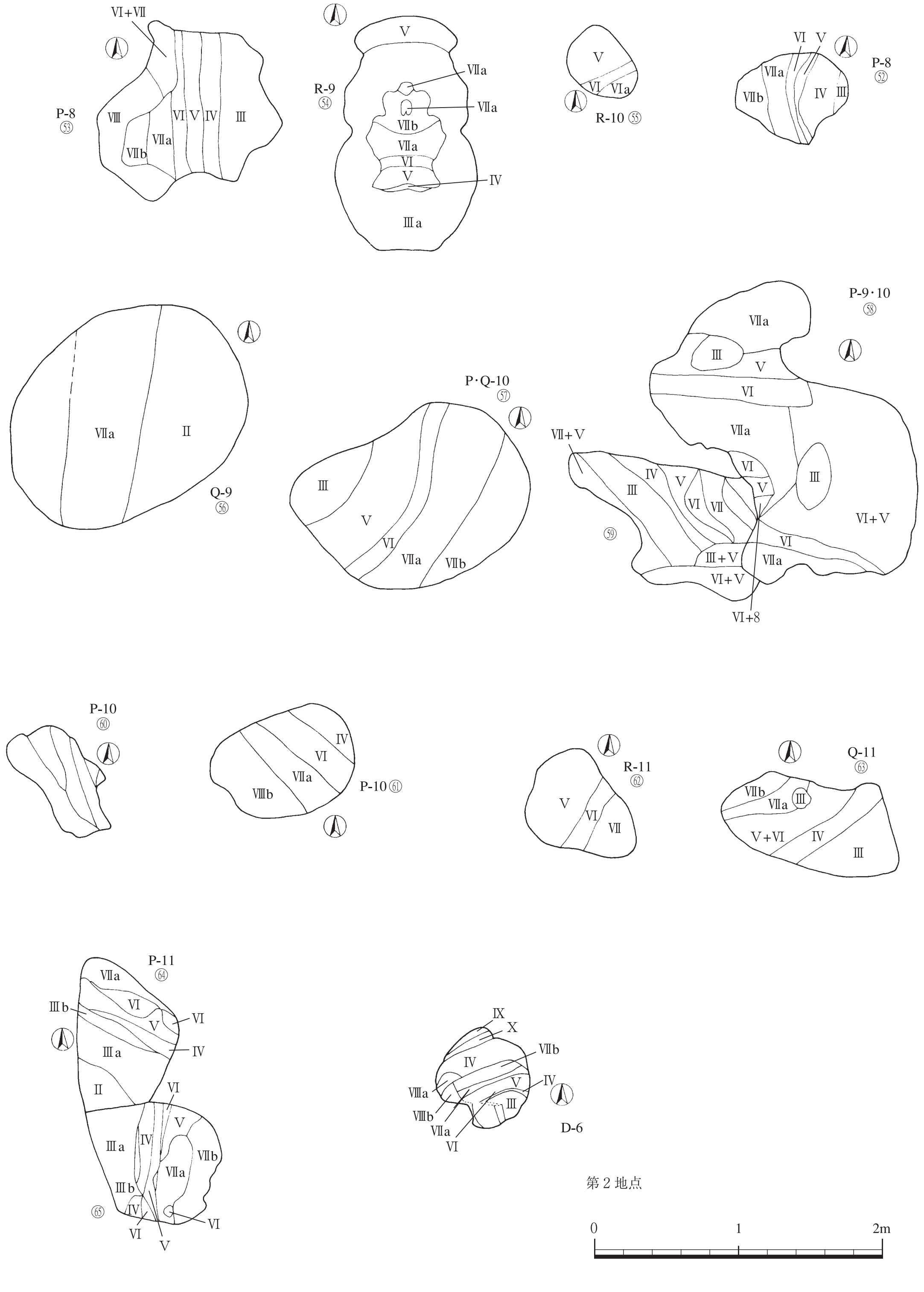

T-6 ⑳
Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶa Ⅶb
T-7 ㉑
Ⅲ Ⅳ Ⅵ Ⅴ Ⅵ Ⅶ(b) Ⅷ Ⅶ(a)
V･W-6 ㉒
Ⅶ(a) Ⅷ Ⅴ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅲ
V-7 ㉓
Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ 横転
V-7 ㉔
Ⅳ 横転 Ⅴ Ⅵ Ⅵa
Ⅳ 横転 Ⅴ 樹根 Ⅵ Ⅶ 樹根
W-7 ㉕
V-8 ㉖
Ⅳ Ⅴ Ⅶ Ⅵ横転
Ⅶ(a) Ⅶ(b) Ⅴ Ⅵ Ⅷ
V-9 ㉗
Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶa Ⅶb Ⅷ
V-9 ㉘
Ⅶb Ⅵ Ⅶa Ⅴ
U-8 ㉙
Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅶa Ⅵ Ⅴ+a
U-9 ㉚
㉛ T-9 U-9
Ⅲb Ⅶb Ⅲa Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶa 土坑
Ⅴ Ⅵ Ⅶb Ⅶa
T-10 ㉜
Ⅲa Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶa Ⅶb
U-10 ㉝
Ⅳ Ⅴ Ⅶa Ⅲ
R-4 ㉞
R･Q-5 ㉟
Ⅴ Ⅱb Ⅲa Ⅳa Ⅳb Ⅲb Ⅴ Ⅳ Ⅵ
0 1 2m

第218図　横転（2）

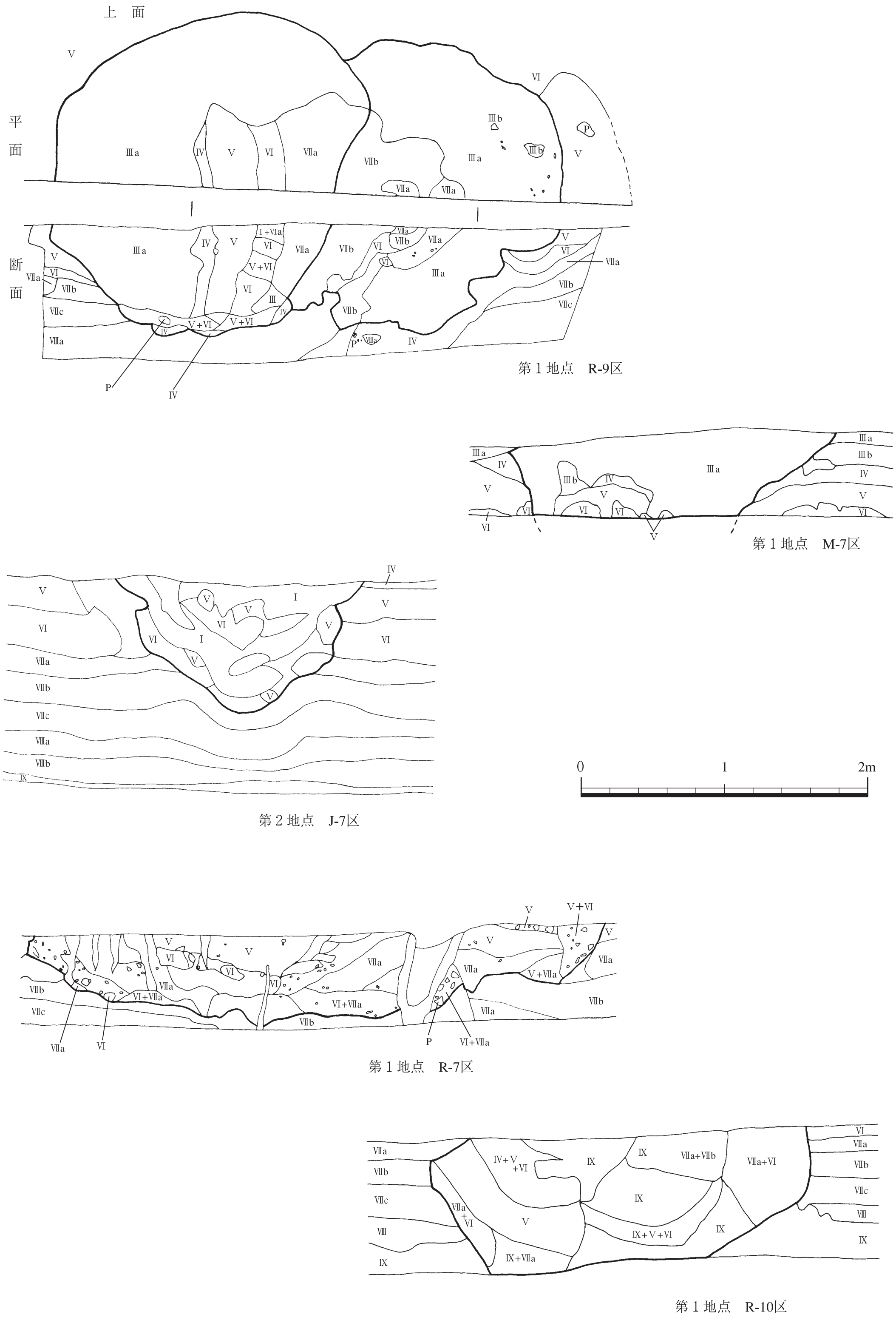


Q-4 ㊱
Ⅱ
Ⅳ
Ⅴ
Ⅺ
Ⅶa
Q-4 ㊲
Ⅵ
Ⅶa+
Ⅴ+
Ⅵ
Ⅴ+Ⅵ
Ⅳ+Ⅴ
P-4 ㊳
Ⅴ
Ⅵ
Ⅶa
P-4 ㊴
Ⅶa
横転
Ⅲ
O-4 ㊵
Ⅳ
Ⅴ
Ⅵ
Ⅶ
Ⅲ主体
Ⅴ主体
Ⅵ
Ⅴ
Ⅳ～Ⅲ
Ⅲ主体
N-5 ㊶
横転 ㊷
Ⅴ
Ⅲa
Ⅳ
Ⅶa
O-5 ㊸
Ⅲb
Ⅵ
O-6 ㊹
Ⅵ
Ⅶa
Ⅴ
Ⅲb
Ⅳ
Ⅶa+Ⅷ
Ⅲa
Ⅵ
Ⅲa
Ⅳ
Ⅵ
Ⅴ
Ⅲb
Ⅶa
Ⅷ
Ⅲ
Ⅳ
Ⅴ
Ⅵ
Ⅶ
O-7 ㊺
Ⅲ
Ⅴ
Ⅴ
P-7 ㊻
Ⅲ
Ⅳ
Ⅴ
Ⅵ
Ⅶa
Ⅶb
P-7 ㊼
Ⅶa
Ⅵ
Ⅶb
Ⅴ
Ⅷ
Ⅲ
Ⅲ
Ⅶb
Ⅶa
P-7 ㊽
Ⅵ+Ⅶ
Ⅴ+Ⅵ
Q-7 ㊾
Ⅲ
Ⅳ
Ⅴ
Ⅵ
Ⅶa
Ⅶb
Ⅷ
Q・R-8 ㊿
Q-8 51
0
1
2m

第219図　横転（3）


P-8 ㊿53
R-9 54
R-10 55
P-8 52
Q-9 56
P·Q-10 57
P-9·10 58
59
P-10 60
P-10 61
R-11 62
Q-11 63
P-11 64
65
D-6
第２地点
0
1
2m

第220図　横転（４）



第221図　横転断面図

第１地点　小結

第１地点は本遺跡の主体をなす台地部分で，調査対象面積は約 10,000 ㎡である。平成８年度に確認調査を行い，対象地の全域に遺物の分布していることが判明したため本（全面）調査に切り替えて翌平成９年度にかけて調査を行った。その結果，旧石器時代・縄文時代・古墳時代・平安時代及び中世・近世の遺構・遺物が発見された。とりわけ，縄文時代早期前葉の竪穴住居跡や集石・連穴土坑，土坑や道跡などからなる集落跡が確認されたことは注目される。

１　旧石器時代

遺構は検出されなかったが，遺物が出土した。ナイフ形石器文化期では，AT 火山灰の２次堆積層から砂岩製の長軸の両端を敲打した自然礫を用いた石器が出土した。また，細石器文化期では，いわゆるチョコ層の下位から黒曜石を素材とする加工痕のある剥片が出土した。そのほか，黒曜石のフレークやチップも若干出土している。

２　縄文時代早期

多くの遺構が調査区のほぼ全面から検出された。竪穴住居跡は調査区域の南東部から９基確認された。いずれも方形を基調とするもので，一部土層の横転によって攪乱を受けているもの（9 号住居跡）も見られる。Ⅵ層の上面で検出されたが本来の掘り方はⅤ層の途中にあると考えられる。埋土はⅤ層を主体とするほぼ一様な土であることから，廃棄後，短時間のうちに埋まったものと考えられる。住居内には炉は掘られておらず，また，貼り床の痕跡もなかった。柱穴と思われるピットは住居跡の外側に見られるが，相当数検出されていることからこれらのすべてに柱が立っていたことは考えにくく，柱の立て替えや添え木などの用途を考える方が自然であろう。ピットの中には柱痕跡の残るものもあることから，これらを中心に考えていくと上屋構造がある程度見えて来るかも知れない。規模の最も小さなものは２号住居跡，最も大きなものは６号住居跡であり，その差はほぼ２倍と極めて大きい。住居跡内からは貝殻で調整・施文された薄手の円筒形深鉢土器の細片が見られたが，そのほかに１号及び４号住居跡からは軽石製の円盤の破片が見つかっており，土器を製作する際の置き台と見る見方もあり，住居内からの出土と言うことで注目される。

調理施設と言われる遺構のうち集石は 12 基確認された。その多くは住居跡の付近，調査地区の南側中央部に集中しているが，北東部と中央部にも散在している。直径が 1m 以内，構成礫数も 20 個程度と割合にこぢんまりした印象を受けるものである。当時の生活面に直接営まれたと考えられるものがほとんどで，中に掘り込みを持つものも若干見られる。また，Q － 12 区で検出されたものは構成礫が 100 個を超える大規模なものであるが，以後の時期に土層の横転に見舞われており，相当な攪乱を受けた様子がうかがえる。

連穴土坑は３基検出された。１号のみ住居跡の近くに位置していたものの，そのほかは調査区域の北東部にあった。１号はブリッジが陥落していたが，焚き口に木炭が見られたことなどから連穴土坑と判明した。また，内部から大小の礫が出土したが，これについては廃棄後に遺棄されたものと考えられる。２号は規模が非常に大きいことから，ブリッジ部分を共通にして軸方向を変えて掘り直したものかとも考えられる。北東部の北には別の住居跡の可能性も考えられる。

土坑は約 400 基が確認された。形態により 5 つに分類したが，形態の差が機能の差を示していることが考えられるが，埋土が一様であり，土壌の分析も行っていない現状では不明と言わざるを得ない。S － 5 区で検出された土坑に，方形で入念に面調整された石皿が伏せられた状態で出土したものもあり，墓跡の可能性も考えられたが現場での発掘によっても，また，土壌の科学分析の結果からも人骨に結びつくようなものは検出されなかったことから，これも不明とせざるを得ない。

土坑ではあるが，大型で方形を基調とするものが 100 基程検出され，1 つの類型として捉えることが可能と判断したため，方形土坑と仮称したものも形態によって 5 つに分類したが，これについても今のところ性格は不明である。規模から言えば住居跡に類似するものも多いが，絶対的に異なっていることは，内部に薩摩火山灰が塊状に残存しているものが多いことと，周辺にピットが見られないことなどである。この性格を解明する鍵となる可能性のあることに，遺跡の最高所にはなく，少し下ったところ，特に雨が降れば雨を受けたり濡れるような場所にあるという事実である。これは，雨，もっと言えば水分を受けるところ，必要とするところということになる。そこから導き出せるものは何か。調査の最後に，いくつかの遺構について何種類かの方法を用いて断ち割りを行ってみたが，これといって特徴的な様子は観察できなかった。ただ，薩摩火山灰の全く残存しないものもあったほか，同火山灰層への斜め方向の掘り方の痕跡のあったことは，想像をたくましくすれば何らかの可能性も見えて来そうな気がしている。

道跡は 3 条検出した。北及び西に向かうもので，幅も広く，ある程度の硬化面も確認されたことから，道跡としての判断は適切だと考えている。その傍証となることとして，硬化面のほかに路面を構成する土の濁っていることを挙げたい。これは流水の作用を受けて表土あるいはその近辺は抉られるが，そのままの状態では抉れて行く一方である。そしてそのままの状態で埋まり，パックされる。それに対して, 人が通行することで流れて来た土などを土壌として育った草などが踏まれ, その上を新たな土砂が覆うことで植物が酸欠状態となって固められ，結果的に濁ってくるものと考えられる。

早期該当の土器は，その大半を占めたのが貝殻文系土器である。

わずかながら出土した志風頭タイプの 2 重施文は，貝殻刺突による 2 重施文へと変化する前段階と考えられている。

加栗山式土器の文様は, 粗なもの（縦位＋斜位の貝殻刺突）から密なもの（縦位の貝殻刺突のみ）へ変化していくと考えられており，前者の中でも縦位の貝殻刺突のみ 2 条施すタイプがより古い様相を残している。これだけ大量に出土しているにもかかわらず，細かい調整の違いや胎土の違いを抜きにすると，非常に画一的でバラエティーに乏しい。その中で，胴部文様に横位の貝殻刺突文を組み合わせて施文された土器はこれまでに報告例がないものであった。しかし，横位の刺突文が施されている点を除けば他と全く同様であり，加栗山式土器の範疇に収まるものといえる。

吉田式（小牧 3A 段階）土器になると，口縁部の刺突文や楔同士の幅が狭くなり，2 重施文はなくなる。胴部には押圧文・押引文のみがみられる。押圧文の中にも，縦方向の施文を意識した 759 のような土器がみられるが，貝殻を寝かせながら施文することで横方向の施文へと変化する。

下剥峰式土器には，容量の小さい小型の鉢がみられる。器種構成について興味深い資料である。

貝殻文系土器以外の早期土器は，少数ながらどれも特徴的である。

押型文土器は平底化が窺える資料である。平底の撚糸文土器とともに，貝殻文系土器とどのような関係にあったのか，今後の研究に期待したい。

塞ノ神式土器の小鉢の胴部には，一度施文した文様が消え残っている部分があり，制作者が何を思ってデザインの変更をおこなったのか興味深い。今のところこの土器に最もよく似た文様の土器は，蒲生町の竹牟礼遺跡で出土しており，文様要素は異なるものの同じようなモチーフをもった土器は，中種子町の三角山Ⅱ遺跡で出土している。

石器は，この時期に特有の小さな三角形鏃や一方の面が大きく張る磨石，敲打の著しい敲石，きれいに面取された石皿など豊富である。

3　縄文時代後期・晩期

縄文時代後期・晩期には性格不明のピットや土坑があり，後期土器は少数ながら，沈線文系・磨消縄文系・貝殻文系と多種にわたり，晩期には黒川式土器がみられる。石器にもいろいろな種類が見られる。

4　古墳時代

古墳時代には遺構は見られず，在地性の強い成川式土器や須恵器が少量出土した。

5　平安時代

平安時代には木炭や焼土の入った土坑が見られ，土師器の甕，坏なども出土している。

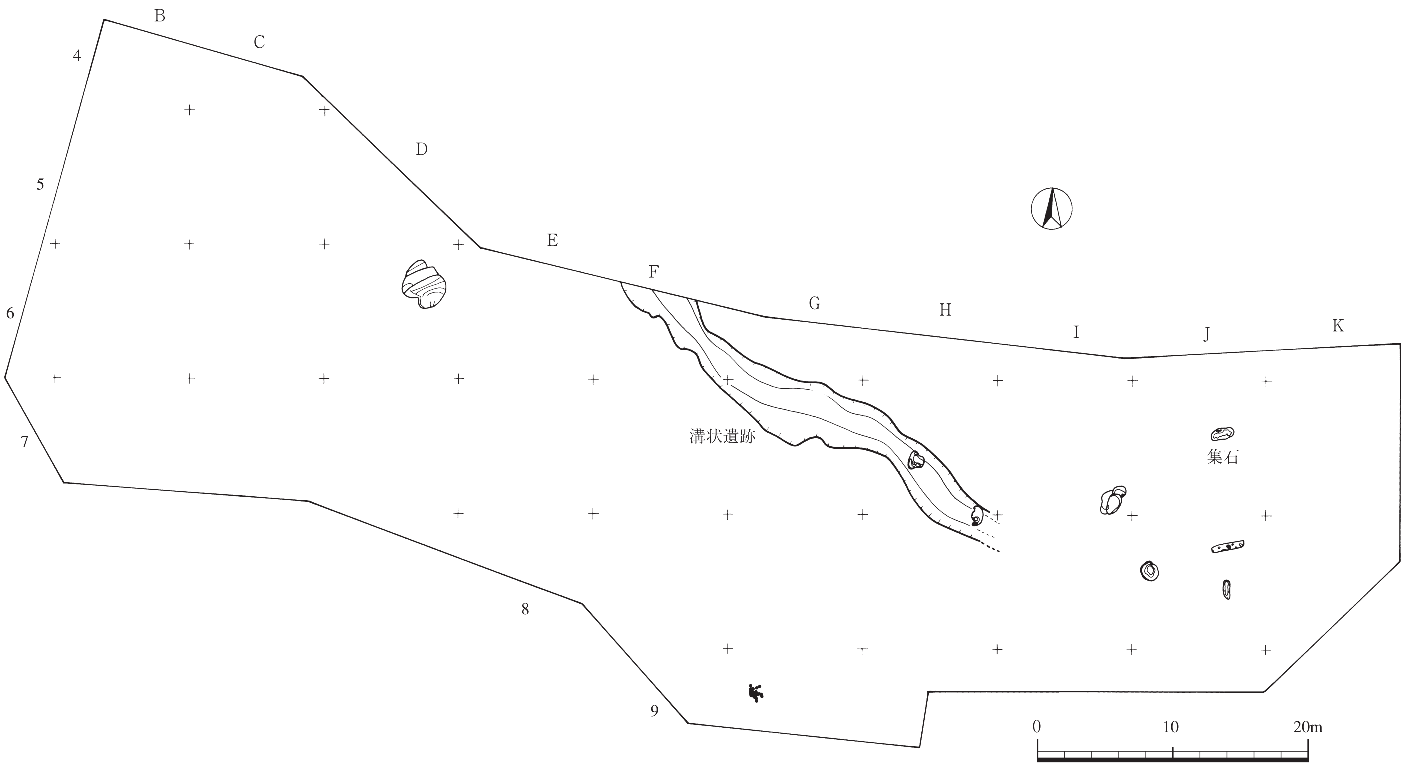
6　中世・近世

中世から近世にかけては，溝状遺構や道跡が検出されており，遺物としては土師器の碗，坏，皿，や黒色土器，須恵器，瓦器，青磁，陶器などいろいろな時期のいろいろな器種の遺物が出土したものの，数量的にはそれほど多くはない。それは，多分に調査区域のそれぞれの時期の使われ方に関係があると考えられる。つまり，中世で溝がほぼ東西方向に掘られているほかには際だった遺構は確認されていないことから，中世頃のこの場所は建物が建つような場所ではなく，溝の存在を考えれば畑としての利用がまず考えられるのである。小規模な道跡も，この畑にいたる道，あるいは畑間を行き来する道と捉えることが妥当と考えられるのである。ただ，その痕跡も次の時代，近世も主として耕作に使われたと考えられることから，何らの痕跡をも残していないのである。幾分高かったところも耕作の利便性を優先した結果として削平を受け，平らな畑地と化したと見られる。また，近世にも畑として利用したと考える根拠としては，調査地区のほぼ全面にわたって芋穴が見られることが挙げられる。これは，救荒作物としての甘藷の生産が近世から始まったわけであり，当地の近辺には水稲の適地が見られないことから，甘藷の生産は早期に導入されたことが考えられ，その結果として芋穴が多数見られるものと考えられるのである。中世から近世，それ以降にかけて畑地としての使用を考えれば，遺物の数の少なさ，質の一般性も首肯できるのではなかろうか。

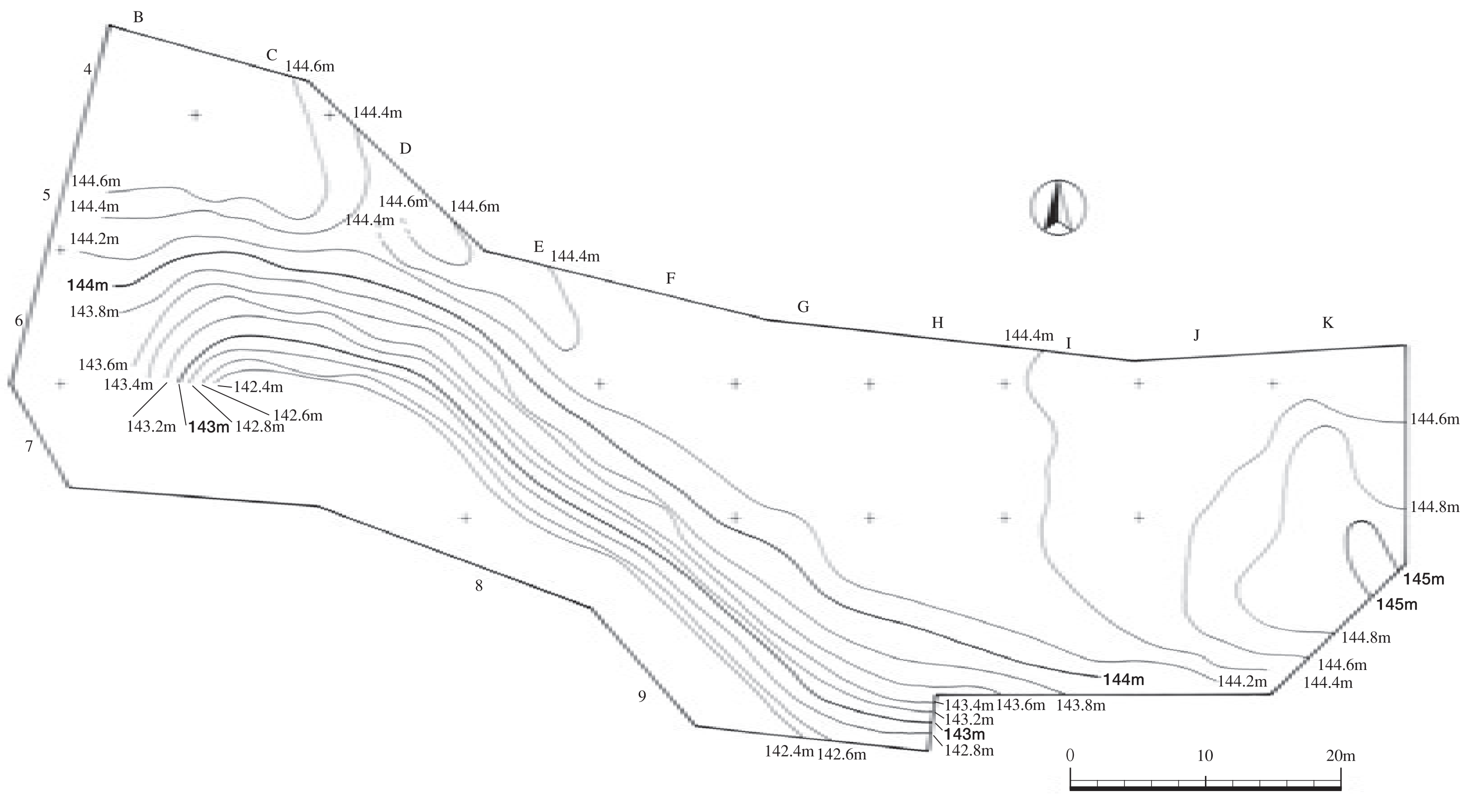
（1・4～6；繁昌，2・3；繁昌・甲斐）

第222図　芋穴全体図

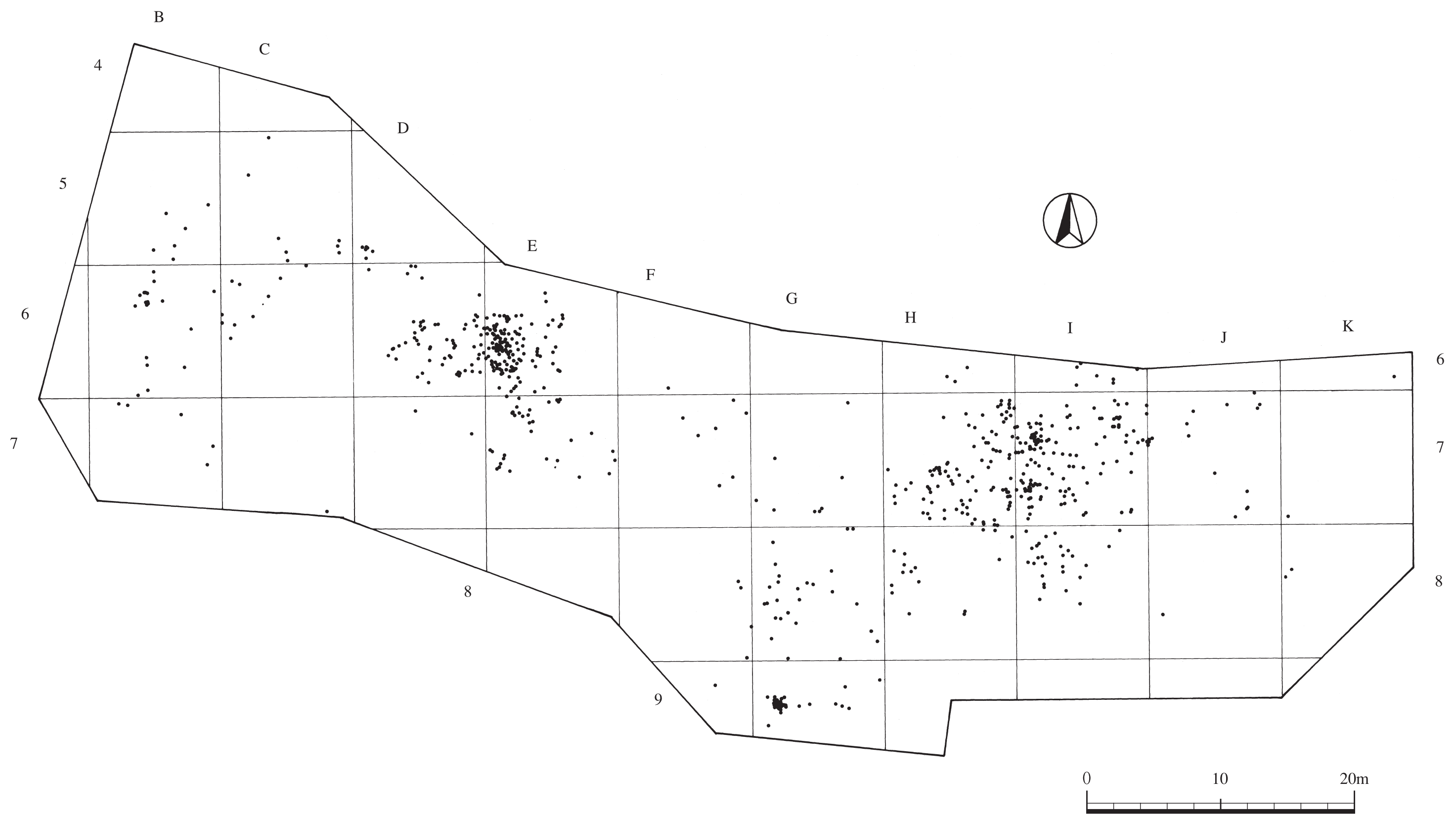
第　2　地　点



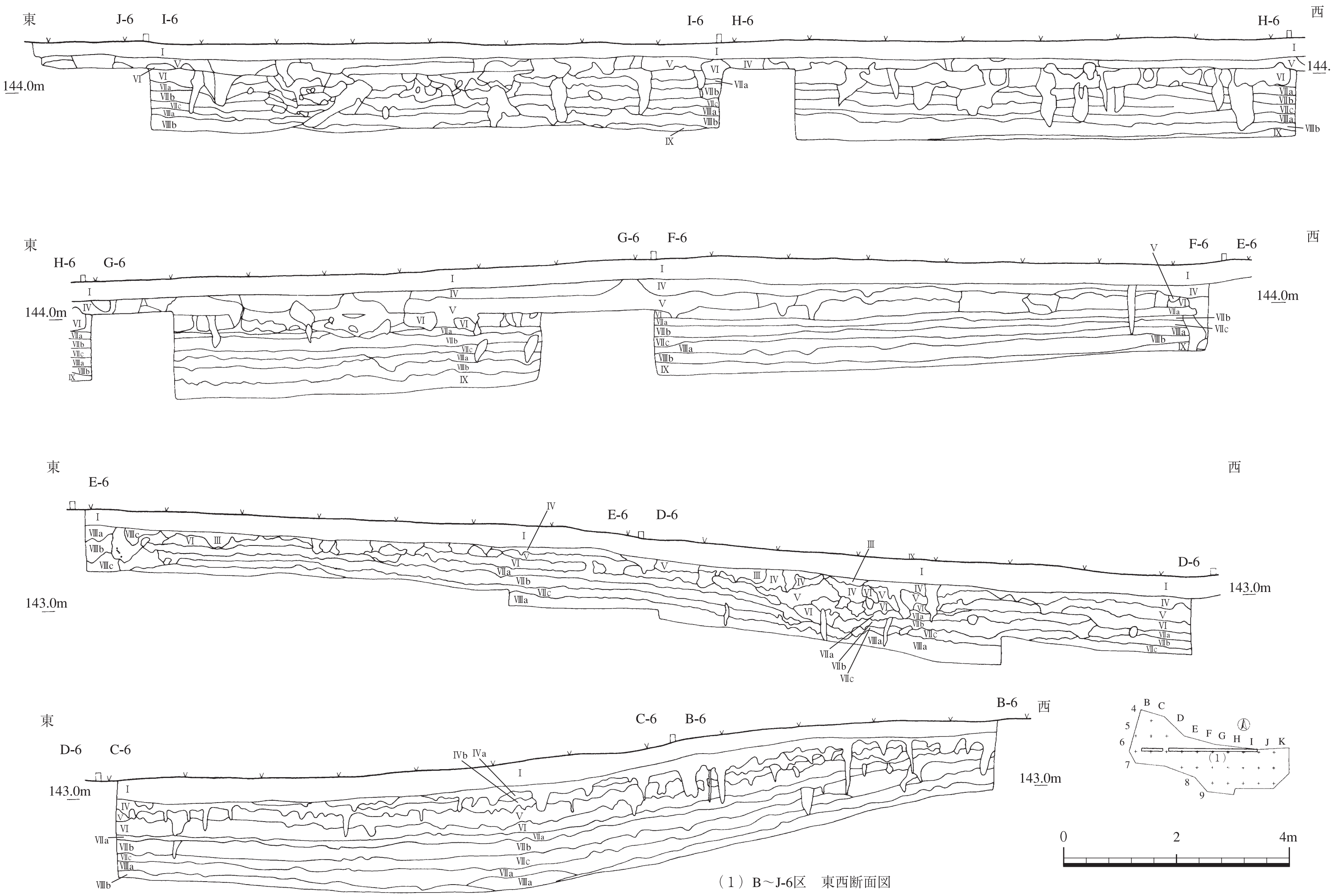
第223図　第２地点遺構全体図



第224図　第２地点コンター図

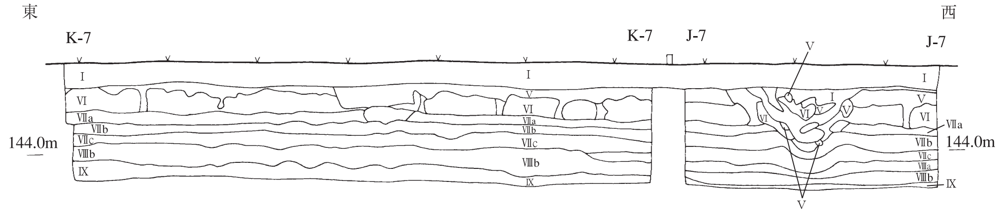


第225図　遺物出土状況全体図

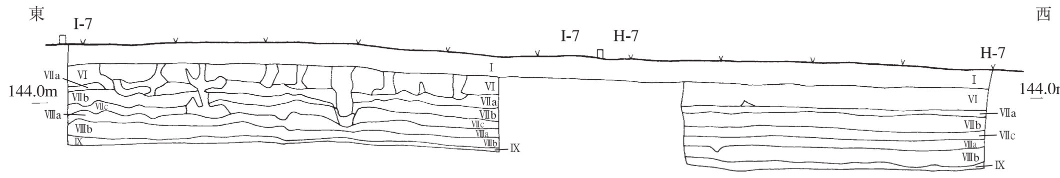


（1）B～J-6区　東西断面図

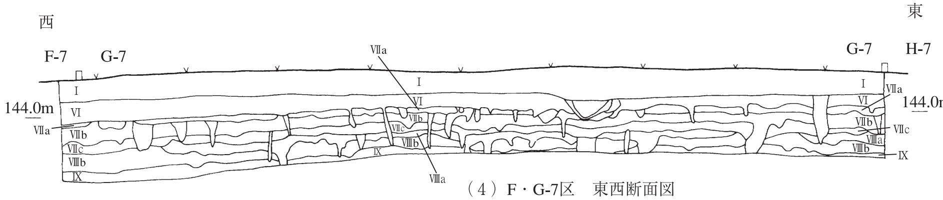
第226図　第２地点土層図（１）



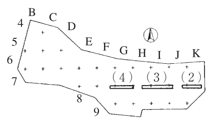
（2）J・K-7区　東西断面図

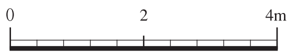


（3）H・I-7区　東西断面図

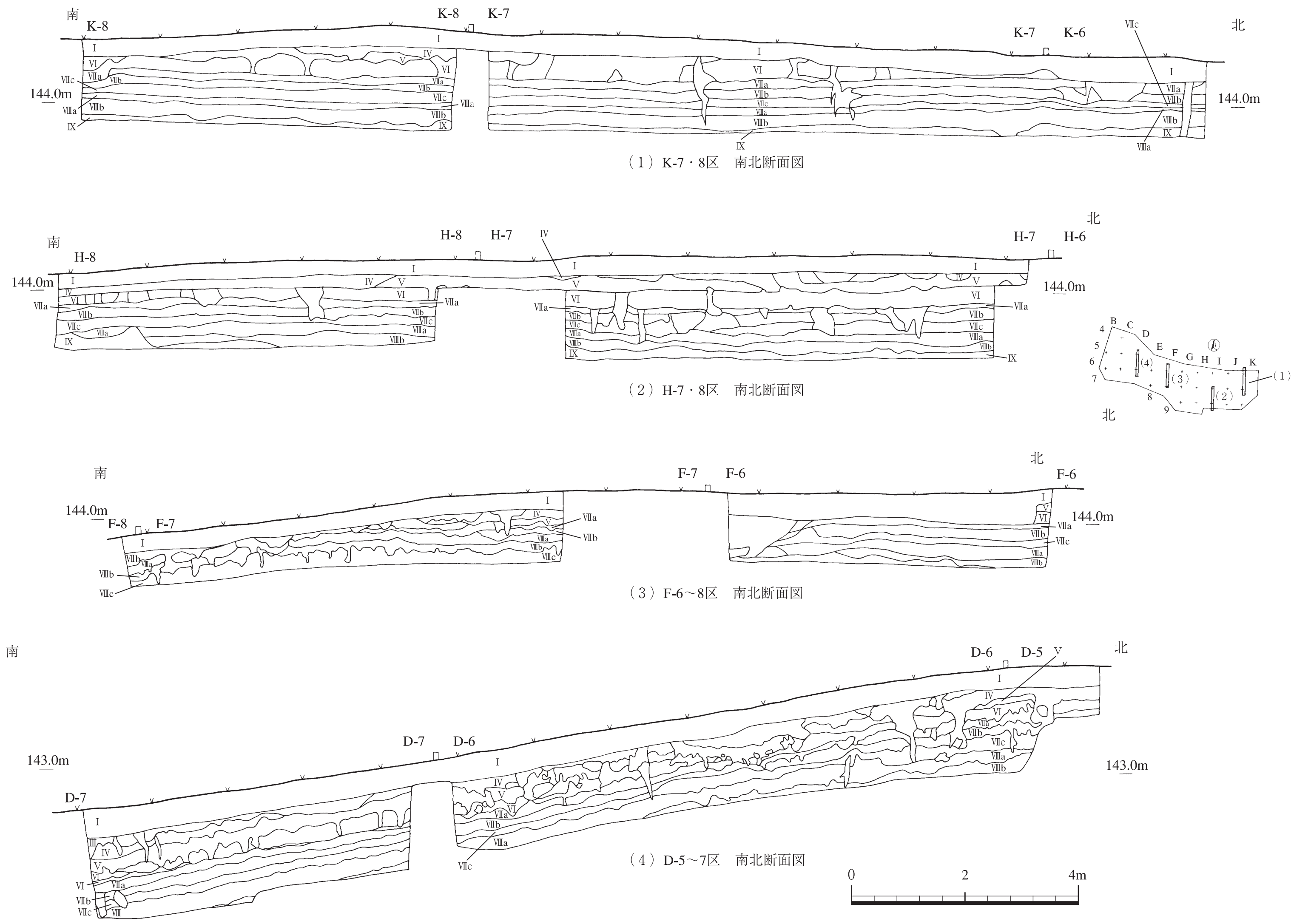


（4）F・G-7区　東西断面図





第227図　第２地点土層図（２）



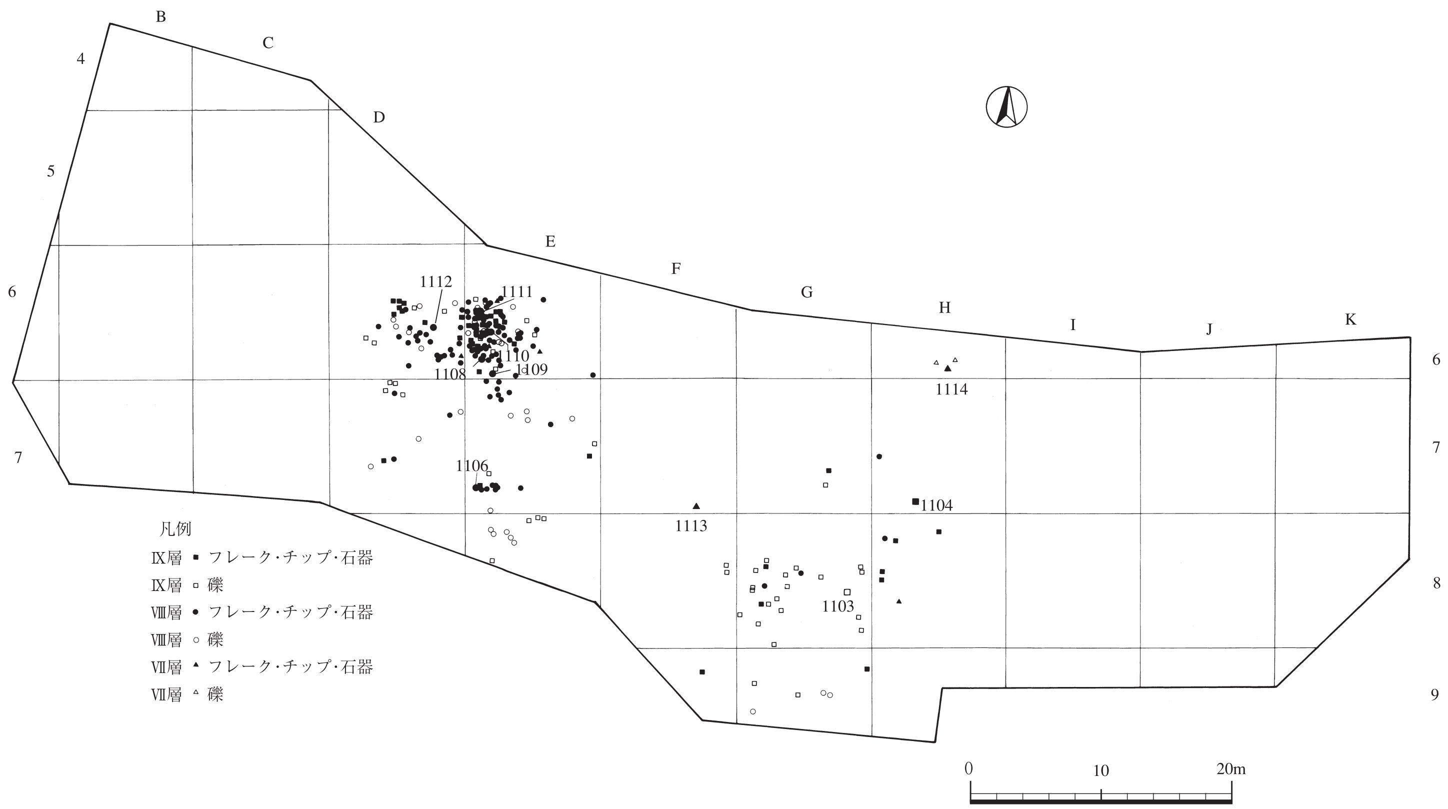
（1）K-7・8区　南北断面図

（2）H-7・8区　南北断面図

（3）F-6～8区　南北断面図

（4）D-5～7区　南北断面図

第228図　第２地点土層図（３）



第229図　遺物出土状況図（１）

第４節　第２地点の調査

確認調査によって，第１地点と同じくそれぞれの遺物包含層から同様な時代の遺物が出土していたことからほぼ全面に遺構・遺物が出土・検出されると想定し，西側から全面を対象として調査を開始した。その結果，予想通り遺物・遺構が出土・検出された。

調査区域の地形は，調査着手時の地形とほぼ同様であるが，中央部北側に安定した平らな一画があるものの，その西及び東は若干小高くはなるがそれほど広い範囲ではなく，まさに“馬の背”状と言うにふさわしい。南側は急傾斜で下り，北側も少し行くと急激に落ち込んでいる。

１　旧石器時代ナイフ形石器文化期

(1) 遺　構（第 230 図・第 231 図）

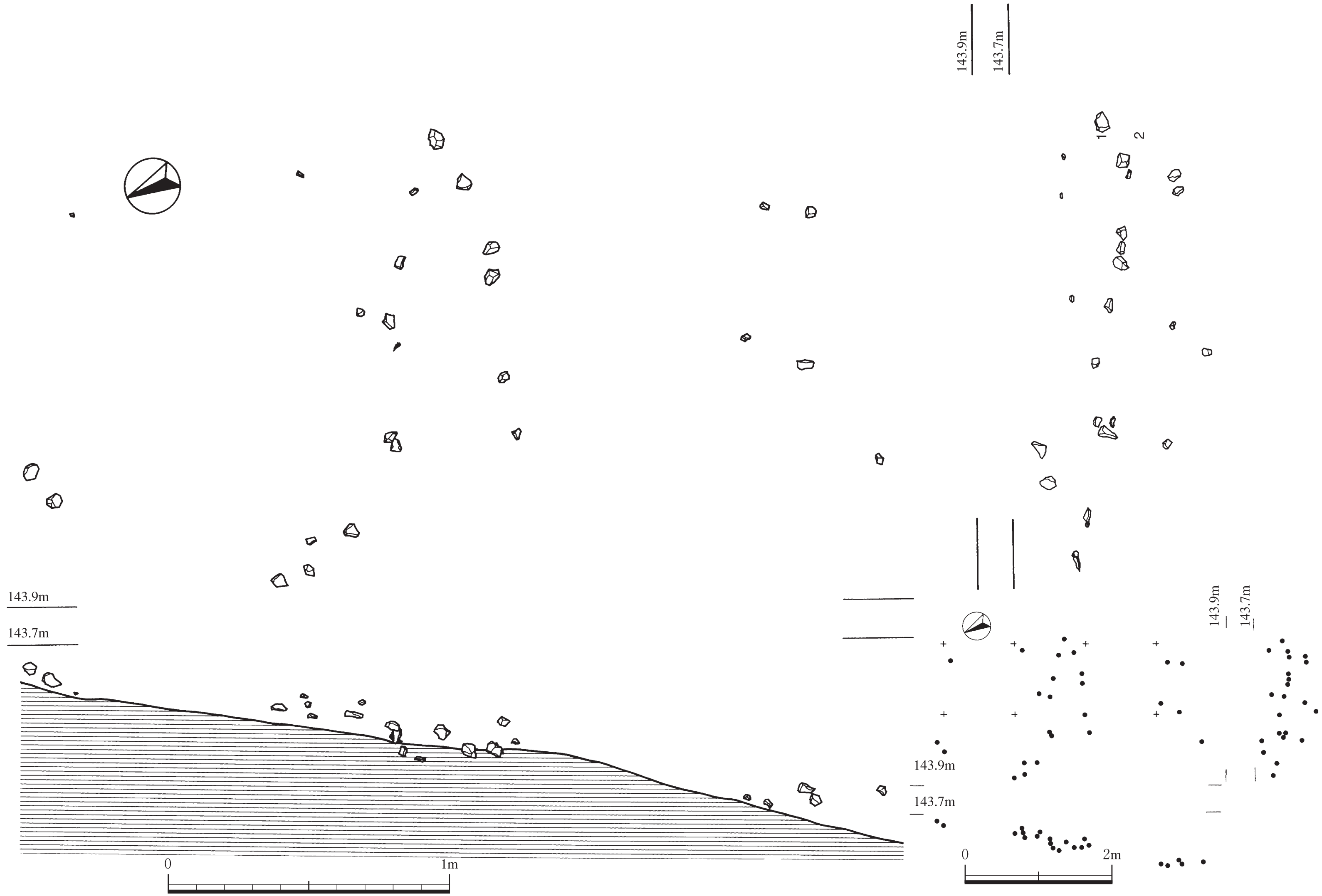
Ⅸ層及びⅧｂ層の掘り下げを行った際に，Ｃ－６区を中心とした範囲とＥ－６区から合わせて２か所のブロックが検出された。Ｃ－６区の方は東西 8.2m，南北 10.3m の範囲に散在しており，集中している状況ではなかったが，同一と見られる石材が散布している状況であったため，１つのブロックとして捉えた。また，Ｅ－６区の方は長径 2.5m，短径 1.6m の範囲に礫片が集中して出土し，同一の石材であったことから１つのブロックと認定した。これは断面図上では上下の差が極めて大きいように見えるが，実際には遺物包含層自体が南側に大きく傾斜しているためであり，特に東西方向の断面図では高低差が極めて大きくなっている。そのほかにも，Ｇ－８・９区でも東西 8.6m，南北 4.8m の範囲に黒曜石片が散布している状況が見られたが，一般の礫と混在していることと，黒曜石自体の数も多くはなかったためブロックと認定してはいない。

(2) 遺　物（第 232 図・第 233 図）

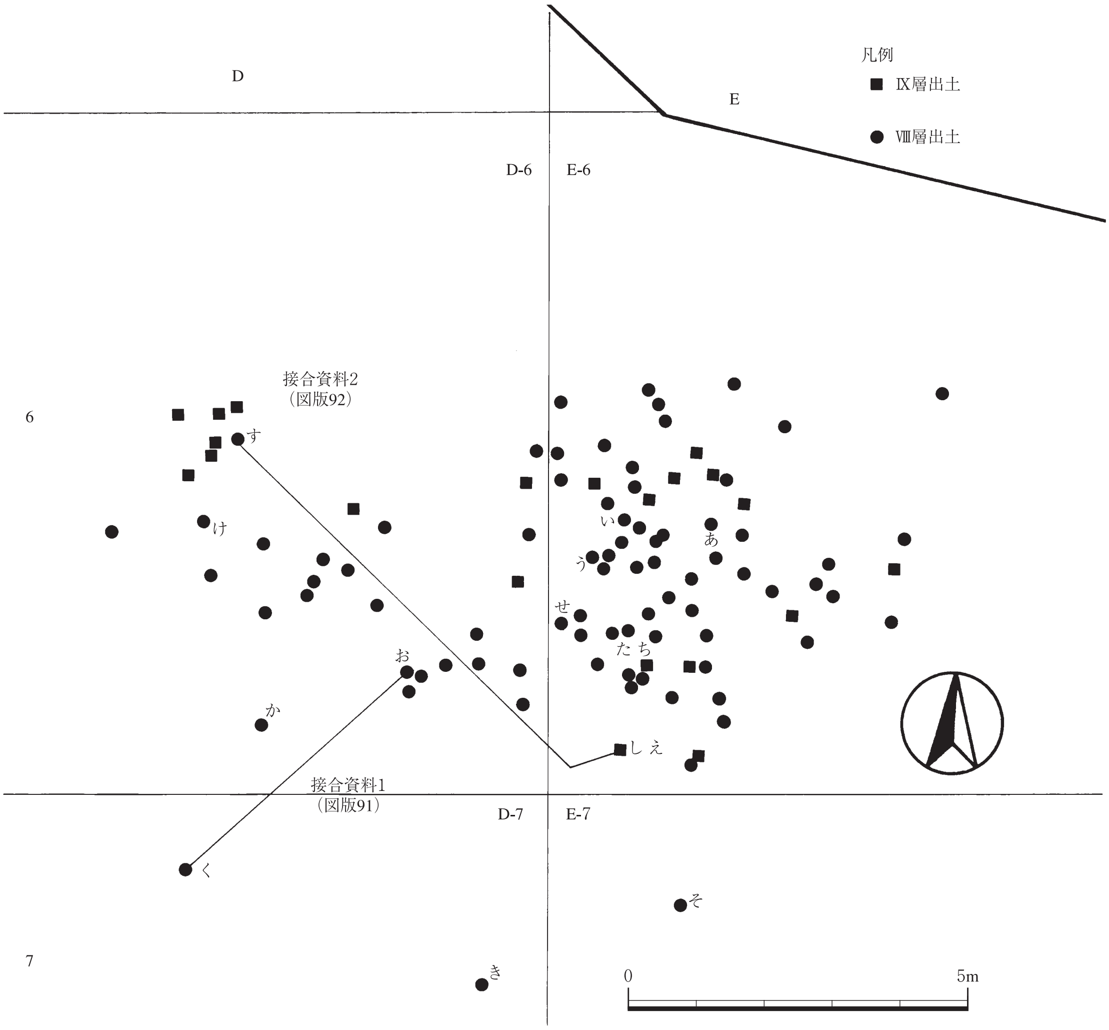
Ⅸ層から出土した遺物は２点である。1103 はナイフ形石器，1104 は石核で，石材はいずれも黒曜石である。1103 は打ち欠いて翼状に取った剥片の一側縁のみを調整して刃を付けてナイフとして使用している。1104 は二つの面をほぼ平坦に整えた後，一つの面から目的の剥片を取り出している。自然面が広く残っている。

また，Ⅷ層から出土した遺物のうち 1105 は台形石器である。剥片の二側縁に加工を行い，先端部の素材の刃部を活かした台形を呈するものである。石材は黒曜石である。1106 は三稜尖頭器で，縦長の剥片を素材として，二側縁に加工を行って刃部を形成し，自然面を残した部分を背として稜とし，割合に粗雑な加工によって基部を形成している。頁岩を素材に用いており，刃部はある程度摩耗している様子がうかがえる。1107 は剥片尖頭器である。縦長の剥片を素材とし，両側縁に加工を行うと共に丁寧に加工して基部を作り出している。基部の端は自然面が残る。先端は破損しているため刃部の形状は明確ではない。安山岩を素材としている。

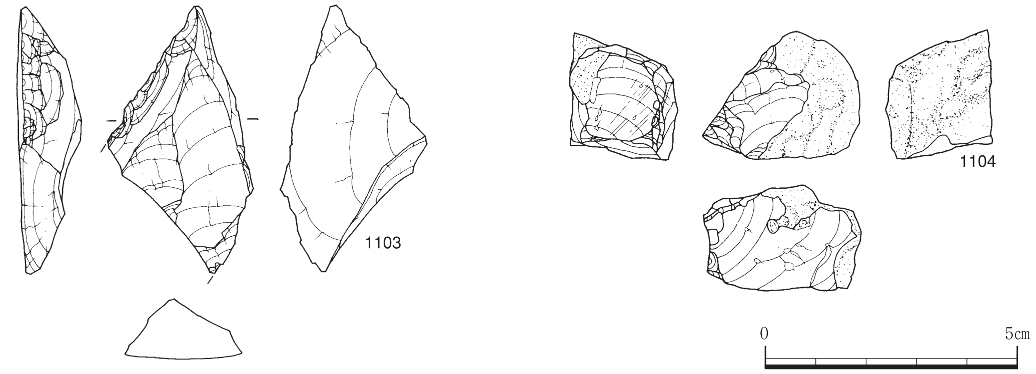
1108・1109 及び 1111 はスクレーパーである。1108 と 1109 は黒曜石，1111 は頁岩を材料としている。縦方向の断面の形状は，1108 が扁平であるのに対して，1109 は三角形状を呈する。1111 は一側縁に加工を行い，刃部を作り出している。刃部の両端は折損している。1110 は剥片である。上部に自然面を残す横長の剥片である。1112 は石核である。石材は砂岩を用いている。自然面を二つの面に残し，多くの素材を剥ぎ取った痕跡が顕著に残っている。



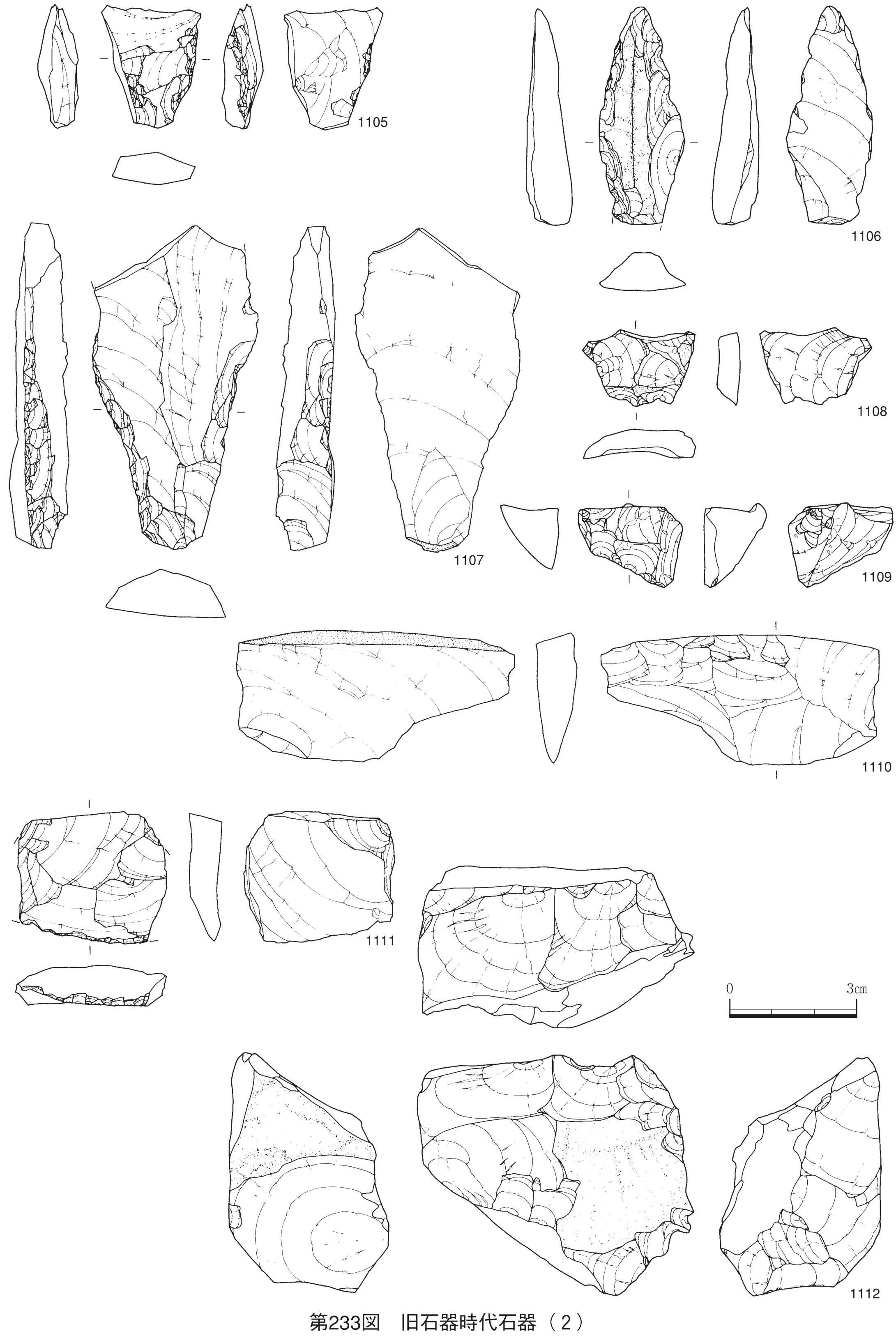
第230図　ブロック検出状況



第231図　遺物散布状況



第232図　旧石器時代石器（１）

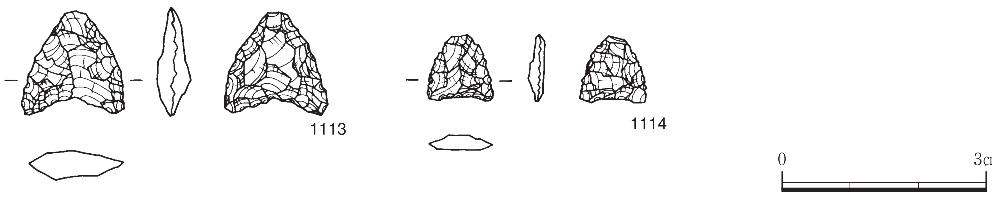


第233図　旧石器時代石器（2）

2　旧石器時代細石器文化期（第 234 図）

Ⅶ a 層の掘り下げを行い，調査区の西側を中心として礫を含む遺物が出土した。土坑やブロックなどの遺構は検出されなかった。

1113 と 1114 は石鏃である。程度の差はあるがいずれも基部が凹んでおり，凹基式である。両方とも先端部は尖っておらず，全体として丸味を帯びた形状と言える。石鏃以外には図化すべき遺物はなかった。Ⅶ a 層は，本来この時期の遺物包含層として認識されているが，石鏃は一般的に縄文時代になってから出現するとされることから，土器の細片すらも確認されなかったため確定的ではないものの，縄文時代草創期として扱った方がいいのかもしれないが，ここではこの時期として位置付けておきたい。



第234図　旧石器時代石器（３）

3　縄文時代早期

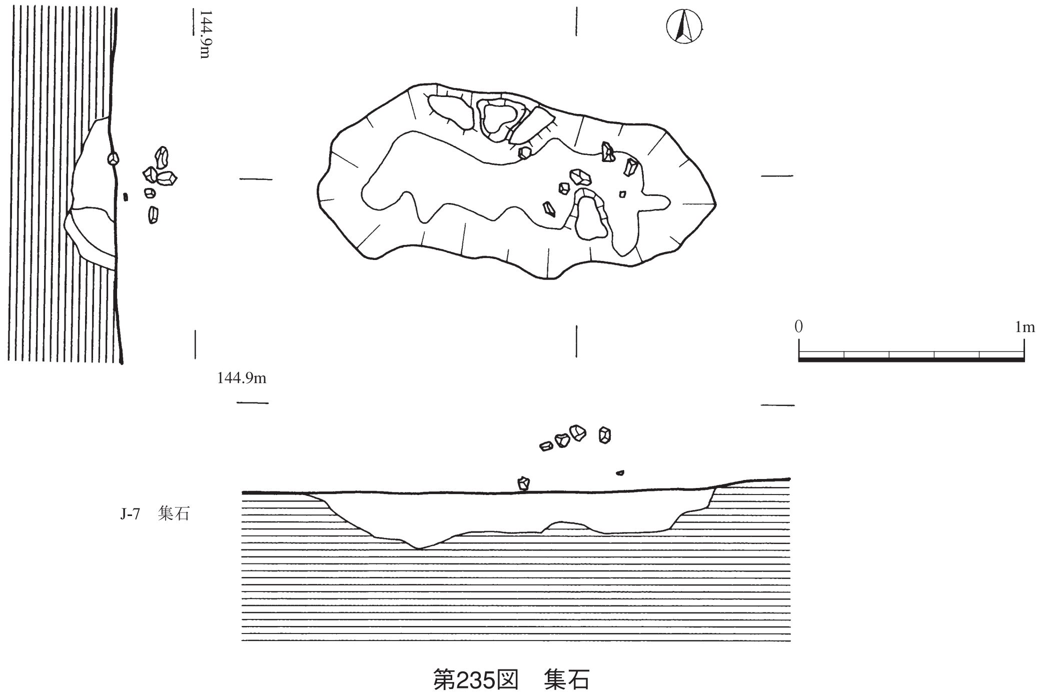
Ｖ層は縄文時代早期の遺物包含層である。また，Ⅵ層上面からは集石・土坑と溝状遺構が検出され，Ｖ層を埋土とすることからその時期の遺構と考えるのがふさわしいと判断した。

(1) 遺　構（第 235 図～第 238 図）

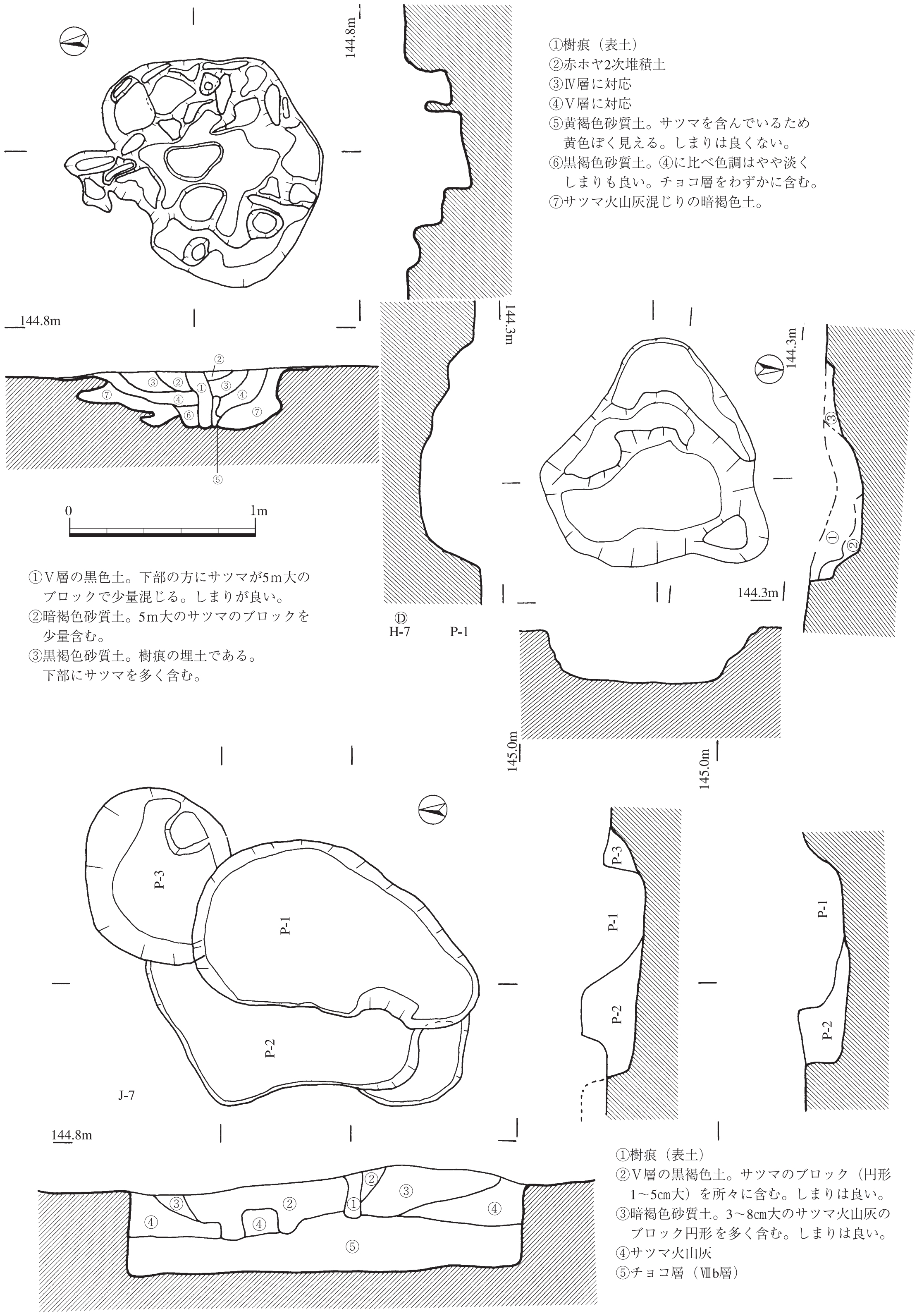
集石はＪ－７区から１基検出された。礫７個から成る小規模なもので，下部に土坑を伴っている。礫の集積を確認して集石の構成礫の最下面を検出した後に下部の土坑を確認したもので，確実にこの土坑を伴うか否かについての最終的な確証はないが，ほかにこのように集石としてまとまった礫が検出されなかったことと，この集石の下部にすっぽりと収まる形で土坑が存在することの２点から，土坑を伴う集石と判断した。土坑はほぼ東西方向に主軸を取っており，長径 187cm，短軸は 72cm，深さは 29cm である。内部には薩摩火山灰の塊が部分的に残っている。

土坑は調査区域の東側に集中して確認された。円形，楕円形を主に四角形，不整形のものも見られる。内部も単純なものから，土坑やピットが複合しているもの，薩摩火山灰が残存するものなど，第１地点の同じ時期の土坑と同様な形態の土坑が検出された。１と２は円形を基本とする土坑で，いずれも複合したタイプである。直径は 90cm 前後で深さは 40cm 前後である。３は円形と楕円形の土坑が重なっているものである。円形の土坑は内部にピットを持つ。楕円形の土坑は内部に土坑などを持たない単純なタイプである。４は四角形の細長い土坑で溝状に近い土坑である。内部に大小の土坑・ピットが見られる。５は楕円形を基本形とする土坑で，短軸方向の壁は抉れている。６は円形の２段となったもの，７は方形を基本としてピットを底面にもつものである。８と９は不整形のタイプである。８は単純なもの，９は２基の土坑をもつものである。

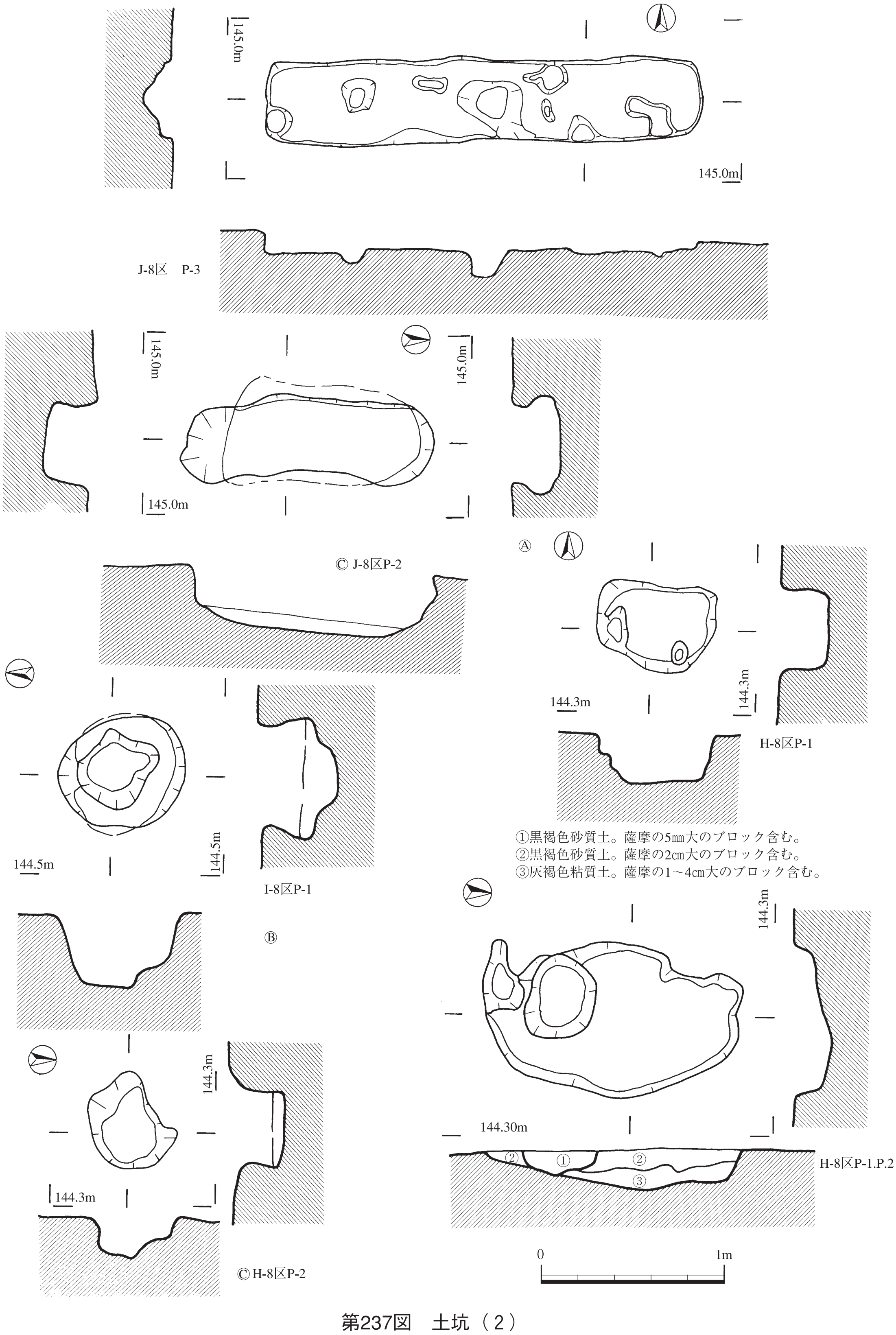
溝状遺構は調査区域の北側ほぼ中央部に南東から北西に向けてつくられている。幅は２～ 4m 程度で長さは約 40m である。深さは 40 ～ 80cm 程度と，しっかりした溝状の遺構である。ただ，下面は硬化しており，道として使用していたことがわかる。



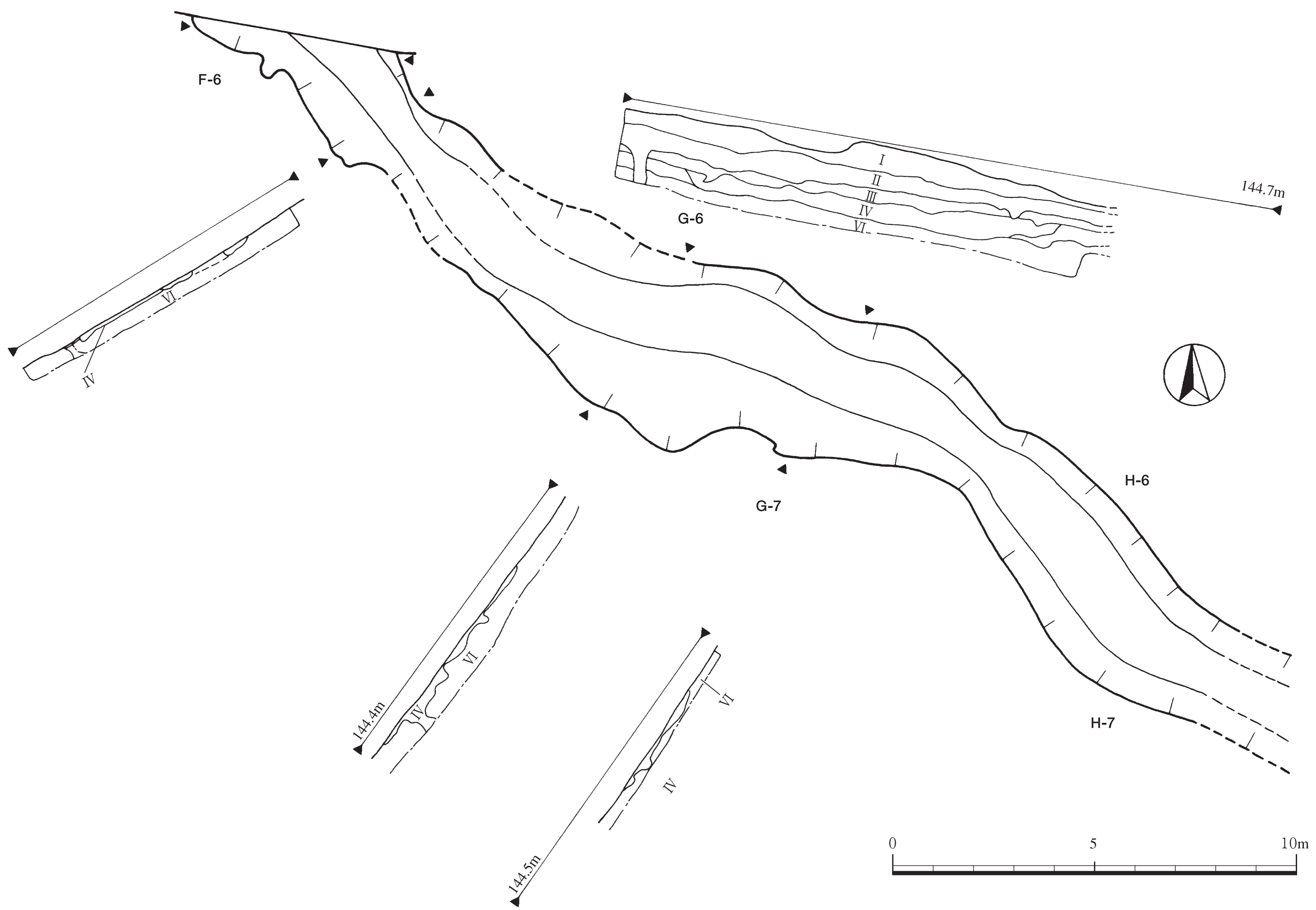
第235図　集石


144.8m
①樹痕（表土）
②赤ホヤ2次堆積土
③Ⅳ層に対応
④Ⅴ層に対応
⑤黄褐色砂質土。サツマを含んでいるため黄色ぽく見える。しまりは良くない。
⑥黒褐色砂質土。④に比べ色調はやや淡くしまりも良い。チョコ層をわずかに含む。
⑦サツマ火山灰混じりの暗褐色土。
144.8m
144.3m
0
1m
①Ⅴ層の黒色土。下部の方にサツマが5m大のブロックで少量混じる。しまりが良い。
②暗褐色砂質土。5m大のサツマのブロックを少量含む。
③黒褐色砂質土。樹痕の埋土である。下部にサツマを多く含む。
H-7 P-1
144.3m
144.3m
145.0m
145.0m
P-3
P-1
P-2
J-7
144.8m
①樹痕（表土）
②Ⅴ層の黒褐色土。サツマのブロック（円形1～5cm大）を所々に含む。しまりは良い。
③暗褐色砂質土。3～8cm大のサツマ火山灰のブロック円形を多く含む。しまりは良い。
④サツマ火山灰
⑤チョコ層（Ⅶb層）

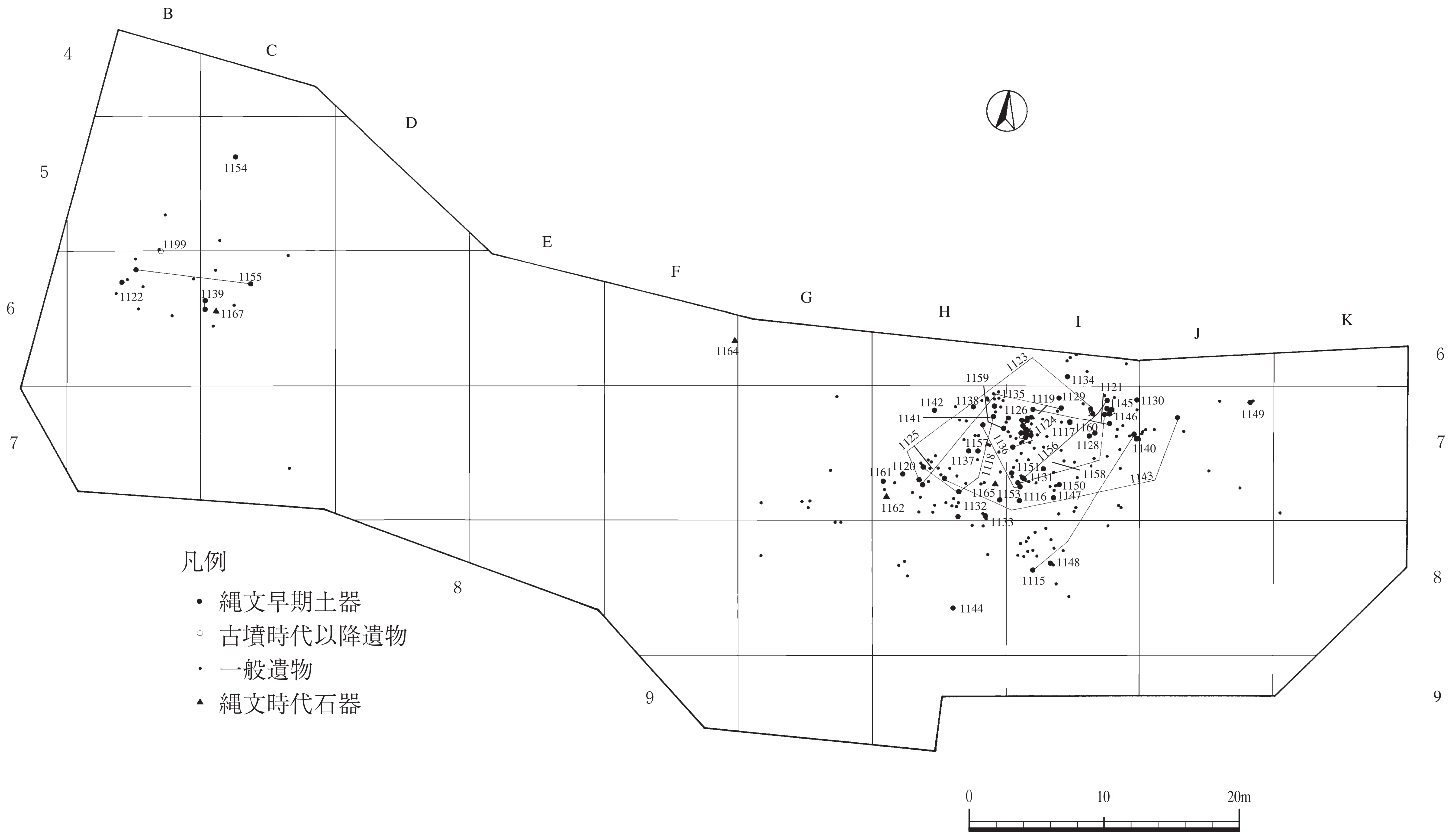
第236図　土坑（1）


145.0m
145.0m
J-8区　P-3
145.0m
145.0m
145.0m
Ⓒ J-8区P-2
Ⓐ
144.3m
144.3m
H-8区P-1
144.5m
144.5m
I-8区P-1
①黒褐色砂質土。薩摩の5㎜大のブロック含む。
②黒褐色砂質土。薩摩の2㎝大のブロック含む。
③灰褐色粘質土。薩摩の1～4㎝大のブロック含む。
144.3m
Ⓑ
144.3m
144.3m
144.30m
H-8区P-1.P.2
Ⓒ H-8区P-2
0
1m

第237図　土坑（２）



第238図　溝状遺構



第239図　遺物出土状況図（２）

(2) 遺　　物

①土　器

【ＸⅦ類土器】（第 240 図～第 242 図）

破片資料のみで，完形に復元できる個体はない。器形は，平底の底部から円筒状の胴部へと至り，口縁部が外反して開く深鉢形土器である。口唇部には刻目，口縁部付近に貝殻刺突文，胴部に綾杉条痕文が施される。底部付近はナデにより無文とされるか，一筆描きのような鋸歯文が巡る。内面は丁寧なナデ調整が全面的にみられるものが多い。

1115 ～ 1123 は文様や胎土が非常に似ていることから，同一個体の可能性が高い。1115 の貝殻刺突は，8 つ前後の肋がある貝殻を 2 度ずつ刺突しているため，一つの刺突単位が大きくみえる。内面にはユビナデ，指頭圧痕がみられる。1117 の内面上位や，1119・1123 の内面に炭化物の付着が見られることから，この土器は煮炊きに使われたものと思われる。

1124 ～ 1127 も器面調整と胎土が酷似し，同一個体と考えられる。口縁部に貝殻の角度を変えて 2 段の貝殻刺突文, 胴部には縦の条痕文を施している。施文後に外面全体がユビナデされており，滑らかな印象をもつ。内面はより丁寧なナデがみられる。

1128 は口縁部のあまり開かない器形を呈し，口縁部に縦位の貝殻刺突文を施す点が特徴的である。内面はナデ調整が主で，口唇部とその付近にのみミガキがみられる。

1131 ～ 1133 も同一個体で，口縁部には押圧気味の刺突文が羽状に施文されている。内面はケズリの上から丁寧になでられている。

1134 ～ 1138 は同一個体で，胎土が黄褐色を呈し粉っぽい。文様は口縁部が斜位の貝殻刺突文 1 段，胴部が綾杉条痕文で構成される。刺突文の上にナデがみられ，条痕文の上にも間隔的にヨコナデが施されている点は，1124 ～ 1127 に類似した整形手法といえる。

1139 は平底の底部で，内底面にはケズリや指頭圧痕，外側面はヨコナデ，外底面にはケズリ・ナデがみられる。内面のケズリは，外側は円を描くように削られ，内側は一方向に削られている。胎土に石英と 1 ～ 3mm 大の赤色粒子が多く目立つ。

1140 は口唇部にヘラ状工具による細かな刻目を有し，外面には横位刺突文が 4 条確認できる。胎土に 1mm 以下の赤色粒子が若干混ざる。

1141・1144 には条痕文上に部分的なナデ，内面には丁寧なナデがみられる。

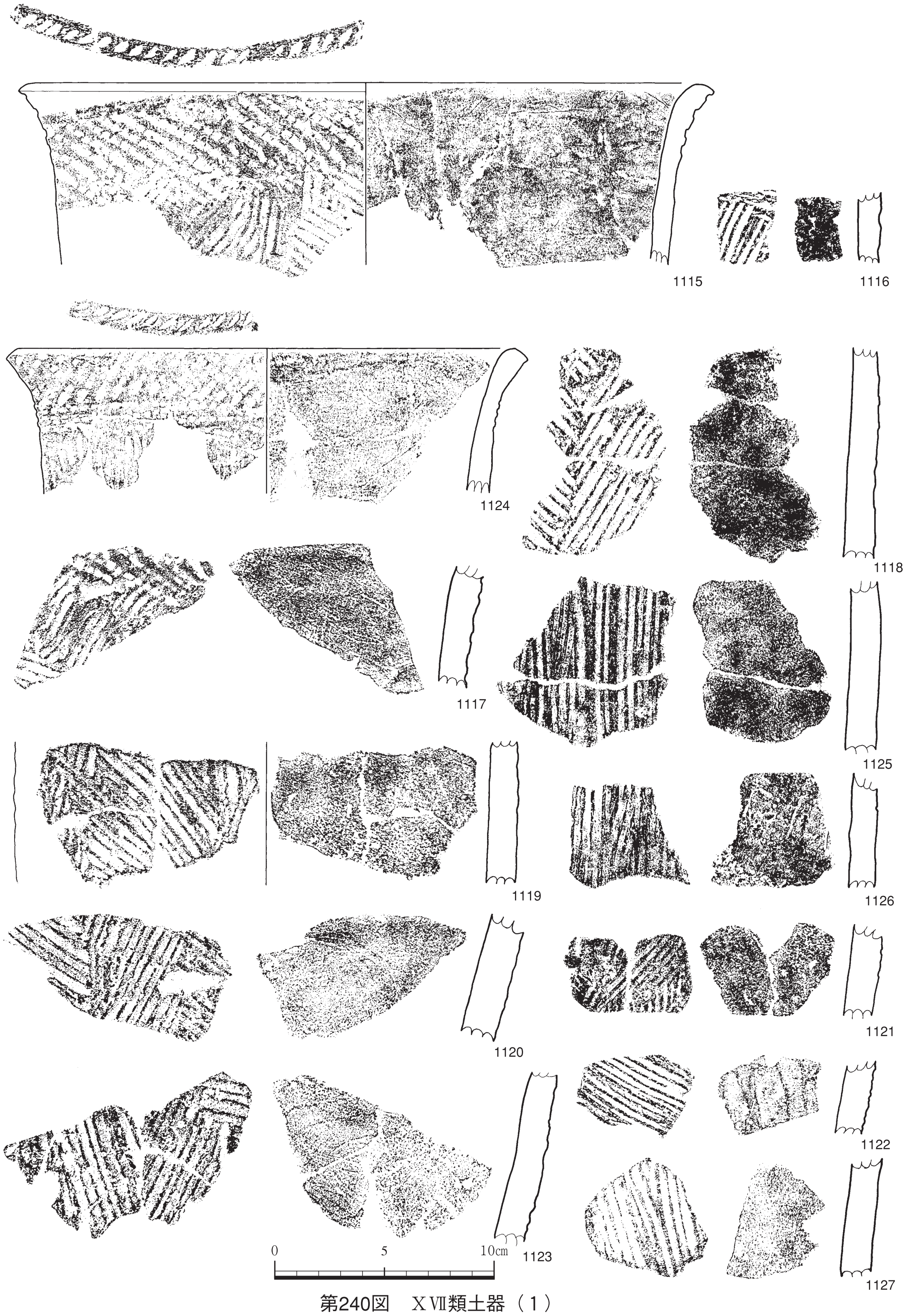
1142・1143 は，胎土に石英や 1 ～ 2mm 大の赤色粒子が多く混入する。

1145 ～ 1149 は同一固体である。口縁端部に細かい刻目，口縁部に斜位の貝殻刺突文，胴部に細い単位の綾杉条痕文が巡る。外面は施文後になでられ，内面は口縁部付近が磨かれている。

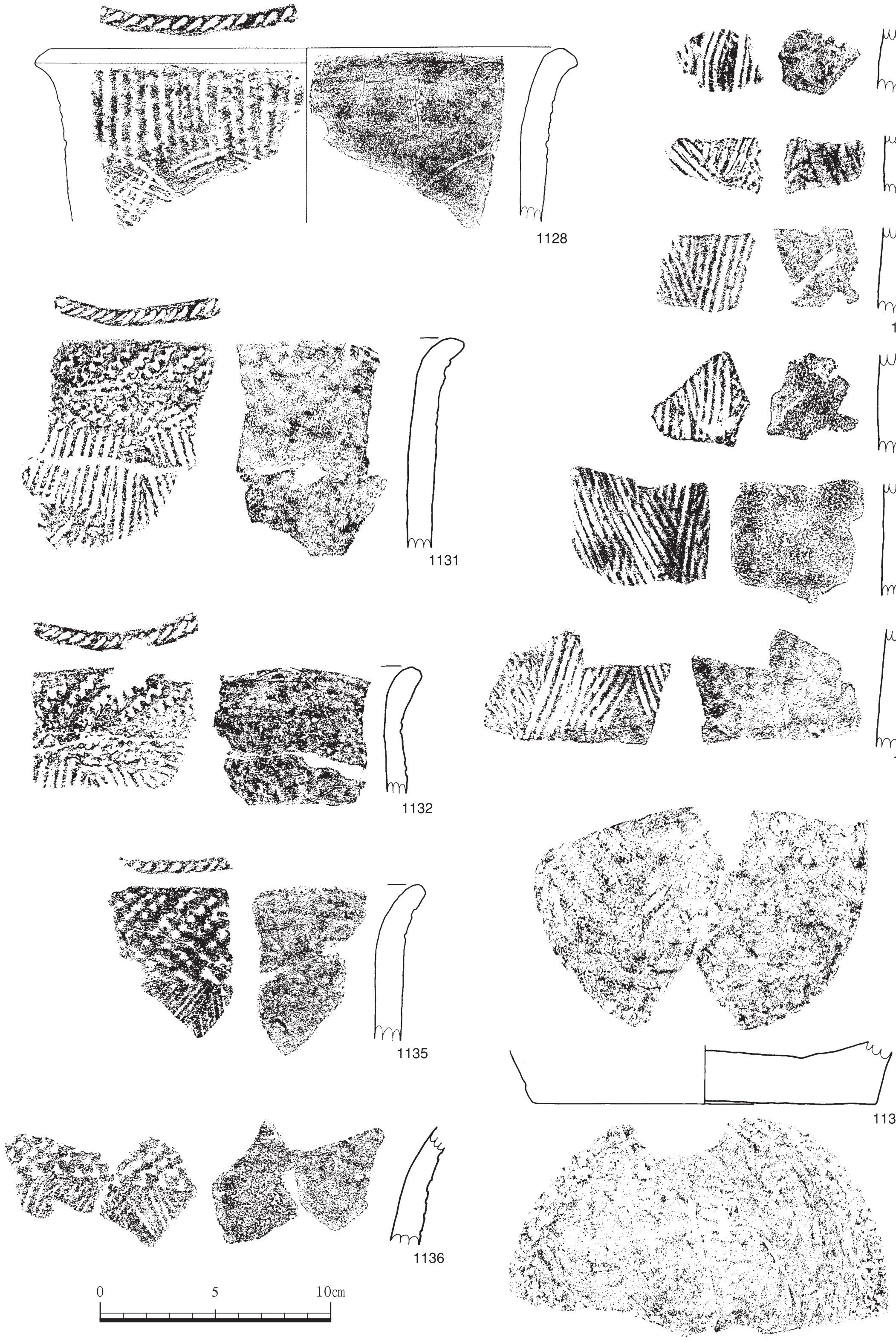
1150･1151 にはさらに細かい条痕文が施されている。器面の粗さが異なるが, 角閃石を多く含み，黄褐色を呈する胎土は，1145 ～ 1149 に似る。

1152・1153 は円形平底の底部片である。1152 の外側面にはヨコナデ，1153 の外側面には鋸歯状の刻目が巡る。1153 は胎土に 2mm 大の赤色粒子，4mm 以下の白色の小礫が混入している。

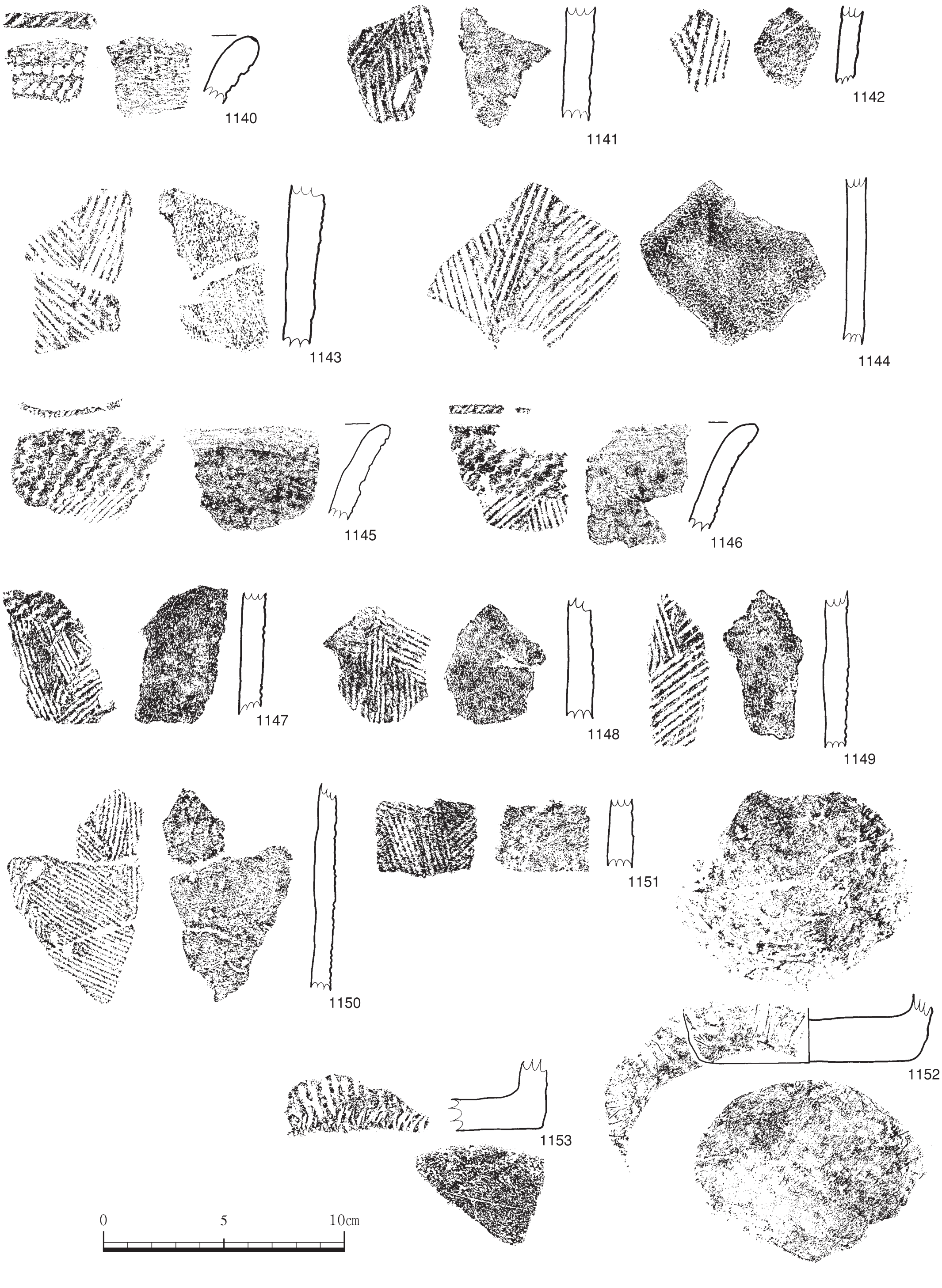
ＸⅦ類土器は，石坂式土器に比定できる。



第240図　ＸⅦ類土器（１）



第241図　ⅩⅦ類土器（２）



第242図　ⅩⅦ類土器（３）

【ＸⅧ類土器】（第 243 図 1154 ～ 1158）

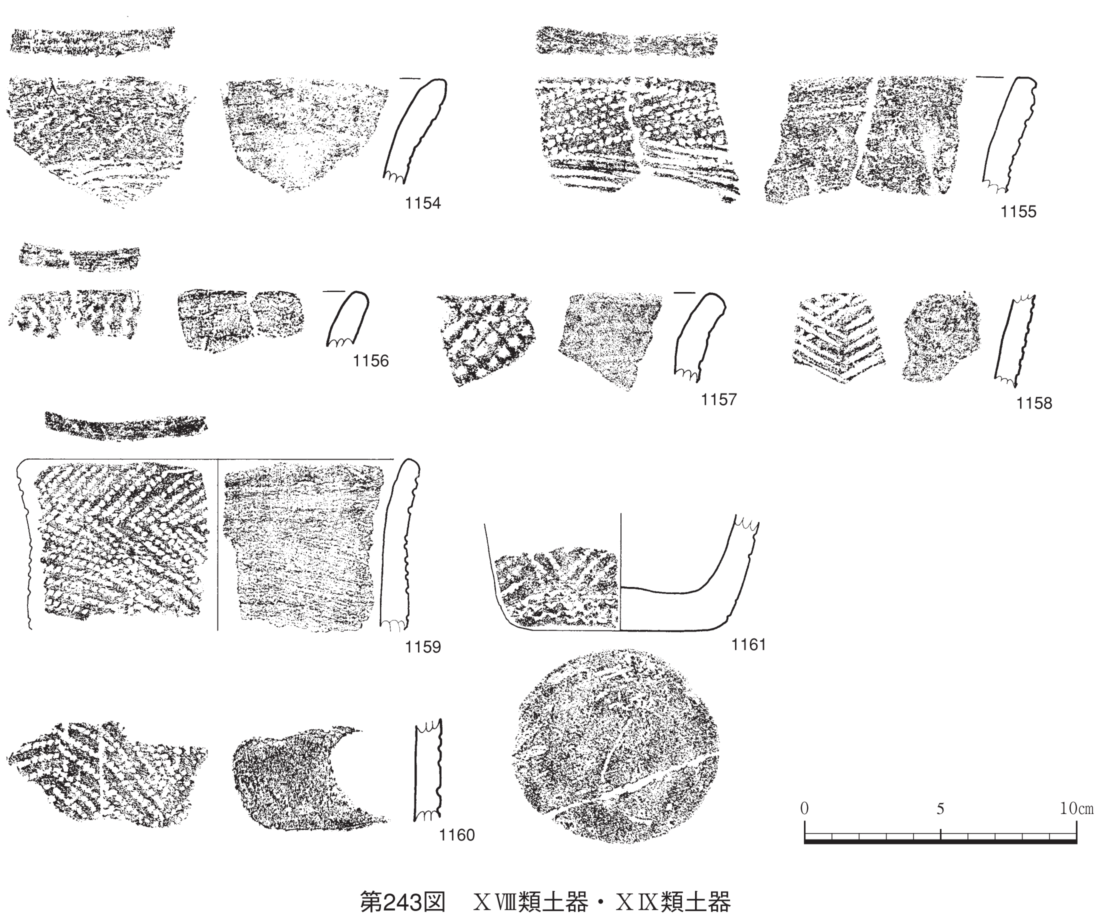
器形全体を知り得る個体はない。先のＸⅦ類土器に似るが，口縁部形態は先端が若干外傾する程度で，より直線的になる。また，口唇部が平坦面をもつ傾向にあり，無文である点が異なる。文様は貝殻刺突文と貝殻条痕文で構成され，ＸⅦ類土器と変わりはない。

1154･1155 は, 1155 の器面が磨滅しているためわかりにくいが, 同一個体である可能性が高い。口縁部には横位１条の貝殻刺突文の下に斜位の貝殻刺突文帯を巡らせ, 胴部に横位の条痕文を施す。胎土に角閃石を含み，黄褐色を呈する。

1156 は，口縁部に縦位の貝殻刺突文帯が巡り，内面はケズリによる調整である。胎土は石英を多く含有し，黄褐色である。

1157 は刻目を有するが，外面上位に存在することから，1154・1155 との類似性を考慮してここに分類した。刻目の下に斜位の貝殻刺突文が施される。

1158 は石英が目立つ黄褐色の胎土で，1156 の胴部である可能性が高い。



第243図　ＸⅧ類土器・ＸⅨ類土器

【ⅩⅨ類土器】（第 243 図 1159 ～ 1161）

1159 ～ 1161 の 1 個体のみが確認できた。文様が貝殻刺突文のみで構成されている。

1159 は垂直に，直線的に立ち上がる胴部からわずかに外傾する口縁部へと至る。口唇部は無文，外面は貝殻刺突文を全面に施文している。刺突は深い。内外面はミガキを施したように滑らかである。1160 は胴部片で，外面の刺突文は 1159 のように一定方向ではなく，綾杉状に施されている。1161 は，平底の底部で，内底面の中央がわずかに肥厚するのは，周囲が削られていることによる。外面には 4 条の横位貝殻刺突文が巡るが，胴部文様とは異なり，2 種類の施文具が使い分けられていたことがわかる。外底面にはナデや指頭圧痕の他，植物の繊維の擦痕が部分的に認められる。器面は黄褐色を呈し，石英・白色の礫・2mm 以下の赤色粒子が多くみられ，角閃石も若干混入する。

ⅩⅨ類土器は，下剥峰式土器に比定できる。

そしてⅩⅧ類土器については，「貝殻刺突文＋綾杉条痕文」というⅩⅦ類土器の要素と，「無文の口唇部・直線的な口縁部形態」というⅩⅨ類土器の要素，その両方を兼ね備えている点から，両者の中間的な位置にあたるものと捉えたい。

②石　器（第 244 図）

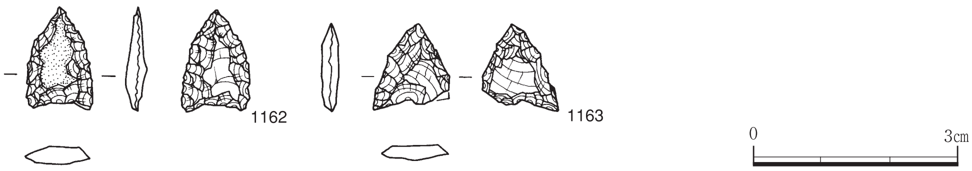
早期の石器として図化できたものは石鏃 1 点のみである。1162 は一方の面に自然面を残し，両面から周縁を調整してあることから，反対の面にも未加工の剥離面が残っている。石材は黒曜石である。

4　縄文時代後期・晩期（第 244 図・第 245 図）

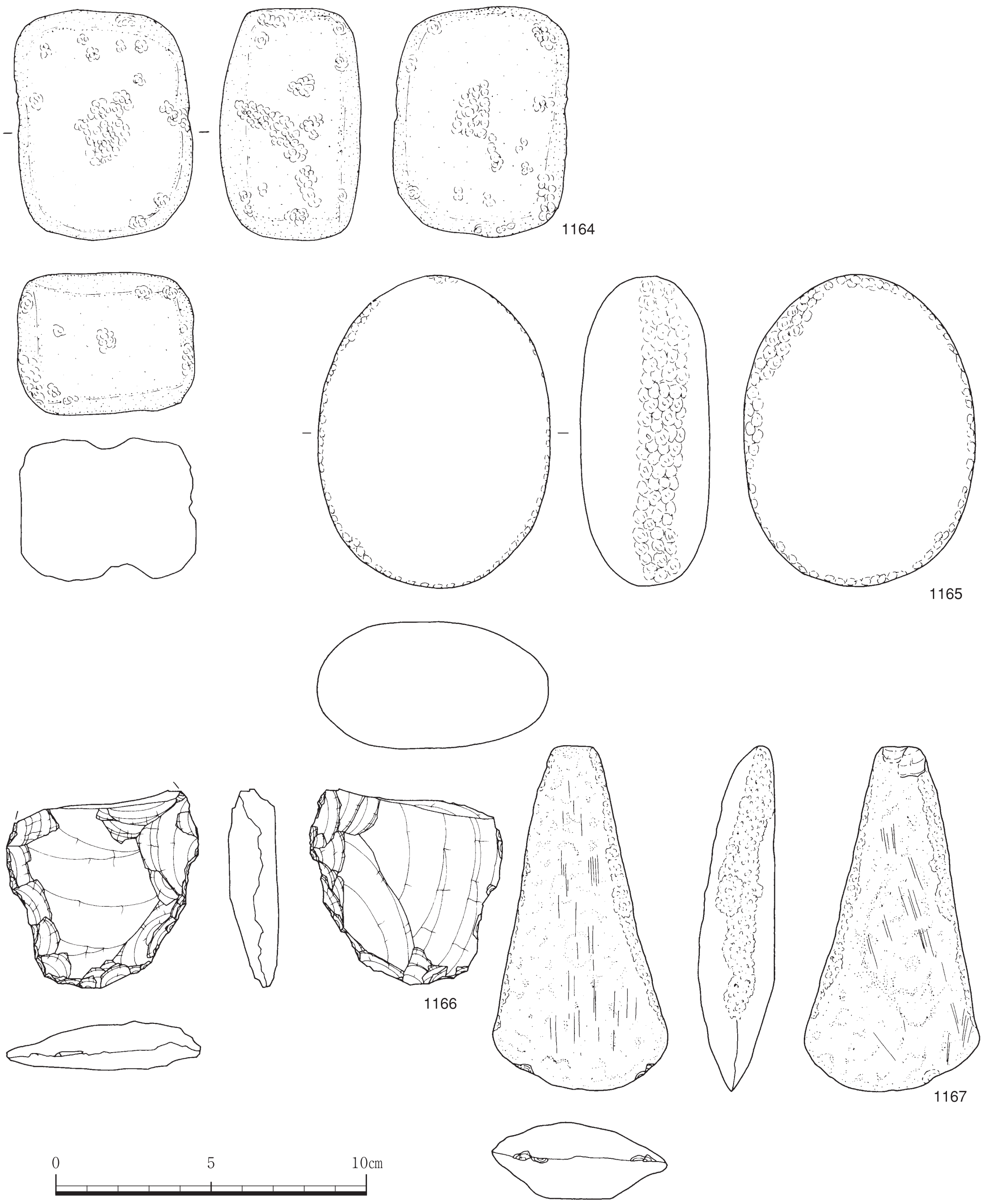
縄文時代後期の遺物包含層がⅣ層，晩期はⅢa 層である。遺物は若干出土したものの，この時期の遺構は検出されていない。

縄文時代後期の石器のうち 1163 は石鏃である。基部が若干抉れており，凹基式と言える。脚の一方を欠損している。両側縁及び基部を両面から調整しており，先端部は鈍く尖る。1164 は敲石，1165 は側縁を敲石として使用している磨石である。1164 は敲打部分が広い面のほぼ中央部を主にするものの，その周辺をも使用している。1165 は自然円礫を用いて，広い面を磨り面として使用している。側縁は全体を敲打に使っている。

縄文時代晩期の石器は 2 点を掲載した。いずれも石斧である。1166 は打製石斧の刃部である。頁岩製で，基部を欠損している。刃部及び側縁は両面から，また，残りの一側縁は一面から調整を行っている。1167 は磨製の石斧である。両側縁に著しい敲打の痕跡が残っていることから，大まかに形を整えたものを側縁は敲打によって仕上げるとともに，両面は刃部を含めて全体的に磨いて仕上げる。基部に比べて刃部が大きく開くことから，撥形の石斧と言える。



第244図　縄文時代石器（1）

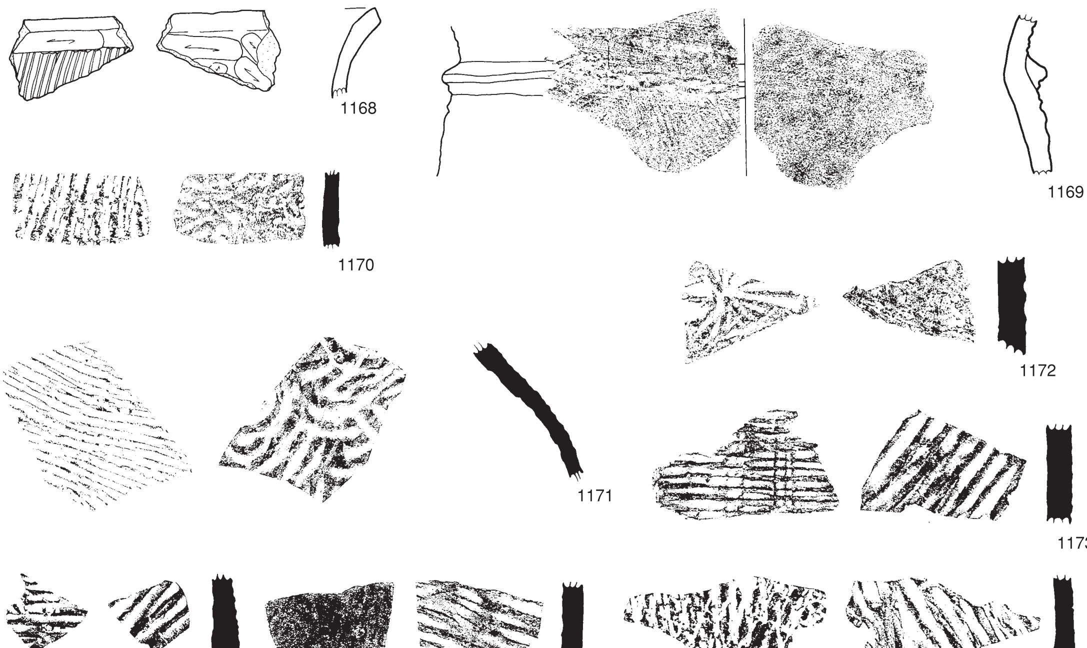


第245図　縄文時代石器（2）

5　古墳時代（第 246 図）

Ⅲ層から古墳時代の遺物が出土した。土器は在地性のもので，成川式土器と呼ばれるものである。そのほかに，須恵器も出土した。1168 は甕形土器の口縁部，1169 は頸部を中心とした部分である。1168 は口唇端部が四角形となるもので，ナデで仕上げてある。外面は，口唇部下位には横方向のナデが見られ，その下部は縦方向のハケ目である。内面は横または斜め方向のナデによって仕上げてある。1169 は頸部の外面に刻みを持たない突帯が巡っており，調整は外面が縦または斜め方向のハケ目，内面が基本的に横方向のナデによって仕上げる。

須恵器の中で，1172 は甕の肩部，それ以外はその胴部と考えられる。1171 の外面は平行叩き，内面は同心円叩きである。そのほかのものは，平行叩きが内外面共に多く，中に 1170 のような外面が格子目叩き，内面は同心円状の叩きであり，1172 は外面が車輪文の叩き，内面はナデによって仕上げてある。1175 の内面は平行叩きであるが，外面は縦方向のナデで仕上げる。1173 と 1174 も内面は平行叩きであるが，外面は 1173 が格子目叩き，1176 はそれを斜め方向に交互に叩いてあるようである。

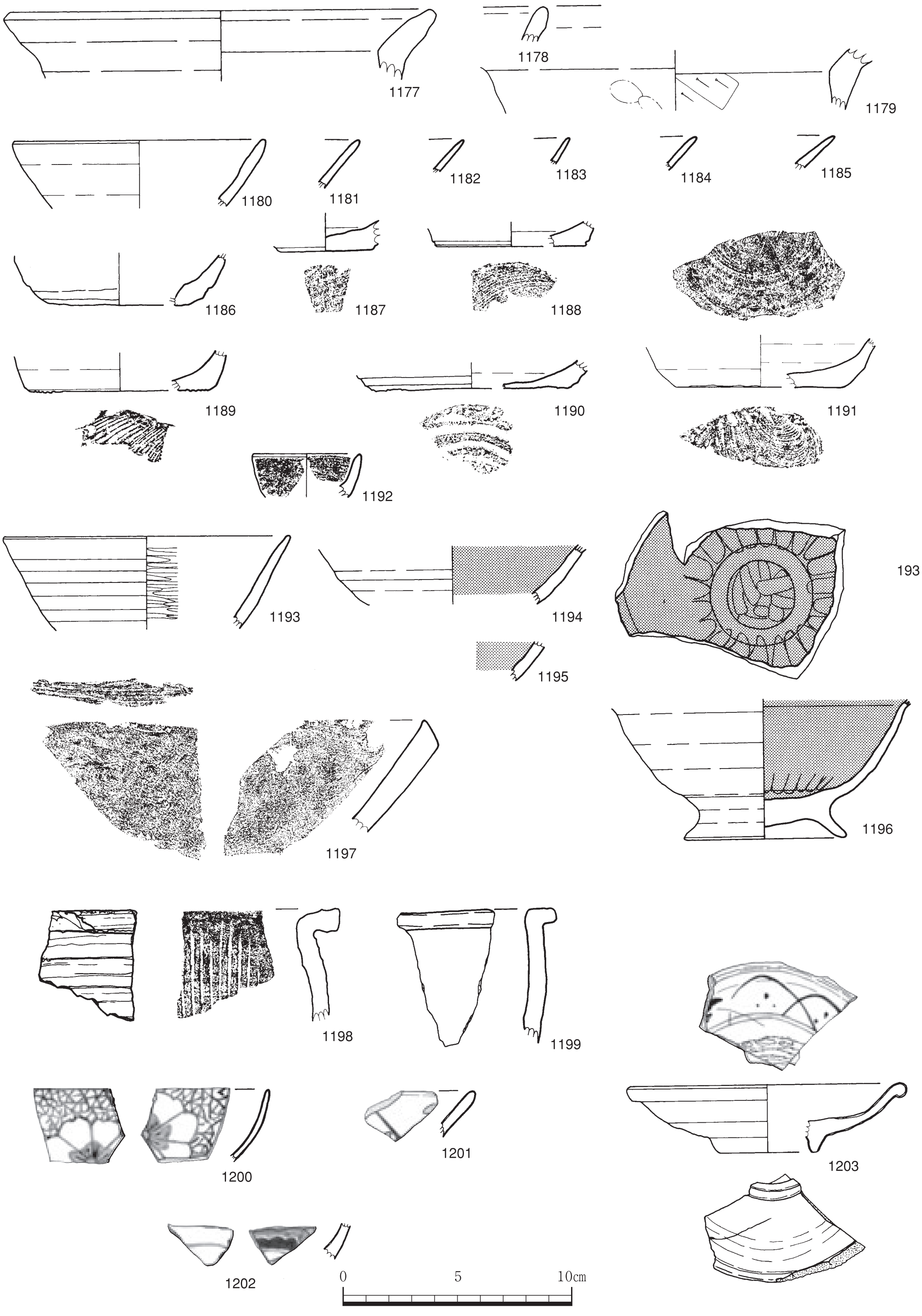


第246図　古墳時代土器

6　古代～中世（第 247 図～第 248 図）

Ⅱ層及びⅠ層，攪乱層から土師器や陶器・磁器，染付などが出土している。

1177 ～ 1196 は土師器である。1177 ～ 1179 は甕，1180 ～ 1193 は碗や坏・皿などである。また，1194 ～ 1196 は内黒の土師器で，1196 は高台付きの碗である。1197 は瓦器の捏ね鉢，1198 と 1199 は陶器で擂り鉢及び捏ね鉢と考えられる。1200 ～ 1202 は染付で，1200 には内外面に 5 ～ 6 弁の花が描かれる。1203 は小振りの碗で，内面に草かと思われる絵が描かれる。



第247図　土師器・陶器・染付

第2地点　小結

第2地点は第1地点の西側，台地から張り出した尾根の部分で，調査対象面積は約4,000㎡である。平成8年度に確認調査を行い，平成10年度に本（全面）調査を行った。調査の結果，旧石器時代・縄文時代・古墳時代・古代から中世・近世の遺物が発見され，一部に遺構も検出された。第1地点とは異なり，旧石器時代のブロックと礫群，縄文時代早期の土坑とその時期と考えられる溝状遺構，それに土層の横転が1か所のみと，非常に内容・規模が小さい。

1　旧石器時代

ナイフ形石器文化期では，ブロックが2か所確認された。1か所は調査区域の西側のほぼ中央部で，南側への傾斜地に広範囲に散布しており，明瞭な集中は見られない。もう1か所はその東側に南側への割合に傾斜の急な一画にある程度まとまった状態で確認された。これは東西方向の断面で見ると上下の幅が大きく見えるものの，南方向への急な傾斜のためにそう見えるだけで実際には20cm程度の上下幅にすぎず，結局は地形に沿った散布状況ということである。この時期の石器としてナイフ形石器と石核が出土している（Ⅸ層）。また，若干時期の下るⅧ層の石器としては，台形石器や三稜尖頭器・剥片尖頭器，スクレーパーや石核なども出土した。石材は黒曜石のほか，頁岩や安山岩も用いられている。

細石器文化期の遺物としてⅦa層出土の石鏃がある。基部の抉れた凹基式の石鏃であり，形状は同様で大きさが異なっている。石鏃の出現は縄文時代草創期からと言われていることから，この時期の石鏃はあり得ず，Ⅶa層を縄文時代草創期とするべきとの考え方もあるが，その時期の土器が確認されていないため，いずれとも決しがたい。

2　縄文時代早期

縄文時代早期の遺構として集石と土坑，溝状遺構がある。土坑は第1地点の埋土と同一のものであることから，この時期の遺構と考えられている。集石も同様である。集石は1基確認されたのみであり，構成する礫も7個と極めて小規模のものである。下部に土坑があることから，土坑を伴う集石と考えられる。土坑は調査区域の東側に集中して9基が検出された。円形，楕円形を主に四角形，不整形のものも見られ，内部の構造も単純なものから土坑やピットが複合するもの，薩摩火山灰が残存するものなど多様である。規模や形状に差異が見られることから，いろいろな目的で掘られたものである可能性が大きいと言える。

溝状遺構は調査区域の北側ほぼ中央部で確認され，南東から北西に向けてつくられている。幅は2～4mで，長さは約40mである。深さが40～80cm程度でしっかりした溝状の遺構である。下面が硬化していることから，道として使用していたことがわかる。

第2地点の早期貝殻文系土器は，石坂式土器・下剥峰式土器とその中間的な様相を呈するものの3種類に分類できた。

石坂式土器は既に前迫亮一氏によって新古2段階に細分されており（前迫1993），本稿での石坂式・中間形態は，氏の設定した石坂式古段階・新段階にそれぞれ該当する。

第１地点の貝殻文系土器を含めて全体的に眺めたとき，特に石坂式土器において，全体的に肋の大きな貝殻が施文具として使用されている傾向が強い。施文具として用いられた貝殻が型式によって違うのか，興味深い点である。

また，底部付近に鋸歯状の刻目を施す土器は，横川町の中尾田遺跡･松元町の前原遺跡（未報告)･市来町の安茶ヶ原遺跡（未報告）で確認されている。貝殻文系土器の底部の刻目には，貝殻によって一度に数条を刻むものと，その他の工具で１条ずつ刻むものがあるが，鋸歯状の刻目は後者の方法がより簡略化したものと思われる。

３　縄文時代後期・晩期

石器が主に出土した。石鏃や磨石，敲石のほか，晩期該当と考えられる打製，磨製の石斧も出土している。このうち，磨製石斧は両側縁に敲打による加工を施し，撥形となるもので，刃部の損傷もほとんど見られない。

４　古墳時代

遺構は検出されなかったが，遺物が若干出土している。土器は成川式土器と呼ばれる在地性の強い土器で，外反する口縁部と，すぼまった頸部に刻みを持たない突帯が巡らされている。胴部にかけては外面はハケ目調整が施され，内面はナデ調整である。甕形土器である。古墳時代中期頃のものと考えられる。須恵器は壷または甕と見られる。内外面の叩きにも各種見られる。

５　古代～中世・近世

土師器が出土している。碗または坏と考えられ，底部には糸目が見られることから鎌倉時代以降の糸切りによる切り離しの技法が使われていると考えられる。外面にスタンプで文様を付されたものもあり，近世にかかるものの可能性も考えられる。

第２地点の土地利用の変遷を考えてみると，旧石器時代は２基のブロックや礫群があることから生活跡と考えられ，縄文時代早期までは隣接する第１地点とのつながりからか東側に土坑などが見られることからやはり生活跡と考えられる。後期・晩期になると，遺物のみが見られる状態となるため,短期間の訪問･滞在の場となったと考えられる。古墳時代から古代にかけても同様であったろう。

中世以降は溝などの遺構の存在から，畑地として利用していたものと考えられる。それは，近世・近代を経て放置される寸前の最近まで畑地として甘藷などの栽培が行われていたのであろう。

（1・3 ～ 5；繁昌，２；繁昌・甲斐)

〈参考文献〉

前迫亮一　1993「倉園Ｂ遺跡の再検討　Ⅰ」『南九州縄文通信』No.7　南九州縄文研究会　鹿児島

第5節　遺構計測表及び遺物観察表

第4表　遺構計測表

住居跡　計測表 （第22図～第62図）

住居番号	区	形状	軸方向	ピット個	長軸 cm	短軸 cm	深さ cm	備考
1	W－8	長方形	N3W	29	326	254	5～17	
2	W－9	長方形	N10E	37	224	208	20～28	
3	V－11	正方形	N26W	27	291	288	13～25	
4	V－11	長方形	N7W	38	274	247	14～28	
5	TU-9	長方形	N9W	42	240	213	25～32	
6	S-9･10	長方形	N27E	43	345	323	20～24	
7	S－11	長方形	N16W	32	289	245	11～21	
8	Q-11･12	正方形	N42W	29	230	226	9～14	
9	R－9	長方形	N3E	18	321	213	7～21	

集石　計測表 （第66図～第69図）

集石番号	区	長径 cm	短径 cm	厚さ cm	土坑 cm			礫数個	備考
					長径	短径	深さ		
1	S－11	110	80	28				29	
2	R－10	56	28	4	55	50	21	10	
3	R－12	49	47	12				19	
4	R－11	58	46	9				10	
5	R－11	62	46	14	74	63	30	14	
6	R－11	68	46	8				19	
7	R－11	30	20	8	63	45	10	6	
8	R－11	42	35	10	71	65	13	8	
9	Q－12	153	96	48				137	
10	R－6	124	83	25	143	136	27	37	
11	T－2	56	42	14				12	
12	S－3	41	25	15	121	95	27	12	
13	S－10	52	28	5				9	
14	V－10	56	35	11				8	
15	R－9	129	68	10				21	
16	U－9	55	39	9				6	
17	U－11	52	49	11				11	
18	U－10	32	28	13	70	40	25	7	

連穴土坑　計測表 （第70図～第72図）　（計測点は326ページ下図参照）

連土番号	区	全長 cm	煙出し cm			ブリッジ cm			足場 cm			備考
			a	b	c	あ	い	う	A	B	C	
1	S－11	231	38	63	48	18	26	20	75	72	45	
2	0－3	220	51	77	40	15	21	18	154	123	38	
3	M－2	236	84	72	61	13	20	19	139	85	45	

道跡 計測表 （第207図～第209図）

道跡番号	区	最小幅 m	最大幅 m	長さ m	比高差 m	備考
1	U～W－5～8	1.2	7.4	52.0	4.0	
2	M～Q－5・6	2.0	4.5	58.0	3.0	
3	S－1・2	3.0	5.5	19.0	3.6	

第2地点　土坑　計測表 （第236図・第237図）

土坑番号	区	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考	番号	区	長径 cm	短径 cm	深さ cm	備考
1	J-8	114	100	42		7	J-8	132	40	28	
2	H-7	128	116	30		8	H-8	64	42	25	
3	J-7	170	94	34		9	I-8	72	56	44	
4	J-7	182	(54)	28		10	H-8	54	52	30	
5	J-7	98	80	18		11	H-8	134	84	24	
6	J-8	242	46	16							

第2地点　集石　計測表 （第235図）

集石番号	区	長径 cm	短径 cm	厚さ cm	土坑 cm			礫数個	備考
					長径	短径	深さ		
1	J－7	54	48	26	192	70	24	7	

住居跡周辺ピット計測表－1（第25図, 第29図・第30図, 第34図, 第38図・第39図）　注：柱痕跡の○印は柱痕跡があったことを意味している。

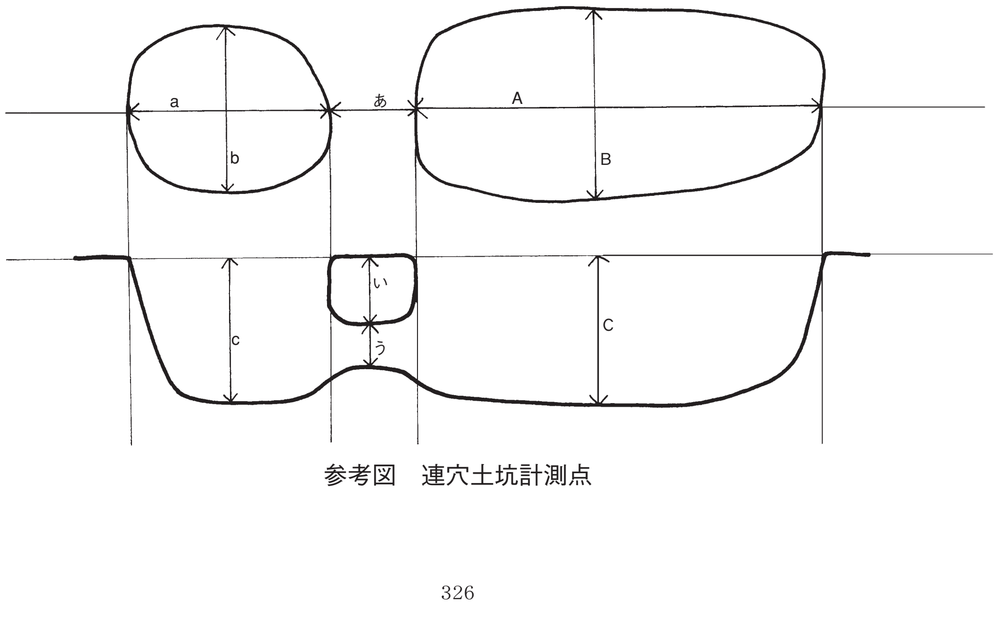
柱穴番号	規模 cm			柱痕跡有	柱穴番号	規模 cm			柱痕跡有
	長径	短径	深さ			長径	短径	深さ	
1号	**住居跡**				29	30	22	24	○
1	41	40	29		30	21	18	22	
2	27	27	29		31	35	35	17	○
3	45	35	28		32	24	20	19	
4	13	11	23		33	22	21	23	
5	37	36	31		34	17	13	22	
6	30	20	21		35	30	27	17	
7	27	16	19		36	21	20	18	
8	22	20	21		37	25	22	21	
9	25	20	21						
10	22	20	18		**3号**	**住居跡**			
11	27	23	21		1	14	14	12	
12	20	20	21		2	32	32	14	○
13	28	27	20	○	3	34	34	17	○
14	23	18	18		4	40	32	14	
15	27	27	16		5	34	30	16	○
16	30	28	18	○	6	42	37	15	○
17	40	21	25		7	25	23	17	
18	20	18	22		8	29	27	19	○
19	21	21	22	○	9	49	41	15	
20	23	23	24		10	28	27	17	
21	13	13	19		11	50	22	13	
22	13	13	18		12	60	20	15	
23	38	35	19		13	20	18	17	
24	25	20	15		14	24	19	17	○
25	43	40	19		15	17	13	21	
26	43	43	19		16	22	22	20	
27	33	33	24		17	31	31	20	○
28	32	30	27		18	14	12	12	
29	31	30	28		19	12	11	8	
					20	16	12	13	
2号	**住居跡**				21	30	30	14	
1	27	27	24	○	22	29	29	20	
2	29	25	20	○	23	40	40	20	
3	30	27	19	○	24	15	15	14	
4	40	36	22		25	58	21	17	
5	43	33	34		26	21	15	16	
6	16	15	25		27	21	20	14	
7	30	28	15						
8	22	21	14	○	**4号**	**住居跡**			
9	20	20	28		1	29	25	20	○
10	22	21	18		2	25	22	17	○
11	19	18	12		3	28	19	15	
12	21	19	17		4	31	20	13	
13	27	23	22		5	37	20	12	
14	30	26	23		6	19	19	14	○
15	22	22	12		7	30	26	15	
16	18	16	18		8	32	30	14	○
17	25	22	20		9	20	20	18	
18	33	28	17		10	25	23	20	
19	25	20	25		11	20	17	17	
20	42	35	23	○	12	20	18	19	○
21	25	19	18		13	27	20	20	
22	27	26	41	○	14	30	30	20	○
23	26	20	21	○	15	25	23	24	○
24	21	21	21		16	20	16	23	
25	23	21	20		17	25	24	20	○
26	34	22	23		18	20	20	26	
27	37	37	21		19	16	16	23	
28	25	19	15	○	20	28	13	20	

住居跡周辺ピット　計測表－2（第38図・第39図，第43図・第44図，第48図・第49図，第53図・第54図）

柱穴番号	規　模　cm			柱痕跡有	柱穴番号	規　模　cm			柱痕跡有
	長　径	短　径	深　さ			長　径	短　径	深　さ	
21	35	28	21	○	41	18	18	13	
22	18	10	23		42	25	25	18	○
23	29	26	26						
24	12	12	28		**6号**	**住 居 跡**			
25	22	21	27		1	27	23	19	
26	34	23	24		2	20	19	27	
27	24	21	21		3	23	20	29	○
28	25	13	20		4	25	21	24	○
29	38	12	25		5	29	21	21	○
30	26	18	20		6	32	31	22	○
31	23	22	24		7	31	31	21	○
32	20	20	20		8	32	27	21	
33	15	14	20		9	30	29	24	○
34	33	29	16	○	10	30	30	22	
35	30	30	20		11	17	12	15	
36	41	41	27	○	12	21	16	18	
37	38	21	21		13	34	31	23	○
38	31	12	20		14	25	24	24	
					15	18	16	18	
5号	**住 居 跡**				16	18	16	25	
1	23	21	18		17	19	17	30	
2	14	14	23		18	17	13	14	
3	23	23	21		19	23	22	18	○
4	27	27	20		20	13	11	10	
5	27	23	22	○	21	27	27	19	○
6	31	26	21	○	22	20	16	15	
7	21	15	23		23	17	10	12	○
8	23	21	23		24	19	14	22	○
9	36	20	21		25	17	15	14	
10	23	23	36		26	29	29	21	
11	20	20	25		27	36	30	28	
12	24	24	23		28	30	27	26	
13	15	13	20		29	18	18	20	○
14	38	27	24	○	30	20	19	16	○
15	30	22	24	○	31	25	16	21	○
16	17	11	24		32	17	14	24	
17	20	19	18		33	24	16	20	
18	19	18	23		34	26	25	16	
19	26	26	22	○	35	29	29	19	
20	33	31	21		36	20	20	15	
21	33	33	21		37	15	15	16	
22	21	17	20		38	18	18	20	
23	15	15	22		39	30	30	17	
24	12	12	23		40	29	29	16	○
25	18	17	21		41	23	23	23	
26	32	21	22		42	24	24	21	
27	20	20	32		43	20	20	15	
28	16	14	23						
29	24	21	18		**7号**	**住 居 跡**			
30	35	15	20		1	28	25	20	
31	30	14	14		2	19	19	17	○
32	25	25	19		3	21	18	18	
33	14	14	21		4	24	23	20	○
34	23	23	16	○	5	23	17	22	○
35	48	22	21		6	28	25	15	
36	24	17	26	○	7	23	21	19	○
37	35	33	16		8	37	28	18	○
38	21	20	17		9	21	21	15	○
39	20	19	13		10	30	30	20	○
40	23	23	22		11	29	23	14	○

住居跡周辺ピット　計測表－3（第53図・第54図, 第58図, 第62図）

柱穴番号	規模 cm			柱痕跡有	柱穴番号	規模 cm			柱痕跡有
	長　径	短　径	深　さ			長　径	短　径	深　さ	
12	46	33	21	○	14	30	19	10	○
13	38	32	22		15	32	24	16	
14	33	27	42		16	31	28	16	○
15	16	15	35	○	17	22	20	12	○
16	26	22	29	○	18	35	27	23	○
17	20	19	35		19	25	25	14	○
18	34	26	21	○	20	18	18	20	○
19	31	30	22	○	21	25	22	10	
20	20	20	22		22	31	23	15	○
21	26	17	24	○	23	30	30	20	○
22	41	30	26	○	24	26	12	24	
23	16	15	15		25	30	23	18	○
24	14	14	9	○	26	38	35	17	○
25	35	35	15		27	44	40	22	○
26	19	19	23		28	35	35	31	
27	21	20	21		29	30	30	22	
28	47	42	30	○					
29	20	13	30	○	**9号**	**住居跡**			
30	37	30	29	○	1	54	52	20	○
31	29	27	24		2	39	22	15	○
32	23	21	23		3	32	17	17	○
					4	33	32	17	○
8号	**住居跡**				5	26	24	22	○
1	28	25	15	○	6	37	30	15	○
2	25	20	11	○	7	34	33	23	○
3	25	20	13	○	8	19	18	12	○
4	29	25	15	○	9	40	40	18	○
5	42	26	23	○	10	37	37	23	○
6	32	30	22	○	11	35	32	14	○
7	35	22	16	○	12	37	34	20	○
8	24	20	21	○	13	34	32	20	○
9	27	26	22	○	14	34	32	20	○
10	24	21	20	○	15	35	35	15	○
11	24	23	15		16	34	34	14	○
12	29	29	18	○	17	28	28	20	○
13	29	27	15	○	18	34	34	24	○



参考図　連穴土坑計測点

土坑計測表－1

図面番号	類	区	土坑番号	長径 cm	短径 cm	深さ cm	長径÷短径	軸方向	内部薩摩有	内部ピット 長×短×深cm	内部土坑 長×短×深cm	備考
74－ 1	ⅠA	P－2	2	104	86	34	1.20	N2E				
2		R－2	1	106	100	44	1.06	N41W				
3		Q－3	3	65	60	26	1.08	NS				
4		P－3	9	64	55	18	1.16	N10E				
5		S－3	5	73	60	23	1.46	N72E				
6		T－3	5	81	71	26	1.14	N7E				
7		N－5	6	58	45	34	1.28	N56E				
8		P－5	1	67	60	23	1.11	N22E				
9		P－5	2	42	40	27	1.05	N20E				
10		N－6	3	42	36	27	1.16	N16W				
11		O－6	1	71	70	25	1.01	N89W				
12		O－6	3	78	69	23	1.13	N87W				
13		R－6	6	65	53	27	1.22	NS				
14		R－6	9	81	82	30	0.98	N81W				
15		S－6	4	118	101	16	1.16	NS				
16		Q－7	1	76	64	20	1.18	N72E				
17		R－7	2	52	52	21	1.00	N86E				
18		S－7	1－①	72	56	21	1.28	N40E				
19		R－7	4	113	103	7	1.09	N80W				
20		S－7	2－③	61	52	20	1.17	N23E				
21		T－7	2	49	47	11	1.04	N75E				
22		Q－9	6	72	66	20	1.09	N75E	○			
23		R－9	1	65	68	22	0.95	N79E				
24		T－10	2	71	57	26	1.24	N68W	○			
75－ 1	ⅠA	U－10	1	48	41	15	1.17	N74E				
2		R－11	4	64	60	11	1.06	N9W				
3		V－11	2	64	65	32	0.98	N16W				
4	ⅠB	T－1	1	40	36	32	1.11	N11W		22×12×10		
5		R－1	1	41	40	15	1.02	N47W		8×8×○他1		
6		Q－2	9	97	85	46	1.14	N34W				
7		T－2	4	100	83	31	1.20	N49E		27×16×○他3		
8		P－2	11	137	120	27	1.14	N15E		20×20×○	44×21×○	
9		P－3	7	121	115	30	1.05	N58W		30×28×○	59×25×8	
10		P－3	16	131	125	21	1.04	N83E		18×17×○他2		
11		T－3	7	97	95	30	1.02	N66W		30×26×6		
12		Q－6	2	73	65	48	1.12	N19E				
13		T－9	3	80	73	29	1.09	N62W		34×18×3		
14		T－9	6	81	64	21	1.26	N74W		37×22×○		
15	ⅠC	O－2	3	65	64	20	1.01	N66E	○			
16		T－3	10	73	62	22	1.17	NS	○			
17		M－7	4	60	60	25	1.00	N9E				
18		N－7	4	115	97	20	1.18	N47W	○			
19		N－7	6	77	65	34	1.18	N73W	○			
20		O－7	4	75	73	28	1.02	N9W	○			
21		O－7	5	81	78		1.03	N85E	○	36×24×○他3		
76－ 1	ⅡaA	M－1	2	160	74	43	2.14	N71W				
2		P－1	3	109	53	30	2.05	N65W				
3		P－1	7	106	61	25	1.73	N18E				
4		Q－1	1	57	46	20	1.23	NS				
5		N－2	1	41	40	34	1.02	N62E				
		N－2	2	92	63	37	1.46	N62E				
6		P－2	1	141	109	32	1.29	N15E				
7		P－2	4	110	65	17	1.69	N21W				
8		P－2	10	70	48	22	1.45	N78W				
9		Q－2	1	133	61	26	2.18	N75W				
10		Q－2	2	129	104	28	1.24	N61E				
11		Q－2	4	111	65	30	1.70	N40W				
12		Q－2	6	127	61	24	2.08	N11E				
13		R－2	2	49	29	16	1.68	N7W				
14		S－2	6	36	30	10	1.20	N53W				
15		S－2	9	52	30	13	1.75	N39E				

土坑計測表－2

図面番号	類	区	土坑番号	長径 cm	短径 cm	深さ cm	長径÷短径	軸方向	内部薩摩有	内部ピット 長×短×深cm	内部土坑 長×短×深cm	備考
76－16	II aA	S－2	10	51	30	13	1.70	N10W				
17		T－2	1	76	54	69	1.04	N81W				
18		T－2	3	47	37		1.27	NS				
19		M－3	1	125	65	44	1.92	N68E				
77－ 1	II aA	N－3	1	137	161	37	2.24	N79W				
2		O－3	1	120	92	37	1.30	N72E				
3		O－3	6	77	51	25	1.50					
4		P－3	1	192	120	26	1.60	N88W				
5		P－3	10	136	49	38	2.77	NS				
6		P－3	11	121	74	28	1.63	N64E				
7		S－3	2	71	56	24	1.26	N12E				
8		T－3	8	149	69	24	2.15	N97W				
9		N－4	2	98	46	33	2.13	N19W				
10		N－4	6	125	55	44	2.27	N87E		21×14×9		
11		P－4	3	100	61	17	1.63	N31W				
12		N－5	5	103	79	35	1.30	N37W				
13		P－5	3	148	93	16	1.59	N77E				
14		P－5	5	137	58	33	2.36	N16W				
15		P－5	7	100	48	24	2.08	N8E				
16		P－5	9	88	52	26	1.69	N19E	○			
17		P－5	10	157	66	22	2.37	N46E				
18		Q－5	1	108	47	22	2.29	N84E				礫あり
19		R－5	2	128	54	23	2.37	N49W				
78－ 1	II aA	R－5	3	163	80	23	2.03	N5W				
2		R－5	4	95	46	23	2.06	N50W				
3		T－5	1	132	72	25	1.83	N6W				
4		T－5	2	95	56	22	1.69	N19E				
5		U－5	1	138	99	21	1.39	N73E				
6		U－5	2	124	57	14	2.17	NS				
7		U－5	3	140	60	18	2.33	NS				
8		U－5	4	108	60	17	1.80	N20W				
9		N－6	1	79	41	17	1.92	N3E				
10		N－6	2	95	45	22	2.11	N3W				
11		N－6	4	107	49	33	2.18	N67E				
12		O－6	2	145	59	33	2.45	N90W				
13		O－6	4	189	80	33	2.36	N75E				
14		Q－6	3	101	66	31	1.53	N28E				
15		R－6	7	112	56	29	2.00	N71W				
16		R－6	10	128	61	29	2.09	N52W				
17		S－6	5	105	52	24	2.01	N13E				
18		U－6	1	127	75	29	1.69	N37E				
19		U－6	2	129	76	31	1.69	N45E				
20		P－7	1	76	49	21	1.55	N4W				
21		R－7	1－②	97	42	19	2.30	N18E				
22		R－5	石皿	(130)	70	22	1.85	NS				
79－ 1	II aA	V－6	2	122	81	23	1.50	N18E				
2		M－7	1	130	60	22	2.16	N82E				礫あり
3		M－7	5	149	90	36	1.65	N32W				
4		S－7	1－②	96	49	15	1.95	NS				
5		S－7	3	85	48	20	1.77	N19W				
6		T－7	1	180	82	25	2.01	NS				
		T－7	2	70	51	20	1.37	N14W	N65W			長方形
7		R－8	1	109	62	16	1.75	N43E				
8		S－8	1	94	54	22	1.74	N44W				
9		Q－9	3	93	51	22	1.84	N65W				
10		T－9	5	93	56	20	1.66	N40W				
11		P－11	1	110	70	23	1.57	N35E				
12		T－9	9	103	60	27	1.71	NS	○			
13		U－9	6	92	67	33	1.37	N36W				
14		Q－10	5	144	89	19	1.61	NS				
15		R－11	5	132	101	20	1.30	N46E				

土坑計測表－3

図面番号	類	区	土坑番号	長径 cm	短径 cm	深さ cm	長径÷短径	軸方向	内部薩摩有	内部ピット 長×短×深cm	内部土坑 長×短×深cm	備考
79－16	II aA	R－11	3	120	54	12	2.22	N55E				
17		Q－11	1	106	74	22	1.43	N14E				
18		R－11	1	120	75	12	1.60	N80W				
19		Q－12	2	121	72	21	1.68	N3W				礫･土器あり
20		O－7	大型	302	138	58	2.18	N12E			252×100×50	磨石棒状石
80－ 1	II aB	M－1	1	165	124	56	1.33	N18E			108×95×17	
2		P－1	1	139	80	33	1.75	N88W		22×17×○		
3		P－1	2	111	83	42	1.33	N75W		26×23×7		
4		P－1	4	134	70	61	1.91	N81E				
5		S－1	1	148	125	65	1.18	N37E			113×91×39	フレーク
6		S－1	3	118	57	46	2.07	N9E		27×21×○他1		
7		S－1	4	140	90	35	1.55	N14W		34×20×6	44×30×8	礫あり
8		N－2	3	104	70	32	1.48	N79E		30×14×4		土器あり
9		P－3	5	216	130	28	1.66	N67W		23×16×○	71×35×○	
10		P－2	12	125	53	22	2.35	N85W	○	37×35×9		
11		M－3	2	110	62	40	1.77	N22E		53×32×○他1		
12		P－3	12	160	91	39	1.75	N58E		53×34×○		
13		P－3	14	142	64	32	2.21	N17W		23×23×3他1		
14		Q－3	4	143	77	31	1.85	N24E			52×48×10	
15		Q－3	5	160	70	35	2.28	NS		30×28×10他1		
81－ 1	II aB	Q－3	7	123	83	37	1.48	N41W		31×29×6		
2		R－3	1	109	77	16	1.41	N76W		35×35×6		
3		R－3	2	146	78	24	2.10	N41E			61×35×○他1	
4		S－3	1	104	53	26	1.96	N25E		29×24×5他		
5		P－3	4	164	67	25	2.44	N65E		33×24×○		
6		N－4	4	130	70	33	1.85	N51W		31×25×6他1		
7		N－4	5	125	55	35	2.27	N44W		24×12×10		
8		N－4	7	131	67	41	1.95	N23E		34×31×18		
9		O－4	3	138	59	28	2.33	N30E		22×17×3		
10		O－4	5	83	58	31	1.43	N78W				
11		O－4	6	146	72	37	2.02	N80E		25×14×6		
12		O－4	10	114	52	34	2.19	N86W		28×26×15		
13		O－4	9	81	44	38	1.84	N36E			40×34×12	
14		P－4	1	164	79	34	2.07	N48W		22×21×○		
15		P－4	2	131	67	47	1.95	N74E			47×33×7	
16		P－4	4	127	68	25	1.86	N62W		34×32×2		
17		P－4	6	129	69	19	1.86	N81W		36×20×10		
18		P－4	7	144	64	18	2.25	N83E		27×26×2		
82－ 1	II aB	P－4	8	101	51	40	1.98	N74W		30×22×10	42×25×7	
2		Q－4	3	130	60	19	2.16	N86W		23×10×2他1		
3		T－4	1	92	60	20	1.53	N5W		27×17×○他		
4		Q－5	4	100	57	33	1.75	N63E	○			
5		T－4	2	222	146	26	1.52	N67E	○	16×9×○他	66×29×○他	
6		R－5	1	140	71	45	1.97	N22W		68×30×16		
7		S－5	1	95	79	22	1.20	NS			40×28×○	
8		S－5	5	157	106	16	1.48	NS			50×36×5	
9		W－5	1	106	73	23	1.45	NS			66×35×10	
10		N－6	5	109	45	53	2.42	N23E		17×15×25		
11		Q－6	4	132	96	38	1.37	N11E	○	24×16×○		
12		O－6	5	194	84	93	2.30	N52E	○		51×50×6	
13		Q－6	5	118	74	24	1.59	N81W	○	17×11×○		
14		S－6	1	131	73	25	1.79	N68W		31×30×1		
15		Q－6	6	252	104	36	2.42	N34E			41×17×○他	
16		S－6	2	79	61	32	1.29	N68W		8×6×3		
17		R－1	2	134	89	30	1.50	N69E		25×23×○他		
83－ 1	II aB	M－7	6	97	74	24	1.31	N44W	○			
2		U－6	5	215	126	34	1.70	N16E	○	23×18×○他	45×40×○	
3		R－6	8	207	71	29	2.91	N82W				
4		W－6	3	221	114	50	1.93	N85W	○		46×40×○	
5		U－6	3	106	75	30	1.41	N70W		13×11×○他		
6		Q－7	1	114	76	27	1.50	N73W		18×16×○		

土坑計測表－4

図面番号	類	区	土坑番号	長径 cm	短径 cm	深さ cm	長径 ÷短径	軸方向	内部 薩摩有	内部ピット 長×短×深cm	内部土坑 長×短×深cm	備考
83－ 7	II aB	R－7	3	132	97	16	1.36	N86W		22×18×○他1		礫あり
8		R－7	5	110	57	36	1.92	N S				
9		Q－7	1－②	109	68	33	1.60	N63E		22×20×10		土器あり
10		T－8	2	142	76	29	1.86	N86W	○			
11		T－9	4	115	95	29	1.21	N4W	○	17×17×○		
12		P－8	1	98	63	46	1.55	N38E		29×26×7		
13		R－11	2	169	84	34	2.01	N53E			78×76×○	
14		Q－10	4	106	65	68	1.63	N62W		35×20×20		
15		P－9	1－①	79	53	22	1.94	N16E				
		P－9	1－②	64	46	28	1.39	N16E	○			
16		Q－9	1	144	62	28	2.32	N74W		36×22×○	55×26×○	
		Q－9	2	141	67	20	2.10	N S				
84－ 1	II aB	P－1	5	119	87	26	1.36	N48W				礫あり
2	II aC	p－1	6	56	46	27	1.21	N42W	○			
3		M－2	1	86	67	25	1.28	N80W	○			
4		N－2	6	94	58	30	1.62	N69E	○			
5		P－2	13	140	69	32	2.02	N75E	○			
6		P－2	14	199	109	23	1.82	N50E	○			
7		N－7	5	93	64	30	1.45	N33W	○			
8		N－7	3	173	132	30	1.31	N4E	○			
9		O－7	6－①	148	60		2.46	N80E	○			
		O－7	6－②	33	32		1.03	N80E	○	18×12×○他3		
10		P－7	2	97	60	38	1.61	N76E	○			
11		Q－7	2－②	83	40	28	2.07	N80W				
12		T－7	1	180	82	25	2.19	N S				
13		N－8	3	137	80	28	1.71	N6E	○			
14		N－8	6	92	62		1.48	N66W	○	30×20×○他4		
15		O－8	3	150	73	26	2.05	N83E	○			
16		T－9	8	110	49	30	2.24	N79W	○			礫･土器あり
17		T－9	7	92	84	38	1.09	N71E	○			不整形黒曜石
		T－9	8	40	49	30	0.81	N79W				
18		T－10	1	172	109	29	1.57	N80W	○			
85－ 1	II aB	Q－1	2	106	55	22	1.92	N86E				
2		P－3	15	162	60	22	2.70	N4W				
3		Q－3	1	125	40	28	3.12	N33W				
4		R－2	5	65	23	12	2.82	N84W				
5		R－3	3	140	55	18	2.54	N19E				
6		T－3	1	266	55	25	4.83	N35E				
7		N－4	1	152	56	33	2.71	N83E				
8		T－4	3	171	60	21	2.85	N86W				
9		P－5	4	153	58	26	2.63	N71E				
10		N－5	2	180	60	36	3.00	N18W				
11		N－5	3	103	62	37	1.66	N42W				
		N－5	4	221	68	34	3.25	N47E				
12		R－6	1	114	43	22	2.65	N62E				
13		R－6	3	137	53	29	2.58	N11W				
14		V－6	1	171	40	18	4.27	N35E				
15		W－6	1	171	65	34	2.63	N75W				
16		Q－10	6	181	59	17	3.06	N40E				
86－ 1	II bB	S－2	5	79	27	14	2.92	N S		21×18×17他1		
2		P－3	3	107	59	8	1.81	N68E				
3		P－3	8	243	58	30	4.18	N4E		15×15×○	40×20×6	
4		S－3	3	147	56	30	2.62	N85E		46×42×2		
5		Q－4	2	206	74	14	2.78	N16E		23×22×4		
6		Q－4	7	161	49	27	3.28	N19E		32×35×13	40×31×4	
7		P－3	13	192	70	35	2.74	N35E		26×18×8		
8		Q－3	6	167	65	31	2.56	N S		25×19×○		
9		Q－4	4	199	64	13	3.10	N55W		19×18×7他1		
10		P－4	5	287	77	22	3.72	N74E			58×49×1	
11		M－4	1	180	68	40	2.64	N63W		23×17×4他1	53×27×11他	
12		S－5	4	187	66	23	2.83	N70W		39×29×7		

土坑計測表－5

図面番号	類	区	土坑番号	長径 cm	短径 cm	深さ cm	長径÷短径	軸方向	内部薩摩有	内部ピット 長×短×深cm	内部土坑 長×短×深cm	備考
87－ 1	ⅢA	O－2	2	112	62	25	1.80	N73W				
2		Q－2	3	105	52	24	2.01	N S				
3		P－5	6	134	120	22	1.11	N72E				
4		R－6	5	114	43	21	2.65	N8W				
5		O－4	4	132以上	76	31	2.60	N20E				
6		O－4	11	136	40	26	3.40	N72E				
7		S－5	2	263	80	16	3.28	N72E				
8		M－7	3	63	59	23	1.06	N16W				
9		V－8	4	133	77	26	1.72	N72E				
10		Q－11	2	101	97	8	1.04	N57E				
11		Q－10	1	196	75	33	2.61	N14W	○			
12		U－9	5	169	127	25	1.33	N10E				土器あり
13	ⅢB	Q－2	10	162	112	36	1.44	N81W	○	32×25×17他3		
14		T－1	2	213	58	82	3.67	N S		25×15×2	50×31×12	
15		P－3	2	137	56	31	2.44	N67W		16×15×4		
16		Q－9	5	124	83	15	1.49	N72W	○			
17		Q－6	7	141	65	33	2.16	N75W				
18		U－3	1	206	100	24	2.06	N36W			75×74×8	
19	ⅢC	O－7	3	100	74	30	1.35	N9W	○			
20		O－8	2	89	64	25	1.39	N3W	○			
88－ 1	ⅣA	O－2	1	101	75	27	1.34	N75W				
2		P－2	3	174	71	33	2.45	N S				
3		O－3	2	124	64	28	1.93	N66W				
4		T－3	6	156	68	24	2.29	N28E				
5		T－3	9	64	(40)	23	1.60	N85W				
6		O－4	1	98	71	26	1.38	N39E				
7		P－5	8	171	73	24	2.34	N49E				
8		S－6	3	83	78	27	1.06	N26E				499
9		S－5	3－②	338	118	14	2.86	N59E				
10		O－4	2	130	51	42	2.54	N52E				
11		O－7	2	127	86	26	1.47	N88W				
12		M－7	2	123	65	24	1.89	N78W				
13		S－7	1－③	113	88	40	1.28	N35W				
14		S－7	3－B	165	92	23	1.79	N70E				
15		S－7	2－②	184	124	21	1.48	N31E				礫あり
16		R－7	6	192	123	19	1.56	N57E	○			
		R－7	7	136	98	22	1.38	N37E	○			
17		S－7	3－A	190	148	49	1.28	N54E				
89－ 1	ⅣA	V－7	1	164	69	22	2.37	N44W				
2		M－8	5	222	77	37	2.88	N30E				
3		Q－8	1	153	68	15	1.73	N29W				
4		T－8	1	72	70	17	1.02	N43E				
5		M－8	6	102	98	23	1.04	N30W				
6		U－8	3	67	64		1.04	N14W				
7		U－8	1	158	127	21	1.24	N86W				
8		T－8	3	167	114	26	1.46	N11W				土器あり
9		S－8	2	170	119	23	1.42	N63E				
10		U－8	4	190	80	22	2.37	N2W				土器･礫あり
11		V－8	1	150	114	35	1.31	N45W				
12		V－8	2	145	130	24	1.11	N18W				
13		V－8	3	130	97	23	1.34	N83W				
14		V－8	6	123	107	27	1.14	N4W				
15		V－8	8	209	106	30	1.97	N75W				
90－ 1	ⅣA	W－8	1	144	67	33	1.24	N49W				
2		W－8	3	163	142	33	1.14	N81W				
3		W－8	2	103	96	27	1.05	N49W				
4		N－9	1－①	176	135	20	1.30	N9W				
5		Q－9	4	141	57	30	2.47	N16W	○			
6		P－9	1	166	130	7	1.27	N4W				
7		S－9	2	91	78	29	1.16	N78W				礫あり
8		U－9	7	113	90	20	1.25	N S				

土坑計測表−6

図面番号	類	区	土坑番号	長径 cm	短径 cm	深さ cm	長径 ÷短径	軸方向	内部 薩摩有	内部ピット 長×短×深cm	内部土坑 長×短×深cm	備考
90− 9	ⅣA	S−9	3	112	84	20	1.33	N84E				土器あり
10		U−9	3	178	108	21	1.46	N24E				128P
11		U−9	7	157	98	22	1.60	N75E				礫･土器あり
12		U−9	8	186	101	23	1.84	NS				礫･土器あり
13		V−9	1	119	93	20	1.27	N64W				土器あり
14		Q−10	2	113	67	28	1.68	N83E				土器あり
15		V−9	3	174	109	33	1.59	N85E				礫･土器あり
16		R−10	1	160	72	16	2.22	N61E				
91− 1	ⅣA	R−10	2	228	93	16	2.66	N40W				黒曜石
2		S−10	4	236	105	49	2.24	N84E				土器あり
3		T−10	2−②	152	69	28	2.20	N12E				
4		U−10	4	94	79	47	1.18	N46W				礫あり
5		S−10	3	150	139	29	1.07	N44E				土器あり
6		U−10	6	241	121	26	1.99	N69E				
7		U−10	3	82	75	31	1.09	NS				礫･土器あり
8		U−10	7	141	83	37	1.69	N39E				土器･礫あり
9		U−10	8	154	152	19	1.01	NS				土器･礫あり
10		R−11	6	180	53	26	3.39	N3E				礫あり
11		V−10	1	136	116	40	1.17	N17W				礫･土器あり
12		U−10	5	(62)	54	32	1.14	N11E				
13		S−11	1	111	74	25	1.50	N69W				
14		S−11	2	115	90	25	1.27	N86E				土器あり
15		S−11	4	250	75	22	3.33	N33E				礫あり
92− 1	ⅣA	S−11	3	170	80	22	1.12	N65E				
2		S−11	5	174	77	26	2.25	N8W				礫･土器あり 木炭
3		V−11	1	150	132	26	1.13	N74W			20×11×○	土器あり
4		T−11	4	210	76	17	2.76	N80W				土器あり
5		T−11	2	77	68	40	1.13	NS				
6		S−12	1	154	136	24	1.13	N59E				
7		R−12	1	207	103	30	2.00	N6E				
8		S−12	2	182	138	15	1.31	N47E				
9	ⅣB	S−2	8	91	28	17	3.25	N26W			41×16×9他1	
10		M−1	3	218	88	37	2.74	N59E	○	26×20×○	66×54×○	
11		P−2	7	222	94	68	2.36	NS	○			
		P−2	8	144	70	26	1.62	N55W		20×16×○他1		楕円
		P−2	9	108	72	26	1.50	NS				楕円
12		P−2	5	84	79	24	1.06	N24E		25×30×○		
13		R−2	3	130	74	29	1.75	N55E		21×20×○他		
93− 1	ⅣB	Q−2	5	226	196	24	1.15	N24E		32×26×○他1	46×26×4	
2		S−2	4	80	52	14	1.53	NS		25×21×○他1		
3		O−3	3	140	95	31	1.47	N27W				
4		Q−3	2	184	42	27	4.38	N75W		18×9×○		
5		R−6	4	145	70	21	2.07	N28E		15×11×○		
6		Q−6	1	142	68	54	2.08	N72E		22×19×○	47×32×○他	
7		U−6	6	(87)	66	15	1.31	N34W				
8		S−7	2	117	49	16	2.38	N50W				
9		N−8	4	87	57	34	1.52	N6W	○		50×42×12	
10		N−7	1	63	46	26	1.36	N66E				
11		U−6	4	(81)	80	19	1.01	NS				
12		R−7	1	58	56	30	1.03	N70E				
13		W−7	2	218	110	42	1.98	N49E		25×13×○		
14		W−7	1	249	104	32	2.39	N76E		30×29×13		
15		P−8	2	119	91	21	1.30	N44E		22×14×10		
16		V−8	5	306	106	51	2.88	NS		77×60×○		土器あり
94− 1	ⅣB	V−8	7	96	54	30	1.77	N85W				
2		S−9	1	105	77	93	1.36	N39E		9×8×○他	42×35×○他	礫あり
3		S−9	5	206	100	80	2.06	N14W			39×29×50	土器･礫あり
4		T−11	1	89	80	54	1.11	N13W		32×24×○		
5		U−8	2	141	85	24	1.65	N7E	○			礫あり
6		S−10	1	79	69	18	1.14	N64W				
7		U−10	2	95	59	28	1.61	N49E		30×28×○		

土坑計測表－7

図面番号	類	区	土坑番号	長径 cm	短径 cm	深さ cm	長径 ÷短径	軸方向	内部 薩摩有	内部ピット 長×短×深cm	内部土坑 長×短×深cm	備考
94－ 8		S－9	4	189	78	39	2.42	N44W		25×14×○他		土器･礫あり
9	ⅣB	V－9	2	146	73	27	2.00	N63W				
10		T－9	1	130	84	18	1.54	N80W				楕円
		T－9	2	304	264	38	1.15	N80E	○		46×44×○他	不整形
11		U－9	1	(117)	103	39	1.13	N54W				
95－ 1	ⅣC	S－4	1	139	131	25	1.06	N30E		25×13×○他		
2		N－2	5	256	158	36	1.62	N14W	○	30×24×16		
3		N－2	4	124	77	35	1.61	N33W	○			
4		N－4	1	160	137	24	1.16	N88E	○			
5		Q－5	3	159	139	32	1.14	N63E	○	30×22×6		
6		P－7	1	108	63	31	1.71	N65E	○			
7		O－7	1	144	72	39	2.00	N71E	○			
8		M－8	2	150	48	23	3.12	N70W	○			
9		N－7	2	102	80	25	1.27	N46E	○			
10		M－8	1	160	104	22	1.53	N63E	○			
11		M－8	3	200	89	33	2.24	N5W	○			
12		M－8	4	184	87	33	2.11	N82W	○			礫あり
13		N－8	5	127	80		1.52	N61W	○			
14		O－8	1	76	53		1.33	N86E	○			
15		O－8	2	118	36		3.27	N46E	○			
16		N－8	1，2	204	155	33	1.31	N12W	○	30×17×○		
17		P－8	1	152	64	31	2.37	N6E	○			
96－ 1	ⅣC	T－9	1	130	84	18	1.54	N80E		20×14×○		
2	ⅣC	Q－12	1	203	125	58	1.62	N62W				土器あり 木炭
3	VA	T－3	小溝3	180	33	28	5.45	N28W				楕円
4	VB	Q－6	7	712	136		5.23	N8E			68×33×○	不整形
5	VB	T－3	小溝1	170	22	20	7.72	N51E	○			楕円
6	VB	T－3	小溝2	173	22	20	7.86	N65E	○			不整形
7	VB	S－4	小溝1	200	36	26	5.55	N76E	○			長方形
8	VA	Q－4	小溝1	212	30		7.06	N81E				不整形
9	VA	P－4	小溝1	153	27		5.66	N80E				楕円
10	VA	O－4	小溝①	250	18		13.80	N74W	○	12×7×○		不整形
11	VB	O－4	小溝③	210	25		8.40	NS	○			不整形
12	VB	O－4	小溝②	337	32		10.50	N61E	○			不整形
13	VA	O－7		300	56	48	5.35	N36E				不整形

方形土坑計測表－1

図面番号	類	区	土坑番号	長径 cm	短径 cm	深さ cm	長径÷短径	軸方向	内部薩摩有	内部ピット 長×短×深cm	内部土坑 長×短×深cm	備考
98－ 1	1	S－2	5	260	250	18	1.04	N86W		16×14×○他	50×20×○他	
2		T－3	1	286	268	20	1.06	N19W		16×16×○他	42×32×○	
3		S－3	2	230	196	22	1.17	N88E		22×10×○他	116×100×○	礫あり
4		O－3	2	206	190	30	1.08	N33W				
5		O－3	2	206	190	30	1.08	N33W				
6		P－3	2	282	280	32	1.00	N67W	○	34×32×○	44×40×○	
		P－3	3	376	238	28	1.57	N24E	○	30×20×○他	70×44×○	
99－ 1	1	U－4	2	268	228	22	1.17	N13W	○	24×24×○他	64×32×○他1	
2		U－4	1	274	254	14	1.07	N71E		32×22×○他	86×54×○他	
3		T－4	1	236	222	24	1.06	N7W	○			
4		P－6	5	262	226	36	1.15	N66W	○		52×36×○他1	
5		W－6	1	274	270	28	1.01	NS	○	22×10×○他1		
6		N－5	2	184	168	18	1.09	N11W	○	32×22×○他1	58×34×○	
7		T－5	1	204	190		1.07	N80W	○			
8		U－5	1	294	254	36	1.15	N30E		36×26×○他	100×58×○他	
100－ 1	1	P－6	4	294	262	22	1.12	N78W	○	30×26×○	44×22×○他	
2		Q－6	1	212	202	26	1.04	N69W	○	24×20×○	44×40×○他	
3		V－6	1	334	324	38	1.03	NS	○	32×18×○他	120×118×○他	
4		Q－7	3	223	207	20	1.07	N45E			92×56×○	
5		R－7	2	231	221	17	1.04	N31W	○			
6		N－7	1	220	188	20	1.17	N25W	○			
7		P－7	1	196	184	12	1.06	N72E	○	28×28×○他1	40×30×○	
8		R－9	2	213	203	18	1.04	NS	○			土器･礫あり
101－ 1	2	M－6	1	356	330	12	1.07	N72W	○	26×26×○他	90×32×○他	
		M－6	2	310	290	30	1.06	N84W		32×26×○	70×20×○	
2		N－6	2	246	218	38	1.12	N25W		22×18×○	60×34×○他	
102－ 1	2	Q－1	1	152	91	28	1.67	N57W	○			
2		Q－1	2	175	108	30	1.62	N62E			55×53×9他1	
3		Q－1	3	276	198	84	1.39		○	20×12×○	120×82×52他	
4		R－1	2	252	204	16	1.26	N44E	○	34×26×○他	48×42×○他	
5		S－1	1	186	148	40	1.25	NS		22×20		
6		T－2	1	204	98	32	2.08	N4E	○	14×10×○他1	46×38×○他1	
7		T－2	2	370	142	34	2.60	N65E		38×18×○他1	68×44×○	
8		Q－2	1	193	120	10	1.60	N18W	○	32×28×○他1	46×44×○他1	
103－ 1	2	S－2	3	256	242	30	1.05	N79W		28×36×○他	52×44×○他1	
		S－2	4	236	186	16	1.26	N79W		28×26×○	54×48×○他1	
		S－2	8	300	276		1.08	N47E		28×26×○他1	70×56×○他	
2		S－2	2	180	140	20	1.28	N87E				
3		R－2	1	150	148	22	1.01	N67E	○	32×18×○他1	40×24×○他1	
		R－2	2	276	240	34	1.15	N30E	○	22×18×○	60×34×○他	
4		N－4	5	274	116	38	1.26	N80W	○	26×18×○他	50×30×○他	
		N－4	3	250	160	44	1.56	N88W	○		110×66×10	
		N－4	1	386	282	54	1.35					
5		P－3	1	294	226	18	1.30	N21E	○			
		P－3	4	120	62	40	1.93					土坑
104－ 1	2	T－3	2	324	240	30	1.20	N79E	○		60×58×○他	
2		N－3	1	248	106	46	2.33					
3		N－4	5	274	216	38	1.26	N80W	○	26×18×○他	50×30×○他	
		N－4	6	274	216	38	1.26					
4		N－4	3	250	160	44	1.56	N88W	○		110×66×10	
		N－4	4	268	234	32	1.14	N42W	○	12×10×○他	48×46×○	
5		N－6	1	168	132	40	1.27	N33E		28×26×14		
6		R－5	1	266	210	20	1.26	N62E		26×22×○		
105－ 1	2	T－4	2	430	252	32	1.70	NS	○	28×28×○		
2		O－4	1	368	272	26	1.35	N86E	○		42×42×○他	
3		S－6	1	221	135	26	1.63	N53W				
4		N－5	1	280	230	28	1.21	N78E	○	20×18×10	60×62×○	
5		T－5	1	406	308	30	1.31	N8E	○			土器･礫あり Ob
6		P－6	3	228	138	21	1.65	NS			72×52×○他	
106－ 1	2	N－5	3	420	270	36	1.55	N23W	○		94×66×○他	
2		R－6	1	334	238	26	1.40	N15E	○	32×30×○他1		

方形土坑計測表－2

図面番号	類	区	土坑番号	長径 cm	短径 cm	深さ cm	長径÷短径	軸方向	内部薩摩有	内部ピット 長×短×深cm	内部土坑 長×短×深cm	備考
106－ 3	2	V－5	1	342	240	24	1.42	N23E		26×24×○他	58×36×○他	
4		U－6	1	362	238	26	1.52	N24E		26×18×○	74×58×○他	
5		P－6	1	396	338	30	1.17	N70E	○	86×16×○他		礫あり
		P－6	2	324	300	20	1.08	N40E	○			礫あり
6		P－7	3	244	120	12	2.03	N S	○			
7		P－7	2	174	110	28	1.58	N5E	○	26×14×○	42×42×○	
107－ 1	2	R－6	2	334以上	208	16	1.60	N S	○	20×16×○他	102以上×50×○	
		R－6	3	288	186	28	1.54	N S	○	24×16×○他		
		R－6	4	230	190	30	1.21	N36E	○	24×20×○他	40×32×○	
		R－7	1	264	200	26	1.32	N74E	○			
2		Q－7	1	294	135	22	1.43					
3		U－6	2	310	258	18	1.20	N4E		26×24×○他	58×36×○他	
4		Q－7	2	222	210	36	1.05	N49E	○	34×30×○他		
5		R－7	1	264	200	26	1.32	N74E	○			
6		S－8	1	289	232	14	1.24	N87E	○			
7		T－8	1	378	220	48	1.75	N S				
108－ 1	2	T－9	2	496	340	108	1.45	N51E	○	18×16×○他	50×44×○他	
2	3	N－4	2	244	154	42	1.58	N11E	○	22×12×○		
3		S－2	6	120	102		1.17	N81W		36×30×○他		
		S－2	7	123	108	7	1.13	N41E		15×9×○他1	40×33×○他	
4		P－1	1	220	170	33	1.73	N64E	○	34×26×○他	60×36×○	
5		S－3	1	240	200	30	2.10	N7E	○	30×22×○他1	110×84×○他1	
6		O－3	3	272	240	20	1.13	N12W	○		80×62×12	
109－ 1	3	O－3	1	198	172	24		N12E	○		40×28×○他1	
2		O－4	3	350	220	34	1.59	N72E	○	36×28×○他		
3		N－5	4	314	290	24	1.08	N46E	○		50×44×○他1	
4		P－4	1	262	252	40	1.03	N20E	○	28×24×○他1	70×64×4他	
5		R－5	2	388	146	24	2.65	N68E	○		40×36×○他1	
6		O－5	1	300	252	36	1.19	N85E		30×22×○	98×92×○	
7		R－7	3	328	102	26	3.21	N66W	○			
110－ 1	3	O－4	2	113	82	21	1.37	N26W		28×26×○他		
2	4	Q－5	2	256	246	24	1.04	N38E	○	36×32×○	62×50×18	
3		Q－5	1	312	256	24	1.21	N75W	○	30×20×○		
4		R－8,9	1	302	276	14	1.09	N 6 W	○			
5		T－8	2	428	192	26	2.22	N S	○	16×16×○	60×26×○他	
		T－8	3	266	204	34	1.10	N S	○		60×50×○	土器･礫あり
6		P－8	1	392	232	30	2.37	N24E	○			
111－ 1	4	O－7	1	286	180	40	1.58					(大型土坑)
2		T－8	2	428	192	26	2.22	N S	○	16×16×○	60×26×○他	
3	5	P－5	1	582	112	34	9.19	N82E	○			
4		T－9	4	261	173	29	1.50	N89E		25×30×○他	61×34×○他	

Ⅲ層埋土ピット 計測表

ピット番号	区	長　径 cm	短　径 cm	深　さ cm	備考	番号	区	長　径 cm	短　径 cm	深　さ cm	備考
1	Ｓ－７	２７	１８	１４		16	Ｒ－７	３６	３４	１９	
2	〃	２８	２８	１６		17	〃	３２	２６	１７	
3	〃	３４	３２	１９		18	〃	３４	３２	２６	
4	Ｒ－７	３２	３０	１５		19	Ｓ－７	２４	２０	１５	
5	Ｓ－７	３８	２８	１７		20	Ｒ－７	２６	２０	２６	
6	Ｒ－７	３６	１６	２２		21	〃	３０	２０	２１	
7	〃	４０	２８	２３		22	Ｓ－８	２６	２０	２０	
8	Ｓ－７	３６	２６	２５		23	〃	４０	３２	３０	
9	〃	２８	２４	７		24	〃	２６	２０	１８	
10	〃	２２	１８	１５		25	〃	２４	１６	２５	
11	〃	４０	３６	１６		26	〃	４０	３８	１４	
12	〃	３０	２２	１８		27	〃	３２	２８	１１	
13	Ｒ－７	３６	３２	２０							
14	〃	２０	２０	１８							
15	〃	２２	２０	１７							

Ⅲ層埋土土坑（個別） 計測表

土坑番号	区	長 径 cm	短 径 cm	深 さ cm	軸方向	類	番号	区	長 径 cm	短 径 cm	深 さ cm	軸方向	類
1	O-8	66	58	22	N50W	ⅠA	23	V-7	114	64	22	NS	ⅡB
2	O-8	64	64	16	N73E	〃	24	T-8	194	88	60	N68E	〃
3	U-11	74	64	66	NS	〃	25	V-9	168	110	40	N88E	〃
4	U-11	86	80	44	NS	〃	26	U-9	120	91	42	N14E	〃
5	Q-2	112	88	140	N5E	〃	27	Q-10	104	64	70	N83E	〃
6	O-7	94	84	28	NS	ⅠB	28	V-7	120	70	62	N56W	ⅢB
7	N-8	98	86	42	N36W	〃	29	O-8	194	66	18	N20E	〃
8	T-11	72	72	－	N64E	〃	30	O-3	144	84	－	N49W	ⅣA
9	T-8	（５８）	（５０）	28	N78W	〃	31	P-8	144	86	24	N11E	〃
10	O-3	146	84	34	N74E	ⅡA	32	P-10	166	118	24	N23W	〃
11	Q-6	（６４）	（４６）	18	N56E	〃	33	P-10	166	118	24	N60E	〃
12	O-7	122	54	14	N40W	〃	34	O-8	66	56	10	N40W	ⅣB
13	S-9	90	58	72	N25E	〃	35	S-8	74	56	64	NS	〃
14	U-7	70	44	114	N49W	〃	36	S-9	182	114	42	N23E	〃
15	S-10	94	56	76	N28W	〃	37	V-7	308	278	－	N13E	〃
16	Q-6	124	38	16	N68E	ⅡB	38	O-8	220	58	32	N30W	〃
17	P-10	122	90	20	N37W	〃	39	N-5	80	58	36	N64E	〃
18	U-8	134	68	36	NS	〃	40	O-7	162	88	28	N28W	〃
19	O-7	92	62	28	N78E	〃	41	N-7	120	102	30	N70W	〃
20	O-7	86	60	30	N58E	〃	42	Q-2	112	88	140	NS	ⅠB
21	O-7	92	64	46	N85E	〃	43	U-9	118	120	51	N83E	ⅡB
22	O-8	88	60	24	N88E	〃							

Ⅲ層埋土土坑（複合）計測表

土坑番号	区	長 径 cm	短 径 cm	深 さ cm	軸方向	類	番号	区	長 径 cm	短 径 cm	深 さ cm	軸方向	類
1	Q-8.9	64	38	18	N69E	ⅡA	10	N-5.6	178	68	10	N25W	ⅡA
2	Q-8.9	100	42	16	NS	ⅡB	11	N-5.6	154	66	8	N28W	ⅣA
3	Q-8.9	34	32	30	NS	ⅠB	12	N-5.6	36	26	6	N51E	ⅡA
4	Q-8.9	60	26	14	N50W	ⅡB	13	N-5.6	26	26	10	NS	ⅠA
5	Q-8.9	184	172	16	N33W	ⅣB	14	N-5.6	18	18	14	NS	ⅠA
6	Q-8.9	100	52	20	N64E	ⅡA	15	N-5.6	26	22	14	NS	ⅠA
7	O-8.9	46	32	8	N65W	ⅡA	16	O-6	80	46	8	NS	ⅡA
8	Q-8.9	28	24	2	N65W	ⅠA	17	Q-6	92	52	12	NS	ⅡB
9	Q-8.9	66	28	14	N40W	ⅡA							

道跡　計測表

道跡番号	区	最小幅～最大幅	長　　さ	比高差	備考	番号	区	最小幅～最大幅	長　　さ	比高差	備考
		cm	cm	cm				cm	cm	cm	
1	NO-5.6	６０～１５０	3200	90		11	PR-1.3	２０～　８０	300	15	
2	NO-5.6	５０～　９０	560	45		12	PQ-5	１２０～１４０	900	160	
3	NO-5.6	４０～　５０	310	25		13	N-7	７０～　８０	800	340	
4	NO-5.6	１０～　４０	140	5		14	N-7	８０～１６０	160	40	
5	NO-5.6	３５～　８５	1390	75		15	OR-1.6	８８０～１６４０	7480	320	
6	NO-5.6	４０～　６０	630	40		16	MO-4.5	２２０～４２０	3030	20	
7	NO-5.6	１５～　５５	2020	35		17	MO-6.7	２２０～３２０	2360	20	
8	NO-5.6	１０～　６０	880	5		18	W-7.9	１２０～８２０	1520	110	
9	PR-1.3	５０～１５０	2510	45		19	W-7.9	３３０～５７０	210	20	
10	PR-1.3	７０～　８０	1340	40							

溝跡　計測表

溝跡番号	区	最小幅～最大幅	長　　さ	比高差	備考	番号	区	最小幅～最大幅	長　　さ	比高差	備考
		cm	cm	cm				cm	cm	cm	
1	NO-5.6	２８０～５００	1884	440		3	PQ-5	３８０～４８０	402	160	
2	PQ-5	２６０～４００	812	220		4	PQ-5	２８０～３４０	1810	100	

Ⅱ層埋土土坑

土坑番号	区	長　　径	短　　径	深　　さ	備考	番号	区	長　　径	短　　径	深　　さ	備考
		cm	cm	cm				cm	cm	cm	
1	N-6.7	615	465	60		3	N-6.7	（１９０）	160	66	
2	N-6.7	310	140	70							

土器観察表－1

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
63	3	606	埋土	2住		深鉢	胴部		2.2	黄褐色/黄褐色	条痕/ケズリ	良好	Ho・F・Q	外面:煤付着
	4	598	7	3住下		深鉢	胴部		3.1	黄褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ	粗	Hy・F・Q	
	5	599	9	3住下		深鉢	胴部		3.2	褐色/褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	6	597	15	3住		深鉢	胴部		3.2	黄褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ?	良好	Ho・F・Q	赤色顔料付着?
	7	581	8	4住		深鉢	胴部		2.6	褐色/褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	8	600	8	3住下		深鉢	胴部		2.2	褐色/灰褐色	条痕・刺突/ケズリ?	良好	Hy・F・P	
	9	384	15	4住		深鉢	胴部		2.9	黒褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
	10	573	10	4住		深鉢	胴部		2	褐色/褐色	条痕/ケズリ	良好	F	外面摩滅
	11	290	4	4住	Ⅴ	深鉢	底部	13	5.2	褐色/褐色	刺突・刻目/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	12	576	18	4住		深鉢	胴部		2.3	褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
	13	575	20	4住		深鉢	胴部		3.3	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q・P	
	14	645	7043	U-11住内	Ⅴ	深鉢	胴部		2.1	褐色/黒褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F	
	15	578	16	4住		深鉢	胴部		2	褐色/褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	16	647	7044	U-11住内		深鉢	胴部		1.5	褐色/褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	17	385	1	5住		深鉢	胴部		4.3	黒褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・P	外面:煤付着
	18	580	50	4住		深鉢	胴部		3.1	褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	19	579	2	4住下		深鉢	胴部		2.1	褐色/黒褐色	押引/ケズリ	良好	F	
	20	583	30	5住		深鉢	胴部		3.2	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	21	386	4	5住		深鉢	胴部		4.1	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
	22	388	15	5住		深鉢	胴部		3.3	暗褐色/褐色	条痕/ケズリ・研磨	良好	Hy・F・Q	
	23	387	18	5住		深鉢	胴部		3.6	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	24	587	23	5住		深鉢	胴部		2.3	褐色/褐色	ナデ/ケズリ	良好	F	
	25	592	21	5住		深鉢	胴部		2.3	暗褐色/褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	26	588	32	5住		深鉢	胴部		2.1	褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	27	586	22	5住		深鉢	胴部		2.3	明褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	28	584	9	5住		深鉢	胴部		3	明褐色/暗褐色	?/ケズリ	良好	F・Q	外面摩滅
	29	591	20	5住		深鉢	胴部		2.5	暗褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	30	585	2	5住		深鉢	胴部		2.3	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	31	635	11	6住		深鉢	口縁部		2.7	黒褐色/黒褐色	ナデ・条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F	
	32	629	7	6住		深鉢	胴部		2.1	明褐色/褐色	条痕/ナデ?	良好	Hy・F・Q	
	33	637	17	6住		深鉢	胴部		1.4	黒褐色/黒褐色	条痕/	良好		
	34	628	6	6住下		深鉢	胴部		2.3	褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q・P	
	35	382	40	6住		深鉢	胴部		6	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	36	383	33	6住		深鉢	胴部		4.8	黒褐色/灰褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	37	641	25	6住		深鉢	胴部		3.3	明褐色/黒褐色	条痕/	良好	Hy・F・Q	
	38	636	13	6住		深鉢	胴部		2.6	黒褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	39	634	10	6住		深鉢	胴部		3.2	黄褐色/黄褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	40	632	1	6住		深鉢	胴部		2.9	褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	41	633	3	6住		深鉢	胴部		2.5	黒褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	42	639	21	6住		深鉢	胴部		1.4	黒褐色/黒褐色	ナデ・条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	43	281	36	6住		深鉢	底部	8.4	3.5	褐色/底　暗褐色・側　黒褐色	側　刺突・条痕　底　ナデ/側　ケズリ　底　ナデ	良好	Hy・F・Q	
	44	625	4	6住		深鉢	底部	9.8	1.4	暗褐色/明褐色	条痕・ナデ・刻目/側　ケズリ　底　ナデ?	良好	Hy・F・P	
64	45	136	3	7住		深鉢	口縁部		3.1	暗褐色/褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・Ho・Q	
	46	121	6560	7住	Ⅴ	深鉢	口縁部		5	褐色/褐色	ナデ・ナデ/ケズリ・ミガキ			
	47	389	6	8住下		深鉢	口縁部		4.3	暗褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ	良好		
	48	607	6	7住		深鉢	胴部		2.8	褐色/褐色		良好	Hy・F・Q	
	49	717	6	8住下		深鉢	口縁部		1.9	暗褐色/褐色	刺突・ナデ/ミガキ	良好	Hy・F	
	50	668		8住埋土		深鉢	胴部		3.2	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	51	671	3	8住下		深鉢	胴部		3.5	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
	52	670	2	8住下		深鉢	胴部		2.1	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	F	
	53	674	5	8住	下層	深鉢	胴部		3.1	暗褐色/明褐色	ナデ?/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
	54	608	7	7住		深鉢	胴部		2.4	明褐色/暗褐色	刺突・刻目・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	55	311	3486	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴～底部	底5.8	6.8	褐色/褐色	(胴)刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ(底)ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	56	398	26	9住		深鉢?	口縁部		4	明褐色/明褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ・ケズリ?	良好	Hy・F・Q・P	
	57	687	14	9住下		深鉢	口縁部		2.8	褐色/褐色		良好	Hy・F	
	58	695	1	7住下		深鉢	口縁部		2.2	暗褐色/明褐色	刺突・条痕・ナデ/ナデ	粗	Hy・F	
	59	612	9	9住			胴部		2.6	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	60	397	14	9住		深鉢	胴部		3.9	明褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	61	623	27	9住		深鉢	胴部		1.9	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	62	393	3	9住下		深鉢	胴部		2.7	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・P	

土器観察表－2

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
64	63	394	12	9住下		深鉢	胴部		3	暗褐色/明褐色	条痕/ケズリ	粗	Hy・F・Q・P	
	64	610	7	9住			胴部		3.6	褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Ho・F・Q	赤色顔料塗付
	65	609	2	9住			胴部		3.9	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ	良好	Ho・B・F・Q	
	66	391	7	9住下		深鉢	胴部		2.8	暗褐色/暗褐色	刺突・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	外面：煤付着
	67	620	20	9住			胴部		2.9	褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	68	678	2	9住下		深鉢	胴部		2.6	明褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	69	615	11	9住			胴部		2.5	黄褐色/黒褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	70	613	1	9住		深鉢	胴部		3.3	暗褐色/黒褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	71	618	18	9住			胴部		2.4	褐色/褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	72	622	23	9住			胴部		3.1	灰褐色/黒褐色	ナデ/ケズリ	良好	F・Q	
	73	686	13	9住下		深鉢	胴部		1.8	暗褐色/暗褐色	不明/不明	粗	F	
	74	683	10	9住下		深鉢	胴部		1.4	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	粗	F・Q	
	75	679	3	9住下		深鉢	胴部		1.8	黒褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	F	
	76	680	3	9住下		深鉢	胴部		1.4	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	粗	F	
	77	685	11	9住下		深鉢	胴部		1.4	暗褐色/明褐色	不明/不明	良好	Hy・F	
	78	684	10	9住下		深鉢	胴部		1.8	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	79	396	29	9住		深鉢	胴部		9	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	80	672	6	8住下		深鉢	胴部		3.4	暗褐色/暗褐色		良好	Hy・Q	
	81	80	15	9住		深鉢	底部	底8.3	2.25	暗褐色/黒褐色	底　ナデ・条痕文/ナデ		Q	
	82	611	9	9住			胴部		3.2	黄褐色/黒褐色	刺突・刻目/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F・Q	
	83	390	9	9住下		深鉢	底部		4.6	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	粗	Hy・F・Q・P	
73	88	115	集12	Q-12	Ⅴ	深鉢	口縁部		6.2	暗褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	89	657	1	3連土		深鉢	胴部		3.4	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	90	658	2	3連土		深鉢	胴部		2.2	褐色/褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	91	665	7	3連土		深鉢	胴部		3.2	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	92	659	3	3連土		深鉢	胴部		2.9	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F	
	93	661	4	3連土		深鉢	胴部		2	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	94	663	4	3連土		深鉢	胴部		1.8	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	95	335	3土1	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部		7.4	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	96	129		南北土手	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.9	褐色/褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	97	656	6	14土	Ⅲ	深鉢	胴部		3	褐色/褐色	条痕/ケズリ	粗	Hy・F・P	
	98	654	4	14土	Ⅲ	深鉢	胴部		3.7	明褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
	99	650	2	13土	Ⅲ	深鉢	胴部		1.7	黒褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
	100	649	1	13土	Ⅲ	深鉢	胴部		3.6	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
	101	550	1	N4土	Ⅴ		底部	底10.6	1.6	黄褐色/明褐色	/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	102	651	3	13土	Ⅲ	深鉢	胴部		2.2	黄褐色/暗褐色	/ケズリ	良好	Hy・Ho・F	
	103	*603	5	土坑5T-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.2	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
	104	*607	8	土坑5T-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		3	黒褐色/黄褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F・Q	
	105	*602	11	土坑5T-8	Ⅴ	深鉢	底部	底10	4.4	暗褐色/黒褐色	押圧・刻目/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	外面：煤付着
	106	*606	9	土坑5T-8	Ⅴ	深鉢	胴部		2.7	褐色/褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	107	*601	2	土坑7T-9	Ⅴ	深鉢	胴部		4	暗褐色/褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	F・Q・P	
	108	123	横転集87	Q-12	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.9	黒褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ・ナデ	良好		
	109	400	1土2	V-10	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.7	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好		
	110	196	3土2	V-9	Ⅴ		口縁部		1.9	明褐色/明褐色	刺突・ナデ/キザミ・ナデ	良好		
	111	107	4土1	U-8	Ⅴ		底部	底9.2	3.9	明褐色/暗褐色	条痕・刻目/ケズリ	良好		
	112	J1	5土1	U-9	Ⅴ		胴部		3.7	暗褐色/黒褐色	/ナデ	良好		
	113	351	5土4	S-11	Ⅴ		胴部		5.8	黒褐色/暗褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好		
112	115	549	2-8	T-8方土	Ⅴ	円筒	口縁部		5.9	黒褐色/黒褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	116	558	2-9	T-8方土	Ⅴ	円筒?	口縁部		4	明褐色/明褐色	刺突・ナデ/ミガキ	良好	Hy・F・Q・P	
	117	553	2-12	T-8方土		不明	口縁部		1.7	明褐色/明褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	118	644	7130	T-8方土	Ⅴ	円筒	胴部		2	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	119	570	方土1-1	S-2		深鉢	胴部		2.3	暗褐色/暗褐色	条痕・ナデ/ケズリ	良好	Hy・Q	外面：煤付着
	120	557	方土2-1	T-3		深鉢	胴部		3.9	褐色/褐色	刺突/ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	121	551	2-1	T-8方土	Ⅴ	円筒	胴部		3.9	黄褐色/褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	122	694	6	S-9方土	Ⅰ	円筒	胴部		3.1	暗褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	外面：煤付着
	123	395	5	S-9方土下		円筒	胴部		4.1	暗褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q・P	
	124	690	1	S-9方土	Ⅰ	円筒	胴部		2.3	黒褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	125	392	2	R-9方土下	Ⅰ	円筒	胴部		3.8	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	126	554	2-3	T-8方土	Ⅴ	円筒	胴部		2.8	暗褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・P	

土器観察表－3

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
112	127	561	2-4	T-8方土	Ⅴ	不明	胴部		2.8	暗褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・P	
	128	565	2-2	T-8方土	Ⅴ	角筒?	胴部		3.5	黒褐色/暗褐色	刺突・ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	129	556	2-7	T-8方土	Ⅴ	円筒	胴部		3.1	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・P	
	130	559	1	03P3方1南西土	Ⅰ	甕?	胴部		2.1	黄褐色/黄褐色	ナデ/ナデ・ユビオサエ	良好	Hy・F・Q	
	131	691	1	S-9方土下	Ⅴ	円筒	胴部		2.9	暗褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	132	567	2	T-3方土南東	Ⅴ上	円筒	胴部		3.5	明褐色/黒褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	133	569	1-1	T-5方土		不明	胴部		2.5	褐色/明褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	134	568	1-3	U-5方土	Ⅴ	不明	胴部		3.4	暗褐色/黄褐色	押圧/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・F・Q・P	
	135	562	1-2	U-5方土	Ⅴ	不明	胴部		2.9	明褐色/黄褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	136	692	4	S-9方土下	Ⅰ	不明	胴部		2	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	137	555	1-1	U-5方土	Ⅴ	円筒	胴部		9.5	明褐色/明褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	外面:煤付着
	138	560	2-1	T-4方土	Ⅴ	不明	胴部		1.9	黄褐色/暗褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	139	552	2-8	T-8方土	Ⅴ	円筒	底部		2	黄褐色/暗褐色	ナデ・刻目/ケズリ　底部　ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	140	566	1-4	T-5方土		不明	胴部		1.8	暗褐色/黒褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	141	571	2-5	T-8方土	Ⅴ	円筒	底部付近		1.7	明褐色/暗褐色	ナデ・刻目/不明	良好	Hy・F・Q・P	
	142	564	1-1	T-3方土		円筒	底部	5.5	2.2	明褐色/明褐色	刻目・ナデ/ケズリ・ナデ　底部　ナデ/ナデ	良好	Hy・Q・P	
119	143	Z-1	3080	U-11	Ⅳ	深鉢	口縁付近		2.7	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ		F・Q・R	
	144	208	7235	R-7	Ⅳ	深鉢	胴部		14	暗褐色/黒褐色	条痕/ナデ・ケズリ	良好	F・Q・R	
			6399	U-11	Ⅳ									
			8361	S-10	Ⅷ									
	145	Z-2	8377	S-10	Ⅴ	深鉢			3.3	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ		F・Q・R	
	146	Z-3	785	S-10	Ⅳ	深鉢			2.5	褐色/黒褐色	条痕/ケズリ		F・Q・R	
	147	235	6829	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部		5.9	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q・R	
			8363	S-10	Ⅷ									
	148	246	764	S-10	Ⅳ	深鉢	胴部		5.8	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q・R	
			6541	S-11	Ⅴ									
			3上1	S-10	Ⅴ									
	149	244	1620	T-10	Ⅲa	深鉢	胴部		3.8		条痕/ケズリ・ナデ	良好	F・Q・R	
	150	245	839	S-10	Ⅳ	深鉢	胴部		4.8	明褐色/黒褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	F・Q・R	
120	151	6	1506	T-11	Ⅳ	深鉢	完形	口16.2	37.9	赤褐色/赤褐色		良好	Hy・F・Q	
								底12.5						
	152	56	546	S-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		16.4	黄褐色/黄褐色	刺突	良好	Hy・Ho・F・Q	
			6612	T-11	Ⅴ						条痕・ナデ/ケズリ・ナデ			
			586	T-11	Ⅳ									
	153	254	7720	R-12	Ⅴ	深鉢	胴部		8.6	明褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	154	72	5723	R-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		7	黄褐色/黄褐色	刺突・ナデ/ミガキ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	155	96	2048	U-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		5.1	明褐色/黄褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			2028	U-9	Ⅳ									
	156	448	2046	U-9	Ⅳ	深鉢	胴部		6.7	明褐色/明褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
121	157	71	4515	Q-11	Ⅳ	深鉢	口縁～胴部	口20	9.6	黄褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
			8366	S-10	Ⅷ									
			8367	S-10	Ⅷ									
	158	255	3841	R-9	Ⅳ	深鉢	胴部	18.8	9.6	灰褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
			5703	Q-10	Ⅳ									
			5728	Q-10	Ⅳ									
	159	300	1243	S-9	Ⅳ	深鉢	胴～底部	底17.0	8.4	明褐色/灰褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
			1242	S-9	Ⅴ									
			5672	S-9	Ⅴ									
			6877	T-12	Ⅴ									
			6927	S-9	Ⅴ									
	160	264	6651	S-10	Ⅴ	深鉢	胴部	口20	14.2	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
			779	S-10	Ⅴ									
			6576	S-11	Ⅴ									
	161	268	6613	T-12	Ⅴ	深鉢	胴部	19.2	9.6	灰褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	162	176	2191	T-12	Ⅳ	深鉢	口縁部	口20	6.1	黄褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
			2192	T-12	Ⅲa									
	163	70	3361	R-11	Ⅲa	深鉢	口～胴部	口20	7.6	灰褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
			4349	R-11	Ⅲa									

土器観察表－4

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
			5453	R-11	Ⅴ									
			2818	R-11	Ⅱa									
			7618	Q-12	Ⅴ									
	164	161	6610	T-12	Ⅴ	深鉢	口縁部	口20	7.6	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	165	185	1410	V-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.6	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
122	166	79	2134	S-12	Ⅳ	深鉢	口縁部	口20.2	10.6	黄褐色/明褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			4791	S-12	Ⅳ									
			4792	S-12	Ⅳ									
			3304	R-12	Ⅲa									
			7419	R-12	Ⅲa									
	167	252	7413	R-12	Ⅴ	深鉢	胴部	20	9.9	暗褐色/暗褐色	ケズリ/条痕	良好	Hy・F・Q・P	
	168	57	7735	R-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		15	黄褐色/黄褐色	条痕/ミガキ・	良好	Hy・F・Q・P	
	169	85	3911	P-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		6.8	黄褐色/黄褐色	ナデ/ミガキ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	170	*500	7733	R-11	Ⅴ	深鉢	胴部	17.8	10	暗褐色/明褐色	条痕	良好	Hy・F・Q・P	
			7449	R-11	Ⅴ									
			7581	R-11	Ⅴ									
			7447	R-11	Ⅴ									
			7580	R-11	Ⅴ									
	171	445	6581	S-11	Ⅴ	深鉢	胴部	15.2	8.6	黒褐色/暗褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	172	69	6825	S-9	Ⅴ	深鉢	口縁部	19	12	黄褐色/黄褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			6686	S-9	Ⅴ									
			6848	S-9	Ⅴ									
			6689	S-9	Ⅴ									
	173	62	2253	S-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.8	黄褐色/黄褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			4383	R-11	Ⅳ									
	174	64	6856	S-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		6.9	黄褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			6858	S-9	Ⅴ									
123	175	108	7384	R-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		6.8	暗褐色/明褐色	刺突・貝条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
			4372	R-11	Ⅳ									
			2911	R-11	Ⅲa									
	176	*485	6631	S-11	Ⅴ	深鉢	胴部		4.2	黄褐色/黄褐色	刺突/	良好	Hy・Q・砂粒	
			6518	S-11	Ⅴ									
	177	*387	2878	R-11	Ⅲa	深鉢			3.2	暗褐色/明褐色	刺突/	良好	Hy・Q・砂粒	
			1247	R-11	Ⅳ									
	178	*393	2847	R-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		2	黄褐色/黄褐色	刺突/	良好	Hy・Q・砂粒	
	179	*431	7394	R-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		2	明褐色/明褐色	刺突/	良好	Hy・Q・砂粒	
	180	*502	2910	R-11	Ⅲa	深鉢	胴部		3.2	黄褐色/黄褐色	刺突/	良好	Hy・Q・砂粒	
	181	*496	2890	R-12	Ⅲa	深鉢	胴部		2.5	明褐色/明褐色	刺突/	良好	Hy・Q・砂粒	
	182	*497	7745	R-11	Ⅴ	深鉢	胴部		2	明褐色/明褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Q・砂粒	
	183	86	625	S-11	Ⅳ	深鉢	胴部		5.7	暗褐色/明褐色	刺突(タテ・ナナメ)・条痕/	良好	Hy・Ho・F・Q	
	184	*551	3937	Q-9	Ⅰ	深鉢	胴部		9.2	暗褐色/黒褐色	刺突/	良好	Hy・Ho・F・Q	
			3845	R-9	Ⅳ									
	185	370	255	12T	Ⅴ	深鉢	胴部			暗褐色/黒褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			248	12T	Ⅴ上									
			256	12T	Ⅴ									
	186	440	7180	S-10	Ⅴ	深鉢	胴部	10.8	6.8	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	187	58	6607	T-11	Ⅴ	深鉢	口～胴部		17	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ナデ・ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			6608	T-11	Ⅴ									
			5326	R-8	Ⅴ									
	188	87	1859	U-8	Ⅳ	深鉢	口縁部		7.5	暗褐色/褐色	条痕・刺突/ミガキ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			5126	U-8	Ⅴ									
			2350	U-8	Ⅲa									
			2356	U-8	Ⅲa									
124	189	346	383	T-11	Ⅳ	深鉢	口縁部	13.2	14.5	褐色/褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			1509	表										
	190	236	4456	R-11	Ⅴ	深鉢	胴部	12.9	11	暗褐色/褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			5430	R-11	Ⅴ									

土器観察表－5

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
			1019	S-9	Ⅳ									
			1661	S-9	Ⅳ									
			1662	S-9	Ⅳ									
	191	*386	7507	Q-7	Ⅴ	深鉢	口縁部		4	褐色/褐色		良好	Hy・Ho・F・Q	
			7571	Q-7	Ⅴ									
	192	263	7785	R-11	Ⅴ	深鉢	胴部	12.6	19	暗褐色/明褐色	条痕・ナデ・刺突/ミガキ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			7147	S-8	Ⅳ									
	193	*499	2596	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部			黄褐色/黄褐色		良好	Hy・Ho・F・Q	
	194	*536	7785	R-11	Ⅴ	深鉢			4.9	暗褐色/黒褐色		良好	Hy・Ho・F・Q	
	195	*540	7547	Q-10	Ⅴ	深鉢	胴部		4	暗褐色/褐色		良好	Hy・Ho・F・Q	
	196	67	5419	R-11	Ⅳ	深鉢		15.6	13.9		ナデ・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			6528	S-11	Ⅴ									
			6527	S-11	Ⅴ下									
	197	93	7432	R-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		10	暗褐色/褐色	刺突・楔突/ケズリ・ミガキ・ケズリ	良好	Hy・F・Q	
125	198	68	7116	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部	20.6	17	褐色/褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			6339	U-9	Ⅴ									
			6120	U-9	Ⅴ									
			6017	U-9	Ⅴ									
			6119	U-9	Ⅴ									
	199	*529	6882	T-11	Ⅴ	深鉢	胴部		7.5	暗褐色/褐色		良好	Hy・Ho・F・Q	
	200	55	4081	Q-10	Ⅳ	深鉢	胴部	14.7	21.5	黄褐色/黄褐色		良好	Hy・Ho・F・Q・P	
			8290	Q-11	Ⅳ									
			4059	Q-10	Ⅳ									
			5553	Q-10	Ⅳ									
			4100	Q-10	Ⅳ									
			3971	P-10	Ⅳ									
			4048	Q-10	Ⅳ									
			4062	Q-10	Ⅲa									
	201	426	4448	R-11	Ⅳ	深鉢	胴部		6.5	黄褐色/黄褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	202	78	853	S-10	Ⅳ	深鉢	胴部		7.6	褐色/褐色	条痕・刺突/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	203	450	2142	S-11	Ⅳ	深鉢	胴部		8	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			4803	S-12	Ⅳ	深鉢								
	204	*435	1179	S-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.2	褐色/褐色		良好	Hy・Ho・F・Q	
126	205	82	2332	T-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		5.6	赤褐色/黄褐色	ナデ・刺突/ミガキ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	206	112	4469	R-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		5	暗褐色/暗褐色	ナデ・刺突/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	207	*436	7158	S-8	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.5	明褐色/暗褐色	刺突/ミガキ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	208	155	7422	R-12	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.2	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ミガキ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	209	91	3718	R-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.8	黄褐色/黄褐色	刺突/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	210	179	2007	U-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.3	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Ho・F・Q	
	211	167	4137	U-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.1	明褐色/黄褐色	刺突/ケズリ	良好	Ho・F・Q	
			6434	U-11	Ⅳ									
	212	435	3973	P-10	Ⅳ	深鉢	胴部		6.7	明褐色/黄褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Ho・F・Q	
	213	447	7475	R-12	Ⅴ	深鉢	胴部		7.7	明褐色/黄褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	214	98	7759	Q-10	Ⅴ	深鉢	口縁部		4	暗褐色/暗褐色	刺突/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	215	138	4179	U-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.9	明褐色/明褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	216	140	5702	R-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.5	褐色/褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	217	199	5710	R-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.2	黒褐色/褐色	刺突/ミガキ	良好	Hy・F・Q	
	218	470	2584	Q-12	Ⅲa	深鉢	胴部	12.6	6.2	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/	良好	Hy・F・Q	
			横転集88	Q-12	Ⅴ						ケズリ・ナデ			
	219	111	2840	R-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		3.7	黒褐色/暗褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			7724	R-12	Ⅴ									
	220	490	7738	R-11	Ⅴ	深鉢	胴部	9	5.9	黒褐色/暗褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
127	221	75	4441	R-11	Ⅳ	深鉢	口縁部	口14	7.9	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ナデ・ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
			5456	R-11	Ⅳ	深鉢	胴部							
			横転集62	Q-12										
	222	*N-14	5515	Q-11	Ⅴ	深鉢	胴部		8.5	暗褐色/黒褐色	条痕・刺突(タテ)/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
			5480	Q-11	Ⅴ	深鉢								
			7474	R-12	Ⅲa	深鉢								

土器観察表－6

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
	223	*N-16	3838	R-9	Ⅳ	深鉢	胴部		5.9	明褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
			7338	R-10	Ⅴ	深鉢								
	224	*98	7683	P-11	Ⅴ	深鉢	底部	底9	3.8	褐色/褐色	条痕・刻目/ナデ?	良好	Hy・F・Q・B	
	225	*N-7	4756	Q-12・表	Ⅳ	深鉢	胴部		7.2	暗褐色/明褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
	226	*N-6	4353	R-11	Ⅳ	深鉢	頸～胴部		2	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
	227	*N-5	7489	Q-12	Ⅳ	深鉢	頸～胴部		2.5	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
	228	*N-4	7697	Q-12	Ⅴ	深鉢	頸部		3.5	黒褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
			4758	Q-12	Ⅲa	深鉢								
	229	*N-8	7489	Q-12	Ⅳ	深鉢	胴部		6.4	暗褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
	230	*N-9	7622	Q-12	Ⅴ	深鉢	胴部		2.2	暗褐色/明褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
	231	*N-12	3354	R-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.2	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
	232	*N-15	4373	R-11	Ⅳ	深鉢	胴部		4.1	明褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
	233	*N-10	7572	R-11	Ⅴ	深鉢	胴部		2	明褐色/明褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
	234	*N-11	5574	S-12	Ⅳ	深鉢	胴部		2.3	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・B	
	235	*590	7673	P-11	Ⅴ	深鉢	胴部		1.2	明褐色/黒褐色	刺突/ナデ?	良好	Hy・F・Q・B	
	236	77	30	6住	Ⅳ	深鉢	口～胴部	口11.8	9.4	黒褐色/黒褐色	刺突・条痕・ナデ/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			38	U-11	Ⅲa	深鉢								
			39	U-11	Ⅲa	深鉢								
			996	S-9	Ⅳ	深鉢								
	237	*513	7162	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部		4.1	黄褐色/黄褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	238	*534	6426	U-11	Ⅳ	深鉢	胴部	10	5.3	黒褐色/黒褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	239	*367	2987	U-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		2.9	暗褐色/暗褐色	刺突・楔/ナデ・ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	240	249	5366	P-12	Ⅳ	深鉢	胴部		5.6	明褐色/明褐色	条痕・刺突/	良好	Hy・F・Q	
			5509	P-12	Ⅳ	深鉢					ケズリ・ミガキ			
			4719	P-12	Ⅳ	深鉢								
128	241	150	5586	S-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.6	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/条痕	良好	Hy・F	
	242	241	7593	R-12	Ⅴ	深鉢	胴部		7.8	黒褐色/暗褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F	
			762	S-10	Ⅳ									
			1610	S-10	Ⅳ									
			1575	S-10	Ⅲa									
	243	474	7595	R-12	Ⅴ	深鉢	胴部	9.9	3.9	黄褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
			7596	R-12	Ⅴ									
	244	*506	3856	R-9	Ⅰ	深鉢	胴部		4.6	黒褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
			3857	R-9	Ⅰ									
	245	*483	6357	U-12	Ⅴ	深鉢	胴部		10.2	黒褐色/暗褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	246	366	133	12T	Ⅴ	深鉢	胴部		10.5	暗褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			136	12T	Ⅳ									
			137	12T	Ⅳ									
			153	12T	Ⅳ									
			233	12T	Ⅴ									
	247	374	278	13T	Ⅳ	深鉢	胴部		5.6	黒褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			280	13T	Ⅳ									
	248	*545	4774	Q-12	Ⅳ	深鉢	胴部	8.5	2.4	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	249	*519	4453	R-11	Ⅳ	深鉢	胴部	11	4.6	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	250	231	6070	T-9	Ⅴ	深鉢	胴部		7	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	251	209	1954	V-8	Ⅳ	深鉢	胴部	13.2	15.5	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			5913	V-8	Ⅴ									
			2347	V-8	Ⅳ									
			1915	V-8	Ⅳ									
			5915	V-8	Ⅴ									
	252	305	6245	V-9	Ⅴ	深鉢	胴～底部	底9.4	6.8	黄褐色/褐色	刺突・条痕・刻目(左右斜)/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			6741	T-9	Ⅴ						底:ナデ/ナデ			
	253	272	7163	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部	10.9	8.1	暗褐色/黒褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			7164	S-9	Ⅴ									
			7181	S-9	Ⅴ									
	254	210	7117	W-9	Ⅴ	深鉢	胴部		8.5	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			5680	S-9	Ⅴ									
129	255	100	6348	U-12	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.5	褐色/明褐色	条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	256	97	1530	S-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.4	赤褐色/赤褐色	刺突/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q	

土器観察表－7

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
	257	102	2210	T-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		4	暗褐色/暗褐色	刺突/ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	258	*366	4988	T-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.9	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	259	192	6472	U-10	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.5	明褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	260	*Q-6	2469	P-11	Ⅲa	深鉢	胴部		4.9	明褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	261	*Q-2	2547	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部		3.5	褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	262	119	5114	U-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.2	明褐色/明褐色	ナデ・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	263	120	6109	U-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.2	暗褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	264	124	7528	R-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.8	明褐色/明褐色	ナデ・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			3810	R-9	Ⅳ									
	265	*101	5726	Q-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.8	明褐色/明褐色	刺突/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	266	113	5934	V-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.7	明褐色/明褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	267	92	7042	U-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		5	暗褐色/暗褐色	刺突・ナデ/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	268	*533	6014	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		7	黒褐色/暗褐色	刺突・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	269	265	6126	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		5.4	暗褐色/暗褐色	刺突・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	270	65	2232	S-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		8.9	明褐色/明褐色	ナデ・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
			2233	S-11	Ⅳ									
130	271	61	690	S-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		11	明褐色/明褐色	ナデ・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・砂粒	
			7193	S-9	Ⅴ									
			7194	S-9	Ⅴ									
	272	99	7248	Q-7	Ⅴ	深鉢	口縁部		6.3	明褐色/褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・砂粒	
	273	90	6635	T-10	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.2	明褐色/明褐色	条痕・刺突/ナデ・ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・砂粒	
	274	80	8464	Q-6	Ⅴ	深鉢	口縁部		6.7	明褐色/明褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・砂粒	
			8446	Q-6	Ⅲ									
	275	103	2925	R-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		4.5	明褐色/明褐色	刺突・条痕・ナデ/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	276	81	4790	S-12	Ⅴ	深鉢	口縁部		5	明褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
			7758	R-10	Ⅴ									
	277	110	2717	R-12	Ⅲa	深鉢	口縁部		4	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	278	104	806	T-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.7	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	279	105	6645	T-10	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.6	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ・ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	280	60	4609	Q-11	Ⅳ	深鉢	口縁部	口18.2	6.7	暗褐色/褐色	ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
			7366	Q-11	Ⅴ									
	281	95	7688	Q-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		6.9	暗褐色/褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			7491	Q-11	Ⅴ									
	282	66	1872	U-8	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.8	暗褐色/褐色	ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	283	63	1883	V-8	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.1	暗褐色/暗褐色	ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
131	284	59	2123	S-12	Ⅳ	深鉢	口縁部		8.9	黒褐色/灰褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			748	S-11	Ⅳ									
			1589	S-11	Ⅳ									
	285	83	6586	S-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.5	褐色/褐色	刺突・条痕/ミガキ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	286	133	1499	T-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.3	褐色/褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	287	76	6811	S-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		7.2	黒褐色/灰褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			6812	S-9	Ⅴ									
	288	114	1330	U-10	Ⅲa	深鉢	口縁部		6.3	明褐色/褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	289	84	5989	U-9	Ⅴ	深鉢	口～胴部		8.9	黒褐色・明褐色/黒	刺突・条痕/条痕・ナデ	良好	Q・F	
			5967	U-9	Ⅳ					褐色				
			6014	U-9	Ⅴ									
	290	141	6440	U-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.9	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	291	152	5524	Q-12	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.3	黒褐色/黄褐色	刺突/調整不明	粗	Ho・F	
	292	156	3884	R-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		5.1	褐色/褐色	刺突・条痕/ミガキ・ケズリ	良好	Hy・Q	
	293	106	328	12T	Ⅴ上	深鉢	口縁部		4.8	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ミガキ・ケズリ	良好	Ho・F	
	294	107		表		深鉢	口縁部		5.1	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	粗	Hy・F・Q	
	295	145	4794	S-12	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.2	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Ho・F	
			2114	S-12	Ⅳ									
	296	139	2500	Q-12	Ⅲa	深鉢	口縁部		3.3	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Q	
	297	142	6574	S-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.7	褐色/暗褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
	298	135	6325	U-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.3	黒褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ・ミガキ	良好	Q	
			6282	V-9	Ⅴ									
	299	153	318	12T	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.1	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ミガキ	良好	Q・P	
	300	126	5920	V-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.2	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ミガキ・ケズリ	良好	Q	

土器観察表－8

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
132	301	*369	5094	V-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.6	暗褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	302	*385	493	S-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		2.6	明褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	303	*373	6698	S-10	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.8	褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ミガキ	良好	Hy	
	304	*390	5342	R-7	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.9	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	305	*377	6046	U-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.7	暗褐色/黒褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F	
	306	*379	4377	R-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.3	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	307	*368	3047	U-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.2	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	Hy・Q	
	308	*372	4149	U-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		3	暗褐色/明褐色	刺突/ナデ	良好	Hy	
	309	*388	7250	Q-7	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.7	褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	310	*384	1579	S-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		3.4	黄褐色/暗褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	311	*375	5170	V-10	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.3	明褐色/明褐色	刺突/ナデ	良好	F	
	312	*371	1040	S-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.9	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	313	*383	7419	R-12	Ⅲa	深鉢	口縁部		4.3	褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	314	*391	820	T-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.6	暗褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	315	*361	7049	U-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.6	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Q	
	316	*370	6501	S-12	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.3	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	317	*364	171	U-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.9	黄褐色/黄褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	318	*362	7494	Q-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.8	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	F・Q	
	319	*381	4253	U-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.3	明褐色/明褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F	
	320	*374	1442	V-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.1	明褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	321	125	2199	T-12	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.4	黒褐色/黒褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	322	*389	7263	Q-7	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.2	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	323	*382	5898	U-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.1	黒褐色/黒褐色	刺突/ナデ	良好	F	
	324	118	3992	P-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.8	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	325	*365	4590	Q-12	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.5	明褐色/明褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	326	*378				深鉢	口縁部		2.1	黒褐色/黒褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
133	327	89	6061	U-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		5	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・Q	
	328	172	7703	Q-12	Ⅴ	深鉢	口縁部		6.6	黄褐色/黄褐色	刺突/ナデ	良好	Ho・F・Q	
			7685	P-11	Ⅴ									
	329	128	296	11T	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.1	暗褐色/暗褐色	ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F・Q・P	
	330	130	3134	U-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.7	明褐色/明褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ミガキ・ナデ	良好	Hy・Ho・F	
	331	157	859	S-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.9	暗褐色/黄褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F	
	332	132	800	T-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.7	明褐色/明褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	333	143	6987	U-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.4	暗褐色/暗褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ミガキ・ナデ	良好	Ho・F	
	334	187	6090	V-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.8	暗褐色/褐色	刺突/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・F	
	335	131	2027	V-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.4	褐色/褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好	F	
	336	116	1969	V-8	Ⅳ	深鉢	口縁部		4.9	暗褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F	
	337	122	6397	V-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.8	暗褐色/褐色	ナデ・条痕/ケズリ・ナデ	良好	F	
	338	455	5148	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		6.8	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F	
	339	258	2047	U-9	Ⅳ	深鉢	胴部		7.4	暗褐色/明褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			4956	V-8	Ⅳ									
			5130	V-9	Ⅳ									
	340	461	4501	Q-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3.7	暗褐色/黄褐色	刺突(押圧)・条痕・ナデ/ケズリ	良好	Ho・F・P	
	341	465	8355	R-11	Ⅴ	深鉢	胴部		2.6	赤褐色/赤褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・P	
134	342	257	5711	R-9	Ⅳ	深鉢	胴部	7.7	8.4	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	343	331	6835	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部		11.6	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	F・Q・砂粒	
			1010	S-9	Ⅳ									
	344	273	1199	S-9	Ⅳ	深鉢	胴部	8	5.8	褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
			1200	S-9	Ⅳ									
	345	228	5647	T-11	Ⅴ	深鉢	胴部		11.2	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	F・Q	
			5635	T-12	Ⅴ									
	346	222	372	T-11	Ⅳ	深鉢	胴部	13.4	8.3	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
			373	T-11	Ⅳ									
	347	458	2133	S-12	Ⅳ	深鉢	胴部		9.4	黒褐色/明褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			4793	S-12	Ⅴ									
	348	260	985	S-9	Ⅳ	深鉢	胴部	13.6	7	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	349	342	2017	V-9	Ⅳ	深鉢	胴部		8.7	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	350	463	296	U-9	Ⅳ	深鉢	胴部	14.6	5.2	褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	351	464	7724	R-12	Ⅴ	深鉢	胴部		8.2	褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Q	

土器観察表－9

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
			7478	R-12	Ⅴ									
	352	431	7278	R-8	Ⅴ	深鉢	胴部		5	暗褐色/赤褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
135	353	*480	319	U-9	Ⅳ	深鉢	胴部	15.4	5.9	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	354	432	7285	R-9	Ⅴ	深鉢	胴部		5.3	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	355	*505	3829	R-9	Ⅴ	深鉢	胴部		4.1	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	356	*501	4952	V-8	Ⅳ	深鉢	胴部		6.1	明褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	357	*491		排土中		深鉢	胴部		4.3	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q・砂粒	
	358	*511	1342	U-10	Ⅳ	深鉢	胴部		4.3	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	359	*508	2501	Q-12	Ⅲa	深鉢	胴部		5.1	褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	360	*486	3928	Q-10	Ⅰ	深鉢	胴部	18	4.7	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	361	*494	2795	R-11	Ⅲa	深鉢	胴部		3.3	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy	
	362	*493	4248	U-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3	明褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Q	
	363	*484	713	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部		4.3	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Q	
	364	*492	54	U-11	Ⅲa	深鉢	胴部		3.2	黄褐色/黄褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q	
	365	*498	215	U-10	Ⅳ	深鉢	胴部		3.2	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Q	
	366	424	6834	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部		2.6	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy	
	367	375	272	T-13	Ⅴ	深鉢	胴部		2.7	褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	368	371	359	T-12	Ⅴ	深鉢	胴部		4	明褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Ho	
	369	*R-1	5652	T-11	Ⅴ	深鉢	胴部		4.6	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
			1517	S-11	Ⅴ									
	370	376	370	T-14	Ⅳ	深鉢	胴部		3.7	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
136	371	158	1153	S-9	Ⅳ	深鉢	口縁～胴部	20.4	26.8	褐色/明褐色	条痕・ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	外面:煤付着
			1156	S-9	Ⅳ									
			6803	S-9	Ⅴ									
			1165	S-9	Ⅳ									
			1269	S-8	Ⅳ									
	372	165	6930	S-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		10.2	褐色/褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
			1152	S-9	Ⅳ									
	373	234		表		深鉢	胴部		7.6	明褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	374	*560	3711	R-10	Ⅳ	深鉢	胴部		7.4	黄褐色/暗褐色		良好	Hy・F・Q・P	
137	375	188	4934	U-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.1	暗褐色/灰褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
			4926	U-8	Ⅴ									
	376	*392	6387	U-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.3	暗褐色/灰褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q	
	377	*395	4947	U-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		1.3	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	378	262	5922	V-8	Ⅴ	深鉢	胴部	17	11.9	灰褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
			5921	V-8	Ⅴ									
			6080	V-8	Ⅴ									
			6282	V-8	Ⅴ									
	379	261	2333	V-8	Ⅳ	深鉢	胴部	15.8	21.7	黄褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
			1922	V-8	Ⅳ									
			4929	U-8	Ⅳ									
			4927	U-8	Ⅳ									
	380	304	5902	V-8	Ⅴ	深鉢	胴～底部	底13.2	18.3	明褐色/灰褐色	胴:条痕・刺突・キザミ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
			5847	U-8	Ⅴ						底:ナデ/ナデ			
			5849	U-8	Ⅴ									
			4911	U-8	Ⅳ									
			3916	Q-10	Ⅳ									
	381	88	6141	U-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.5	黒褐色/黒褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・砂粒	
	382	328	6147	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		4	褐色/黒褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・砂粒	
	383	*541	6154	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		2.8	褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・砂粒	
			5121	U-9	Ⅴ									
	384	*35	899	S-10	Ⅳ	深鉢	底部		3.4	褐色/黒褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	Hy・F・砂粒	
			862	S-10	Ⅳ									
138	385	164	1419	U-11	Ⅳ	深鉢	口縁部	口21	4.3	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕・ミガキ/ケズリ・ミガキ	良好	Ho・F	
			3092	V-11	Ⅴ									
			3091	V-11	Ⅴ									
			1396	V-11	Ⅴ									

土器観察表－10

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
	386	162	6836	S-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		8.9	明褐色/明褐色	刺突・条痕・ナデ/ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	387	159	1方土下3	S-9		深鉢	口縁～胴部	18	12.2	褐色/黒褐色	口縁部:ナデ　胴:条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			3836	R-9	Ⅳ									
			6922	S-9	Ⅴ									
			6830	S-9	Ⅴ									
	388	428	5009	T-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.7	明褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ナデ	良好	Ho・F	
	389	415	189	12T	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.8	褐色/明褐色	刺突・条痕・ミガキ/ナデ	良好	Ho・F	
	390	474	2	U-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		2.1	明褐色/明褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F	
	391	450	6033	U-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.5	褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	392	394	2024	V-9	Ⅲa	深鉢	口縁部		2.5	褐色/褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	393	515	6764	T-9	Ⅴ	深鉢	胴部		6.2	褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q	外面:赤色顔料塗布
	394	166	3844	R-9	Ⅳ	深鉢	口縁部	10.4	8.1	黒褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
			7355	R-10	Ⅴ									
	395	191	4360	R-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		4	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
	396	163	5588	S-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.7	暗褐色/黒褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F	外面:煤付着
	397	175	7068	U-8	Ⅴ	深鉢	口縁部		5.4	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F	
	398	416	6649	S-10	Ⅴ	深鉢	胴部		5.1	明褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F	
			6903	S-10	Ⅴ									
139	399	184	1673	S-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.4	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・P	
			1085	S-9	Ⅳ									
	400	227	1036	S-9	Ⅳ	深鉢	胴部		8	黒褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・P	
			1220	S-9	Ⅲa									
			7516	R-8	Ⅳ									
	401	*523	6350	U-12	Ⅳ	深鉢	胴部		3.2	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	402	223	6821	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部		10.4	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/	良好	Hy・F・P	
	403	160	2038	V-9	Ⅳ	深鉢	胴部		15.5	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F・P	
			5882	V-8	Ⅴ									
			3140	U-10	Ⅳ									
			891	U-10	Ⅳ									
	404	253	6079	V-8	Ⅴ	深鉢	胴部		8.1	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F・P	
	405	*419	7197	S-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.9	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Q	
	406	*418	5830	T-8	Ⅳ	深鉢	口縁部		1.8	明褐色/明褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	407	*433	1861	U-8	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.2	黄褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・P	
	408	*476	879	T-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.9	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	409	*426	2873	R-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		2.6	明褐色/暗褐色	刺突/	良好	Hy・F・Q・P	
	410	*421	1988	V-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.2	明褐色/黄褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
140	411	173	141	U-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		5.1	明褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	F・Q・P	
	412	151	6320	U-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.5	黄褐色/黒褐色	刺突/ナデ	良好	Ho・F	
	413	174	712	T-10	Ⅴ	深鉢	口縁部		4.1	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	414	193	3549	Q-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.8	黄褐色/明褐色	条痕・ナデ・刺突/ナデ・ケズリ	良好	Hy・Ho・F	
	415	189	1523	S-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.9	暗褐色/明褐色	刺突/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	416	186	7488	Q-12	Ⅳ	深鉢	口縁部	口9.7	2.1	黒褐色/暗褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	417	200	8306	Q-2	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.7	黒褐色/黒褐色	刺突/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・Q・P	
	418	198	1636	S-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		3.1	明褐色/明褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	419	181	7786	T-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		6.6	褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ・ミガキ	良好	Ho・Hy・F	
	420	190	326	U-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.4	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	421	197	5531	R-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.9	黄褐色/黄褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F	
	422	467	1258	S-8	Ⅳ	深鉢	胴部	22	11	褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			1022	S-9	Ⅳ									
			6290	S-9	Ⅴ									
			1	S-9	Ⅴ									
	423	229	7431	R-11	Ⅴ	深鉢	胴部		11.9	黒褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			7582	R-11	Ⅴ									
	424	439	6831	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部	18	6.9	明褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			6833	S-9	Ⅴ						(ミガキに近い)			
	425	*550	4140	U-10	Ⅳ	深鉢	胴部		6.8	暗褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			6475	U-10	Ⅴ									
141	426	225	6906	S-10	Ⅴ	深鉢	胴部	12.6	7	暗褐色/明褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	外面:煤付着

土器観察表－11

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
			6674	S-10	Ⅴ									
	427	537	728	S-11	Ⅳ	深鉢	胴部		7.4	黒褐色/黒褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			1601	S-11	Ⅳ									
	428	*549	4922	U-8	Ⅴ	深鉢	胴部		6	明褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	F・Q	
			4923	U-8	Ⅴ									
	429	*555	1900	V-8	Ⅲa	深鉢	胴部		5.7	暗褐色/黄褐色	刺突/	良好	F・P	外面:煤付着
	430	425	1906	V-8	Ⅳ	深鉢	胴部		6.7	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Ho・F	
			6086	V-8	Ⅴ									
	431	423	6255	V-9	Ⅴ	深鉢	胴部		5.1	褐色/褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Ho・F	外面:煤付着
	432	368	228	12T	Ⅳ	深鉢	胴部		6.1	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	433	216	6715	S-8	Ⅴ	深鉢	胴部		11	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			1246	S-8	Ⅳ									
	434	232	881	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部		8.5	赤褐色/赤褐色	刺突・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			880	T-10	Ⅳ									
	435	271	7538	R-9	Ⅴ	深鉢	胴部	6.6	9.8	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	436	438	6389	U-11	Ⅳ	深鉢	胴部	7	7.6	褐色/暗褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
142	437	238	1619	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部		8.8	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			814	T-10	Ⅲa									
	438	*535	1078	S-9	Ⅳ	深鉢	胴部	8.4	6.7	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
	439	*596	3318	R-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.7	黄褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	440	*599	6845	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部		3	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	F・Q	
	441	472	3159	U-10	Ⅳ	深鉢	胴部		6.5	黒褐色/灰褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	外面:煤付着
			63	U-11	Ⅲa									
	442	*582	5169	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		5.3	明褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・砂粒	
	443	*567	2941	R-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3.3	暗褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	F・Q	
	444	*595	8300	S-12	Ⅴ	深鉢	胴部		2.9	褐色/褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	F・Q	
	445	*597	958	S-9	Ⅳ	深鉢	胴部		2.7	明褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
	446	*530	6588	S-11	Ⅴ	深鉢	胴部	17.4	6	褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	F・Q	
	447	*583	5088	T-10	Ⅴ	深鉢	胴部		3.2	黄褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q	
	448	*600	453	S-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.2	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F	
	449	*543	6516	S-11	Ⅴ	深鉢	胴部		8	暗褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			2930	R-11	Ⅳ									
	450	*593	612	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		4.9	暗褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	451	*586	600	T-11	Ⅳ	深鉢	胴部		1.8	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Q	
	452	*M-2	3999	P-10	Ⅳ	深鉢	胴部		2.8	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	453	*554	1854	U-8	Ⅲa	深鉢	胴部		2.9	明褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	F・砂粒	
	454	226	611	S-11	Ⅳ	深鉢	胴部		7	暗褐色/褐色	押圧・条痕/ナデ	良好	Hy	
			689	S-11	Ⅳ									
			?	S-11	Ⅳ									
	455	372	126	12T	Ⅳ	深鉢	胴部		3.9	黄褐色/黄褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	F・Q・P	
	456	*C-12	5835	V-8	Ⅳ	深鉢	胴部		3.4	褐色/褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	457	538	3847	R-9	Ⅳ	深鉢	胴部		7.7	暗褐色/赤褐色	押圧・条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	外面:煤付着
143	458	270	6954	S-8	Ⅴ	深鉢	胴部	10.2	5.5	黒褐色/褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Ho・F	
			6719	S-8	Ⅴ									
	459	433	1403	V-11	Ⅴ	深鉢	胴部		4.5	黒褐色/褐色	刺突・条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F	
	460	452	1401	V-11	Ⅴ	深鉢	胴部		4.1	黒褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Ho・F	
	461	429	6769	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部		3.5	黒褐色/褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F	
	462	*581	4241	U-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3.3	黒褐色/暗褐色		良好	Hy・F	
	463	221	5911	V-8	Ⅴ	深鉢	胴部		8.5	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F	
	464	*598	6081	U-8	Ⅴ	深鉢	胴部		2.2	褐色/黒褐色		良好	Hy・F	
	465	*528	3654	Q-11	Ⅰ攪乱	深鉢	胴部		3.5	明褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Ho・F・P・W	
	466	230	7684	P-11	Ⅴ	深鉢	胴部		8	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Ho・F・P・W	
	467	247	5993	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		5.1	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			1487	W-9	Ⅰ攪乱									
	468	250	3431	Q-11	Ⅳ	深鉢	胴部		6.5	黒褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			4489	Q-11	Ⅳ									
	469	*532	5643	T-11	Ⅴ	深鉢	胴部		6	黒褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	470	*544	227	S-11	Ⅳ	深鉢	胴部		5.4	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			1568	S-11	Ⅳ									

土器観察表－12

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
			4822	S-11	Ⅴ									
	471	*542	7189	S-10	Ⅴ	深鉢	胴部	12	5.4	褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	472	*559	2208	T-11	Ⅲa	深鉢	胴部		4.7	明褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	473	*521	3687	R-10	Ⅳ	深鉢	胴部		5.6	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	474	*526	5789	V-7	Ⅴ	深鉢	胴部		4.9	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	475	364	298	11T	Ⅴ	深鉢			4.2	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/	良好	Hy・F・Q	
	476	365	300	11T	Ⅳ	深鉢			2.4	黒褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
144	477	*527		表採		深鉢	胴部		3.9	褐色/褐色	/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	478	*584	1663	S-9	Ⅳ	深鉢	胴部		3.4	明褐色/暗褐色	条痕/	良好	Hy・F・P	
	479	286	277	13T	Ⅳ	深鉢	胴部		4.3	明褐色/暗褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	Hy・F・P	
	480	240	802	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部	8.8	11.2	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	外面:煤付着
			803	T-10	Ⅳ									
			805	T-10	Ⅳ									
			5655	T-10	Ⅳ									
	481	*Q-10	2716	R-12	Ⅲa	深鉢	胴部	8.2	2.9	褐色/褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			7408	R-12	Ⅳ									
	482	*Q-5	3804	R-5	Ⅳ	深鉢	胴部		2.6	褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	483	*Q-4	816	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部		4	褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	484	*556	6050	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		4.6	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	485	320	798	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部		3.7	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	外面:煤付着
	486	367	242	12T	Ⅳ	深鉢	胴部		4	明褐色/褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	Hy・Q・P	
	487	380	378	14T	Ⅳ上	深鉢	胴部		3.1	黒褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q・P	
	488	373	260	12T	Ⅳ	深鉢	胴部		5	暗褐色/褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	489	*531	1044	S-9	Ⅳ	深鉢	胴部		4.5	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q・P	
	490	*524	5560	R-12	Ⅳ	深鉢	胴部		4.9	暗褐色/褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q・P	
	491	*578	892	S-10	攪乱	深鉢	胴部		4.1	暗褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・P	
	492	377	389	14T	Ⅳ下	深鉢	胴部		3.3	明褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・P	
	493	369	216	12T	Ⅳ	深鉢	胴部		4.4	明褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q・P	
	494	*548	6302	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		5.3	黄褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q・P	外面:煤付着
	495	*594	7872	O-3	Ⅴ	深鉢	胴部		4	明褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
	496	381	380	14T	Ⅴ上	深鉢	胴部		3	明褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q・P	
	497	*558	5760	P-9	Ⅳ	深鉢	胴部		6.2	暗褐色/明褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	498	*520	2225	T-11	Ⅲa	深鉢	胴部		5.7	暗褐色/黒褐色	刺突/ケズリ	良好	Q・P	外面:煤付着
	499	*547	8269	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		6.1	褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Q	
	500	*539	6646	T-10	Ⅴ	深鉢	胴部		5.9	明褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Q	
145	501	414	255	U-9	Ⅳ	深鉢	底部付近		6.2	明褐色/明褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	502	243	135	U-11	Ⅳ	深鉢	底部付近	6.3	5.5	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	表面の一部が赤化
			1398	V-11	Ⅳ					(赤褐色)				
			1407	V-11	Ⅴ									
	503	*561	7355	R-11	Ⅲa	深鉢	底部付近	6.7	6.7	黒褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
			7438											
	504	415	3077	U-11	Ⅳ	深鉢	底部付近		7.1	褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	505	*525	6140	U-9	Ⅴ	深鉢	底部付近		6.2	明褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			6157	U-9	Ⅴ									
	506	417	6732	S-9	Ⅴ	深鉢	底部付近		5.8	褐色/黒褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・P	
	507	570	2280	S-11	Ⅳ	深鉢	底部付近		4.1	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・P	
	508	566	6236	V-9	Ⅴ	深鉢	底部付近		3.9	明褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q・P	
	509	96	7056	U-8	Ⅴ	深鉢	底部付近	11.6	3.6	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q・P	
	510	106	3657	Q-11	Ⅲa	深鉢	底部付近	6.2	5.6	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy	
			3656	Q-11	Ⅳ									
	511	574	5261	Q-8	芋穴	深鉢	底部付近		2.9	黄褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	512	572	5536	R-10	Ⅳ	深鉢	底部付近		3.4	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Q・P	
	513	*573	5674	S-9	Ⅴ	深鉢	底部付近		2.9	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	514	*587	2254	S-11	Ⅳ	深鉢	底部付近		3.1	褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Q	
	515	*568	2722	R-11	Ⅲa	深鉢	底部付近		3.8	明褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	516	*585	315	U-9	Ⅳ	深鉢	底部付近		2.2	褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	517	*575	2145	S-11	Ⅳ	深鉢	底部付近		2.6	褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	F・Q・P	
	518	*589	5542	Q-10	Ⅳ	深鉢	底部付近		2.6	暗褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Q	
	519	576	33	U-11	Ⅲa	深鉢	底部付近		3.4	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Q・P	

土器観察表－13

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
	520	577	7370	Q-11	Ⅲa	深鉢	底部付近		3.5	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・Q・P	
	521	569	818	T-10	Ⅳ	深鉢	底部付近		3.6	暗褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Q・P	
146	522	301	3798	R-9	Ⅳ	深鉢	底部	底18.4	4.8	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			7322	R-9	Ⅴ									
			7324	R-9	Ⅴ									
			7533	R-9	Ⅴ									
	523	279	5282	Q-7	Ⅴ	深鉢	底部	底17.6	3.1	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			8396	Q-6	Ⅴ									
	524	309	385	T-11	Ⅴ	深鉢	底部	底14.8	7.5	明褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	外底面：煤付着
			4782	Q-12	Ⅳ									
			3397	R-11	Ⅳ									
			7450	R-12	Ⅴ									
	525	＊90	1440	V-9	Ⅳ	深鉢	底部	底13.4	2.6	褐色/褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F	
			5988	U-9	Ⅴ									
			4617	Q-11	Ⅳ									
	526	307	3757	R-10	Ⅳ	深鉢	胴～底部	底17.6	7.4	褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	外底面：煤付着
			7308	R-9	Ⅴ									
			1000	S-9	Ⅳ									
	527	275	7497	R-11	Ⅰ	深鉢	底部	底12.6	6.5	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			7790	S-11	Ⅴ									
			773	S-11	Ⅳ									
147	528	289	2244	S-11	Ⅳa	深鉢	底部	底13	4.6	明褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	内面：炭化物付着
			1556	S-11	Ⅳ									
			1622	S-11	Ⅲa									
	529	＊31	1159	S-9	Ⅳ	深鉢	底部	底14.3	3.5	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	530	724	6556	S-11	Ⅴ	深鉢	底部	底13.2	5.7	暗褐色/黄褐色	刺突・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	531	306	4408	R-11	Ⅳ	深鉢	底部	底14	4.6	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q	内底面：炭化物付着
			5313	R-8	Ⅴ									
			5314	R-8	Ⅴ									
	532	＊97	3168	U-10	Ⅳ	深鉢	底部	底13	3.9	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	内面：炭化物付着
	533	283	6132	U-9	Ⅴ	深鉢	底部	底12.4	5.4	明褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			4土5	U-9	Ⅴ									
			4土8	U-9	Ⅴ									
	534	302	6074	T-9	Ⅴ	深鉢	底部	12.6	4.5	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			6962	T-10	Ⅴ									
			5077	T-9	Ⅳ									
	535	314	2777	R-11	Ⅲa	深鉢	底部	底11.4	6	明褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	外底面：煤付着
			7575		Ⅴ									
			4645	Q-11	Ⅳ									
			4610	Q-11	Ⅳ									
			6784	S-9	Ⅴ									
	536	＊103	7564	R-10	Ⅴ	深鉢	底部	底12.2	5.3	暗褐色/褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			6632	S-11	Ⅴ									
148	537	303	5699	R-8	Ⅳ	深鉢	胴～底部	底12.2	6.2	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q・P	
			5321	R-8	Ⅴ									
			5704	R-9	Ⅳ									
			1615	S-10	Ⅳ									
			1301	S-10	撹乱									
	538	312	7110	W-7	Ⅴ	深鉢	胴～底部	底11.8	5.1	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	内面：炭化物付着
			6078	W-7	Ⅴ									外底面：煤付着
			5834	U-8	Ⅳ									
			5784	W-7	Ⅴ									
	539	310	2889	R-11	Ⅲa	深鉢	胴～底部	12	4.3	明褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	内面：炭化物付着
			243	U-9	Ⅴ上									
	540	277	3315	R-11	Ⅳ	深鉢	底部	12.4	4.2	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	内面：炭化物付着
			7443	R-11	Ⅳ									
	541	＊128	1385	U-10	Ⅳ	深鉢	底部	底12.6	3.8	褐色/褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	内面：炭化物付着
	542	＊95	5713	R-9	Ⅳ	深鉢	底部	底12.4	3.4	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	

土器観察表－14

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　　考
	543	282	6122	U-9	Ⅴ	深鉢	底部	底11.4	3.1	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	544	291	247	12T	Ⅴ上	深鉢	底部	底15.4	4.4	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			246	12T	Ⅴ上									
	545	*88	6971	U-11	Ⅴ	深鉢	底部	底11.8	2.4	褐色/黒褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q	外底面:煤付着
			5971	U-9	Ⅴ									
149	546	280	7803	S-9	Ⅴ	深鉢	底部	底5.5	2.7	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・B・P	
				住8										
			2102	S-12	Ⅲa									
	547	*36	6620	T-11	Ⅳ	深鉢	底部	底11	2.4	暗褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・P	
	548	308	339	V-9	Ⅳ	深鉢	胴～底部	底10.8	7.6	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・砂粒	内面:炭化物付着
			4888	U-7	Ⅳ									
			5809	U-7	Ⅴ									
	549	278	4435	R-11	Ⅳ	深鉢	底部	底10.2	3.7	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・B・Q	
			5438	R-11	Ⅳ									
			7603	R-12	Ⅴ									
	550	284	4701	P-12	Ⅳ	深鉢	底部	底10	4.5	明褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	内面:炭化物付着
			4718	P-12	Ⅳ									
	551	*89	3442	Q-11	Ⅳ	深鉢	底部	底10.8	2.7	暗褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
			7496	Q-12	Ⅳ									
	552	*86	3453	Q-11	Ⅳ	深鉢	底部	底10.6	4.7	褐色/黒褐色・褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・B	
	553	*114	3863	R-9	Ⅴ	深鉢	底部	底9.2	3.1	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	554	276	6975	U-11	Ⅴ	深鉢	胴～底部	底9	3.2	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy	内面:炭化物付着
	555	313	949	S-9	Ⅳ	深鉢	胴～底部	底9.2	7.2	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	F・Q・砂粒	
			1650	S-9	Ⅳ									
			1651	S-9	Ⅳ									
			948	S-9	Ⅳ									
			1649	S-9	Ⅳ									
			1692	S-9	Ⅳ									
150	556	*87	2822	R-11	Ⅲa	深鉢	底部	底8.4	4	明褐色/暗褐色	ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			5458	R-11	Ⅳ									
			1077	S-9	Ⅳ									
	557	*91	5116	U-9	Ⅳ	深鉢	底部	底8.3	4	暗褐色/黒褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	558	*49	4825	S-11	Ⅳ	深鉢	底部	底9	3.1	褐色/褐色	ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			3273	R-11	Ⅳ									
	559	*30	5578	S-12	Ⅴ	深鉢	底部	底8.7	2.25	灰褐色/黒褐色	/指又は工具による圧痕	良好	Q	
			2117	S-12	Ⅳ									
	560	287	2357	U-8	Ⅲ	深鉢	底部	底7.6	2.8	明褐色/明褐色	条痕・ケズリ/ケズリ・ナデ	良好	F	
	561	*132	5685	S-9	Ⅴ	深鉢	底部	底8	3.1	明褐色/黒褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	562	288	6385	U-11	Ⅳ	深鉢	底部	底8	3.3	暗褐色/黒褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	563	*167	4454	R-11	Ⅳ	深鉢	底部	底9.2	1.5	明褐色/褐色	ナデ/ケズリ	良好	Hy・Q	
	564	*42	7517	R-8	Ⅳ	深鉢	底部	底18	1.5	暗褐色/暗褐色	条痕・ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			5712	R-9	Ⅳ									
			7321	R-9	Ⅴ									
			7332	R-10	Ⅴ									
	565	*53	7270	R-8	Ⅴ	深鉢	底部	底13	1.1	暗褐色/暗褐色	条痕/ナデ・ミガキ	良好	Hy・F・Q・P	
	566	*51	4991	T-8	Ⅴ	深鉢	底部	底15.4	1.6	黄褐色/黄褐色	条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	567	*15	2837	R-11	Ⅲa	深鉢	底部	底11.8	0.9	明褐色/明褐色	ミガキ/ナデ	良好	Hy・F・Q	外底面:煤付着
			252	T-9	Ⅲa									
151	568	2＋5	5632	S-11	Ⅴ	深鉢	底部	底11	1.2	赤褐色/赤褐色	ミガキ/ナデ	良好	Hy・Q	
			1	9住下										
	569	*4	2273	S-11	Ⅳ	深鉢	底部	底13	1.9	褐色/褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・砂粒	
			206	S-11	Ⅳ									
			700	S-11	Ⅳ									
	570	*38	4754	Q-12	Ⅳ	深鉢	底部	底11	1	黒褐色/明褐色	ナデ・ミガキ/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			7931	R-11	Ⅳ									
	571	347	6634	T-10	Ⅴ	深鉢	底部	底11.4	1.2	褐色/明褐色	条痕・ナデ/ナデ	良好	Hy・F・P	内底面中心に窪みあり
	572	*47	6057	U-9	Ⅳ	深鉢	底部	底12	1.6	暗褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
			2052	U-9	Ⅳ									

土器観察表－15

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
			5154	U-9	Ⅳ									
			2051	U-9	Ⅲa									
	573	*3	1244	S-9	Ⅳ	深鉢	底部	底12	1.6	暗褐色/褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			6832	S-9	Ⅴ									
	574	*61	1210	S-8	Ⅳ	深鉢	底部	底10.2	2.7	暗褐色/暗褐色	条痕・ハケメ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
152	575	*9	5695	R-7	Ⅳ	深鉢	底部	底10.4	1	黄褐色/黄褐色	条痕/ナデ	良好	Ho・B・Q・	
			5694	R-7	Ⅳ								滑石	
	576	*50	3202	O-6	Ⅴ	深鉢	底部	底10.2	0.9	黄褐色/黄褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	577	*8	5659	T-9	Ⅴ	深鉢	底部	底10.8	1.2	明褐色/褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	578	*33	1511	T-11	Ⅳ	深鉢	底部	底9	1.2	暗褐色/黒褐色	条痕/ナデ	良好	F・Q・P	
	579	*46	4672	P-11	Ⅳ	深鉢	底部	底10.2	1.1	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			4075	P-11	Ⅳ									
	580	*48	7035	U-11	Ⅴ	深鉢	底部	底9.6	1.3	暗褐色/黒褐色	条痕/ナデ	良好	F・Q	外底面:煤付着
	581	*40	7570	R-10	Ⅴ	深鉢	底部	底9.4	1.2	暗褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・B・F	
			7569	R-10	Ⅴ									
	582	*1	2503	U-9	Ⅲa	深鉢	底部	底8.8	0.8	褐色/褐色	条痕/ナデ	良好	B・Q・滑石	
			967	S-9	Ⅲa									
			2198	T-12	Ⅳ									
			1901	T-8	Ⅳ									
	583	*10	7167	S-9	Ⅴ	深鉢	底部	底10.5	1.5	褐色/暗褐色	条痕/ハケメ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	584	*60	6797	S-9	Ⅴ	深鉢	底部	底8.4	1.5	褐色/褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・Q・P	外底面:煤付着
	585	*66	2011	V-9	Ⅳ	深鉢	底部	底8	0.9	暗褐色/明褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	586	*161	6472	U-10	Ⅴ	深鉢	底部		0.8	暗褐色/黒褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F	
			3157	U-10	Ⅴ上									
153	587	168	3388	R-11	Ⅳ	深鉢	口縁部	口12.8	9.7	黒褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
			3389	R-11	Ⅳ									
			4351	R-11	Ⅳ									
			4445	R-11	Ⅴ									
			3523	Q-11	Ⅳ									
	588	195	7461	R-11	Ⅴ	深鉢	口縁部		2.6	黒褐色/黒褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	589	*P-1	3524	O-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		1.4	黒褐色/黒褐色	刺突/不明	良好	Hy・Ho・F・Q	
	590	319	2480	P-12	Ⅲa	深鉢	胴部		5	黒褐色/黒褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	内面:炭化物付着
	591	*P-3	901	S-10	Ⅳ	深鉢	胴部		3.2	黒褐色/黒褐色	刺突/ナデ・ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	592	*P-10	3493	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部		2.7	暗褐色/黄褐色	条痕・刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	593	*Q-1	4504	Q-11	表	深鉢	胴部		3.1	明褐色/黒褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	594	239	4701	P-12	Ⅳ	深鉢	胴部		7	明褐色/暗褐色	刺突・条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F・Q	
			5土1	S-11	Ⅴ									
			1631	S-11	Ⅲa									
			?	R-12	Ⅲ									
	595	☆1	7698	Q-12	Ⅴ	深鉢			3.6	明褐色/黒褐色	斜位条痕/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F・Q	
	596	☆2	4697	Q-11	Ⅳ	深鉢			2.3	明褐色/黒褐色	斜位条痕/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F・Q	
	597	☆3	4715	P-12	Ⅳ	深鉢			2	灰褐色/黒褐色	斜位条痕/ケズリ・ナデ	良好	Ho・F・Q	
154	598	345	5600	S-11	Ⅴ	角筒	口縁部		15	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q	外面:煤付着
	599	147	2220	T-11	Ⅲa	角筒	口縁部		5.5	黄褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ・ケズリ・ミガキ	良好	Hy・F・Q	
			4820	T-11	Ⅲa									
	600	149	4324	R-12	Ⅳ	角筒	口縁部		4.5	黒褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	外面:煤付着
	601	*315	3025	U-11	Ⅲa	角筒	口縁部		3	明褐色/褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	602	*303	7509	Q－7	Ⅴ	角筒	口縁部		2.8	明褐色/褐色	条痕	良好	F・Q	
	603	146	6578	S-11	Ⅴ	角筒	胴部		9.5	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	F・Q・R	
	604	148	14	U - 12	Ⅳ	角筒	口縁部		4.5	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	605	*380	4451	R－11	Ⅳ	角筒	口縁部		3.3	褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	606	*301	7756	R-10	Ⅳ	角筒	口縁部		3	黒褐色/暗褐色	条痕	良好	F・Q	
	607	*360	6332	U－9	Ⅴ	角筒	口縁部		4	明褐色/褐色	刺突/ミガキ	良好	F・Q	
	608	*302	7298	R－9	Ⅴ	角筒	口縁部		3	明褐色/明褐色	条痕/ミガキ	良好	F・Q	
	609	318	6199	V－9	Ⅴ	角筒	口縁部		2.5	暗褐色/褐色	/ナデ	良好	F・Q	
	610	*457	4785	R－11	Ⅳ	角筒	口縁部		2.8	明褐色/明褐色		良好		
155	611	*317	2845	R-11	Ⅲa	角筒	胴部		3.8	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	

土器観察表－16

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
	612	*328	2207	T-11	Ⅲa	角筒	胴部		3.5	明褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	613	*339	7741	R-11	Ⅴ	角筒	胴部		3.5	明褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	614	337	7395	R-11	Ⅳ	角筒	胴部		6.6	褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	615	338	476	R-12	Ⅴ	角筒	胴部		7.4	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
			7476											
	616	*307	1515	T-11	Ⅳ	角筒	胴部		3.3	暗褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	617	*343	7254	Q-7	Ⅴ	角筒	胴部		3.3	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	F・Q・砂粒	
	618	473	7611	Q-11	Ⅴ	角筒	胴部		4.7	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	外面：煤付着
	619	442	6171	U-9	Ⅴ	角筒	胴部		4.1	褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	620	340	6483	U-10	Ⅴ	角筒	胴部		4.1	褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	F・Q	
			6438	U-11	Ⅳ									
	621	*510	7970	O-9	Ⅴ	角筒	胴部		5.2	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			7971											
	622	*507	3720	R-10	Ⅳ	角筒	胴部		6.1	暗褐色/黒褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			3721	R-10	Ⅳ									
	623	*504	7743	Q-11	Ⅳ	角筒	胴部		8	暗褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	624	*489	4520	Q-11	Ⅳ	角筒	胴部		7.2	褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	625	*482	7659	P-10	Ⅴ	角筒	胴部		5.9	明褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	626	*481	7279	R-9	Ⅴ	角筒	胴部		4.3	明褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	627	*503	5290	Q-7	Ⅴ	角筒	胴部		4.2	褐色/褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	628	*509	2218	T-12	Ⅳ	角筒	胴部		4.4	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	629	*495	1178	S-9	Ⅳ	角筒	胴部		3.8	黄褐色/黄褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
156	630	327	8298	S-10	Ⅴ	角筒	胴部		2	暗褐色/明褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	F・Q	
	631	*348	1640	S-11	Ⅳ	角筒	胴部		5.3	暗褐色/明褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	F・Q	
	632	*326				角筒	胴部		4.7	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/	良好	F・Q	
	633	*325	8398	Q-6	Ⅴ	角筒	胴部		4.3	明褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・Q	
	634	*322	8384	U-9Tオ	Ⅴ	角筒	胴部		3	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/	良好	F・Q	
	635	*314	3018	U-11	Ⅲa	角筒	胴部		3.3	明褐色/暗褐色	条痕/	良好	Hy・F・Q	
	636	*312	6944	S-9	Ⅴ	角筒	胴部		4.8	暗褐色/黒褐色	条痕/	良好	F・Q	
	637	*344	3089	V-11	Ⅴ	角筒	胴部		4	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	638	317	7259	Q-7	Ⅴ	角筒	胴部		7.5	明褐色/褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	F・Q	
	639	*334	7514	R-7	Ⅴ	角筒	胴部		8.5	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
			7515	R-7	Ⅴ	角筒	胴部							
	640	*324	7261	Q-7	Ⅴ	角筒	胴部		3.3	暗褐色/暗褐色	/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	641	*327	6292	U-9	Ⅴ	角筒	胴部		9.2	暗褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
			4885	U-8	Ⅳ									
	642	325	358	12T	Ⅴ中	角筒	胴部		3.9	黒褐色/明褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			357											
	643	*310	2081	S-12	Ⅳ	角筒	胴部		5	暗褐色/暗褐色	条痕・刺突/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
		*311	2082											
			2140											
	644	*305	4275	R-12	Ⅳ	角筒	胴部		5.5	暗褐色/黒褐色	/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
			5407											
157	645	469	6098	V-7	Ⅴ	角筒	胴部		3.6	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
			5791	V-1	Ⅴ									
	646	334	7160	S-8	Ⅴ	角筒	胴部		3.5	明褐色/明褐色	ナデ・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
	647	*347	4244	U-11	Ⅴ	角筒	胴部		3.2	暗褐色/黒褐色	ナデ・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
	648	339	7755	R-10	Ⅳ	角筒	胴部		6.5	黒褐色/暗褐色	ナデ・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
			7753	R-10	Ⅳ									
			7754	R-10	Ⅳ									
	649	*308	7680	P-11	Ⅴ	角筒	胴部		5.5	褐色/黒褐色	ナデ・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
	650	459	2279	S-11	Ⅳ	角筒	胴部		5.5	暗褐色/黒褐色	ナデ・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
			3013	U-11	Ⅳ									
	651	*319	1736	V-7	Ⅴ	角筒	胴部		4.2	褐色/黒褐色	ナデ・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
	652	*333	3709	R-10	Ⅳ	角筒	胴部		5.3	暗褐色/黒褐色	ナデ・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
	653	*309	352	T-11	Ⅲa	角筒	胴部		5.9	明褐色/暗褐色	ナデ・刺突/ケズリ	良好	Hy・Q	
			433	S-11	Ⅲa									
	654	443	2985	U-11	Ⅲa	角筒	胴部		5.9	褐色/暗褐色	条痕・刺突(押圧)/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	655	427	3890	Q-9	Ⅳ	角筒	胴部		4.4	暗褐色/暗褐色	ナデ・刺突/ナデ	良好	Hy・Q	

土器観察表－17

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
	656	*321	7182	G-7	Ⅴ	角筒	胴部		4.4	明褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q	
	657	*332	3188	U-10	芋穴	角筒	胴部		2.1	褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	658	261	7245	R-9	Ⅴ	角筒	胴部		4.9	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	659	460	299	U-9	Ⅲa	角筒	胴部		4.3	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	660	*306	2002	U-9	Ⅳ	角筒	胴部		3.8	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	661	*346	1894	V-8	Ⅳ	角筒	胴部		2.5	暗褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q	
	663	*349	6938	S-9	Ⅴ	角筒	胴部		2.1	明褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	662	*340	4073	Q-10	Ⅲa	角筒	胴部		3	明褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	664	*350	73	U-11	Ⅲa	角筒	胴部		2	暗褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
158	665	348	4935	U-8	Ⅳ	角筒	底部	底8.1	2.3	褐色/褐色	条痕/ナデ	良好	F・Q	
			333	12T	Ⅴ上									
			197	12T	Ⅳ									
			231	12T	Ⅳ									
	666	297	4259	U-11	Ⅳ	角筒	底部	底6.1	1.3	褐色/明褐色	条痕/ナデ	良好	F・Q	
			3045											
	667	446	11	U-12	Ⅳ	角筒	底部		5.3	褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	668	298	7302	R-9	Ⅴ	角筒	底部		4.8	褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	F・Q	
			7307	R-9	Ⅴ									
			922	S-10	Ⅳ									
	669	449	604	S-11	Ⅳ	角筒	底部		4	暗褐色/暗褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
159	670	333	3703	R-10	Ⅳ		胴部		7.1	暗褐色/黒褐色	条痕・ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			3704											
	671	342	3760	R-10	Ⅳ	深鉢	胴部		6.1	明褐色/明褐色	条痕/板状工具によるナデ	良好	F・Q	
	672	313	1549	S-11	Ⅲa	深鉢	胴部		3.6	暗褐色/明褐色	条痕・刺突/ナデ	良好	Q	
	673	336	6544	S-11	Ⅴ	深鉢	胴部		3.4	明褐色/褐色	ユビナデ・刺突/ナデ	良好	Hy・Q	
	674	332	6990	U-10	Ⅴ	深鉢	胴部		7.8	黒褐色/暗褐色	工具ナデ・刺突	良好	Hy・F・Q・P	
			231	U-10	Ⅳ						/ケズリ・ナデ			
	675	341	1893	?-8	Ⅳ	深鉢	胴部		6.8	明褐色/黒褐色	工具ナデ・刺突	良好	Hy・F・Q	
			5174	U-9	Ⅴ						/ケズリ・ナデ			
	676	349	2301	S-11	Ⅴ	深鉢	胴～底部	底6.4	6.3	褐色/黒褐色	条痕・刺突・刻目	良好	Hy・F・Q	
			6543	S-11	Ⅴ						/ケズリ・ナデ			
			1500	S-11	Ⅳ									
	677	71	6602	T-11	Ⅴ	深鉢	底部	底9.6	1.6	明褐色/暗褐色	刻目/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
			6603	T-11	Ⅴ									
	678	82	4992	T-8	Ⅴ	深鉢	底部		1.2	明褐色/明褐色	刻目/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
160	679	109	7651	P-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.9	暗褐色/褐色	条痕・ナデ/ケズリ	良好	F・Q・P	
	680	137	64	10T	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.3	暗褐色/暗褐色	ナデ/条痕・ミガキ	良好	Hy・Ho・Q	
	681	*N-1	8065	N-6	Ⅲ	深鉢	口縁部		3.7	暗褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	682	74	4064	Q-10	Ⅳ	深鉢	口縁部		6.2	黄褐色/黄褐色	ナデ/ミガキ	良好	Hy・F・Q	
	683	*A-4	4662	P-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		1.3	黒褐色/黒褐色	刺突/ナデ	良好	B・Q	
	684	*0-1	3598	Q-12	Ⅲa	深鉢	口縁部		5.3	明褐色/褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
			2487	Q-12	Ⅲa									
	685	*O-3	3542	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部		3.8	明褐色/黄褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	686	*O-5	8063	N-6	Ⅲ	深鉢	胴部		1.7	明褐色/明褐色	刺突/ナデ	良好	Hy	
	687	127	8167	N-6	Ⅱ	深鉢	口縁部		3.3	暗褐色/黄褐色	ナデ/条痕・ミガキ	良好	Hy・F・Q	
			8070	O-6	Ⅲ									
	688	*O-7	8168	N-6	Ⅱ	深鉢	胴部		1.8	暗褐色/明褐色	/ナデ	良好	Hy・F	
	689	*H-2	4005	P-10	Ⅳ	深鉢	胴部		1.9	暗褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	Q・B	
	690	*N-3	5797	V-7	Ⅴ	深鉢	頸部		3.5	暗褐色/明褐色	/ナデ	良好	Q・B	
	691	*O-10	3956	P-10	Ⅳ	深鉢	胴部		3.1	黒褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	F・Q	
	692	*O-2	4720	Q-12	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.3	暗褐色/明褐色	/ナデ	良好	Hy・F	
	693	*O-6	3531	Q-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.9	暗褐色/暗褐色	/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	694	*O-4	3532	Q-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.9	褐色/暗褐色	/ナデ	良好	Hy	
	695	336	4746	Q-12	Ⅳ	深鉢	胴部		6.6	黒褐色/暗褐色	押圧・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	696	*B-3	3531	Q-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.5	暗褐色/黒褐色	押圧・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F	
	697	*B-4	2481	P-12	Ⅲa	深鉢	胴部		2.9	褐色/暗褐色	押圧・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	698	*B-1	4710	P-12	Ⅳ	深鉢	胴部		4.5	暗褐色/暗褐色	押圧・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	699	292	4577	Q-11	Ⅳ	深鉢	底部側面		4	明褐色/明褐色	押圧・刻目/ケズリ・ナデ	良好	Hy・B・Q	

土器観察表－18

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
	700	*B-2	3615	P-12	Ⅳ	深鉢	胴部		4.2	明褐色/暗褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	701	*C-8	2498	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部		2.5	暗褐色/暗褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F	
	702	*B-5	3609	Q-12	Ⅳ	深鉢	胴部		3.2	暗褐色/暗褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
161	703	134	3434	Q-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.4	黒褐色/黒褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・Q	
	704	*A-2	3990	P-10	Ⅳ	深鉢	胴部		3	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	705	*R-5	7655	P-9	Ⅴ	深鉢	胴部		4.2	灰褐色/灰褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	706	*R-6	3534	Q-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3.2	褐色/明褐色	刺突・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	707	350	531	S-11	Ⅳ	深鉢	胴部		4.5	黒褐色/黒褐色	押引/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	708	*C-14	5162	U-10	Ⅴ	深鉢	胴部		1.8	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	709	*A-6	4662	R-11	Ⅳ	深鉢	胴部		1.6	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	710	*A-7	4665	P-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3.3	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	711	*D-1	537	S-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	712	*A-11	2412	P-11	Ⅲa	深鉢	胴部		4.3	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	713	*A-3	5507	P-11	Ⅳ	深鉢	胴部		1.6	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	714	*A-9	5485	P-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	715	*D-2	3989	P-10	Ⅳ	深鉢	胴部		3.3	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	716	*D-3	3085	U-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.1	暗褐色/暗褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	717	*H-3	392	14T	Ⅴ	深鉢	胴部		2.1	褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	718	*C-13	3647	P-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.1	暗褐色/黄褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q	
	719	*H-1	2611	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部		2.4	暗褐色/明褐色	条痕/ケズリ	良好	Hy・Q・砂粒	
	720	73	3086	V-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		6.3	黒褐色/黒褐色	ナデ/条痕・ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	721	471		排土中		深鉢	口縁部		4.3	黒褐色/明褐色	刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	722	219	5156	V-9	Ⅴ	深鉢	胴部		9.5	黒褐色/黒褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	723	361	396	10T	Ⅴ上	深鉢	胴部		3.4	暗褐色/褐色	条痕・ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
162	724	183	5091	U-9	Ⅳ	深鉢	口縁部		4	黒褐色/暗褐色	刺突・押引/ミガキ	良好	Hy・F・Q	
	725	194	5484	P-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		2.8	暗褐色/暗褐色	刺突・押引?/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・F・Q	
	726	*N-2	3677	P-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		1.7	暗褐色/褐色	/ナデ	良好	Hy・Q	
	727	*M-1	5484	P-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.3	暗褐色/褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	728	*C-1	3961	P-10	Ⅳ	深鉢	胴部		4.1	暗褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
	729	*G-1	4245	U-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3	暗褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
	730	*G-2	75	10T	Ⅴ	深鉢	胴部		3.3	明褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
	731	362	73	10T	Ⅴ	深鉢	胴部		7	暗褐色/黒褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	732	211	337	12T	Ⅴ	深鉢	胴部	14.4	10.9	暗褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・B・Q・砂粒	
	733	285	204	12T	Ⅳ	深鉢	底部	底10.6	6.2	暗褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・砂粒	
	734	180	5079	T-9	Ⅳ	深鉢	口縁部	口13.4	5.9	黒褐色/黒褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	735	315	714	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部		4.8	暗褐色/褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
	736	*C-11	107	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部		3.9	褐色/褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
	737	*C-10	3009	U-11	Ⅲa	深鉢	胴部		3.3	暗褐色/暗褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
	738	*C-3	2971	U-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3.7	暗褐色/暗褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
	739	*C-4	6412	U-11	Ⅴ	深鉢	胴部		3	暗褐色/黒褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q・砂粒	
	740	*C-7	3053	U-11	Ⅲa	深鉢	胴部		2	暗褐色/暗褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	741	*C-2	1305	U-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.4	褐色/褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
	742	169	7096	U-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		9	暗褐色/黒褐色	断続押引/ナデ	良好	Ho・Q	
	743	170	5168	U-9	Ⅴ	深鉢	口縁部		3.2	明褐色/暗褐色	断続押引/ナデ	良好	Ho・Q	
	744	293	5042	T-9	Ⅴ	深鉢	底部	底8	4.7	暗褐色/暗褐色	断続押引/ナデ	良好	Ho・Q	
163	745	*A-10	6258	V-9	Ⅴ	深鉢	胴部		4.3	黒褐色/黒褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	746	*A-8	6252	V-9	Ⅴ	深鉢	胴部		5	黒褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	外面：煤付着
	747	*C-15	5157	U-9	Ⅳ	深鉢	胴部		2.5	黒褐色/明褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	748	*E-2	6272	V-9	Ⅴ	深鉢	胴部		3.8	黒褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	外面：煤付着
	749	*A-1	5928	V-9	Ⅴ	深鉢	胴部		3.5	黒褐色/黒褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	750	*E-5	6281	V-9	Ⅴ	深鉢	胴部		4	黒褐色/黒褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	751	*F-1	1923	V-8	Ⅲa	深鉢	胴部		2.5	明褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	752	*E-7	6344	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		3	黒褐色/黒褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	753	*E-6	5941	V-9	Ⅳ	深鉢	胴部		2.8	黒褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	754	329	2340	V-8	Ⅳ	深鉢	胴部		5.4	暗褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	外面：煤付着
	755	*C-6	5099	U-9	Ⅳ	深鉢	胴部		2.8	暗褐色/明褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q	
	756	*C-16	8397	Q-6	Ⅴ	深鉢	胴部		2.8	黒褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	757	316	1983	V-9	Ⅳ	深鉢	底部		4.7	暗褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	

土器観察表－19

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
	758	318	5955	V-9	Ⅴ	深鉢	底部		3.2	暗褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	F・Q	
164	759	330	7361	Q-11	Ⅴ	深鉢	胴部		9	暗褐色/褐色	押引・ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
			5498	Q-11	Ⅴ									
	760	＊L-1	7363	Q-11	Ⅴ	深鉢	胴部		2.7	暗褐色/暗褐色	押圧・ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	761	＊K-3	4664	P-11	Ⅳ	深鉢	胴部		1.9	暗褐色/暗褐色	押圧・ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	762	＊K-1	4677	P-11	Ⅳ	深鉢	胴部		3.3	明褐色/明褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	763	＊L-2	7805	S-9	Ⅴ	深鉢	胴部		3.9	暗褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	764	326	4602	Q-11	Ⅳ	深鉢	胴部		4.2	暗褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	765	＊I-2	7689	Q-11	Ⅴ	深鉢	胴部		3.7	暗褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	766	363	46	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部		3.4	黄褐色/黄褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	767	＊B-7	59	T-10	Ⅳ	深鉢	胴部		5.3	明褐色/暗褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	768	＊J-2	8487	R-3	Ⅴ	深鉢	胴部		4.8	暗褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	769	＊F-2	7968	N-8	Ⅴ	深鉢	胴部		5.8	暗褐色/褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F・Q・砂粒	
	770	＊A-5	8110	O-6	Ⅲ	深鉢	胴部		3.3	黒褐色/黄褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	771	＊I-3	8332	P-6	Ⅳ	深鉢	胴部		2.3	暗褐色/黒褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	772	＊I-1	8060	V-6	Ⅲ	深鉢	胴部		2.5	暗褐色/黒褐色	押圧/ケズリ	良好	Hy・Q・P	
	773	＊C-18	3156	U-10	Ⅴ上	深鉢	胴部		2.9	黒褐色/暗褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	774	＊F-4	3193	U-10	芋穴	深鉢	胴部		1.7	暗褐色/黒褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	775	＊E-9	7019	U-9	Ⅴ	深鉢	胴部		2.7	褐色/黒褐色	押引/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	776	＊C-17	5090	U-9	Ⅳ	深鉢	胴部		2.7	暗褐色/暗褐色	押引/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	777	＊E-8	5936	V-9	Ⅳ	深鉢	胴部		1.6	暗褐色/暗褐色	押圧/ナデ	良好	Hy・Q	
	778	323	3957	P-10	Ⅳ	深鉢	胴部		4.8	黒褐色/暗褐色	押引/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	779	＊H-4	217	U-10	Ⅳ	深鉢	胴部		3.1	暗褐色/暗褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	780	＊E-1	58	10T	Ⅳ	深鉢	胴部		2.8	暗褐色/褐色	押引/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	781	＊E-3	41	10T	Ⅴ	深鉢	胴部		2.1	褐色/褐色	押引/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	782	＊E-4	1713	W-7	Ⅲa	深鉢	胴部		2.6	暗褐色/黄褐色	押引/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	783	322	42	10T	Ⅴ	深鉢	胴部		4.6	灰褐色/灰褐色	押圧/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	784	352	7795	T-12	Ⅴ	深鉢	胴部		3.5	黒褐色/暗褐色	押引/ケズリ	良好	Hy・F・Q・P	
	785	＊F-3	35	10T	Ⅴ	深鉢	胴部		1.5	暗褐色/黒褐色	押引/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	786	＊C-9	250	T-9	Ⅲa	深鉢	胴部		2	暗褐色/暗褐色	押引/ナデ	良好	Hy・F・Q	
165	787	182	888	F-10	Ⅳ	深鉢	口～胴部	7.4	6.1	暗褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Q・W	
	788	553	7453	R-11	Ⅲa	深鉢	胴部		4.4	灰褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Q・W	
	789	＊Y-2	170	12T	Ⅴ	深鉢	胴部		2.1	灰褐色/暗褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Q・W	
	790	324	7713	P-11	Ⅴ	深鉢	胴部		3.7	暗褐色/暗褐色	ナデ・刺突/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q・W	
	791	＊N-18	3650	Q-11	Ⅴ	深鉢	胴部		3	暗褐色/黒褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・Q・W	
	792	＊Q-11	8352	Q-11	Ⅴ	深鉢	胴部		2.6	明褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・Q・W	
	793	＊Q-9	4676	P-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.2	暗褐色/暗褐色	刺突/ナデ	良好	Hy・Ho・Q・W	
	794	＊N-19	4616	Q-11	Ⅳ	深鉢	胴部		2.4	暗褐色/黒褐色	刺突・ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・Q・W	
	795	299	4634	Q-11	Ⅳ	深鉢	底部	6.6	3.5	暗褐色/黒褐色	刺突・ナデ/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q・W	
	796	＊N-20	4646	Q-11	Ⅳ	深鉢	底部	9.3	3	暗褐色/黒褐色	刺突/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q・W	
	797	＊N-21	4642	Q-11	Ⅳ	深鉢	底部	9.3	2.1	暗褐色/黒褐色	刺突・ナデ/ケズリ	良好	Hy・Ho・Q・W	
	798	3	2122	S-12	Ⅳ	深鉢	胴部		4.5	褐色/黒褐色	ナデ/ケズリ	良好	Hy・Q・砂粒	
	799	18	1690	S - 8	Ⅳ	深鉢	胴部		4.6	褐色/黒褐色	ナデ/ケズリ	良好	Hy・Q・砂粒	
	800	11	6741	T－9	Ⅴ	深鉢	胴部		3.6	黒褐色/黒褐色	ナデ/ケズリ	良好	Hy・Q・砂粒	
	801	＊W-1	6481	V－10	Ⅴ	深鉢			1.9	褐色/黒褐色	ナデ/ケズリ・ナデ	良好	Hy・Q・砂粒	
	802	30	5801	V－7	Ⅳ	深鉢	底部		4.2	褐色/黒褐色	ナデ/ケズリ	良好	Hy・Q・砂粒	
166	803	20	7996	N-6	Ⅵ	深鉢	口縁部	23	6.5	明褐色/明褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	804	9	7998	M-7	Ⅵ	深鉢	胴部		3.5	暗褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	805	17	7998	M-7	Ⅵ	深鉢	胴部		5.7	明褐色/灰褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	806	24	7997	M-7	Ⅵ	深鉢	底部		3.4	黄褐色/黄褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	807	41	7886	N-3	Ⅴ	深鉢	胴部		29	明褐色/黄褐色	撚糸文/ユビオサエ	良好	Ho・Q・B・W・砂粒	
	808	8	7877	N-3	Ⅴ	深鉢	胴部		3.8	明褐色/黄褐色	撚糸文/ケズリ	良好	Ho・Q・B・W・砂粒	
	809	50		表		深鉢	底部		2.3	褐色/暗褐色	ナデ/ナデ	良好	Ho・Q・B・W・砂粒	
167	810	42	7915	O-6	Ⅲ	深鉢	完形	口17	15	明褐色/暗褐色	刻目・刺突・沈線・撚糸文	良好	Ho・Q	
								底8.7			/口:ナデ　胴:ケズリ・ナデ			
											底:ユビオサエ・ケズリ・工具痕			
	811	13	8024	N-5	Ⅲ	深鉢	口縁部	26	13.8	暗褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・W・R	

土器観察表－20

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　考
	812	14	8203	O-6	Ⅲ	深鉢	胴部		3.9	暗褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・W・R	
	813	15	8031	N-5	Ⅲ	深鉢	胴部		5.2	暗褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・W・R	外面煤付着
	814	10	8021	N-5	Ⅲ	深鉢	胴部		11	暗褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q・W・R	外面煤付着
182	856	22	2379	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部		7.1	褐色/黄褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	857	23	3494	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部		7.5	暗褐色/暗褐色	ナデ/ナデ	良好	F・Q	
	858	5	3333	R-11	Ⅲa	深鉢	口縁部	口25.2	9.2	暗褐色/暗褐色	ナデ・沈線文/ナデ	良好	F・Q	
	859	6	2482	P-12	Ⅲa	深鉢	口縁部		4.5	黄褐色/黄褐色	条痕・ナデ/条痕	良好	Hy・F・Q	
	860	2	2332	V-7	Ⅲa	深鉢	口縁部		4.2	褐色/褐色	押圧・ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	861	421	1828	U-7	Ⅳ	深鉢	底部	底9.6	10.2	明褐色/暗褐色	ナデ/ナデ	良好	F・Q・P	内面：炭化物付着
	862	12	2681	Q-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		3.9	暗褐色/黄褐色	ナデ/ナデ	良好	F・Q	
	863	29	表採		表	深鉢	胴部		4	褐色/黄褐色	ナデ/研磨	良好	F・Q	
	864	*355	8105	O-6	Ⅲ	深鉢	胴部		3.9	褐色/暗褐色	ナデ/ナデ	良好		
	865	16	8103	O-6	Ⅲ	深鉢	胴部		4.7	褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	866	1	7843	N-8	Ⅲ	深鉢	口縁部		6.7	明褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ナデ・ケズリ	良好	Hy・Ho・Q	
194	928	536	2385	Q-11	Ⅲ	浅鉢	口縁部		3.8	黒褐色/黒褐色	ミガキ/ミガキ	良好	F	黒色磨研土器
	929	475	2567	Q-11	Ⅲa	浅鉢	口縁部		3	黒褐色/黒褐色	ミガキ/ミガキ	良好		黒色磨研土器
	930	542	5665	S-9	Ⅴ	浅鉢	口縁部		4.5	黒褐色/黒褐色	ミガキ・沈線/ミガキ	良好	F・Q	黒色磨研土器
	931	725	2556	Q-11	Ⅲa	浅鉢	口縁部		4.9	黄褐色/暗褐色	ナデ/ナデ	良好	Ho・F	
	932	441	4054	Q-10	Ⅲa	浅鉢	胴部		1.6	褐色/黒褐色	ナデ/研磨	良好	F・Q	
	933	437	7356	R-11	Ⅲa	浅鉢	口縁部		2	明褐色/明褐色	ミガキ/ミガキ	良好		磨研土器
	934	534	4068	Q-10	Ⅲa	浅鉢	底部付近		3.2	明褐色/暗褐色	ミガキ・沈線/ミガキ	良好	Hy・F・Q	磨研土器
	935	451	7925	N-6	Ⅲ	浅鉢	口縁部		1.8	黒褐色/明褐色	ケズリ/ナデ	良好		
	936	43	7720	N-6	Ⅲ	浅鉢	口縁部		4.3	黄褐色/黄褐色	条痕・ナデ/ミガキ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	半精製土器
195	937	52	2947	R-11	Ⅳ	深鉢	口縁部		6.1	黄褐色/黄褐色	条痕/条痕	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	938	38	2505	Q-12	Ⅲa	深鉢	口縁部		4.5	黒褐色/暗褐色	条痕/	良好	F・Q	
	939	48	2620	Q-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		2.4	黒褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ミガキ	良好	Hy・F・Q	
	940	784		表採		深鉢	口縁部		4.5	暗褐色/暗褐色	/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	941	47	8007	横転N-7		深鉢	口縁部		3	黒褐色/黒褐色	条痕/条痕	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	942	*356	2723	R-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		3.7	黒褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	F・Q	
	943	37	1812	V-7	Ⅲa	深鉢	胴部		3.2	褐色/暗褐色	ナデ/ナデ	良好		
	944	53	2532	Q-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		3.6	黒褐色/黒褐色	条痕・ナデ/ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	945	46	2544	Q-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		3.6	黒褐色/暗褐色	条痕・ナデ/ミガキ	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	946	45	2387	P-11	Ⅲ	深鉢	口縁部		2.1	黒褐色/褐色	ナデ・条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	947	21	2395	P-11	Ⅲ	深鉢	胴部		4.4	黒褐色/明褐色	条痕/ナデ	良好	F・Q	
	948	51	7369	Q-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		7.3	暗褐色/暗褐色	ナデ/条痕	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	949	36	2679	Q-11	Ⅲa	深鉢	口縁部		8.3	暗褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	950	40	2531	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部		7.2	黄褐色/暗褐色	ナデ/条痕	良好	Hy・Ho・Q・P	
	951	39	2491	Q-12	Ⅰ	深鉢	胴部		5.3	黒褐色/暗褐色	ナデ/ケズリ	良好	Ho・F・Q	
196	952	35	8101	O-6	Ⅲ	深鉢	胴部		4.3	赤褐色/褐色	条痕/条痕・ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	953	31	8077	O-6	Ⅲ	壺	胴部		6.1	黄褐色/黒褐色	ケズリ/ケズリ	良好	F・Q	
	954	32	8081	O-6	Ⅲ	不明	胴部		4.3	黄褐色/黒褐色	ケズリ/ケズリ	良好	F・Q	
	955	26	2560	Q-11	Ⅲa	深鉢	胴部		4.9	褐色/明褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	956	33	2707	R-12	Ⅰ	深鉢	胴部		3.6	灰褐色/褐色	不明/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	957	7	7992	M-7	Ⅲ	深鉢	底部付近		5.6	黄褐色/黄褐色	条痕・ナデ/条痕	良好	Hy・F・Q	
	958	34	7860	N-7	Ⅲ	浅鉢	胴部		7.2	黄褐色/灰褐色	条痕/研磨・条痕	良好	Q	
	959	204	5200	P-7	Ⅲ	深鉢	底部	底10.2	2.5	黄褐色/暗褐色	条痕・ナデ・ナデ/条痕・ナデ	良好		
	960	539	8151	O-6	Ⅲ	深鉢	底部	底9.8	8	明褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	961	782	782	12T	表		底部	底8.2	4	褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好		
201	986	418	8476	R-1	Ⅳ	甕	口縁部	29.4	7.6	褐色/暗褐色	ナデ/ナデ・ユビオサエ	良好	Hy・Ho・Q	
	987	207	8187	O-6	Ⅲ	壺	胴部		8.6	赤褐色/暗褐色	ハケメ・ナデ/ハケメ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	988	206	8216	P-5	Ⅱ	甕	胴部下位	20.8	9.9	赤褐色/明褐色	ハケメ/ハケメ	良好	Hy・Q	
	989	478	方土1西	R-3		甕	胴部		6.8	灰褐色/灰褐色	ハケメ/ハケメ	良好	Hy・Ho・F・Q	

土器観察表－21

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
	990	202	8085	O-6	Ⅲ	高坏	坏部～脚部		12.6	明褐色/暗褐色	ケズリ・ナデ・ユビオサエ/ケズリ・ナデ	良好	Ho・Q	
	991	718	7853	N-7	Ⅲ	甕	脚台		3.3	褐色/暗褐色	ケズリ/ユビオサエ・ナデ	良好	Ho・Q	
	992	201	7995	M-7	Ⅲ	甕	脚台		5.7	明褐色/明褐色	ハケメ/ハケメ	良好	F・Q	
	993	716			表	甕	脚台		5.9	褐色/明褐色	ハケメ・ナデ/ハケメ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	994	25	8476	R-1	Ⅳ	壺	底部直上		5.9	暗褐色/暗褐色	ハケメ/ハケメ	良好	Hy・Q	
	995	205	8097	O-6	Ⅲ		胴部下位		5.4	黄褐色/明褐色	ハケメ/ハケメ・ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	996	27	4020	P-10	Ⅲa	深鉢	胴部		7.5	明褐色/明褐色	ケズリ・ナデ/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
202	997	343	8111	P-6	Ⅲ	壺	口～底部	12.2	13.7	褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好	Ho	
	998	420	8111	P-6	Ⅲ	甕	口縁部	16.6	7.6	明褐色/褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	999	419	8079	O-6	Ⅲ	甕	口縁部		6.6	明褐色/明褐色	ナデ/ナデ・ハケメ	良好	F・Q	
	1000	715	8土51	Q-2	Ⅲ	浅鉢	口縁部		2.6	暗褐色/暗褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	1001	203	8090	O-6	Ⅲ	壺	肩部		10.8	暗褐色/明褐色	ハケメ・ナデ/ユビオサエ・ハケメ	良好	Hy・F・Q	
	1002	648	8403	P-7	Ⅳ	壺	胴部	9.5	9.8	灰褐色/褐色	ハケ・ナデ/ハケ・ナデ	良好	Hy・F	
	1003	544				甕	口縁部		4.9	暗褐色/暗褐色	ナデ・ハケメ/ナデ	良好	Ho・F・Q	
	1004	543	8481	永Ｉ	Ⅴ	坩	口～底部		7.4	明褐色/褐色	ハケメ・ナデ/ハケメ	良好	Hy・Ho	
	1005	719	住20	O-7	Ⅱ	高坏	脚部		5.2	赤褐色/明褐色	ケズリ/不明	良好	Hy・Ho	
204	1006	344	56等	Q-2	Ⅲ	甕	口～胴部	口25	18.8	明褐色/明褐色	ナデ・ハケ/ケズリ・ナデ	良好		
	1007	541	1482	V-10	Ⅰ	不明	口縁部		1.1	明褐色/明褐色	ナデ/ナデ	良好	Hy・Q	
	1008	754		表			胴部		3.4	明褐色/明褐色		良好	Hy・Q	
	1009	745		O-5	Ⅰ		胴部		3.8	明褐色/明褐色		良好	Hy・Q	
205	1010	538	住1へ16	N-7	Ⅱ		完形	口11.4	6	明褐色/明褐色	回転ナデ・ヘラ切り痕/回転ナデ	良好		
								底5.6						
	1011	743	注記なし			土師	口～底部	口9.1	2.6	明褐色/明褐色	回転ナデ/回転ナデ	良好	砂粒	
	1012	422	8478	R-2	Ⅴ	土師	口縁部	口16.7	2.8	明褐色/黄褐色	回転ナデ/回転ナデ	良好		
	1013	713	8土41	Q-2	Ⅲ		口縁部	口10.6	3.5	黄褐色/黄褐色	ナデ/ナデ	良好		
	1014	748		11T	表		口縁部		0.9	黄褐色/黄褐色		良好		
	1015	705	8土5	Q-2	Ⅲ	土師	口縁部		3.5	黄褐色/黄褐色	ナデ/ナデ	良好		
	1016	740	2398	P-11	Ⅰ	土師	口縁部		1.5	黄褐色/明褐色		良好		
	1017	703	土1	Q-2	Ⅲ		口縁部		3.5	黄褐色/黄褐色	ナデ/ナデ	良好		
	1018	727	3671	P-11	Ⅰ		底部	底5.3	1.7	黄褐色/黄褐色	ナデ・工具痕・ヘラ切り痕/ナデ・工具痕	良好		
	1019	404		表		土師	底部	底5.4	1.4	明褐色/明褐色		良好	Hy・F・P	
	1020	734	2694	R-12	Ⅰ	土師	底部	底8.2	2.4	黄褐色/黄褐色		良好		
	1021	736					底部	底5.6	1.3	明褐色/明褐色		良好		
	1022	407		N-7	Ⅰ	中世土師	底部		1.7	明褐色/褐色	ナデ・糸切り/ナデ	良好	Hy・F	
	1023	742	5831	T-2	Ⅴ	土師	底部		0.6	黄褐色/明褐色	ナデ/ナデ	良好	F	
	1024	731	5212	P-8	Ⅲa	土師	底部	底5.2	1.4	黄褐色/黄褐色		良好		
	1025	735	7838	U-9	Ⅲa	土師	底部	底5	1.9	褐色/褐色		良好		
	1026	759			Ⅰ		底部	底3.5	1.5	明褐色/明褐色		良好		
	1027	758		表			底部	底7	1.2	明褐色/明褐色		良好		
	1028	732	7841	O-8	Ⅰ		底部	底3.7	1.2	褐色/褐色		良好		
	1029	403	3962	P-10	Ⅱ	中世土師	底部		1.5	明褐色/明褐色	ナデ・糸切り/ナデ	良好	Hy・F	
	1030	411		表		中世土師	底部		1.1	褐色/褐色	ナデ・糸切り/ナデ	良好	Hy・F	
	1031	＊608	5191	P-7	Ⅲ	土師	底部		0.9	黄褐色/黄褐色		良好		
	1032	733	5213	P-8	Ⅲ		底部	底3.2	0.7	明褐色/黄褐色		良好		
	1033	751		N-7	Ⅰ		底部	底8.4	0.8	明褐色/明褐色		良好		
	1034	400	5196		Ⅲa	中世土師	底部	底6.4	1	黄褐色/黄褐色	ナデ・糸切り/ナデ	良好	Hy・F	
211	1035	778	土	Q-9			胴部		3.5	灰褐色/灰褐色		良好	F・砂粒	
	1036	779	2824	R-11	Ⅰ		胴部		2.8	灰褐色/黄褐色		良好	F	
	1037	546	4861	U-8	Ⅰ		胴部		2.9	灰褐色/灰褐色	平行タタキ/青海波文	良好	Hy・Q	
	1038	786	4113	Q-9	Ⅰ		胴部		2.8	褐色/灰褐色		良好	R・W・砂粒	
	1039	548	4854	U-9	芋穴		胴部		2.4	灰褐色/	平行タタキ/平行タタキ	良好		
	1040	537		表採			胴部		12.4		タタキ/タタキ	良好		
	1041	547	8276	Q-9	Ⅴ		胴部		4.8	灰褐色/灰褐色	タタキ(格子目)/タタキ(平行)	良好	Hy・F・Q	
	1042	780		表採			胴部		4.2	灰褐色/明褐色		良好	F	
	1043	785	2465	P-11	Ⅰ	?	底部	底4.1	1.4	灰褐色/灰褐色		良好		
	1044	453	8336	P-5	Ⅱ	片口鉢			3.6	明褐色/明褐色	ナデ/ユビオサエ・ナデ・ハケメ	良好		
	1045	781		N-1	Ⅰ		胴部		3.7	黒褐色/灰褐色		良好	Hy・B	

土器観察表－22

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　　考
	1046	783		表			底部		3.6	灰褐色/灰褐色		良好		
	1047	405	3921	Q-10	Ⅰ	内黒土師器	胴部		3.5	黄褐色/灰褐色	ハケメ/ハケメ	良好	Hy・Ho・Q	内面:工具痕あり
	1048	729	7866	Q-3	Ⅳ	土師	底部	底7.7	2.3	明褐色/明褐色		良好		
	1049	728	2326	V-8	Ⅰ	土師	底部	底8.6	3.1	赤褐色/黄褐色		良好		
	1050	752		N-7	Ⅰ	土師	底部	底7	1	褐色/褐色		良好		
	1051	730	187	12T	表	土師	底部	底8.2	1.8	褐色/褐色		良好		
	1052	604	8200	N-7			口縁部		4	黄褐色/黒褐色		良好		
	1053	747		U-9	Ⅳ		把手		1.4	明褐色/明褐色		良好		
	1054	749	2489	Q-12	Ⅲa				2.3	黄褐色/黄褐色		良好		
	1055	750	1287	S-8	Ⅰ				1.6	明褐色/明褐色		良好		
212	1056	820		表		青磁	口縁部		2.4	淡い緑/淡い緑	蓮弁	良好		
	1057	815	401	P-11	Ⅰ	青磁	胴部		2.9	濃い緑/濃い緑	蓮弁	良好		
	1058	814		T-11	表	青磁	胴部		2	淡い緑/淡い緑		良好		
	1059	812	1302	S-8	Ⅰ	青磁	胴部		3.7	淡い緑/淡い緑		良好		
	1060	821		表		青磁碗	口縁部	口12.8	2.6	濃い緑/濃い緑		良好		
	1061	818	1762	V-7	Ⅰ	青磁	口縁部		2.2	淡い緑/淡い緑		良好		
	1062	810		表		青磁碗	胴部		2.5	淡い緑/淡い緑		良好		
	1063	817	2472	P-11	Ⅲa	青磁	口縁部		2.1	淡い緑/淡い緑		良好		貫入あり
	1064	794	112	U-11	Ⅰ	青磁	胴部		3	淡い緑/淡い緑		良好		
	1065	811		表		青磁	胴部		1.7	淡い緑/淡い緑		良好		
	1066	545	8165	N-6	Ⅱ	青磁碗		底6.3	1.9	濃い緑/濃い緑		良好		貫入あり
	1067	816	2351	V-9	Ⅰ	青磁	胴部		4.6	濃い緑/濃い緑		良好		
213	1068	768		表		陶器	口縁部		5.4	赤茶褐色/赤茶褐色		良好		
	1069	761		表		陶器	口縁部		4.5	茶褐色/赤茶褐色		良好		
	1070	774	389	Q-10	Ⅳ	陶器	口縁部		3.7	灰褐色/赤茶褐色		良好		
	1071	764		表		陶器	口縁部		3.8	黒褐色/赤茶褐色		良好		
	1072	763	4101	Q-9	Ⅰ	陶器	口縁部		3.2	黒褐色/淡茶褐色		良好		
	1073	765	3780	R-10	攪乱	陶器	口縁部		4.1	茶褐色/淡茶褐色		良好		
	1074	760				擂鉢	胴部		3.8	淡黒褐色/淡茶褐色		良好		
	1075	767		表		陶器	胴部		4	赤茶褐色/淡茶褐色		良好		
	1076	769		表		擂鉢	胴部		4.7	灰褐色/赤茶褐色		良好		
	1077	766		O-5	Ⅰ	陶器	胴部		2.4	灰褐色/黒褐色		良好		
	1078	762		表		陶器	口縁部		2.5	黒褐色/黒褐色		良好		
	1079	772		南北	攪乱	陶器	口縁部		2.7	赤褐色/赤褐色		良好		
	1080	775		Q-11	Ⅲa	陶器	底部		3.6	茶褐色/茶褐色		良好		
	1081	791	1976	V-8	Ⅲa	陶器	底部	底6.7	1.6	黄褐色/黄褐色		良好		
	1082	809					底部	底4.2	1	乳白色/乳白色		良好		
	1083	787	4000	P-10	Ⅰ	陶器	底部	底3.6	1.1	淡茶褐色/淡茶褐色		良好		
	1084	790	3848	R-9	Ⅰ	陶器	底部	底5.3	2.2	茶褐色/茶褐色		良好		
	1085	789	4111	Q-9	Ⅰ	陶器	底部	底4.4	1.6	茶褐色/茶褐色		良好		
	1086	776	4002	P-10	Ⅰ	陶器	口縁部		4.9	黒褐色/黒褐色		良好		
	1087	771		N-7	Ⅰ	陶器	口縁部		4.1	濃茶褐色/灰褐色		良好		
	1088	792	4125	P-9	Ⅰ	陶器	口縁部	口6.2	3.2	赤茶褐色/黒褐色		良好		
	1089	770		表		陶器	口縁部		2.4	灰褐色/灰褐色		良好		
	1090	773		Q-9土		陶器			3.3	茶褐色/茶褐色		良好		
214	1091	808	4123	P-9	Ⅰ	染付	底部	底5	1.5			良好		
	1092	805				染付	口縁部		3.8			良好		
	1093	801	P-1			染付	口縁部		3.8			良好		
	1094	797		表		染付	胴～底部		2.5			良好		
	1095	803		表		染付	口縁部		3.7			良好		
	1096	802		N	Ⅰ	染付	口縁部		2.4			良好		
	1097	804				染付	口～底部	口11.6	4.8		/山水文	良好		
	1098	800		表		染付	口縁部		1.4			良好		
	1099	798		表		染付	胴部		1.7			良好		
	1100	799	12	S-8	攪乱	染付	胴部		2.6			良好		
	1101	806	1805	U-8	Ⅰ	染付	底部	底6.2	2.6			良好		
	1102	807	8245	N-6	Ⅱ		底部	底4.9	1	淡い緑/白		良好		

土器観察表－23

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備考
240	1115	489	8829	I-8	Ⅳ	深鉢	口縁部	31.4	7.8	黒褐色/黒褐色	条痕・ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q	外面：煤付着
	1116	356	7	4T	Ⅲ	深鉢	胴部		3.3	褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F	
	1117	481	8768	I-7	Ⅳ	深鉢	胴部		5.1	褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	内面：炭化物付着
	1118	510	8736	H-7	Ⅳ	深鉢	胴部		9.5	褐色/黒褐色	条痕・ナデ/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	1119	486	8716	H-7	Ⅴ	深鉢	胴部		6.5	黄褐色/黒褐色	条痕/条痕・ナデ	良好	Hy・F・Q	
	1120	521	8689	R-7	Ⅳ	深鉢	胴部		5.1	黄褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ	良好	Hy・F・Q	
	1121	527	8587	I-7	Ⅲ	深鉢	胴部		3.6	黄褐色/黒褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1122	520	8507	B-6	Ⅲ	深鉢	胴部		3.4	褐色/褐色	条痕/ミガキ	良好	F・Q	
	1123	528	8583	I-7	Ⅲ	深鉢	胴部		7.8	褐色/黒褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1124	515	8721	I-7	Ⅳ	深鉢	口縁部	22	6.4	暗褐色/暗褐色	条痕・ナデ/ナデ	良好	Ho・F・Q	
	1125	508	8685	H-7	Ⅳ	深鉢	胴部		7.8	黄褐色/黄褐色	条痕/ナデ	良好	Ho・F・Q	
	1126	526	8734	I-7	Ⅳ	深鉢	胴部		4.6	黄褐色/黄褐色	条痕/ケズリ・ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1127	491	8591	I-7	Ⅲ	深鉢	胴部		5.2	暗褐色/黄褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
241	1128	518	8569	I-7	Ⅴ	深鉢	口縁部	22.4	7.5	黒褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ	良好	Q	外面：煤付着
	1129	525	8588	I-7	Ⅳ	深鉢	胴部		2.9	暗褐色/明褐色	条痕/ナデ	良好	F・Q	
	1130	495	8578	I-7	Ⅳ	深鉢	胴部		2.3	暗褐色/黒褐色	条痕/ケズリ	良好	F・Q	
	1131	513	8618	I-7	Ⅴ	深鉢	口縁部		8.7	暗褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1132	511	8762			深鉢	口縁部		5.4	暗褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ナデ(指頭痕あり)	良好	Hy・Ho・F・Q・P	
	1133	485	8674	H-7	Ⅳ	深鉢	胴部		4.4	褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	1134	477	8820	I-6	Ⅴ	深鉢	胴部		4.8	暗褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1135	506	8646	H-7	Ⅳ	深鉢	口縁部		6.9	暗褐色/明褐色	ナデ・　条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1136	487	8653	H-7	Ⅳ	深鉢	頸部		4.4	暗褐色/褐色	条痕・ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・Q	
	1137	500	8742	H-7	Ⅳ	深鉢	胴部		3.3	暗褐色/暗褐色	条痕・ナデ/ナデ	良好	Hy・Ho・F・Q	
	1138	490	8648	H-7	Ⅳ	深鉢	胴部		5	黒褐色/暗褐色	条痕/丁寧なナデ	良好	Ho・Q	
	1139	514	8519	C-6	Ⅳ		底部	底15	2.8	褐色/褐色	ケズリ・ナデ/ケズリ	良好	Q・砂粒	
242	1140	522	8713	I-7	Ⅴ	深鉢	口縁部		3	褐色/褐色	ナデ・刺突/ナデ	良好	Ho・F・Q	
	1141	503	8736	H-7	Ⅳ	深鉢	胴部		5.4	暗褐色/褐色	ナデ・条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1142	501	8650	H-7	Ⅲ	深鉢	胴部		3.9	褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好		
	1143	482	8668	H-7	Ⅲ	深鉢	胴部		6.5	褐色/褐色	条痕/工具によるナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1144	519	8785	H-7	Ⅳ	深鉢	胴部		7.2	明褐色/明褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q	
	1145	507	8581	I-7	Ⅲ	深鉢	口縁部		4.4	黄褐色/暗褐色	刺突・条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1146	502	8579	I-7	Ⅲ	深鉢	口縁部		4.9	黄褐色/暗褐色	ナデ・条痕/ケズリ・ミガキ	良好	Hy・F・P	
	1147	497	8626	I-7	Ⅳ	深鉢	胴部		4.8	黄褐色/暗褐色	刺突(ナナメ)・条痕(綾杉文)/工具によるナデ	良好		
	1148	480	8833	I-8	Ⅴ	深鉢	胴部		4.5	黄褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
	1149	523	8983	J-7	Ⅳ	深鉢	胴部		7.3	明褐色/暗褐色	条痕/ユビオサエ	良好		
	1150	531	8623	I-7	Ⅳ	深鉢	胴部		8.2	黄褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Ho・F・Q	
	1151	496	8615	I-7	Ⅲ	深鉢	胴部		2.9	黄褐色/黄褐色	条痕/ナデ	良好	Ho・F・Q	
	1152	479		D-6	Ⅰ	深鉢	底部		2.2	褐色/暗褐色	ナデ/ケズリ	良好	Hy・Q	
	1153	360	22	4T	Ⅴ	深鉢	底部		2.5	暗褐色/暗褐色	条痕文・刻目/ナデ	良好	Hy・F・Q・P	
243	1154	488	8544	C-5	Ⅳ	深鉢	口縁部		3.4	明褐色/明褐色	刺突・条痕・ナデ/ナデ	良好	Hy・F・P	
	1155	516	8526	C-6	Ⅲ	深鉢	口縁部		4.2	褐色/褐色	刺突・条痕・ナデ/ナデ	良好	Ho・F・Q	
	1156	524	8715	I-7	Ⅳ	深鉢	口縁部		1.7	黒褐色/黒褐色	ナデ/ナデ	良好	Q	
	1157	505	8741	H-7	Ⅴ	深鉢	口縁部		3	黒褐色/暗褐色	刺突・ナデ/ナデ	良好	Q	
	1158	504	8613	I-7	Ⅳ	深鉢	胴部		3.5	暗褐色/暗褐色	条痕/ナデ	良好	Q	
	1159	509	8654	H-7	Ⅳ	深鉢	口縁部	口15	6.4	明褐色/暗褐色	刺突/条痕・ミガキ	良好	Q	
	1160	492	8569	I-7	Ⅳ	深鉢	胴部		3.7	暗褐色/褐色	/ケズリ	良好		
	1161	517	8691	H-7	Ⅳ	深鉢	底部	底7.4	4.2	明褐色/褐色	刺突・ナデ/ナデ	良好	Hy・Q	
246	1168	402		永Ⅰ		壺	口縁部		3.3	黄褐色/黄褐色	ハケメ/ナデ・ハケメ	良好	Hy・F	
	1169	845		I-5			頸部		5.9	赤褐色/暗褐色		良好	Hy・Ho・Q・砂粒	
	1170	852		I-4			胴部		2.8	灰褐色/灰褐色		良好		
	1171	822		I-10			胴部		5	灰褐色/明褐色		良好		
	1172	851		I-4			胴部		3.6	灰褐色/明褐色		良好		
	1173	858		I-7			胴部		3.7	灰褐色/灰褐色		良好		
	1174	854		H-12			胴部		2.8	灰褐色/灰褐色		良好		
	1175	857		H-6			胴部		3.3	暗褐色/灰褐色		良好		

土器観察表－24

挿図番号	報告番号	実測番号	遺物番号	出土区	層	器種	部位	口(底)径	高さ	色調(外面/内面)	施文・調整(外面/内面)	焼成	胎土混入物	備　　考
	1176	856		I-5			胴部		3.5	灰褐色/灰褐色		良好		
247	1177	849		I-6			口縁部		2.6	暗褐色/褐色		良好	Hy・Q	
	1178	847		H-6					1.9	褐色/褐色		良好	Hy・Q	
	1179	839		I-6			頸部		2.5	赤褐色/明褐色		良好	Hy・Q	
	1180	832		I-4			口縁部	口11	3	明褐色/明褐色	回転ナデ/回転ナデ	良好		
	1181	829		H-11		土師	口縁部		2.2	黄褐色/黄褐色		良好		
	1182	830		J-10		土師	口縁部		1.4	黄褐色/黄褐色		良好		
	1183	833		I-5		土師	口縁部		1.2	褐色/褐色		良好		
	1184	835		J-10		土師	口縁部		1.5	明褐色/明褐色		良好		
	1185	836		I-5		土師	口縁部		1.4	黄褐色/灰褐色		良好		
	1186	823		I-10			底部	底3.7	2.3	黄褐色/黄褐色		良好		
	1187	843		I-10			底部	底4.2	1.4	褐色/褐色		良好		
	1188	844		I-10			底部	底6.5	1.1	褐色/褐色		良好		
	1189	837		I-5		土師	底部	底8.6	1.8	褐色/褐色		良好		
	1190	838		I-5			底部	底8.8	1.3	暗褐色/暗褐色		良好		
	1191	846		H-11			底部	底7.2	2.2	明褐色/明褐色		良好		
	1192	741		H-7	Ⅰ	土師	口縁部	口4.2	1.9	明褐色/褐色		良好		
	1193	834		I-5		土師(赤)	口縁部	口2.8	4.1	明褐色/褐色		良好		
	1194	842		I-5		内黒土師器	胴部		2.1	黄褐色/黒		良好		
	1195	840		I-5		内黒土師器	胴部		1.8	黄褐色/黒		良好		
	1196	850		I-5		内黒土師器	胴～底部	底7.2	6.3	黄褐色/黒	/底　ミガキ	良好		
	1197	755		D-6	Ⅰ	土師	口縁部		5	明褐色/黄褐色		良好		
	1198	855		H-12		陶器擂鉢	口縁部		5	黒褐色/赤茶褐色	/擂り目	良好		
	1199	777	8503	B-6	Ⅲ	陶器	口縁部		6	黒褐色/茶褐色		良好		
	1200	861		H-11		染付	口縁部		3.2			良好		
	1201	819		I-4	表	青磁	口縁部		2.2	淡い緑/淡い緑	蓮弁/	良好		
	1202	859		I-10		染付	胴部		1.5			良好		
	1203	860		H-12		染付	口～底部	口11.6	3		/山水文	良好		玉縁・見込み・蛇の目釉剥ぎ

胎土の記号：　Hy…輝石　Ho…角閃石　F…長石　Q…石英　B…雲母　P…軽石　R…赤色粒子　W…白色粒子

永迫平遺跡出土石器観察表－1

挿図番号	遺物番号	注記番号	出土区	層	器　種	石　材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
16	1	8368	T－10	X	敲石	ホルンフェルス	(8.0)	3.2	3.2	32.40
	2	406	15T	Ⅶc	加工痕剥片	黒曜石(灰色)	(2.5)	2.0	0.7	3.33
65	84	1住1	W－8	Ⅴ	軽石製品	軽石	14.2	6.7	2.5	56.84
	85	4住1	4号住居跡	埋土	軽石製円盤	軽石	16.7	8.4	3.6	119.26
	86	45	6住		砥石	凝灰岩	24.1	29.0	6.8	4300.00
	87	住6500	7住	Ⅴ	礫器	砂岩	13.1	7.2	3.4	340.00
97	114	504			石皿	安山岩	35.8	26.9	6.2	9000.00
168	815	9	S－10	Ⅴ	打製石鏃	黒曜石(三船)	(1.2)	1.2	0.3	0.23
	816	6996	V－10	Ⅶ	打製石鏃	黒曜石	(0.8)	1.1	0.3	0.21
	817	6155	U－9	Ⅴ	打製石鏃	チャート	(3.1)	1.7	0.2	1.24
	818	7979	M－7	Ⅴ	打製石鏃	ハリ質安山岩	(2.3)	1.5	0.5	1.08
	819	8241	N－7	Ⅴ	使用痕剥片	黒曜石(上牛鼻)	3.7	2.8	1.6	12.20
	820	7990	M－7	Ⅵ	スクレイパー	黒曜石(上牛鼻)	3.7	2.0	0.8	3.80
	821	8236	O－6	Ⅴ	スクレイパー	黒曜石	3.6	2.6	1.0	4.60
	822	5147	U－9	Ⅴ	加工痕剥片	黒曜石(桑ノ木)	1.8	1.8	1.6	1.60
	823	8283	R－10	Ⅴ	加工痕剥片	黒曜石(三船)	0.9	1.3	0.5	0.30
169	824	6725	S－8	Ⅴ	磨石(敲)	安山岩	11.3	8.6	4.1	675.00
	825	6575	S－11	Ⅴ	磨石(敲)	砂岩	12.0	9.3	3.9	680.00
	826	5853	U－8	Ⅴ	磨石	砂岩	13.7	8.9	6.4	1300.00
	827	5050	T－9	Ⅴ	磨石(敲)	花崗岩	11.9	9.1	4.7	670.00
170	828	593	T－11	Ⅴ	磨石(敲)	安山岩	11.4	8.3	3.7	570.00
	829	6605	T－11	Ⅴ	磨石(敲)	安山岩	10.7	8.4	5.8	670.00
	830	6589	S－12	Ⅴ	敲石(磨)	安山岩	5.4	4.4	2.9	75.50
	831	6117	U－9	Ⅴ	磨石(敲)	安山岩	(7.5)	6.8	5.2	350.00
	832	6住31	S－10	Ⅴ	磨石(敲)	安山岩	9.6	8.4	6.6	740.00
	833	6795	S－9	Ⅴ	磨石(敲)	砂岩	9.0	6.2	4.2	300.00
	834	6502	S－12	Ⅴ	磨石(敲)	安山岩	6.7	4.7	3.3	190.00
171	835	303	12T	Ⅴ	磨石	安山岩	10.9	7.6	4.5	450.00
	836	463	S－11	Ⅴ	敲石	安山岩	9.5	6.7	6.6	495.00
	837	6072	T－9	Ⅴ	敲石	安山岩	8.2	6.3	3.6	295.00
	838	6405	U－11	Ⅴ	凹石	安山岩	(5.6)	7.1	4.2	235.00
	839	6577	S－11	Ⅴ	敲石	頁岩	12.3	3.9	2.0	134.51
	840	7668	P－10	Ⅴ	凹石	安山岩	8.1	6.8	4.1	265.00
	841	5929	V－9	Ⅴ	凹石	安山岩	6.2	5.7	5.1	245.00
172	842	5000	V－8	Ⅴ	打製石斧	ホルンフェルス	(10.8)	5.8	3.1	188.21
	843	7345	R－11	Ⅴ	礫器	砂岩	7.9	7.3	2.2	148.46
	844	6418	U－11	Ⅴ	礫器	砂岩	13.4	10.5	3.8	580.50
	845	6570	S－11	Ⅴ下	礫器	砂岩	11.4	8.2	2.8	270.00
	846	6208	V－9	Ⅴ	敲打具？	頁岩	8.2	3.8	2.6	104.27
173	847	607	S－11	Ⅴ	石皿	安山岩	(9.2)	21.2	4.4	900.00
	848	7780	T－9	Ⅴ	石皿	安山岩	(13.2)	9.4	4.8	1200.00
	849	5集石1	R－11	Ⅴ	石皿	安山岩	(10.2)	10.8	9.2	600.00
	850	6839	S－9	Ⅴ	石皿	安山岩	(15.6)	11.4	3.7	700.00
	851	2012	V－5	Ⅴ	石皿	安山岩	(12.2)	19.6	6.2	2700.00
	852	6617	T－12	Ⅴ	石皿	安山岩	(16.8)	12.2	6.8	1600.00
	853	547	S－11	Ⅴ	石皿未製品	砂岩	(25.0)	4.6	5.2	2400.00
174	854	5052	T－9	Ⅴ	石核	黒曜石(上牛鼻)	(5.2)	3.5	4.4	143.26
	855	7554	R－10	Ⅴ	石核	黒曜石(上牛鼻)	(3.1)	7.8	2.2	29.55
183	867	100	12T	Ⅳ	打製石鏃	黒曜石	(1.0)	1.1	0.2	0.20
	868	2196	T－12	Ⅳ	打製石鏃	黒曜石	(1.5)	1.3	0.3	0.48
	869	4058	Q－10	Ⅰカク乱	打製石鏃	黒曜石	(1.2)	1.4	0.2	0.28
	870	4969	U－8	Ⅳ	打製石鏃	黒曜石	(1.5)	1.2	0.4	0.54
	871			Ⅳ	打製石鏃	黒曜石	(1.6)	1.2	0.3	0.41
	872	2983	U－11	Ⅳ	打製石鏃	黒曜石	(1.4)	0.9	0.2	0.23
	873	1111	S－8	Ⅳ	打製石鏃	黒曜石	(2.0)	1.1	0.3	0.49
	874	3236	U－10	Ⅳ	打製石鏃	黒曜石	(1.6)	1.2	0.5	0.83
	875	4004	P－10	Ⅳ	打製石鏃	頁岩	(2.9)	1.9	0.6	2.68
	876	1468	V－6	Ⅳ	スクレイパー	黒曜石	(1.5)	(2.0)	(0.5)	1.70
	877	4235	U－11	Ⅳ	スクレイパー	黒曜石	(1.2)	(1.7)	(0.5)	1.00
184	878	7980	M－7	Ⅵ	磨製石斧	ホルンフェルス	(13.2)	5.7	2.7	220.42
	879	777	S－11	Ⅳ	磨製石斧	安山岩	(10.6)	4.0	1.7	115.23
	880	8477	R－2	Ⅳ	磨製石斧	頁岩	(5.1)	4.6	1.3	45.00
	881	4700	P－11	Ⅳ	打製石斧	頁岩	(7.3)	4.6	2.2	84.66

永迫平遺跡出土石器観察表－2

挿図番号	遺物番号	注記番号	出土区	層	器　種	石　材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
	882	3500	R－１１	Ⅳ	磨製石斧	ホルンフェルス	(5.1)	4.7	1.5	50.57
	883	3909	Q－１０	Ⅳ	磨製石斧	ホルンフェルス	(3.1)	2.4	0.9	9.48
185	884	6401	U－１１	Ⅳ	石皿	安山岩	(29.2)	29.3	8.5	10500.00
	885	5273	Q－７	Ⅳ	石皿	安山岩	(23.0)	14.4	8.7	4800.00
	886			表採	砥石	安山岩	(25.6)	19.2	4.2	410.50
	887	553	S－１１	Ⅳ	石皿	砂岩	(10.3)	9.8	6.6	1100.00
186	888	1366	V－１０	Ⅳ	磨石(敲)	砂岩	12.3	10.5	5.5	1120.00
	889	5332	R－８	Ⅳ	磨石(敲)	安山岩	(5.9)	9.1	4.8	390.00
	890	652	S－１１	Ⅳ	磨石	花崗岩	(11.1)	9.4	5.0	830.00
	891		O－７	Ⅳ	磨石	安山岩	(12.6)	9.1	5.0	925.00
	892	4906	U－８	Ⅳ	磨石	安山岩	(7.6)	7.7	3.1	250.00
187	893	4777	P－１１	Ⅳ	磨石(敲)	安山岩	10.9	9.7	7.6	1200.00
	894	4882	U－８	Ⅳ	磨石(敲)	安山岩	6.2	7.7	4.1	260.00
	895	4865	U－８	Ⅳ	磨石(敲)	安山岩	(12.0)	11.8	4.8	915.00
	896	999	T－９	Ⅳ	磨石(敲)	砂岩	10.5	9.1	6.5	850.00
	897	3048	U－１１	Ⅳ	磨石(敲)	安山岩	8.0	6.4	6.3	365.00
	898	4527	Q－１１	Ⅳ	磨石(敲)	安山岩	5.2	4.6	3.9	130.00
188	899	3614	Q－１２	Ⅳ	磨石(敲)	砂岩	(4.3)	3.1	2.6	45.00
	900	3812	R－９	Ⅳ	磨石(敲)	安山岩	4.8	3.6	3.4	70.50
	901	3743	R－１０	Ⅳ	凹石(敲)	安山岩	(9.1)	6.3	4.1	330.00
	902	6406	U－１１	Ⅳ	敲石(磨)	安山岩	4.6	4.3	3.5	108.00
	903	744？2	R－１１	Ⅳ	敲石	安山岩	4.2	3.5	3.4	60.70
	904	2172	S－１１	Ⅳ	凹石	安山岩	8.1	4.5	3.4	210.00
	905	3628	P－１２	Ⅳ	敲石(磨)	安山岩	5.8	5.5	4.5	210.00
	906	1202	S－８	Ⅳ	凹石	安山岩	11.2	9.7	5.5	545.00
	907	404	T－１１	Ⅳ	敲石？	安山岩	10.4	8.4	7.3	880.00
189	908	7883	M－３	Ⅳ	敲石	砂岩	7.1	7.2	4.5	330.50
	909	3752	R－１０	Ⅳ	敲石	砂岩	9.6	8.5	4.8	460.00
	910	5089	U－９	Ⅳ	敲石	砂岩	12.0	4.9	5.2	340.50
	911	4970	T－８	Ⅳ	刺突具？	砂岩	16.9	4.2	2.2	200.00
	912	4500	R－１１	Ⅳ	刺突具？	砂岩	11.5	4.5	2.8	170.00
190	913	834	S－１０	Ⅳ	楔形石器	粘板岩	7.6	17.8	3.6	835.00
191	914		R－６	Ⅳ	礫器	安山岩	(11.2)	(10.0)	(3.7)	530.00
	915	5822	U－７	Ⅳ	礫器	安山岩	(10.5)	(9.5)	(5.5)	460.00
	916	1529	S－１１	Ⅳ	礫器	安山岩	(11.4)	(10.4)	(5.7)	610.00
	917	5256	Q－８	Ⅳ	礫器	安山岩	(10.2)	(8.8)	(3.0)	310.00
192	918	841	S－１０	Ⅳ	礫器	安山岩	(11.3)	(6.7)	(1.6)	240.00
	919	290	U－９	Ⅳ	礫器	安山岩	(8.7)	(11.1)	(2.4)	305.00
	920	7037	U－１１	Ⅳ	礫器	安山岩	(10.1)	(7.8)		220.00
	921	1268	S－８	Ⅳ	礫器	安山岩	(8.5)	(6.4)	(2.8)	155.00
	922	8411	N－６	Ⅳ	礫器	安山岩	(7.9)	(9.2)	(3.1)	220.00
193	923	4202	U－１１	Ⅳ	使用痕剥片	メノウ	(2.1)	(3.2)	(0.5)	3.10
	924	8738	H－７	Ⅳ	使用痕剥片	鉄石英	(2.2)	(2.1)	(0.8)	4.50
	925	5113	U－９	Ⅳ	石核	黒曜石	(2.6)	3.1	2.6	21.80
	926	1585	S－１１	Ⅳ	石核	黒曜石	(3.6)	3.5	2.8	43.30
	927	5991	U－９	Ⅳ	石核	黒曜石	(2.4)	1.9	1.7	7.38
197	962	2463	P－１１	Ⅲａ	打製石鏃	ハリ質安山岩	(1.6)	1.5	0.3	0.46
	963	3042	U－１１	Ⅲａ	打製石鏃	黒曜石	(1.1)	1.0	0.2	0.14
	964	2409	P－１１	Ⅲａ	打製石鏃	黒曜石	(2.4)	2.4	0.6	3.22
	965	土坑内	Q－９		打製石鏃	チャート	(2.0)	1.5	0.5	1.57
	966	土坑3	V－９	Ⅲ	打製石鏃	黒曜石	(1.1)	0.9	0.2	0.16
	967	1775	V－７	Ⅲａ	打製石鏃	黒曜石	(1.3)	1.1	0.3	0.43
	968	96	U－１１	Ⅲａ	打製石鏃	ハリ質安山岩	(1.7)	1.4	0.3	0.51
	969	2513	Q－１２	Ⅰカク乱	打製石鏃	黒曜石	(1.6)	1.2	0.2	0.33
	970	3939	Q－９	Ⅰ	打製石鏃	ハリ質安山岩	(2.1)	1.6	0.5	1.04
	971	2844	R－１１	Ⅲａ	打製石鏃	黒曜石	(0.8)	1.2	0.3	0.24
	972	2605	Q－１０	Ⅲａ	打製石鏃	黒曜石	(2.3)	1.8	0.4	1.70
	973			表採	石錐	黒曜石	(1.5)	0.9	0.2	0.27
198	974	7930	N－６	Ⅲ	スクレイパー	黒曜石	(2.5)	(3.4)	(0.9)	34.80
	975	4158	U－１０	埋土	楔形石器	黒曜石	(1.8)	(2.0)	(1.3)	4.30
	976	4046	Q－１０	Ⅲａ	楔形石器	黒曜石	(2.0)	(3.2)	(1.1)	5.70
	977	2441	P－１２	Ⅲａ	石核	黒曜石	(2.5)	3.2	1.6	10.44
	978	8176	N－６	Ⅱ	使用痕剥片	黒曜石	(5.1)	(3.3)	(1.2)	22.40

永迫平遺跡出土石器観察表－3

挿図番号	遺物番号	注記番号	出土区	層	器　種	石　材	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)
199	979	8131	P－5	Ⅲ	磨製石斧	砂岩	(10.7)	7.0	4.6	510.00
	980	4000	P－10	Ⅲa	打製石斧	ホルンフェルス	(5.5)	3.9	1.4	52.37
	981	4765	Q－12	Ⅲa	礫器	安山岩	9.6	7.8	3.7	280.50
	982	1793	V－7	Ⅲa	礫器	安山岩	10.7	2.4	2.1	80.50
	983	7939	O－8	Ⅲ	凹石	安山岩	8.7	4.9	3.5	190.00
	984	2177	T－11	Ⅲa	凹石	安山岩	9.1	6.1	4.6	295.00
	985	8665	H－7	Ⅲ	敲石(磨)	安山岩	3.9	3.3	3.5	60.00
232	1103	9090	G－8	Ⅸ	ナイフ形石器	安山岩	(5.3)	2.2	1.2	11.70
	1104	9100	H－7	Ⅸ	石核	黒曜石	(2.5)	3.0	2.1	16.05
233	1105	405	13T	Ⅷa下	台形石器	黒曜石	(3.0)	2.4	0.8	5.55
	1106	9070	E－6	Ⅷb	尖頭器	頁岩	(5.3)	2.1	0.9	33.91
	1107	9112	G－9	Ⅷb	尖頭器	安山岩	(7.8)	3.8	1.1	34.77
	1108	8918	E－6	Ⅶb	スクレイパー	黒曜石	(1.7)	2.7	0.5	3.12
	1109	8927	E－6	Ⅶb	スクレイパー	黒曜石	(2.1)	2.5	1.5	5.09
	1110	8866	E－6	Ⅶb	剥片	頁岩	(3.2)	6.7	1.0	19.95
	1111	8883	E－6	Ⅶb	スクレイパー	頁岩	(3.1)	3.6	0.9	11.69
	1112	8956	D－6	Ⅶb	石核	砂岩	(5.9)	6.7	3.9	490.00
234	1113	8814	F－7	Ⅶa	打製石鏃	黒曜石	1.6	1.6	0.5	0.80
	1114	8798	H－6	Ⅶa	打製石鏃	黒曜石	1.1	1.1	0.3	0.10
244	1162	8693	H－7	Ⅴ	打製石鏃	黒曜石	(1.6)	0.9	0.3	0.34
	1163	7480	G－12	Ⅳ	打製石鏃	黒曜石	(1.3)	1.0	0.3	0.26
245	1164	8709	F－7	Ⅳ	凹石	安山岩	7.6	5.8	4.6	330.00
	1165	8671	H－7	Ⅳ	磨石(敲)	砂岩	10.1	7.5	4.2	460.00
	1166	2510	B－12	Ⅲa	打製石斧	頁岩	(6.5)	6.3	1.6	62.13
	1167	8521	C－6	Ⅲ	磨製石斧	安山岩	(11.2)	5.7	2.5	169.83

第Ⅵ章　ま　と　め

永迫平遺跡は日置郡伊集院町下谷口にあり，南九州西回り自動車道川内道路建設に伴って平成８年度から平成10年度にかけて発掘調査が行われた。調査は，台地の本体部分の第１地点と台地の西側に張り出した尾根部分の第２地点の２つの地区に分けて行った。調査によって，旧石器時代から中・近世に至る遺構や遺物が確認された。以下，時代毎にその成果をまとめるとともに，調査によって派生した問題点や，調査によっても解明されずに残った課題について記載しておきたい。

1　旧石器時代

ナイフ形石器文化期のブロックが２基確認された。いずれも第２地点からで，尾根の西側部分の南側に緩やかに傾斜した面に，それほど広くない範囲にチップやフレークが散らばった状態で検出された。双方ともに石器製作の跡と考えられ，ナイフ形石器と石核が出土した（Ⅸ層）。そのほかに，三稜尖頭器や剥片尖頭器・台形石器も確認されている（Ⅷａ層）。

細石刃文化期の遺物としてはⅦａ層出土の石鏃があるが，石鏃の出現を縄文時代草創期からとする考えに基づけばその時期と呼称すべきかも知れないが，土器が確認されていないため留保したい。

2　縄文時代早期

本遺跡の中心となる時代であり，遺物・遺構のいずれも質量共に他の時代のそれよりも抜きんでている。

早期前半のうち，石坂式土器が第２地点を中心に確認された。遺構は土坑が１基検出されたのみである。平面プランは楕円形であり，深さは60㎝程のもので，性格は不明である。

第１地点は同じ早期前半の時期であるが，いわゆる加栗山式土器は出土量が最も多く，本遺跡のメインと言える。遺構として，竪穴住居跡が９軒，集石が12基，連穴土坑が３基，道跡が３本，土坑が392基，方形土坑が95基検出され，この時期の集落跡と確認された。

竪穴住居跡は平面プランが基本的に方形で，内部には柱穴を持たず，掘り方の外部に多くの柱穴を有するタイプである。大部分の柱穴は埋土が単純なものであるが，中には柱痕跡の残っているものもある。それらは柱穴の中でも片側に寄った位置に見られるものがほとんどであり，地面に対してほぼまっすぐであることから，柱は直に立っていたことがわかる。このため，家屋の復元に際しては上野原遺跡のもののようなドングリ形の上屋を考えるか，直に立てられた柱に梁を渡し，その上に垂木ように木を斜めに差し掛け，横方向の枝などでそれらをまとめ，その上に草藁などをかぶせて屋根とするか，さらに土を乗せて土屋根とするか，意見が種々出されるところであろう。また，特定の住居跡には，西及び北または南東部に浅い矩形の小溝状のものがあり，風除けの施設または出入り口の可能性が考えられる。３号と４号を始めとして，１号と２号などのように近接して検出される住居跡については，従来からセット関係や建て替えなどが言われているが，本遺跡においては，３号と４号の間はあまりにも接近し過ぎていることから時期差を考えるべきかも知れないし，１号と２号については間隔がある程度離れていることからセット関係を考えることもあながち間違いとも言えないであろう。そのほかの住居跡については間隔が相当に離れていることから，セット

関係としては考えにくく，それぞれ単独なものと捉えられる。異なった時期を考えることも可能かも知れないが，旧来から家が単独で建っていることはあまり無く，小規模ながらも集落を形成する場合が多いことを考慮すれば，ある一時期として見た場合，3 号か 4 号かの何れかとそのほかの住居は同時に建っていた可能性が大きいと言える。さらに言うなら，軒の接近もそれほど住居としての在り方から見て違和感のないものであるとすれば，今回検出した 9 軒の家が同時にあったことを積極的に否定する要素も見つからないのである。

調理施設とされる集石や連穴土坑も検出された。住居跡の集中する区域とは別に調査区域の北西部に連穴土坑 2 基が，また，北側に集石が所在することから，少なくとも調査対象地域外の北西の台地上には別の住居跡が確認される可能性が考えられ，別な（時期の ?）集落が展開することもあるのかも知れない。

道跡が第 1 地点から北及び西に合わせて 3 本，第 2 地点から北西に 1 本確認された。本集落からどのように道が延びていたのか，可能な限り追求して行ければと思う。

それにしても総計 500 基に上る土坑と，それにも増して，住居跡と同様な形態をしているものでそれとは確実に異なった機能を考えざるを得ない，四角形を基調とした 100 基に上る方形土坑とはどのように考えて行けば良いのだろうか。少数ではあるが実施した土坑の土壌分析でも明確な成分が得られず，従ってその機能も不明とせざるを得ないことに加えて，方形土坑については作りかけの住居とか，畑の跡，そのほかが考えられ，いずれとも決しがたい。

3　縄文時代後期・晩期

後期と晩期も土坑やピット群といった遺構を始め，その時期の土器や石器が出土している。後期と晩期の境界については，どの土器型式までを後期とするかに議論があることに加えて，遺物の包含層として見たとき，同じⅢ層（アカホヤ層の 2 次堆積層）中に双方が収まり，もっと言えば古墳時代までが含まれることから, 遺物そのものの明確な時期の比定には慎重さを要すると言えよう。

4　古墳時代

古墳時代の遺物としては，在地性の強い土器である成川式土器が出土している。頸部が“く”字状に外反し，突帯を外周に巡らし，底部に上げ底の脚台の付く甕形土器と，頸部から大きく外反する口縁部を持ち，割合に長胴気味の胴部に絡縄の突帯を巡らし，不安定な底部に繋がる壷形土器，それに鉢形土器や須恵器の甕なども見られる。

5　古代

古代は平安時代が中心と考えられ，土師器の碗・坏・皿などに加えて甕もある。

6　中世

中世の遺構では，溝状遺構のほか道跡も検出され，近世・近代にかけて台地の至るところを通行していた痕跡が残されている。遺物には，土師器や青磁，染付，陶器も多く出土している。

7　近世

第2地点の痩せ尾根のほぼ中央部にあった小高い樹の根元に，近世頃に作られた石塔が所在なさげに打ち捨てられていた。残しておけば工事に伴って破壊されることは自明の理であったことから，町の教育委員会を通じて照会したところ，石塔に刻まれた苗字の子孫の方が近所に住まわれていることがわかった。そこで，事情を話して自宅の庭に鎮座させて頂くことで納得してもらい，御子孫の手で未来永劫に亘って管理して頂くことになった。このことは，考古学の主たる対象が「近世以前」であることから扱いに苦慮した者にとって，歴史の遺産を破壊せずに次の世代に引き継ぐことができたという点で安堵したことであった。

次に，本遺跡を調査して話題や問題，課題となった事柄について，現時点での考察を若干加えてみることにしたい。　　（繁昌）

Ⅰ　縄文時代早期の住居跡について

永迫平遺跡では，9基の住居跡が確認された。いずれも第1調査地点と呼称した広い台地の部分で，調査地域の南東部にまとまって検出された。方形を基調としており，掘り方は小規模のものが正方形に近くこぢんまりしており，規模が大きくなるにつれて短軸と長軸の差が大きくなる長方形になっていると言える。

規模は最小の2号住居跡と最大の6号住居跡とでは，およそ2倍の差があるが，これが何を意味しているのか明確ではない。単純に構成人数の多少による可能性を考えるのが一般的だとは思うが，それにしても2倍の広さの差異は極めて大きいように思われる。構成人員の差と考えた場合，単純に計算すれば6号住居には2号住居の2倍の住人が生活していたということになるが，そうすると家族構成がどのようになるのか。狭い住居では夫婦と子供という核家族の生活が最も考えやすいが，これに片方の親に当たると考えられる老齢の人が，多い場合には複数生活していたとする例もあることから,そうであったとすると相当に窮屈な状況ではなかったかと想像されるのである。そうであれば，6号住居跡ほどの広さであればその程度の人数が生活するのには支障がない可能性が出てくると考えられる。それを翻って考えると，2号住居跡などのような小規模なものは，基本的に夫婦と子供によって構成される核家族が住んでいたのではないかと言えるように思われるのである。そうすれば，1号・7号・9号各住居跡は，その中間的な構成人数を考えておいた方がよいのではないかと結論付けられそうに思われるのである。

ただ，住居の規模を考える場合，本来は柱を立てて屋根を葺き下ろして形成される空間の広さを含めて考慮しなければならないことは当然である。本遺跡の場合,住居の掘り方の周辺に多数のピットが検出されるという特色がある。断ち割りを行って，そのほとんどが柱を立てた穴と考えられることを確認している。中でも，柱痕跡が明瞭に残るピットについては，客観的に見て確実と言える。そうした場合，柱痕跡の見られないものを中心に多くのピットをどのように考えれば良いのか，頭を悩ませられることである。結論から言うと，これらの多くの柱の痕跡は同時にあったというよりも，立て替え及び主柱に対する添え柱と考える方が考えやすいようである。ただ，いずれにしても同時にすべての柱が立っていたと考えることには無理があるようである。

そうすると次には住居の掘り方と柱穴の位置をもとにして，住居の復元を試みる必要に迫られてくる。小規模のものは掘り方の中心からほぼ等距離のところに柱穴が位置しているものがほとんどであることから，国分市で発見され，国の史跡として指定された上野原遺跡に復元されているような円形の住居に類似する形態となる可能性がある。ただ，上野原遺跡に復元されている住居は主となる柱の間に, 調査では確認されていない小ピットがあったものと想定して柱そのものを壁として，いわゆる“壁立ち”の住居として復元されている。周囲を巡る柱を上部でまとめてくくり，その上から草藁をまとめて屋根を葺いていく構造であったと推定して復元された。

永迫平遺跡では，柱が掘り方の中心部からほぼ等距離に位置するように検出はされたが，大小のものを含めて同心円状に隙間なくピットが並んだ状況は確認されていないことから，上野原遺跡のそれと全く同一に復元することにはためらいがある。柱と柱の間には確実に間隔があることから，これを柱とし，上部を短い木などで下部と同じ程度の幅にまとめる。その後，垂木を上部に向けて多数架けて束ね，垂木尻は地面に穴を掘って固定する。入口を除いて草藁を葺いて屋根とするような，一般的な住居として復元することが望ましいのではないかと考えられる。そのように考えると，一辺が 2m 程度の掘り方で，その近くに柱穴が巡っているような，遺構として残ったものから推定される小規模の住居跡であっても，最小限の核家族でも起居を中心とした日常の生活が，スペース的に支障のない状況で送れるように考えられるのである。

それ以外の規模の住居跡については，掘り方の周辺に沿うようにピットがほぼ方形に巡っていることから，これが柱穴であると考えられる。それから復元される住居跡の形状は，掘り方に沿って柱が何本か並び，これらの立ち上がった柱を上部で横方向の材を用いて結束し，固定する。その後に四隅に垂木を渡し，上部では短軸方向の垂木同士をまとめた地点から長軸方向にも材を渡して固定し，屋根の骨組みを形づくる。その後，多数の垂木を天井部から下方におろし，そこに草藁を葺いて屋根とするような，各地で縄文時代の住居跡として復元されているものに近い“柱立ち”の住居の構造が推定されるように考えられる。

しかし，それらはいずれにしても推定の域を出るものではない。最終的な上屋の構造については専門家の所見を待たなければならない。ただ，その場合でも，一時期における最終的な柱の位置の確定が必要となることは言うまでもない。調査にあたっては，この柱穴の確定に相当な時間を費やしたのではあるが，最終的に断ち割りを行って柱痕跡の確認は一応はできたものの，それでもそれら柱痕跡のすべてが一時期に，同時に存在していた（立っていた）かどうかについては，残念ながら明確にはできなかった。埋土の明瞭な違いも見られなかった。それは，柱痕跡の残るものと，それが明確に確認されなかったものとでも，各住居跡の周辺ピット図として掲載してある以上には差異を確認することはできなかったからである。

また，それら柱痕跡の残ったものは，住居の廃棄に当たってもその柱を抜き取らずに遺棄したと考えられる。その一方で，柱痕跡の残っていないものは，柱を倒すなどして抜き取り，その後，その穴を人為的に埋めた可能性が考えられるかも知れない。ただ，そうした時，柱をそのまま遺棄し，朽ちるに任せたのであれば柱があった部分の埋土は柔らかく，逆に，抜き取った後で人為的に埋めて踏みしめられたのであれば固いと考えられる。しかし，調査に当たってその埋土の固さを確かめたが，明確な違いは得ることはできなかったことから，いずれとも決しがたいというほかない。　（繁昌）

Ⅱ　連穴土坑

3 基の連穴土坑が確認されたが，形態的にそれぞれにある程度の特徴があると考えられる。

1 号連穴土坑は，ブリッジ部分が落ちていたことから，当初は一般的な土坑と考えられたが，足場に当たる部分に木炭片が見られたことなどから慎重に調査を進めて行ったところ，木炭を検出した付近に焼土もあったことから，連穴土坑と判明した。木炭及び焼土は足場の中央部より煙出し部に近い部分でしか検出されず，その部分は煙出し部分に向かって微妙に上がっている。また，足場部分が段掘りされているのに対して，煙出し部分は単純な構造で深くなっている。ブリッジ部分の推定は，煙出し部分と足場部分の接点とも言うべき狭隘となった部分の両側に崩落したような痕跡が見られたことと，床面近くに薩摩火山灰の塊を含む黒色の火山灰層がブロック状に堆積していたことが挙げられる。1 号連穴土坑でとりわけ特徴的なことに，大きな石 2 個を含む 5 個の礫が埋土中に見られたことがある。完全な床着ではないことから遺棄された段階で投げ込まれたものとも考えられるが，使用に当たって用いられていた可能性も否定できないと考えられ，注目すべき点であると思われる。

2 号連穴土坑は，ほかの 2 基に比べて極めて大型であることが特徴と言える。ブリッジ部分がよく残っており，完全な形状と言って良い。足場部分が煙出し部分よりも深く，ブリッジ部分の下位に当たる煙道の下部がこんもりと上がっていることから，煙の動きをよく考えた造りになっていると言える。ところで，煙出し部分の掘り方が丸くなく，方形に近いことと，足場部分が極めて大きく広いことから，調査の時点でも奇異に感じながら掘り下げを行った。また，完掘した時点で，足場部分の床面までの深さも異なっていたことから，これは当初，一般的な規模で造られたものが，その後にブリッジ部分を共通にして軸方向を変えて造られた結果，このような規模・形状となった可能性が出て来た。そのように考えると，これらの事柄が納得できるように思われるのである。

3 号連穴土坑もブリッジ部分もよく残っているなど残存状況は完全である。足場部分から煙道にかけては緩やかな傾斜で上がっており，煙の動きの上からは効率的な構造となっていると言える。煙出し部分は多角形気味の不整形をしており，床面には小さな浅いピットがあるが，これはいずれもどのような機能を果たすのか不明である。足場部分は 2 段になっており，昇降のための足がかりかとも考えられるが，それにしては段差が小さく，機能的であったかどうか不明である。また，煙道側に土器の小片が 10 点ほど見られるが，出土した場所で上下の差が大きいことから連穴土坑と共に使われたものと考えることはできないようである。

これらの連穴土坑は，1 号連穴土坑が調査区域（第 1 地点）の南東部，住居跡が集まっているエリアの付近に 1 基だけあり，2 号及び 3 号連穴土坑は調査区域の北西部に近接してあった。連穴土坑は薫製を行う調理施設であるとされることから，集石とともに住居の付近に営まれることが多いと考えられる。そうであれば，これら 2 基の連穴土坑が南東部の住居跡群からは相当な距離隔たっていることから，南東部の住居跡群以外にも，北西部付近に別な住居跡の存在も考えられられるのである。南東部の住居跡群の周囲には土坑や集石が見られることが多いことから考えると，M ～ P 区辺りの北側に，南東部のそれと似たような規模の住居跡群があるかも知れない。この付近は旧地形で見ると，南東部から北西部にかけての脊梁部に当たっていることから考えても，その可能性は高いと言えよう。 （繁昌）

Ⅲ　方形土坑

本遺跡の遺構上の特色として方形土坑と仮称した大型の土坑の一群がある。一般の土坑と比較すると，① 規模が大きい　② 方形を主体として稀に楕円形のものも見られる　③ 住居跡との違いは周辺にピットが見られず，床面がフラットではないものがほとんどである　④ 薩摩火山灰がそのまま残存しており，除去されていないものがほとんどである　⑤ 調査地区の北側に偏って所在する　⑥ 旧地形の最高所から若干下がったところに，最高所を取り囲むように所在する　⑦ 周囲より若干低い道跡に所在するものもあること，などが異なった点である。

この遺構については，調査の時点からその機能や目的についてさまざまな意見が寄せられた。その主なものは，次のようなものである。① 規模が一般の土坑よりもはるかに大きく，形状が方形を基調とするところから，住居（跡）の製作途中の状況ではないか　② 形状が方形を基調とするものの稀に楕円形のものがあり，薩摩火山灰が不規則に局部的に残存し，道跡のような周囲より若干低い，水の受けやすい場所に位置するものもあるところから，畑の跡ではないか，この２つの考え方が受け入れやすいように思われるものの，確たる証拠はない。

ただ，①の製作途中の住居（跡）との考え方には，床面がフラットになっていないものが多すぎることと，薩摩火山灰を除去していないものが多すぎること，重複しているものも多いことなどの点から，積極的に受け入れることに戸惑いがある。また，②の畑の跡とする考え方には，薩摩火山灰の残存がある程度規則的でないこと，それの残存が全く見られないものもあること，必ずしも方形を基調とする必要があるのか疑問であることなどの点から疑義が残る。

調査の最終段階に，これの解明を目的にしてさまざまな方法で断ち割りを試みた。１つには掘り方のラインに沿ってロの字形に断ち割ったし，もう１つは辺の方向に従って３～４列に断ち割りを行い，今１つは中央部に十字形に断ち割りを行って，性格の解明に取り組んだ。その結果として，埋土の中での薩摩火山灰の残存がのこぎりの刃状にギザギザになっているように見えなくもないものも確認された。また，残存する薩摩火山灰が鋸歯状になった部分の下位に，横方向に入り込むような埋土の状況が見られたところもあった。このことから考えると，上方から下方に連続的にリズミカルに繰り返される耕作の痕跡と考えられなくもないことから，畑の跡と考えてもよさそうな気もしている。しかし，全部の方形土坑を断ち割ったわけではなく，極めて一部に過ぎないことから一つに結論付けることは保留し，今後の検討に委ねたいと考える。（繁昌）

Ⅳ　道跡

永迫平遺跡からは３本の道跡が検出された。３本の道は，２本が北に向かい，１本が西に向かっている。それは，調査区域のコンターでもわかるように，等高線の間隔の狭い部分に検出されている。また，その等高線が大きく内側に入り込むところに狭いながらもある程度の幅を持って延びている。検出したのは確実なところではⅥ層の上面であるが，住居跡などがⅤ層の途中から掘り込まれている可能性があることから，この道跡についてもその可能性を考えていた方が無難だと思われる。そうであったとしても，Ⅴ層が縄文時代早期の包含層であることから，この道跡は住居跡などと同様に縄文時代早期の遺構と考えて間違いはないと判断される。

次に，これらの道がどこに向かって延びていたのかを考えるために遺跡周辺の地形図で見てみる

と，1 号とした道跡はすぐ東側にある北東から T 字状に入り込んだ谷の方向に向かっているようである。谷の深い凹部へと緩やかに下りていく道であると考えられる。同じく北側に向かっている 3 号の道跡は，台地の北部へと直接繋がるものではない。調査以前には平らに安定しているように見えていた台地ではあったが，調査の結果，当時の地形は北側に向かって急激に下っており，道はその部分に向かって下りている。そうすると，先ほどの 1 号と同様に東側の T 字状になった谷へ，北側から下りる道ではないかと考えられる。従って，北に向かっているように見えた 2 本の道は，最終的にいずれも東へと下りる道であると考えられ，北東の大きな迫を経て台地の北東部の低地へと向かう道であったと思量されるのである。

2 号とした道は，西から北西に向きを変えてそのまま北西部の迫の方向に向かっている。現在，その先には住宅団地が造成されて多くの家が建っている。広域な地形図を見るとこの団地の北東部は迫状となり小河川も見られることから，2 号道跡も最終的にはこの迫に沿って台地の北東部の低地へと向かっていたと思われるのである。2 号道跡はまた，現在の団地にあたるいずれかの場所で分かれて西に向かう道となっていたことも考えられる。周辺地形図のコンターからはそのような可能性も考えられよう。（繁昌）

Ⅴ　集落の要素と景観

南九州の縄文時代早期の集落としては，国分市の上野原遺跡が国の史跡に指定されて周辺を含めた整備が行われ，“縄文の森”として開放されている。このほかにも，過去に開発に伴って調査が行われた鹿児島市の加栗山遺跡や，日置郡松元町（現鹿児島市）の前原遺跡が著名な遺跡として知られている。これらの遺跡に共通する遺構としては，①住居跡②集石③連穴土坑④土坑⑤道跡がある。①は居住の場，②と③は調理の場，⑤は往来（交通）の場であり，④は廃棄の場・葬礼の場・粘土採掘の場などと考えられている。

永迫平遺跡では①から⑤までのすべての遺構が検出・確認されている。①の住居跡は 9 基，②の集石は第 1 地点だけでも 18 基，③の連穴土坑は 3 基，④の土坑は約 400 基，⑤の道跡は 3 本が確認された。住居跡は上野原遺跡の 52 基には到底敵うべくもないことは当然であるが，加栗山遺跡の 17 基や，前原遺跡の 12 基などと比べても若干規模は劣ると言わざるを得ない。また，集石や連穴土坑にしても 3 遺跡からは多数見つかっている。ただ，土坑の数で言えば，ほかの遺跡とはそれほど遜色はないと思われる。また, 道跡は上野原遺跡と前原遺跡でそれぞれ 2 本ずつ見つかっているが，加栗山からは調査の時点では確認されておらず，唯一これらの上を行く数と言ってよさそうである。

ところで，本遺跡からはほかのどの遺跡からも検出されていないばかりか，県内・南九州を見渡しても確認されたことを聞かない“方形土坑”と仮に呼称している方形を基調とする大型の土坑が検出されている。この遺構はほかの遺跡では見られないことから，本遺跡の特徴と言って良いのではないだろうか。住居の製作途中で遺棄されたものであれば，大集落を造ろうとしていたかも知れないし，畑の跡であれば縄文時代早期の農耕の痕跡として極めて意義深いと言えるかも知れない。この遺構の性格次第で景観も大きく変わることになるが，それを決することは今の段階では到底できないので，今後待つ以外にはない。しかし，それを抜きにしても本遺跡が経営されていた当時，風光明媚な見晴らしのいい台地である程度の人数が暮らしていたことを想像することは許されよう。(繁昌)

Ⅵ　早期の土器

本遺跡の出土遺物は，鹿児島県や宮崎県南部に分布が集中する南九州貝殻文系土器がその大半を占めている。鹿児島県域において貝殻文系土器を多く出土した著名な遺跡のうち，加世田市栫ノ原遺跡・鹿児島市加栗山遺跡・国分市上野原遺跡などはいずれも縄文時代早期前半を代表する集落遺跡であり，伊集院町に所在する本遺跡もその例に漏れない。

以下，出土量の多い貝殻文系土器について，特に加栗山式土器を中心に他遺跡の状況と比較し，永迫平遺跡の特徴を土器の面から考察したい。

永迫平遺跡から出土している加栗山式土器が文様の種類に乏しいことは先に指摘したが，胴部文様を細かく分けると以下の４種類がみられる。

①　縦位２条の刺突文を基準とし，斜位１条の刺突文を斜格子状に付加するもの

②　縦位１条の刺突文を基準とし，斜位１条の刺突文を斜格子状に付加するもの

③　縦位の刺突文のみが割と密に施されるもの

④　横位の刺突文を施した後，縦位（斜位）の刺突文を重ねるもの

このうち，①は上野原遺跡２～７地点で多く出土しているタイプで，前平式土器からみられる２条の沈線文・連点文の影響が残り，加栗山式土器の中でもやや古い様相を残すものである。栫ノ原遺跡・加栗山遺跡でも散見されている。一方②・③は，加栗山遺跡・栫ノ原遺跡・上野原遺跡などの遺跡においても多く出土しており，最も普遍的にみられる文様である。また，④のような横位刺突の施されたタイプはこれまでに未発見であり，突然変異的に生まれて，継承されることのなかった文様である可能性も充分考えられる。こうした特異な文様をもつ加栗山式土器の存在は，他の遺跡においても若干量ではあるが数種類は認められる。しかし，本遺跡においては②・③の割合が非常に高く，その画一性が強い傾向にあるといえる。

次に吉田式土器について概観すると，本遺跡で出土している吉田式土器は，楔のシャープさや断続的な押圧施文に特徴づけられるように加栗山式土器の名残りが大きく，吉田式土器の古い段階のものにほぼ限られている。こうした吉田式土器の古いタイプは，加栗山遺跡・栫ノ原遺跡で出土しているが，上野原遺跡では認められない。

石坂式土器は，尾根側に集中的に分布し，遺跡の使用範囲が時期によって異なることを示している。先行する吉田式土器（古相）との間には時間的断絶が認められる。一方で，後続する下剥峰式土器との間には，型式変化の過程を示すとみられる中間型式のものが含まれている。

以上の点から，永迫平遺跡の土器および遺跡の利用について考察したい。

まず，加栗山式土器の継続期間である。土器文様の種類の豊富さを時間的な長さに直結して考えることはできない。だが，その点を考慮しても，出土した加栗山式土器が文様構成等において非常に画一的であることから，この時期の遺跡の使用はある程度限定された期間のうちに行われたと捉えることができる。

ただし，限定された期間とはいえ一型式の継続期間を考えたとき，編年研究の現状では１～２世代に収まるものではない。そのため，限定された期間が具体的にどれほどの長さであったのかに

ついて追究することは今後の課題である。

時期的には，加栗山式土器（②・③の段階）から吉田式土器（古相）が主体となることから，①のような２条の刺突文が施された加栗山式土器を多く出土した上野原遺跡よりも，若干新しい時期の集落遺跡であると考えられる。そして，加栗山遺跡・桁ノ原遺跡とは時期的に近く，同時期に存在していた可能性も十分にある。この時期の当地域における集落間関係については,加栗山遺跡・鹿大桜ヶ丘団地遺跡・前原遺跡（未報告）がそれぞれ直線距離で約 10km という距離関係に立地しており，鹿児島市の後背に広がる台地・丘陵地帯を中心として回帰的な定住生活を送っていた人間集団が存在した可能性を論じた研究がある（前迫 1994)。前原遺跡から直線距離にして西に約 7km の位置に立地し，鹿大桜ヶ丘団地遺跡とは前原遺跡を挟んで直線的に並ぶという位置関係にある本遺跡を考える上で，非常に興味深い内容である。

石坂式土器～下剥峰式土器の時期については,型式的な連続性がみられることから,長期にわたって連続的に遺跡が利用されていたと解釈できる。しかし，出土量はそう多くはなく，第２地点の遺構数の少なさからも窺えるように，加栗山式土器該当期の土地利用とは性格的に異なるものである。

（甲斐）

遺跡の残存範囲（第 248 図）

発掘調査によって南九州西回り自動車道となった部分の遺跡は消滅した。それは，第１地点とした台地部分のほぼ中央部と第２地点のすべての範囲である。しかし，この調査によって永迫平遺跡のすべてがなくなったわけではない。374 ページの第１地点の北側及び南側の網掛けの部分は残存しているので，周辺の開発などの際には県教育委員会または伊集院町教育委員会と協議することが必要である。今回の調査で，縄文時代早期の集落が広がっていることなどがわかっているのである。

（繁昌）

参考文献：

前迫亮一　1994　「南九州縄文時代早期前半の居住活動に関する一予察」『大河』第５号
大河同人

第248図　遺跡残存範囲図

（アミの内側が残存している範囲）

第Ⅵ章 分析・考察

永迫平遺跡における遺構の年代観について

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

永迫平遺跡(日置郡伊集院町下谷口所在)は，標高150mの台地上に立地し，周囲は急斜面である。今回の発掘調査の結果，旧石器時代，縄文時代，古墳時代，弥生時代および中世・近世の遺構・遺物が検出されている。今回は，各時代・時期の遺構の年代観に関する資料をため，年代測定を実施する。

1. 試料

試料は，遺構から検出された5点である（表1）。いずれも微量なことから，AMS法で年代測定を実施する。試料番号1は2号連穴土坑，試料番号2は3号集石，試料番号3はS-11区Ⅴ層土坑，試料番号4はS-8区Ⅲ層土坑，試料番号5はN-7区Ⅱ層土坑からの出土である。

2. 分析方法

測定は株式会社加速器分析研究所の協力を得て，AMS法で行った。なお，放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また，測定年代は1,950年を基点とした年代（BP）であり，誤差は標準偏差（One Sigma）に相当する年代である。暦年較正に関しては，RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV4.4（Copyright 1986-2002 M Stuiver and PJ Reimer）を用い，誤差として標準偏差（One Sigma）を用いて算出した。

3. 結果

測定の結果，暦年較正を行わない値でみると，2号連穴土坑，3号集石，S-11区Ⅴ層土坑がいずれも9,300-9,400年前，S-8区Ⅲ層土坑が約2,900年前，N-7区Ⅱ層土坑が約1,800年前であった。一方，暦年較正を行った値で見ると，2号連穴土坑，3号集石，S-11区Ⅴ層土坑がいずれも約10,700-10,300年前，S-8区Ⅲ層土坑が，約3,100-2,900年前，N-7区Ⅱ層土坑が約1,800-1,600年前であった。出土遺物などから，各遺構の年代観は，2号連穴土坑，3号集石，S-11区Ⅴ層土坑が縄文時代早期，S-8区Ⅲ層土坑が縄文時代後期-古墳時代，N-7区Ⅱ層土坑が平安時代と考えられている。今回得られた年代観と比較してみると，N-7区Ⅱ層土坑は推定される年代よりも古い値が得られているが，他は発掘所見と調和的な結果が得られている。なお，考古学的所見より，古い年代値が得られたN-7区Ⅱ層土坑試料については，埋積時に周辺土壌などに由来する古い炭化物の流入や，周辺に由来する古い炭素による汚染などの原因が想定される。今後試料の出土や層準や遺物との供伴関係なども含めて，総合的に評価されることが望まれる。

表1. 放射性炭素年代測定結果

試料番号		種類	補正年代 BP	δ13C (‰)	測定年代 BP	Code.No.
1	2号連穴土坑	広葉樹	9,280±50	-33.32±0.93	9,420±50	IAAA-40272
2	3号集石	不明	9,400±50	-32.37±0.86	9,520±50	IAAA-40273
3	S-11区Ⅴ層土坑	ツバキ属	9,290±60	-24.58±1.08	9,280±60	IAAA-40274
4	S-8区Ⅲ層土坑	アカガシ亜属	2,860±40	-27.15±1.00	2,900±40	IAAA-40275
5	N-7区Ⅱ層土坑	クスノキ科	1,800±40	-29.03±0.88	1,870±40	IAAA-40276

1）年代値の算出には，Libbyの半減期5,568年を使用。
2）BP年代値は，1,950年を基点として何年前であるかを示す。
3）付記した誤差は，測定誤差σ（測定値の68％が入る範囲）を年代値に換算した値。

表2.　暦年較正結果

試料番号		補正年代(BP)	暦年較正年代（cal）		相対比	Code No.
1	2号連穴土坑	9,280±51	cal BC 8,608 - cal BC 8,449	cal BP 10,558 - 10,399	0.945	IAAA-40272
			cal BC 8,386 - cal BC 8,385	cal BP 10,336 - 10,335	0.004	
			cal BC 8,367 - cal BC 8,363	cal BP 10,317 - 10,313	0.018	
			cal BC 8,348 - cal BC 8,341	cal BP 10,298 - 10,291	0.033	
2	3号集石	9,399±53	cal BC 8,742 - cal BC 8,606	cal BP 10,692 - 10,556	0.982	IAAA-40273
			cal BC 8,567 - cal BC 8,563	cal BP 10,517 - 10,513	0.018	
3	S-11区Ⅴ層土坑	9,287±57	cal BC 8,626 - cal BC 8,622	cal BP 10,576 - 10,572	0.018	IAAA-40274
			cal BC 8,611 - cal BC 8,448	cal BP 10,561 - 10,398	0.922	
			cal BC 8,387 - cal BC 8,384	cal BP 10,337 - 10,334	0.007	
			cal BC 8,367 - cal BC 8,362	cal BP 10,317 - 10,312	0.019	
			cal BC 8,349 - cal BC 8,341	cal BP 10,299 - 10,291	0.034	
4	S-8区Ⅲ層土坑	2,861±40	cal BC 1,111 - cal BC 1,099	cal BP 3,061 - 3,049	0.068	IAAA-40275
			cal BC 1,082 - cal BC 1,060	cal BP 3,032 - 3,010	0.124	
			cal BC 1,053 - cal BC 972	cal BP 3,003 - 2,922	0.681	
			cal BC 958 - cal BC 939	cal BP 2,908 - 2,889	0.127	
5	N-7区Ⅱ層土坑	1,802±42	cal AD 134 - cal AD 162	cal BP 1,816 - 1,788	0.217	IAAA-40276
			cal AD 168 - cal AD 199	cal BP 1,782 - 1,751	0.246	
			cal AD 207 - cal AD 256	cal BP 1,743 - 1,694	0.434	
			cal AD 303 - cal AD 317	cal BP 1,647 - 1,633	0.103	

計算は，RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV4.4（Copyright 1986-2002 M Stuiver and PJ Reimer）を使用
計算には表に示した丸める前の値を使用している。
付記した誤差は，測定誤差σ（測定値の68％が入る範囲）を年代値に換算した値。

永迫平遺跡における自然科学分析

株式会社古環境研究所

Ⅰ．永迫平遺跡における植物珪酸体分析

1．はじめに

植物珪酸体は，植物の細胞内に珪酸（SiO2）が蓄積したものであり，植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント･オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は，この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり，イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山，2000）。

2．試料

試料は，住居跡（1 号，3 号，6 号，8 号），連穴土坑（3 号），土坑（P8 複合），Ⅲ層土坑（Q2-1），および方形土坑（P6-1，P3-1，T5-2）の埋土から採取された計 10 点である。

3．分析法

植物珪酸体の抽出と定量は，ガラスビーズ法（藤原，1976）を用いて，次の手順で行った。

1）試料を 105℃で 24 時間乾燥（絶乾）
2）試料約 1g に対し直径約 40μm のガラスビーズを約 0.02g 添加（電子分析天秤により 0.1 ㎎の精度で秤量）
3）電気炉灰化法（550℃・6 時間）による脱有機物処理
4）超音波水中照射（300W・42KHz・10 分間）による分散
5）沈底法による 20μm 以下の微粒子除去
6）封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
7）検鏡・計数

同定は，400 倍の偏光顕微鏡下で，おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は，ガラスビーズ個数が 400 以上になるまで行った。これはほぼプレパラート 1 枚分の精査に相当する。試料 1g あたりのガラスビーズ個数に，計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて，試料 1g 中の植物珪酸体個数を求めた。

また，おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0 と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体 1 個あたりの植物体乾重，単位：10 － 5g）をかけて，単位面積で層厚 1 ㎝あたりの植物体生産量を算出した。これにより，各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的に捉えることができる。ススキ属（ススキ）の換算係数は 1.24，ネザサ節は 0.48，クマザサ属（チシマザサ節･チマキザサ節）は 0.75，ミヤコザサ節は 0.30 である（杉山，2000）。タケ亜科については，植物体生産量の推定値から各分類群の比率を求めた。

4．分析結果

(1）分類群

分析試料から検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い，その結果を表 1 および図 1 に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。なお，イネ科栽培植物（イネ，ムギ類，ヒエ，アワ，キビなど）に由来する植物珪酸体は，いずれの試料からも検出されなかった。

〔イネ科〕

ススキ属型（おもにススキ属），ウシクサ族 A（チガヤ属など），ウシクサ族 B（大型）

〔イネ科－タケ亜科〕

ネザサ節型（おもにメダケ属ネザサ節），クマザサ属型（クマザサ属チシマザサ節・チマキザサ節など），ミヤコザサ節型（クマザサ属ミヤコザサ節など），未分類等

〔イネ科－その他〕

表皮毛起源，棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来），未分類等

〔樹木〕

ブナ科（シイ属），ブナ科（アカガシ亜属），クスノキ科，マンサク科（イスノキ属），その他

(2) 植物珪酸体の検出状況

1）住居跡

住居跡 1 号と住居跡 6 号では，ミヤコザサ節型が多く検出され，ススキ属型，ウシクサ族 A，クマザサ属型なども検出された。住居跡 3 号でもおおむね同様の結果であるが，ススキ属型の密度は比較的高く，ミヤコザサ節型はやや低い値である。また，ブナ科（シイ属）やクスノキ科などの樹木（照葉樹）も検出された。樹木は一般に植物珪酸体の生産量が低いことから，少量が検出された場合でもかなり過大に評価する必要がある（杉山，1999）。なお，すべての樹種で植物珪酸体が形成されるわけではなく，落葉樹では形成されないものも多い。住居跡 8 号では，ミヤコザサ節型が 57,400 個 /g とかなり多量に検出され，ススキ属型の密度は低い値である。また，ブナ科（アカガシ亜属）などの樹木（照葉樹）も検出された。

おもな分類群の推定生産量によると，住居跡 8 号ではミヤコザサ節型が卓越しており，住居跡 1 号と住居跡 6 号でもミヤコザサ節型が優勢となっている。

2）土坑

土坑 P8 複合では，ミヤコザサ節型が多く検出され、ススキ属型も比較的多く検出された。また，ウシクサ族 A，クマザサ属型なども検出された。方形土坑（P6-1，P3-1，T5-2）でもおおむね同様の結果であるが，ススキ属型の密度は P6-1 では比較的高く，T5-2 では比較的低くなっている。また，P3-1 ではクスノキ科などの樹木（照葉樹）も検出された。連結土坑 3 号では，ミヤコザサ節型が 58,400 個 /g とかなり多量に検出された。その他の分類群は，土坑 P8 複合とほぼ同様である。Ⅲ層土坑 Q2-1 では，クスノキ科が多量に検出され，ブナ科（シイ属），アカガシ亜属，マンサク科（イスノキ属）も検出された。なお，ミヤコザサ節型の密度は低い値である。

おもな分類群の推定生産量によると，連結土坑 3 号ではミヤコザサ節型が卓越しており，Ⅲ層土坑 Q2-1 を除くその他の試料でもミヤコザサ節型が優勢である。また，方形土坑 P6-1 ではスス

キ属型も比較的多くなっている。

5. 考察

(1) 植物珪酸体分析から推定される植生と環境

縄文時代早期前半の遺構（住居跡，土坑など）の埋土の堆積当時は，ミヤコザサ節などの笹類を主体としてススキ属やチガヤ属なども見られるイネ科植生であったと考えられ，遺跡周辺にはクスノキ科などの照葉樹を含む森林が分布していたと推定される。

ミヤコザサ節などの笹類は森林の林床でも生育が可能であるが，ススキ属やチガヤ属は日当りの悪い林床では生育が困難である。このことから，当時の遺跡周辺は森林で覆われたような状況ではなく，日当りの良い比較的開かれた環境であったと推定される。

(2) Ⅲ層土坑について

Ⅲ層土坑 Q2-1 の埋土の堆積当時は，クスノキ科を主体としてシイ属，アカガシ亜属，イスノキ属なども生育する照葉樹林が分布していたと考えられ，部分的にススキ属やチガヤ属などが生育する比較的開かれたところも見られたと推定される。このように，クスノキ科などの照葉樹林が主体であり，ミヤコザサ節がほとんど見られないことから，同遺構の埋土はその他の遺構とは堆積時期が異なっていると考えられる。当該地域でこのような照葉樹林が成立するのは，桜島 11 テフラ (Sz-11，暦年較正年代で約 8,400 年前）の堆積以降と考えられている（杉山，1999，2002)。

(3) 植物利用について

8 号住居跡と 3 号連結土坑では，ミヤコザサ節がかなり多量に検出され，方形土坑 P6-1 ではススキ属が比較的多く検出された。これらの遺構では，ミヤコザサ節やススキ属の茎葉が，燃料や屋根材など何らかの形で利用されていた可能性が考えられるが，比較試料（周辺の自然堆積層など）の検討が行われていないことから確定的なことは言えない。

文献

杉山真二(1999)植物珪酸体分析からみた九州南部の照葉樹林発達史. 第四紀研究. 38(2), P.109-123.
杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）. 考古学と植物学. 同成社，P.189-213.
杉山真二（2002）鬼界アカホヤ噴火が南九州の植生に与えた影響－植物珪酸体分析による検討－. 第四紀研究. 41(4)：311-316.
藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－. 考古学と自然科学，9，P.15-29.

表1　永迫平遺跡における植物珪酸体分析結果

検出密度（単位：×100個/g）

分類群	学名　地点・試料	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
イネ科	Gramineae (Grasses)										
ススキ属型	Miscanthus type	28	71	40	7	58	76	40	139	72	28
ウシクサ族A	Andropogoneae A type	50	50	73	49	43	35	40	69	65	21
ウシクサ族B	Andropogoneae B type		7		14			7	7	7	
タケ亜科	Bambusoideae (Bamboo)										
ネザサ節型	Pleioblastus sect. Nezasa		7								
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	7		7	14	14	14		14	14	
ミヤコザサ節型	Sasa sect. Miyakozasa	184	71	173	574	584	236	20	194	237	189
未分類等	Others	57	29	67	91	22	21		62	7	21
その他のイネ科	Others										
表皮毛起源	Husk hair origin	50	14	7	7	7	7	20	14		21
棒状珪酸体	Rod?shaped	277	207	146	392	281	167	88	604	345	105
未分類等	Others	454	472	519	546	757	514	586	632	597	449
樹木起源	Arboreal										
ブナ科(シイ属)	Castanopsis		14					7			
ブナ科(アカガシ亜属)	Quercus subgen. Cyclobalanopsis				7			7			
クスノキ科	Lauraceae		14					256		14	
マンサク科(イスノキ属)	Distylium							7			
その他	Others		21	7	7	7		47	7	14	7
植物珪酸体総数	Total	1106	979	1038	1707	1774	1070	1126	1742	1374	842

おもな分類群の推定生産量（単位：kg/m²・cm）：試料の仮比重を1.0と仮定して算出

ススキ属型	Miscanthus type	0.35	0.89	0.50	0.09	0.72	0.95	0.50	1.72	0.89	0.35
ネザサ節型	Pleioblastus sect. Nezasa		0.03								
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	0.05		0.05	0.10	0.11	0.10		0.10	0.11	
ミヤコザサ節型	Sasa sect. Miyakozasa	0.55	0.21	0.52	1.72	1.75	0.71	0.06	0.58	0.71	0.57

タケ亜科の比率（%）

メダケ節型	Pleioblastus sect. Medake										
ネザサ節型	Pleioblastus sect. Nezasa		14								
クマザサ属型	Sasa (except Miyakozasa)	9		9	6	6	13		15	13	
ミヤコザサ節型	Sasa sect. Miyakozasa	91	86	91	94	94	87	100	85	87	100

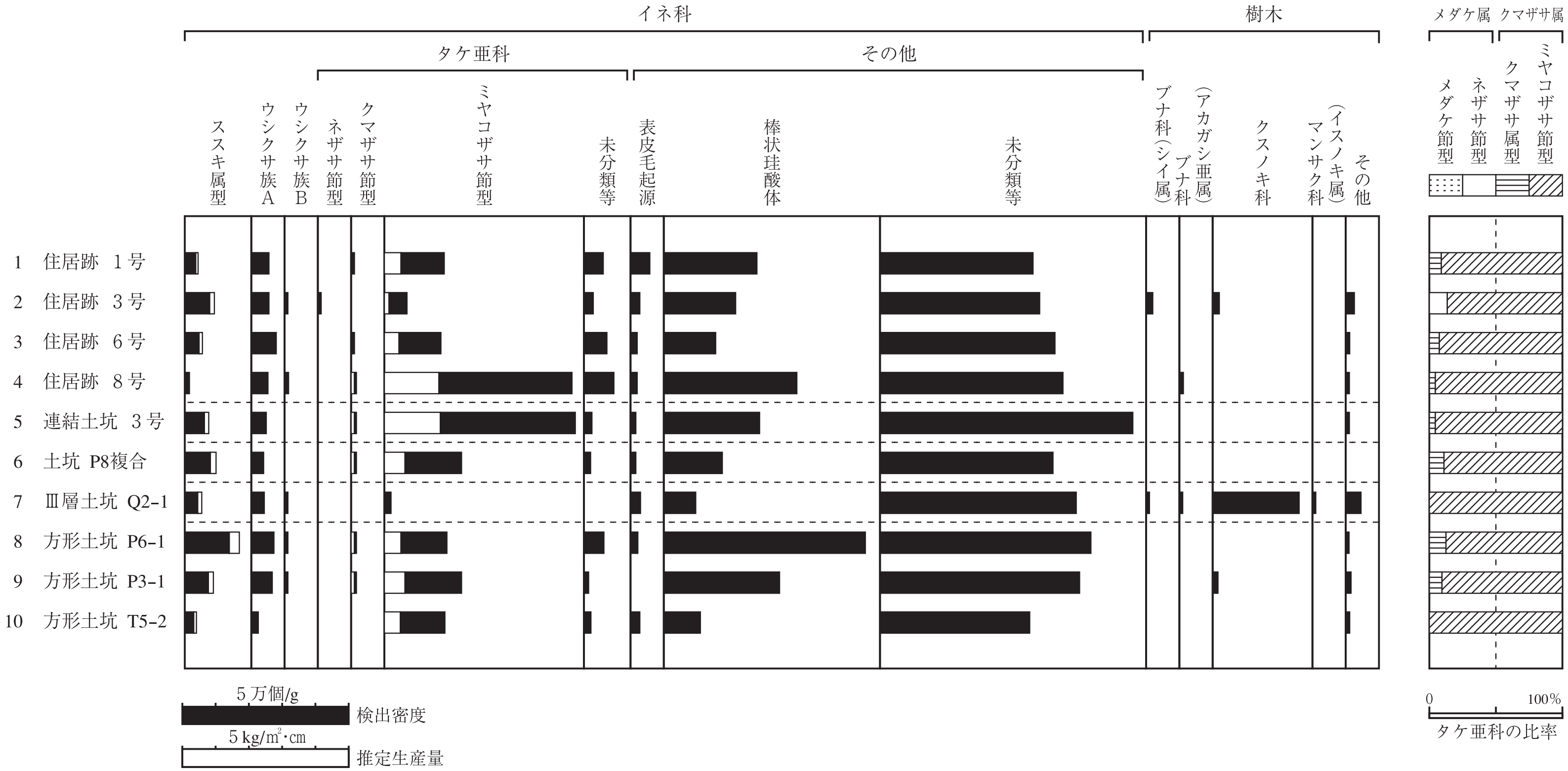
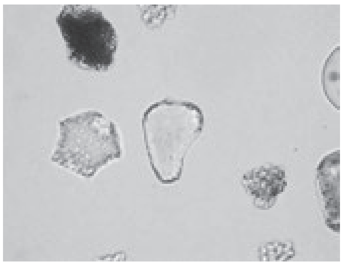
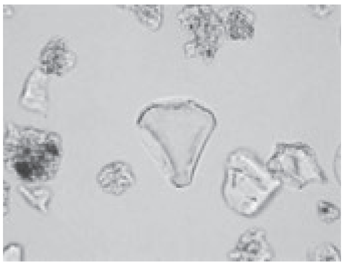
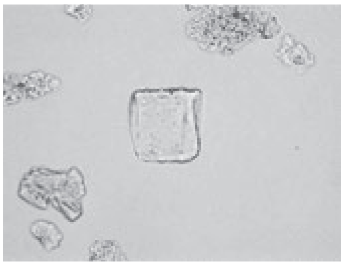


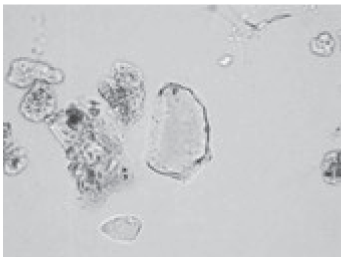
図1　永迫平遺跡における植物珪酸体分析結果

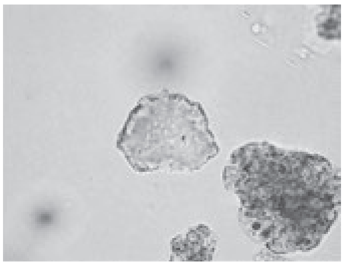

ススキ属型
試料５

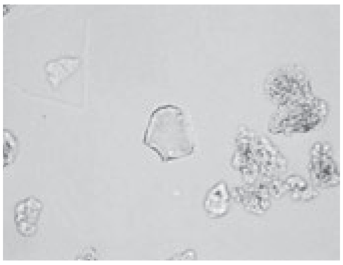

ススキ属型
試料７

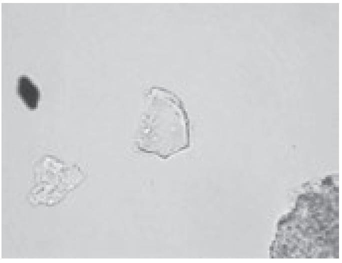

ウシクサ族Ａ
試料６

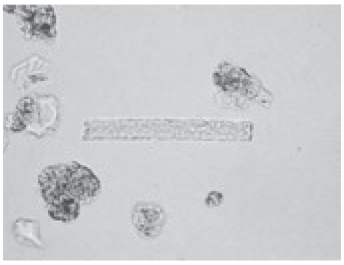

ウシクサ族Ｂ
試料４

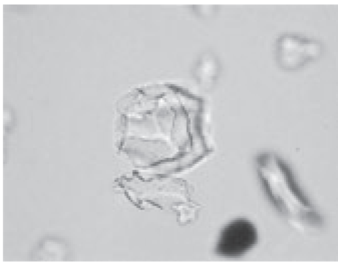

クマザサ属型
試料８


クマザサ属型
試料９


ミヤコザサ節型
試料１


ミヤコザサ節型
試料３


棒状珪酸体
試料７


ブナ型（シイ属）
試料２


クスノキ科
試料７


マンサク科（イスノキ属）
試料７

植物珪酸体（プラント・オパール）の顕微鏡写真 ——— 50 μm

Ⅱ．永迫平遺跡における種実同定

1．はじめに

植物の種子や果実は比較的強靭なものが多く，堆積物や遺構内に残存している場合がある。堆積物などから種実を検出し，その種類や構成を調べることで，過去の植生や栽培植物を明らかにすることができる。

2．試料

試料は，縄文時代早期前半の住居跡（1 号，3 号，6 号，8 号），連穴土坑（3 号），土坑（P8 複合），Ⅲ層土坑（Q2-1），および方形土坑（P6-1，P3-1，T5-2）の埋土から採取された計 10 点である。

3．方法

以下の方法で，種実の抽出と同定を行った。

1）試料 500 ccに水を加えて泥化

2）攪拌した後，0.25 ㎜の篩で水洗選別

3）双眼実体顕微鏡下で検鏡・計数

同定は形態的特徴および現生標本との対比で行い，結果は同定レベルによって科，属，種の階級で示した。

4．結果と考察

分析の結果，種実はいずれの試料からも検出されなかった。種実が検出されない原因としては，乾燥もしくは乾湿を繰り返す堆積環境下で種実などの有機質遺体が分解されたことなどが考えられる。なお，連穴土坑 3 号や方形土坑 T5-2 では，微細な植物根が多く認められた。これらの植物根については，当時のものではなく，上位層における後代の植生によるものと考えられる。

文献

南木睦彦(1993)葉･果実･種子．日本第四紀学会編,第四紀試料分析法,東京大学出版会,p.276-283.

図　　版

１号道跡　（南東より）

２号道跡　（東より）

３号道跡　　　（奥の方。手前は１号道跡。南東より）

１号道跡（手前）と３号道跡（奥）　　　　　（南東上空より）

遺跡上空から北を望む

遺跡上空から南を望む　（南東より）

第１地点　南側空中写真　（上が南）

第１地点　北側空中写真　（下が北）

遺跡遠景　（北東より）

遺跡遠景　（南東より）

第１地点　土　層（上部）

第１地点　土　層（下部）

第１地点　土　層

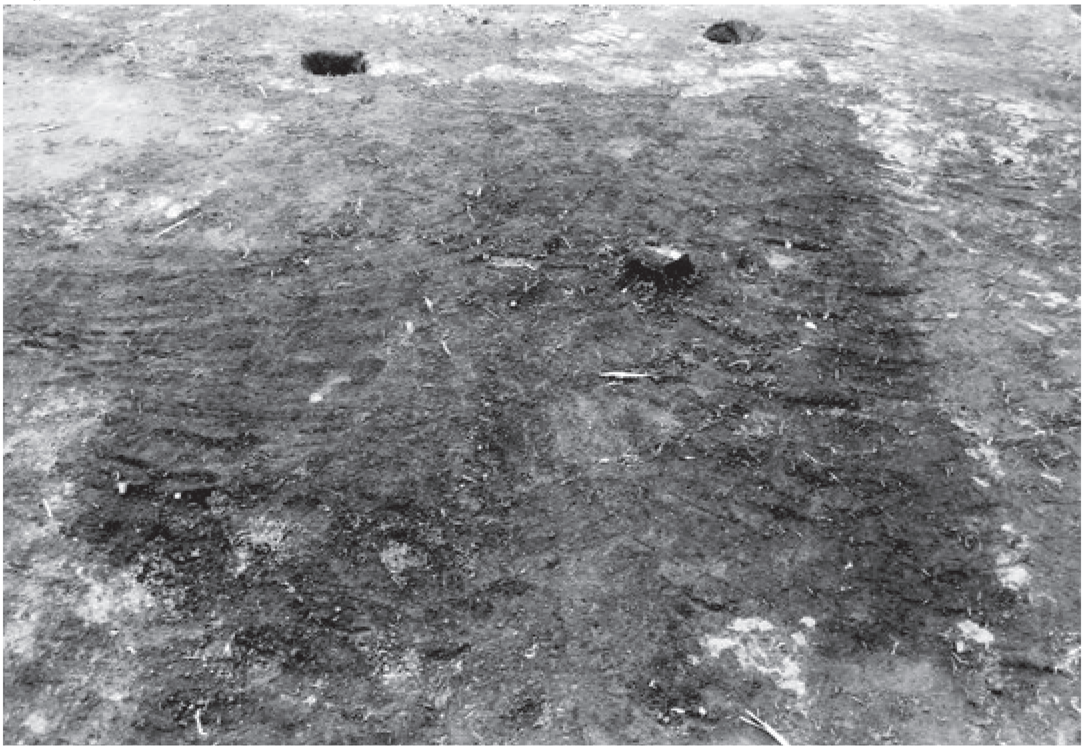
第１地点　土　層

縄文時代早期の遺構検出状況　（北東より）

縄文時代早期の遺構検出状況　（北より）

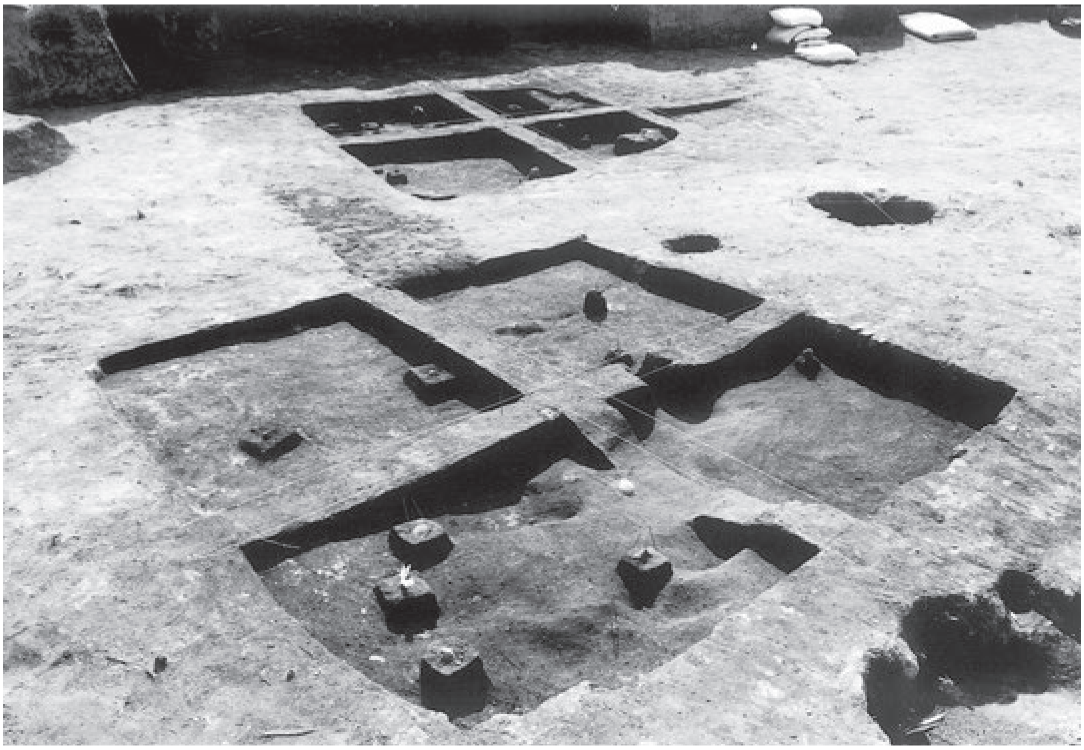
縄文時代早期の遺構検出状況　　（北東より）

縄文時代早期の遺構検出状況　　（南西より）



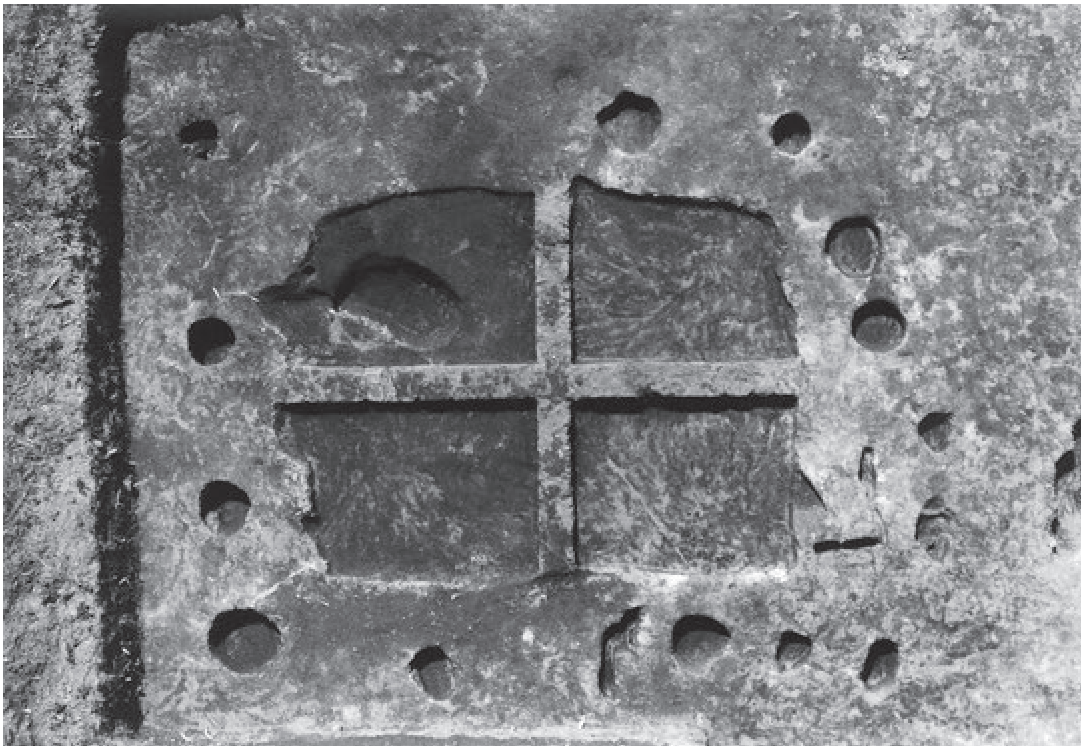
6号住居跡　検出状況　（西より）

3号住居跡　検出状況　（北西より）

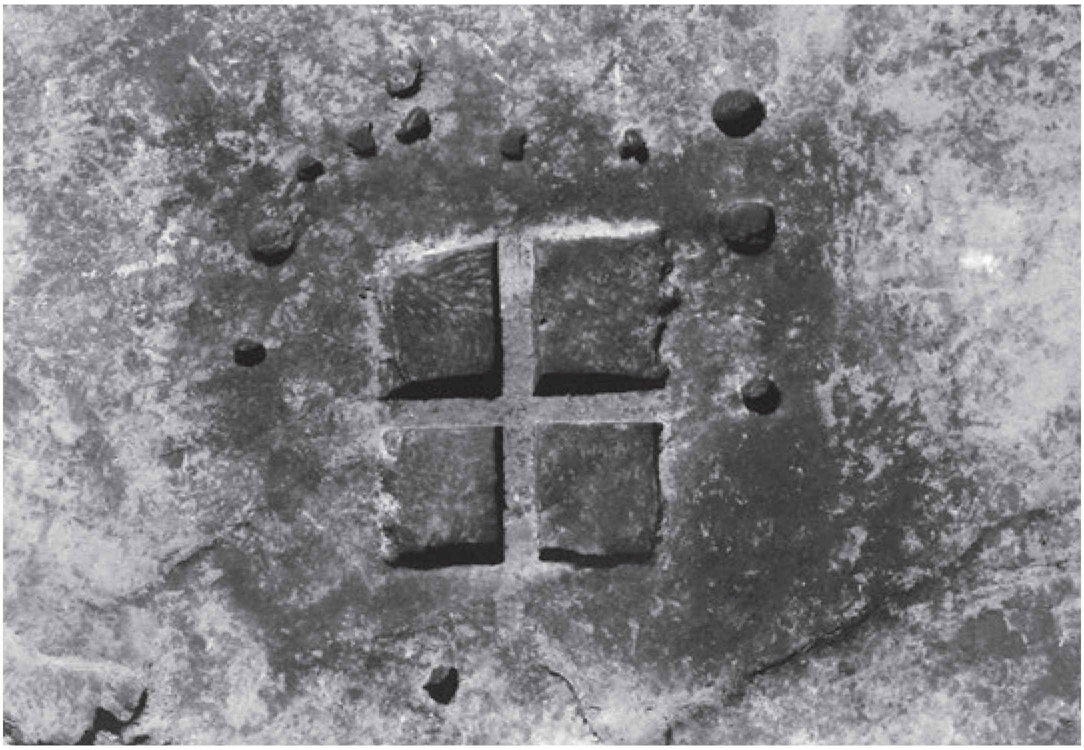


3 号住居跡（手前）と 4 号住居跡　（南東より）

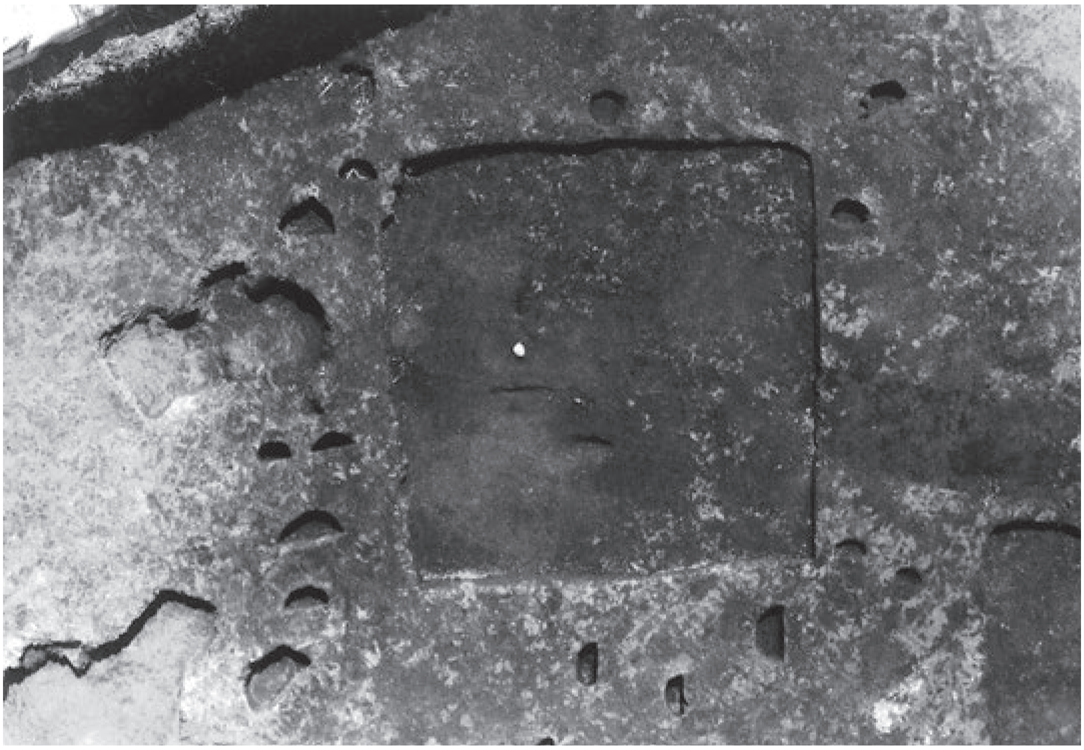
5 号住居跡　断ち割り状況　（東より）



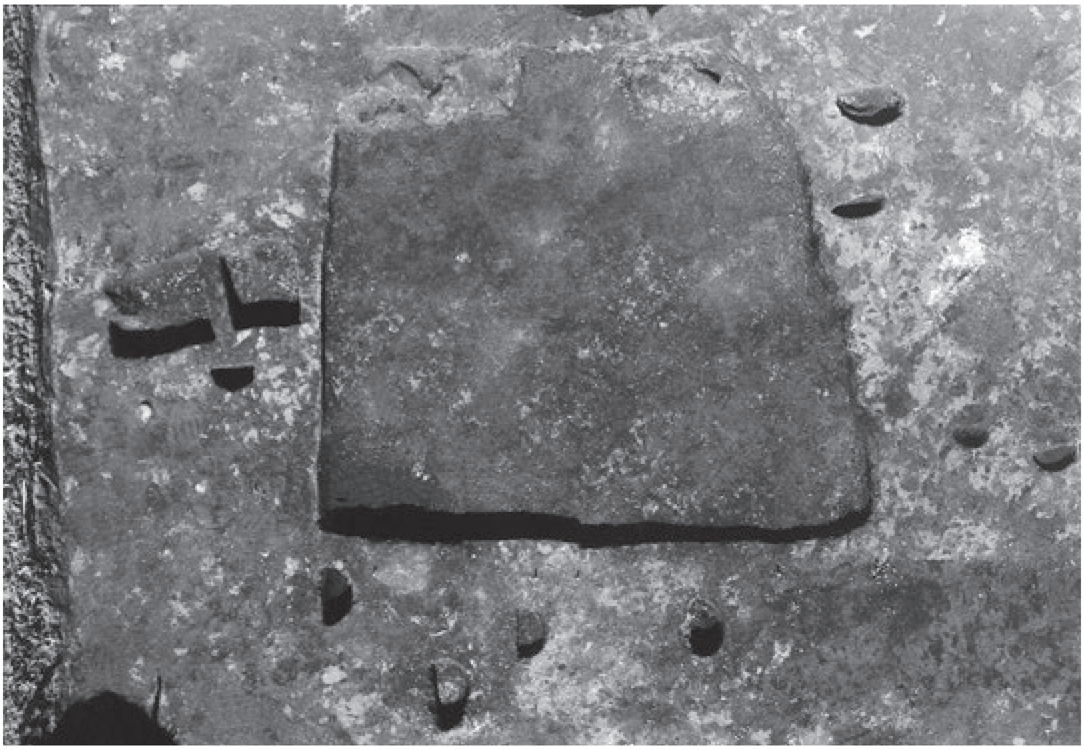
1 号住居跡



2 号住居跡

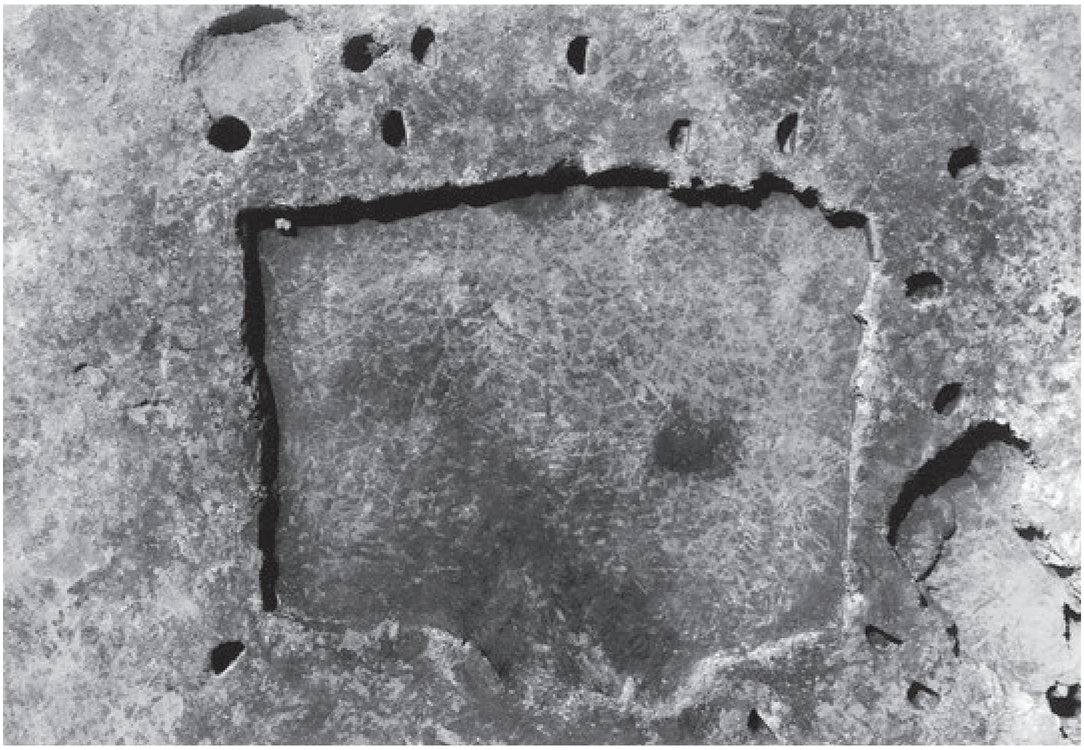


3 号住居跡

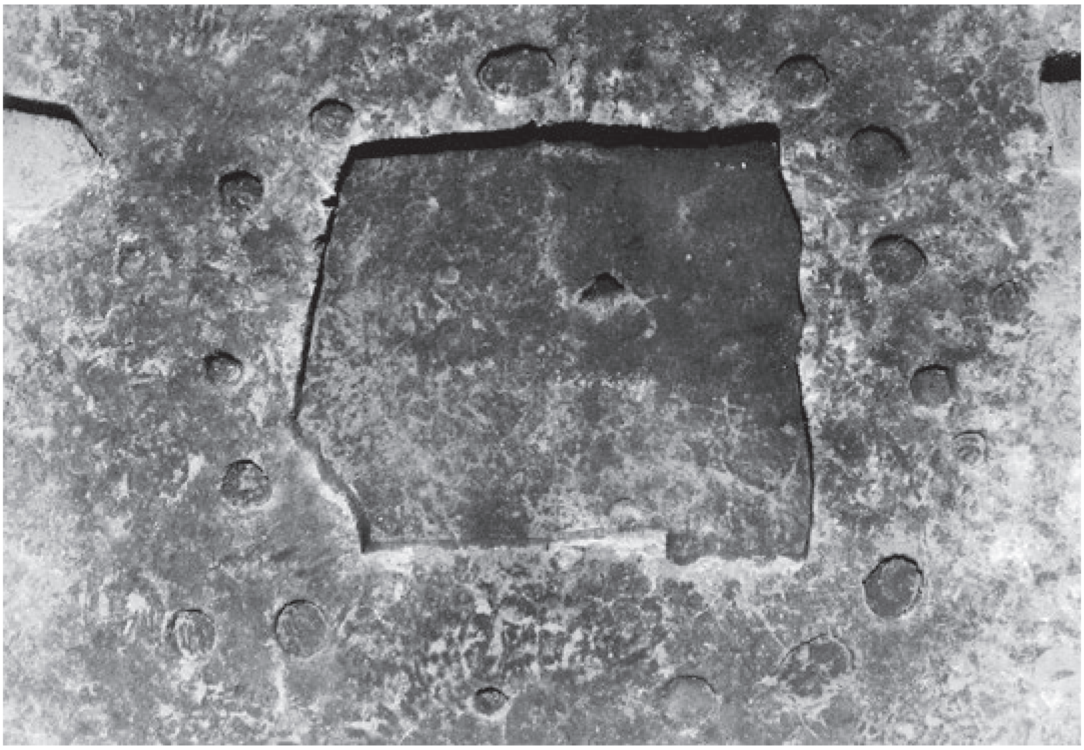


4 号住居跡

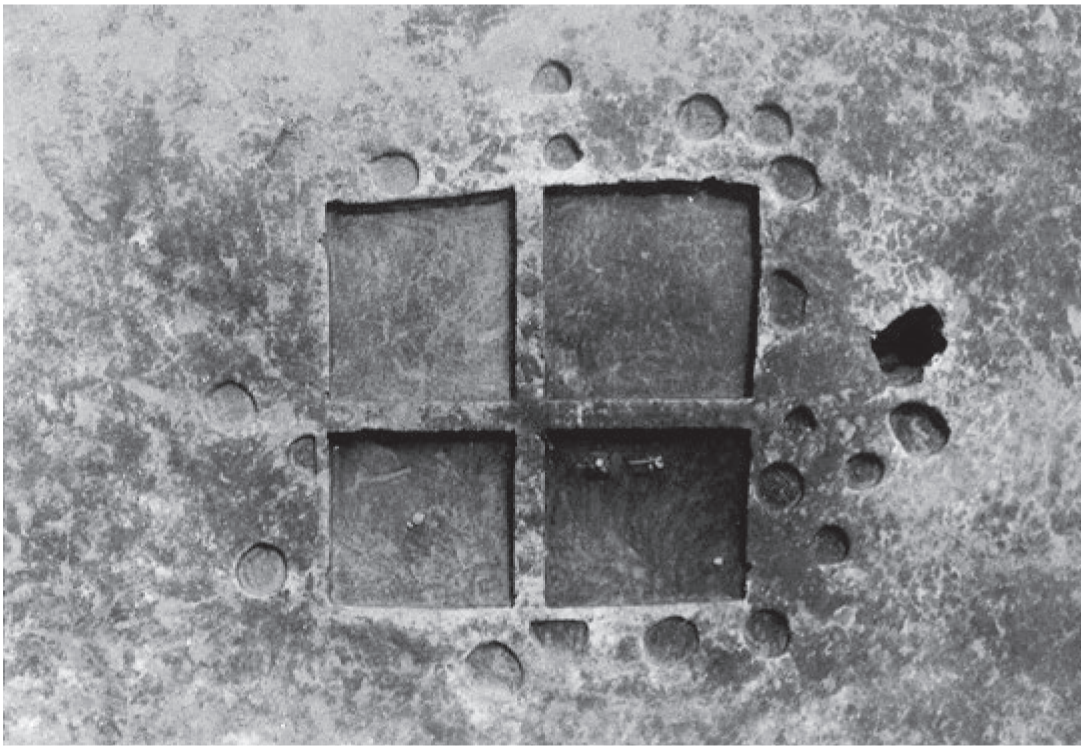
5 号住居跡



6 号住居跡



7 号住居跡



8 号住居跡

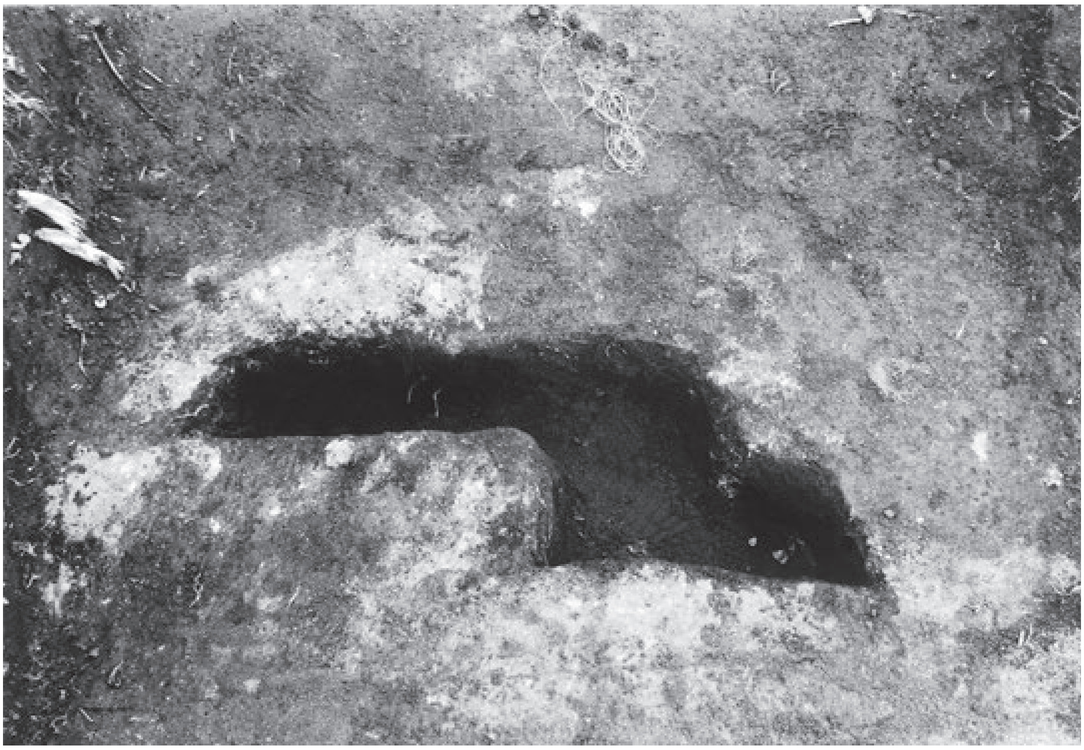
1号住居跡　断ち割り状況　（東より）

7号住居跡　断ち割り状況　（南より）

1 号住居跡　埋土堆積状況　（北より）

6 号住居跡　埋土堆積状況　（東より）

1 号住居跡周辺の関連遺構　（西より）



1 号住居跡周辺の関連遺構　（西より）

9 号集石　（北より）

3 号集石　（東より）

11 号集石　（南東より）

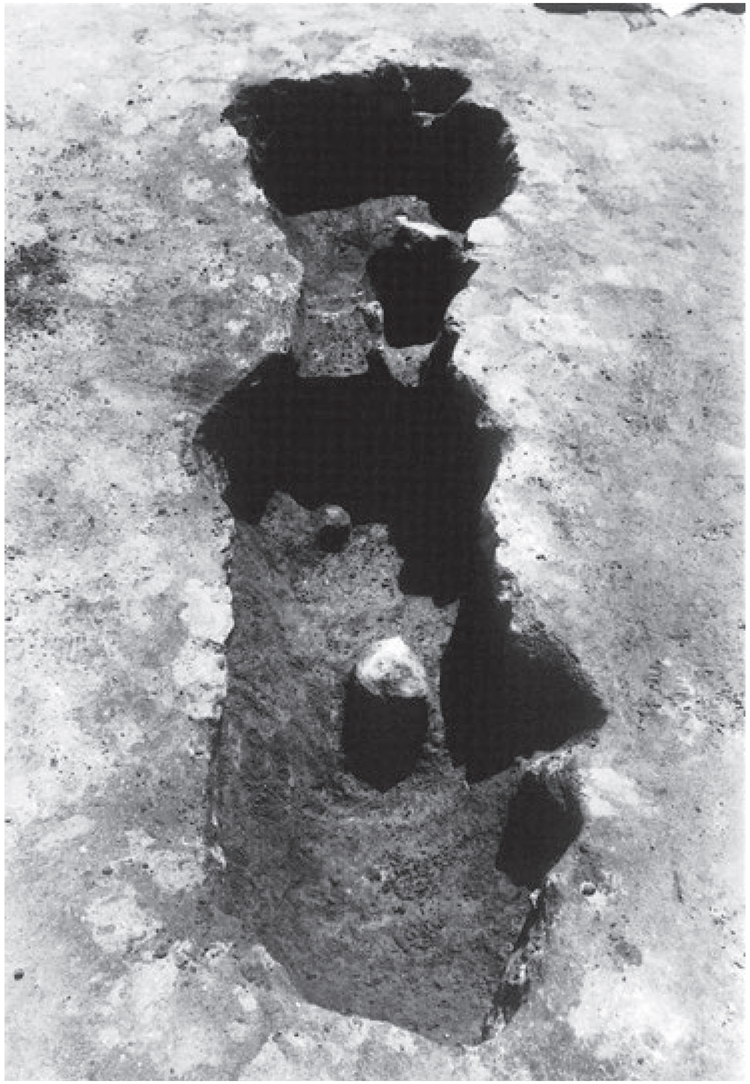
11 号集石　（東より）

10 号集石　（西より）

13 号集石　（南より）

1号連穴土坑（1）

1 号連穴土坑　（北西より）



1 号連穴土坑　（北西より）

1 号連穴土坑　（北より）

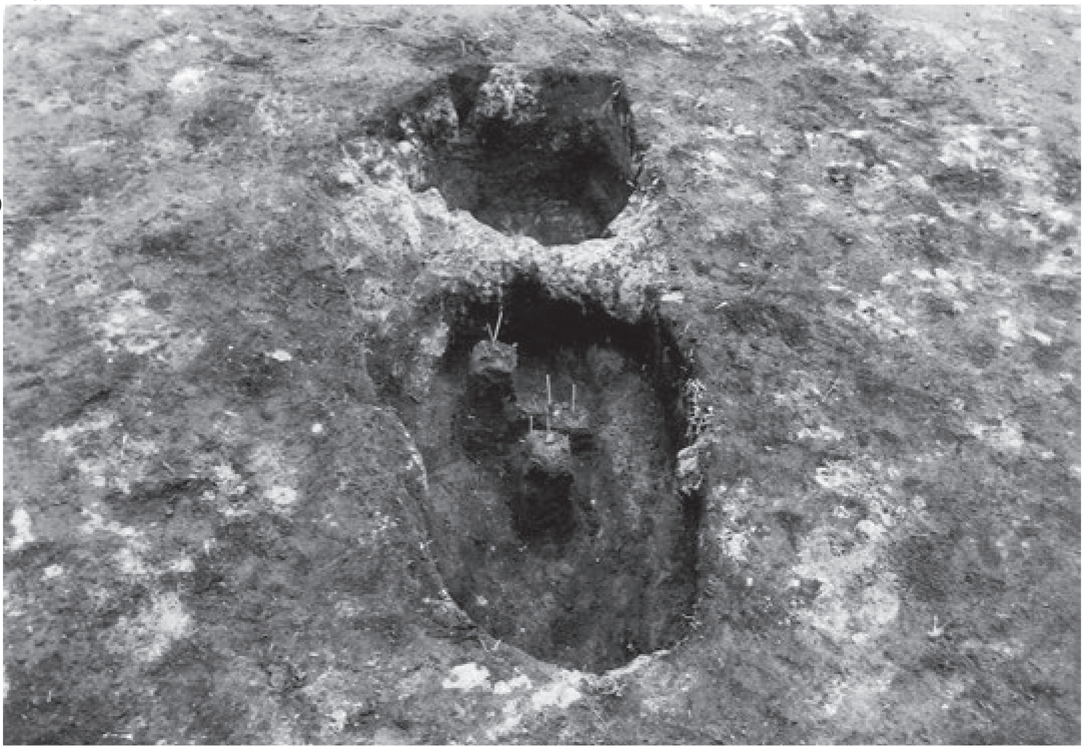
1 号連穴土坑　足場部～煙道　（北西より）

2号連穴土坑　半裁状況　（南東より）

2号連穴土坑　（東より）

2 号連穴土坑 （北より）

2 号連穴土坑 （西より）

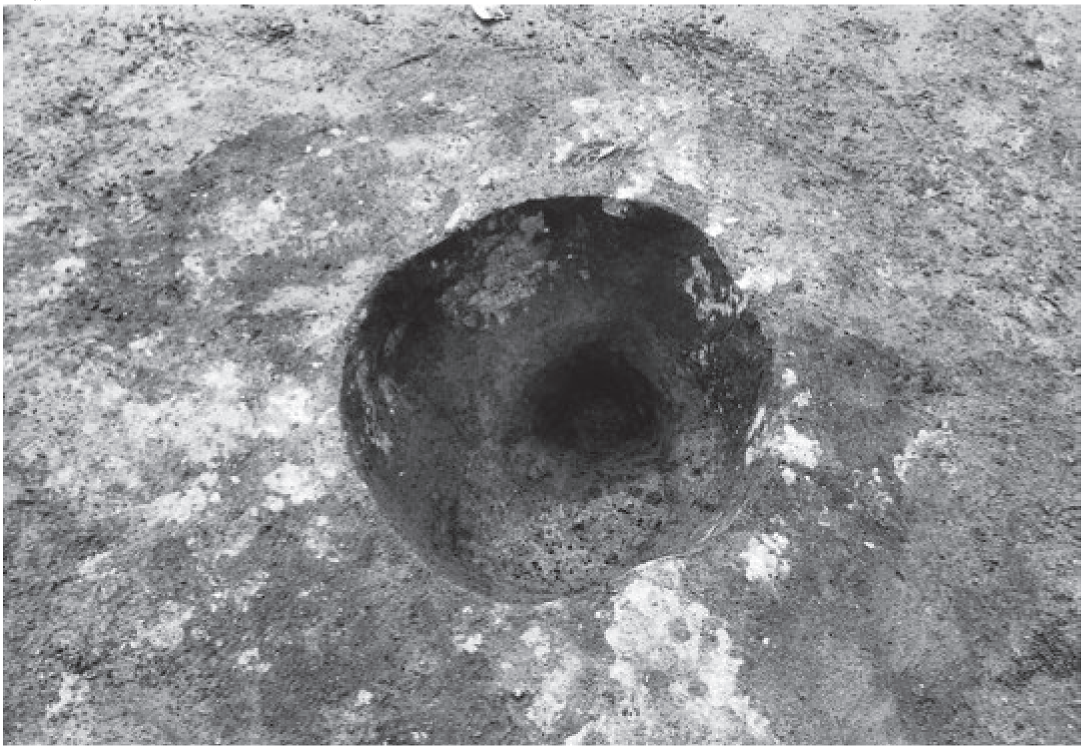


3 号連穴土坑　（西より）

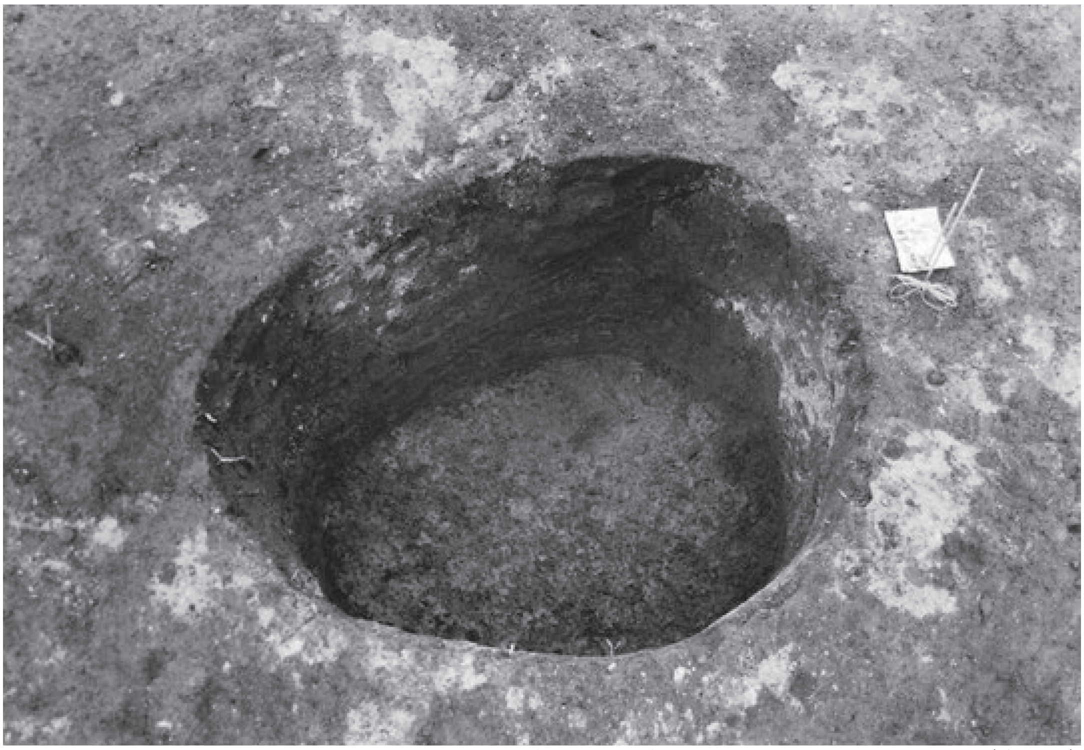
3 号連穴土坑　（南東より）

3 号連穴土坑　足場部～煙道　（南東より）

3 号連穴土坑　断ち割り状況　（南より）



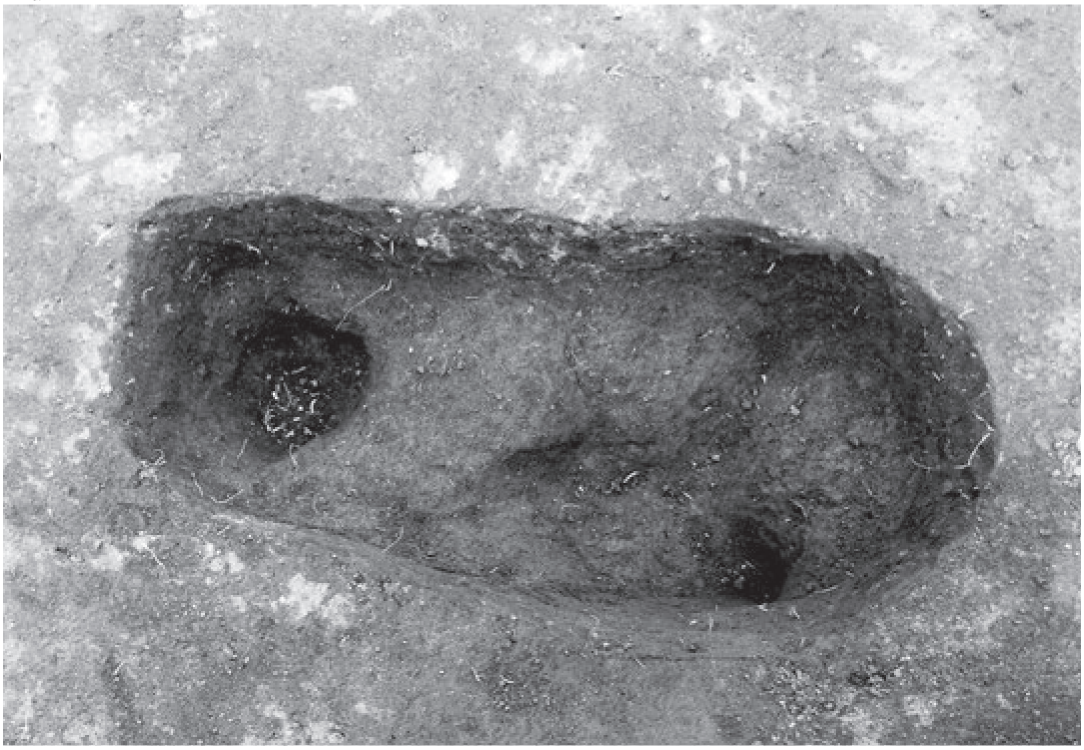
Ⅰ類土坑（P-5 土坑 1）　（南より）



Ⅰ類土坑（S-6 土坑 4）　（南より）

Ⅱ a 類土坑（Q-2 土坑 2）　　（北より）

Ⅱ b 類土坑（P-5 土坑 10）　　（東より）



Ⅱｂ類土坑（S-1 土坑 3）　（東より）

Ⅱｂ類土坑（P-4 土坑 6）　（南より）

Ⅱb 類土坑（Q-4 土坑 4）　　（南より）

Ⅱb 類土坑（R-7 土坑 5）　　（南より）

Ⅱｂ A 類土坑の群集（手前 P-3 土坑 8 ～ P-2 土坑 14）（東より）

Ⅱａ A 類土坑（P-5 土坑 9）（東より）

ⅠC類土坑（N-7 土坑 4）　（北より）

ⅡaC類土坑（O-7 土坑 6-2）　（南西より）

ⅢＡ類土坑（P-4 土坑 1）（北西より）

Ⅲ a Ａ類土坑（Ｍ-1 土坑 1）及びⅣＡ類土坑（Ｍ-1 土坑 2）（西より）

Ⅱ a A類土坑（N-8 土坑 1・2）及びⅢA類土坑（N-7 土坑 3）　（南東より）

ⅣA類土坑（R-10 土坑 1）　（南より）

ＶＡ類土坑（手前 O-4 小溝 2、 奥 O-4 小溝 3）　　（北より）

ＶＡ類土坑（O-4 小溝 1）　　（南より）

R-5 土坑内出土の石皿 （南より）

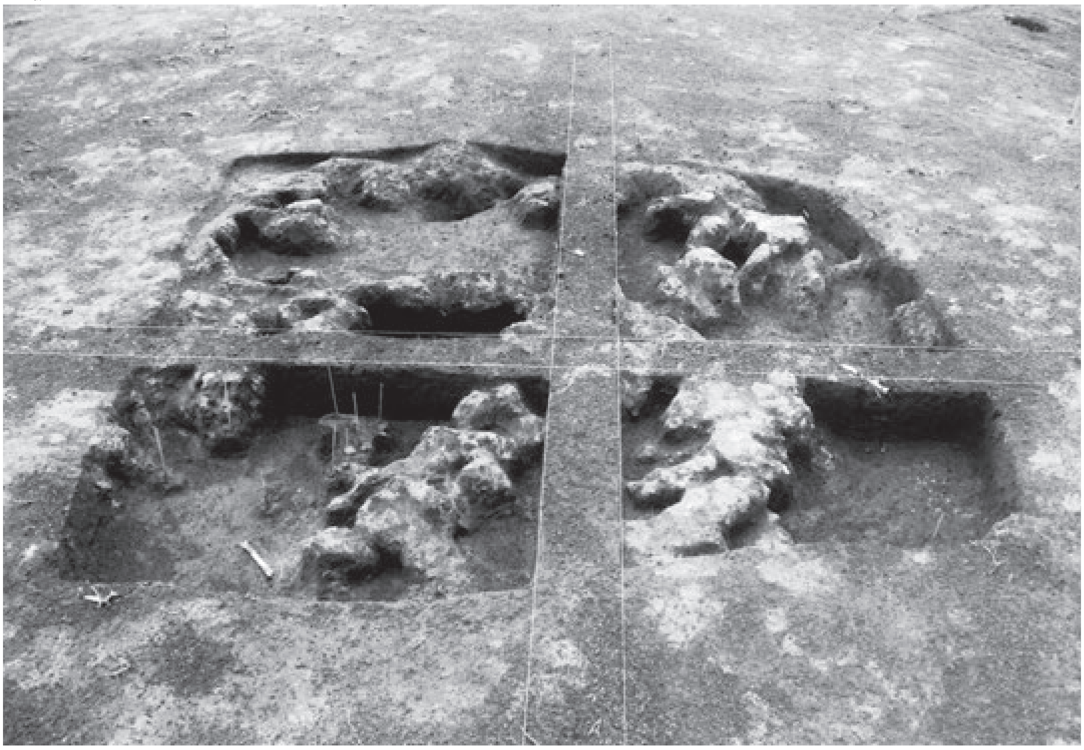
R-5 土坑出土石皿 （西より）

方形土坑　1C 類（T-3 方土 1）　（南より）

方形土坑　1C 類（N-7 方土 1）　（南西より）

方形土坑　2C 類（Q-1 方土 1）　（北より）

方形土坑　2A 類（N-3 方土 1）　（北西より）



方形土坑　3C 類（R-9 方土 2）　（北より）

方形土坑　3A 類（O-3 方土 4）　（北西より）

方形土坑　4C 類（R-6 方土 2 ～ 4）　（南西より）

方形土坑　4C 類（T-8 方土 2 ～ 3）　（北西より）

方形土坑　3C 類（W-5 方土 1）　（南より）

方形土坑　2C 類（P-7 方土 3）　（北より）

複合する方形土坑（手前から T-5 方土１・２・３・４）　（西より）

複合する方形土坑（右 P-6 方土１　左 方土２）　（東より）

方形土坑断ち割り状況（T-4 方土 1）　（南より）

方形土坑断ち割り状況（V-6 方土 1）　（南東より）

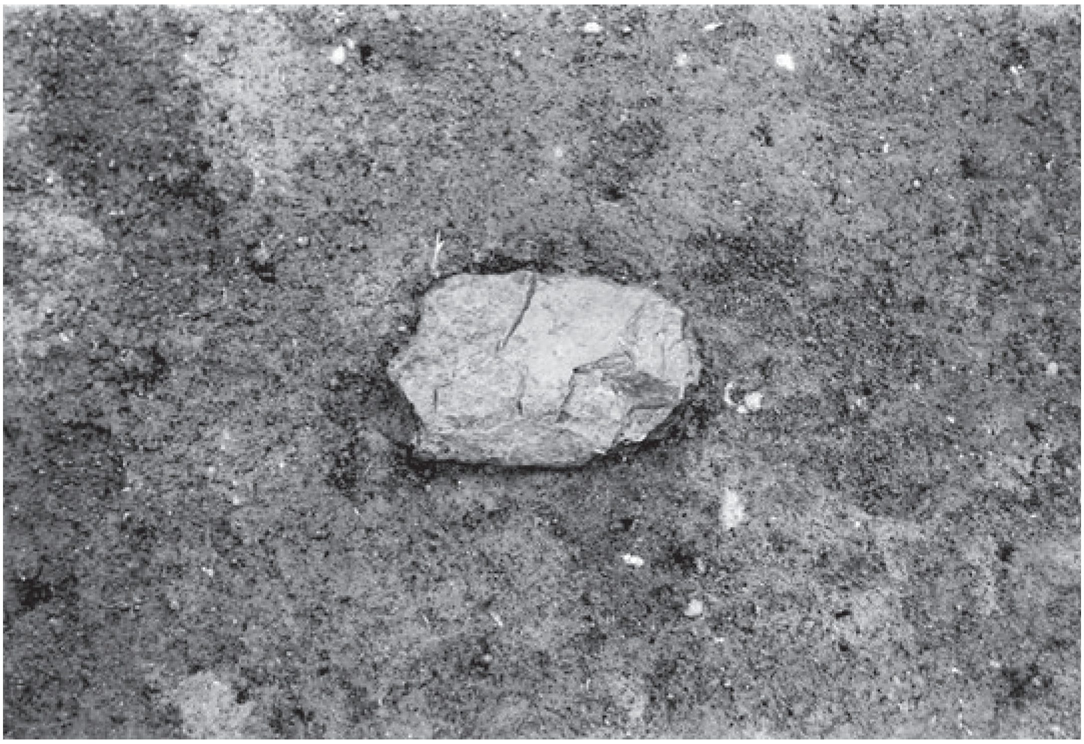
方形土坑　埋土堆積状況（T-5 方土 2）　（南より）

方形土坑　埋土堆積状況（T-5 方土 2）　（南西より）

石器出土状況（三稜尖頭器　1106）

石器出土状況（石核　1112）


石器出土状況（磨製石斧　1167）

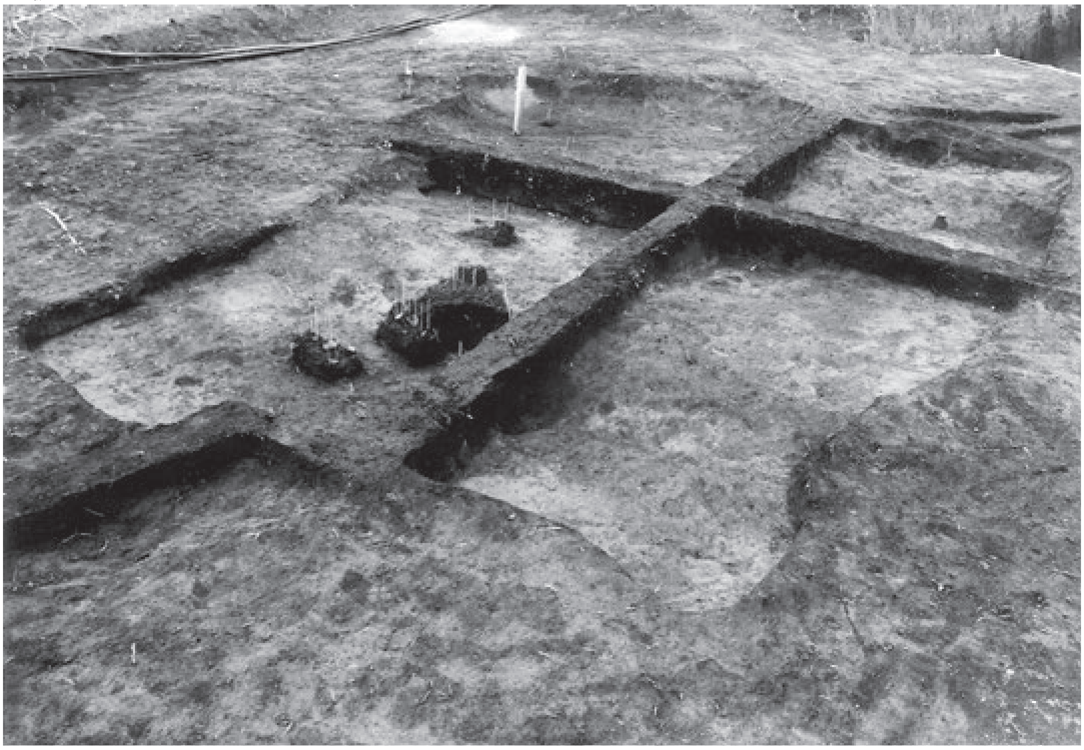

石器出土状況（打製石斧　1166）

石器出土状況（打製石斧　881）

石器出土状況（石皿　852）

石器出土状況（石皿　884）

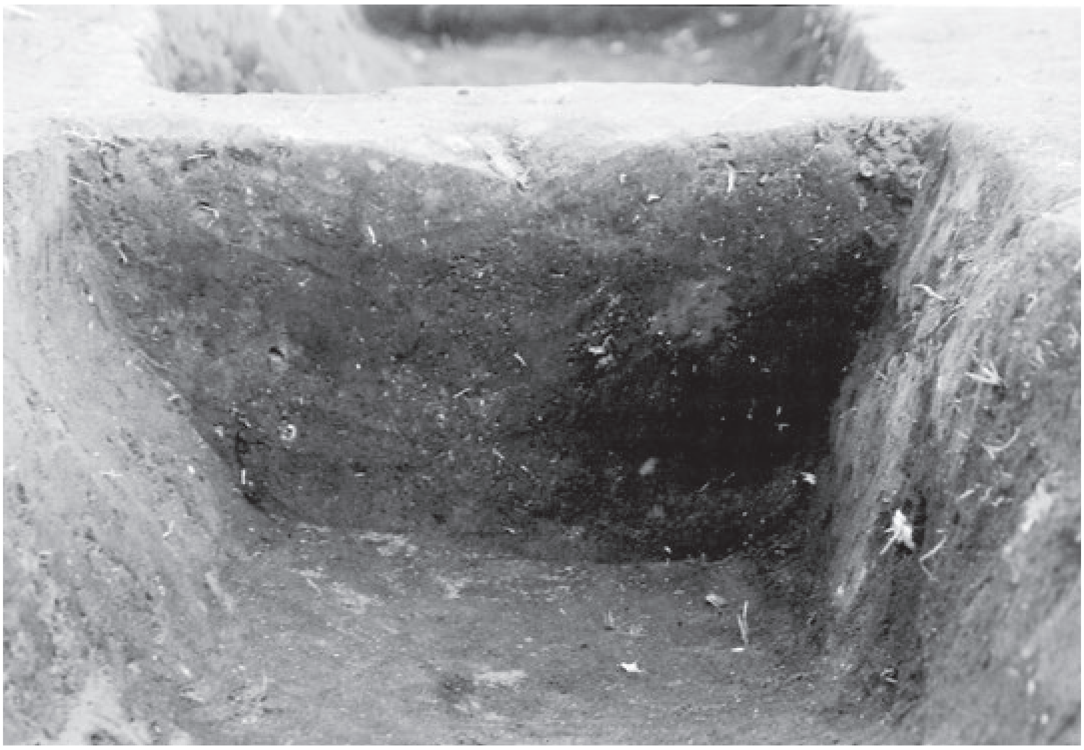
石器出土状況（石皿未製品　853）



Ⅱ層埋土土坑　（東より）

溝状遺構（1 号）　（西より）

溝状遺構埋土堆積状況（1 号）　（東より）



溝状遺構埋土堆積状況（1 号）　（東より）

溝状遺構埋土堆積状況（1 号）　（東より）

道跡　1 号と 2 号　（西より）

道跡（3 ～ 8 号）　（東より）

道跡（13・14 号）　（南より）

図版 54

第2地点空中写真・近景

第１地点・第２地点空中写真　（右側の林が第２地点）

第２地点　近景　（東より）

第２地点　土層（上部）　（東より）

第２地点　土層（下部）　（南西より）

第２地点　調査状況（旧石器時代）　（南東より）

溝状遺構　調査状況　（南東より）

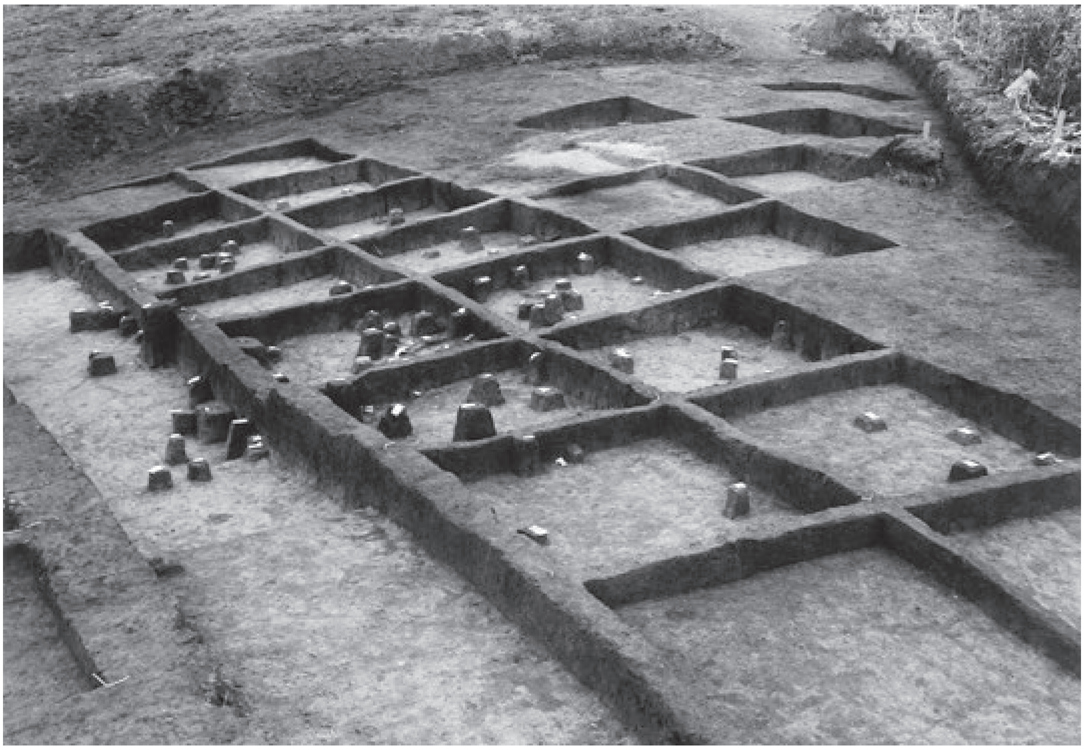
平成８年度確認トレンチ（12 Ｔ）　　（南西より）

調査風景　　（東より）

B-6区　Ⅷb層検出ブロック　（西より）

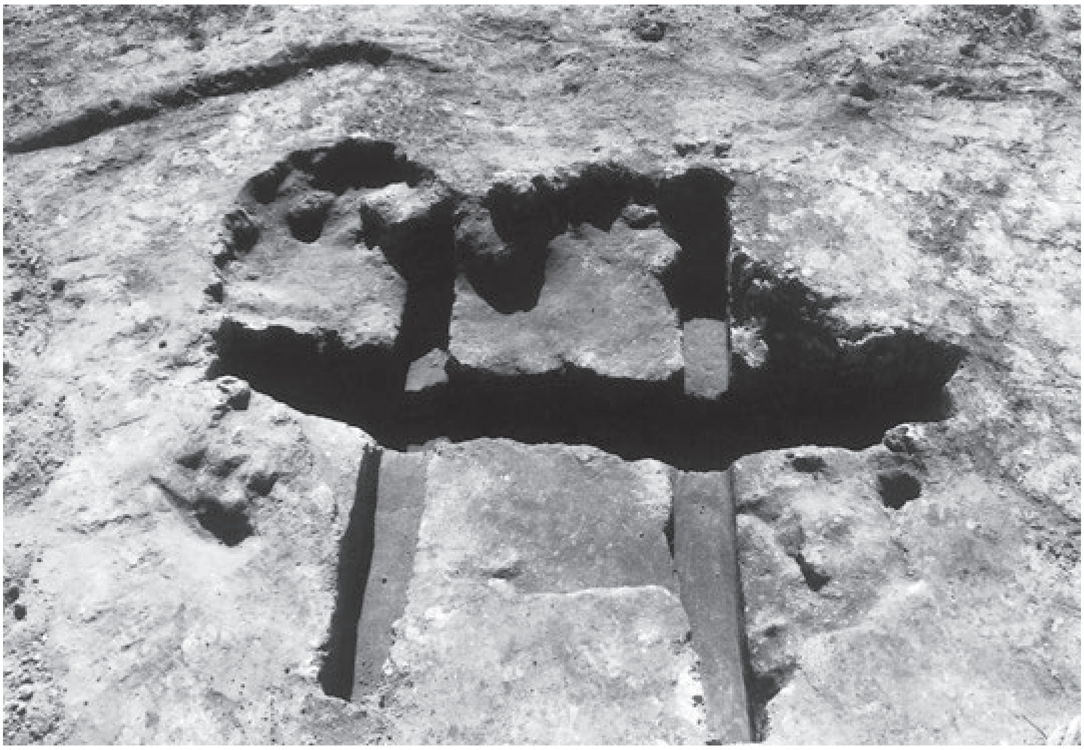
D・E-6区　Ⅸ・Ⅷb層検出ブロック　（東より）

D・E-6区　Ⅸ層・Ⅷb層検出ブロック　（西より）

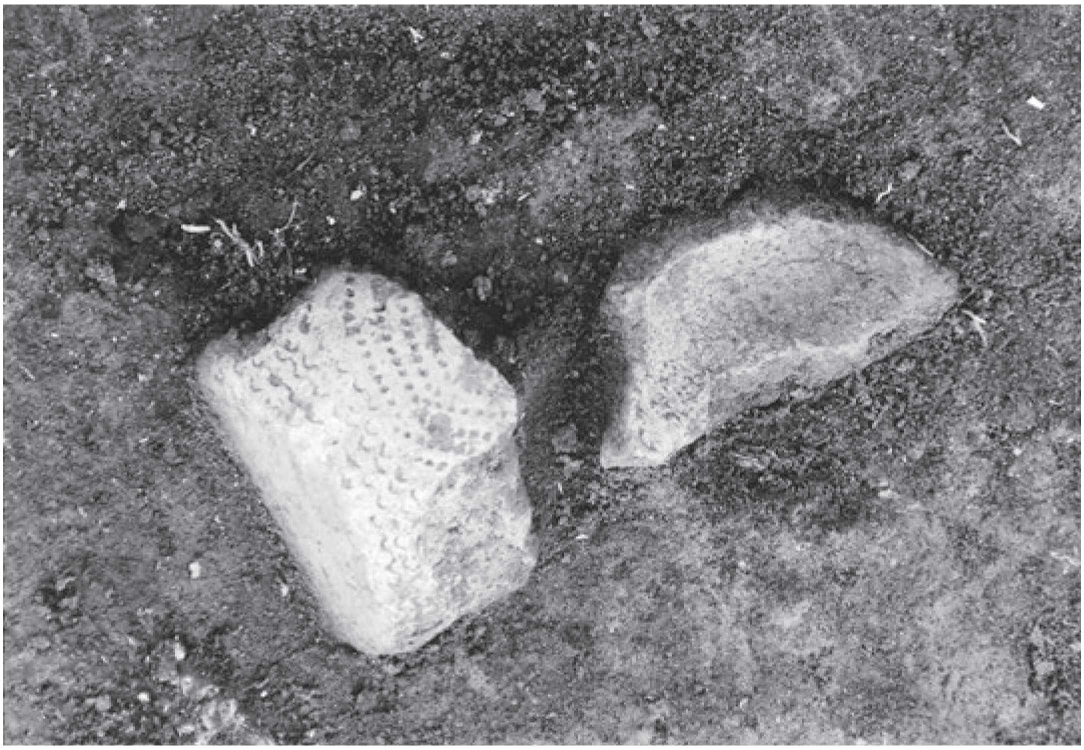


D・E-6区　Ⅸ層・Ⅷb層検出ブロック　（南東より）

第 2 地点　検出土坑（I-8 土坑 1）　　（西より）



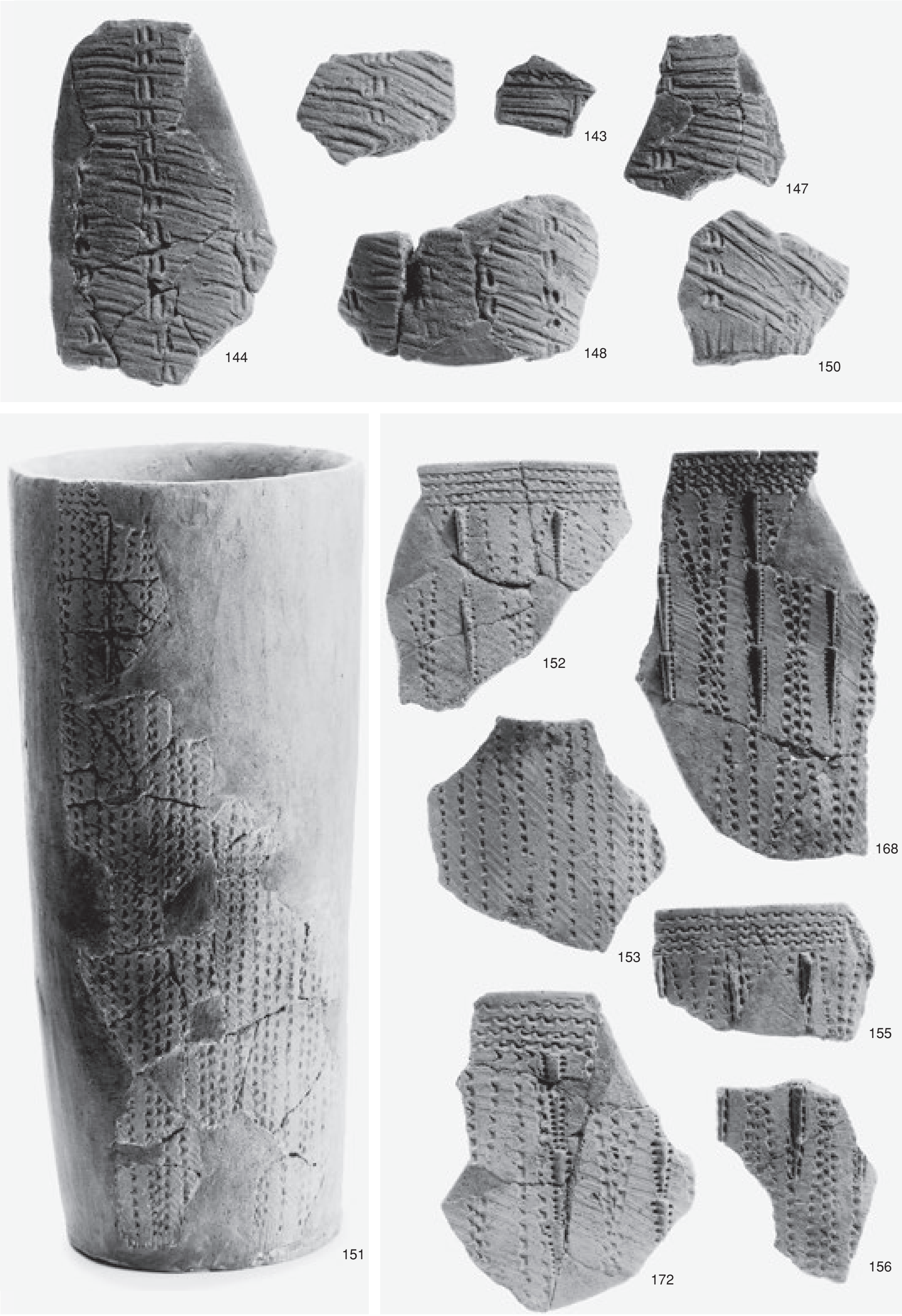
第 2 地点　検出土坑（H-8 土坑 1・2）　　（東より）



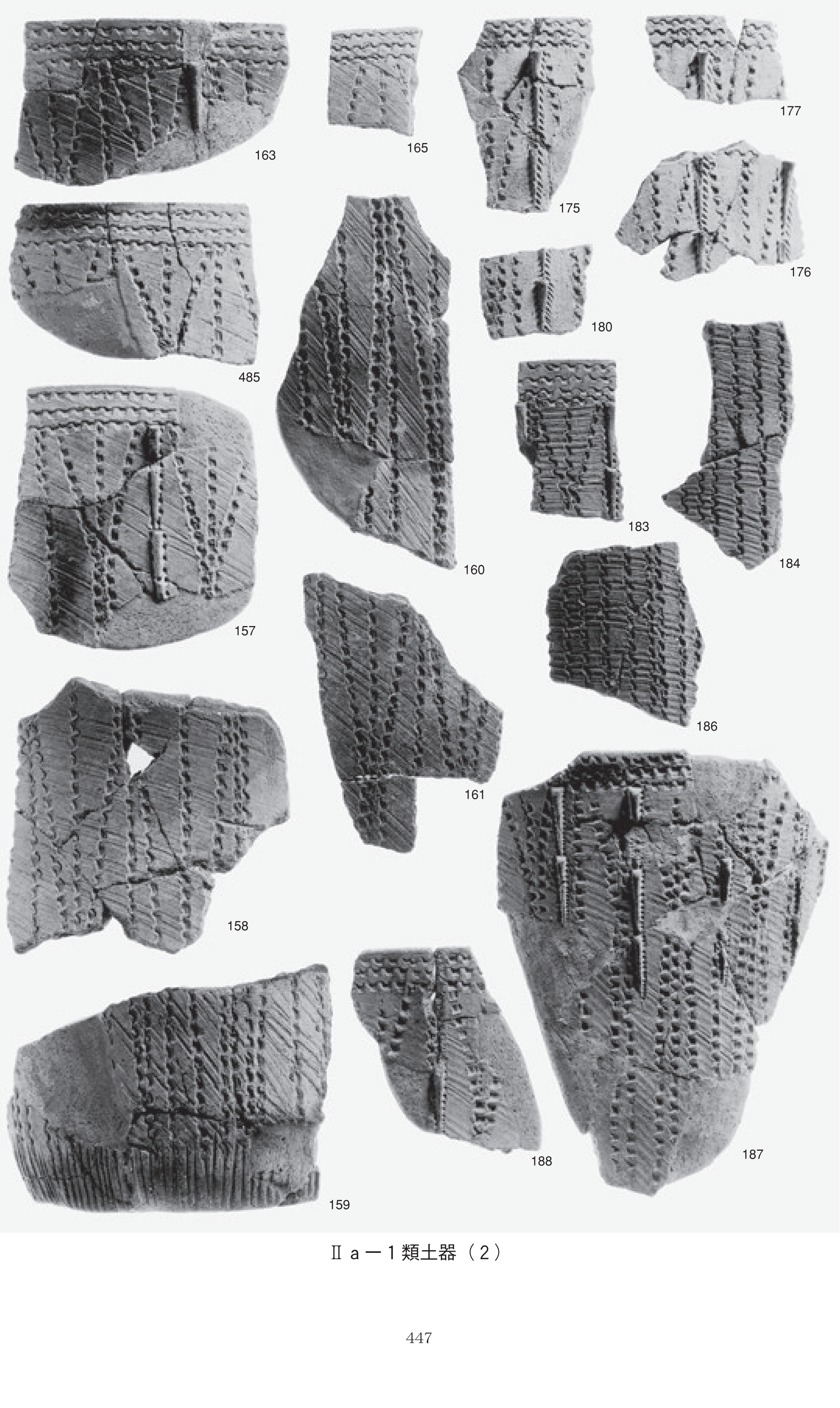
土器出土状況（ⅩⅦ類土器　1161）

石器出土状況（磨石 1164）

図版62



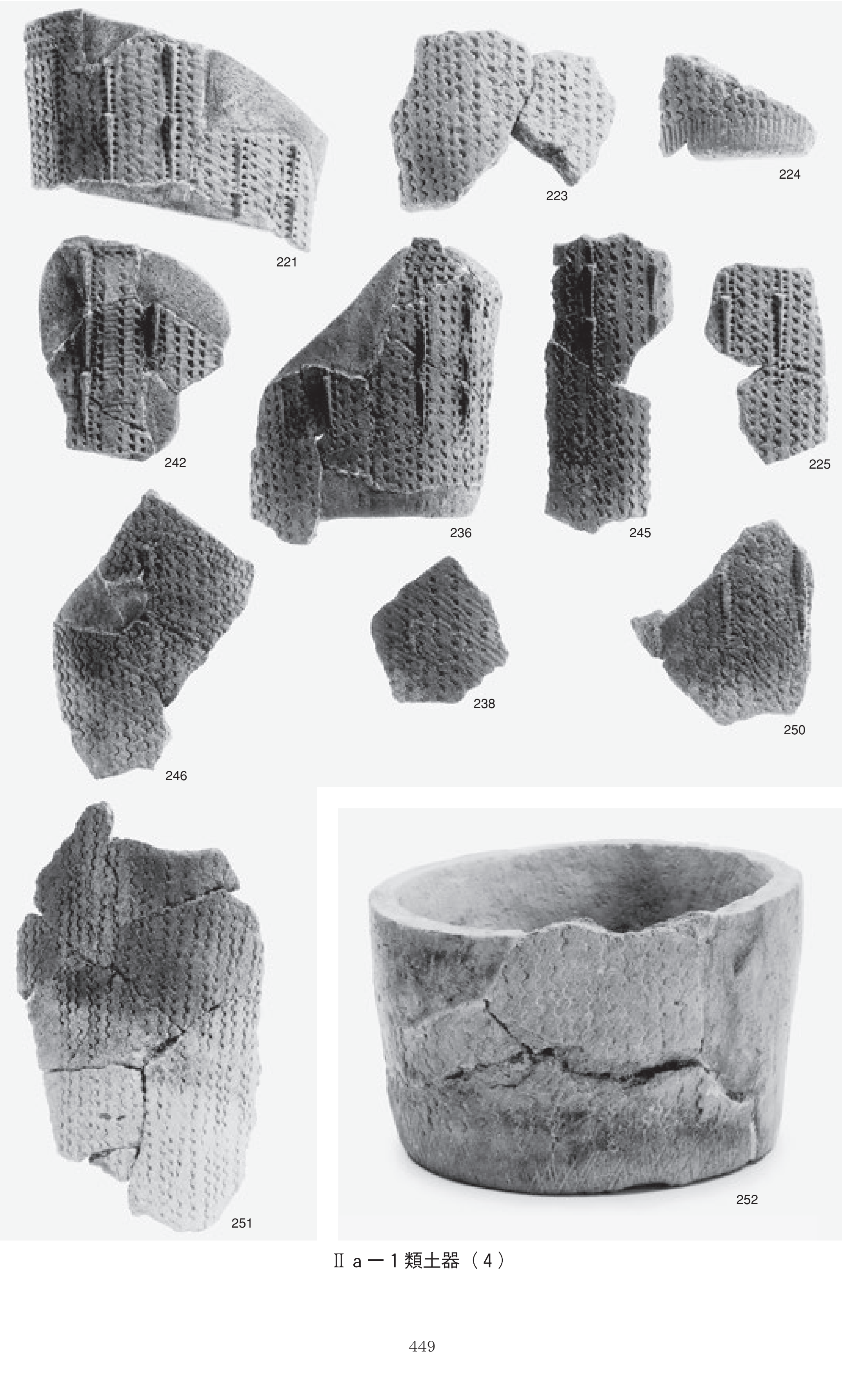
Ⅰ・Ⅱａ－１土器（１）


163
165
175
177
176
485
180
160
183
184
157
186
161
158
188
187
159

Ⅱａ－１類土器（２）

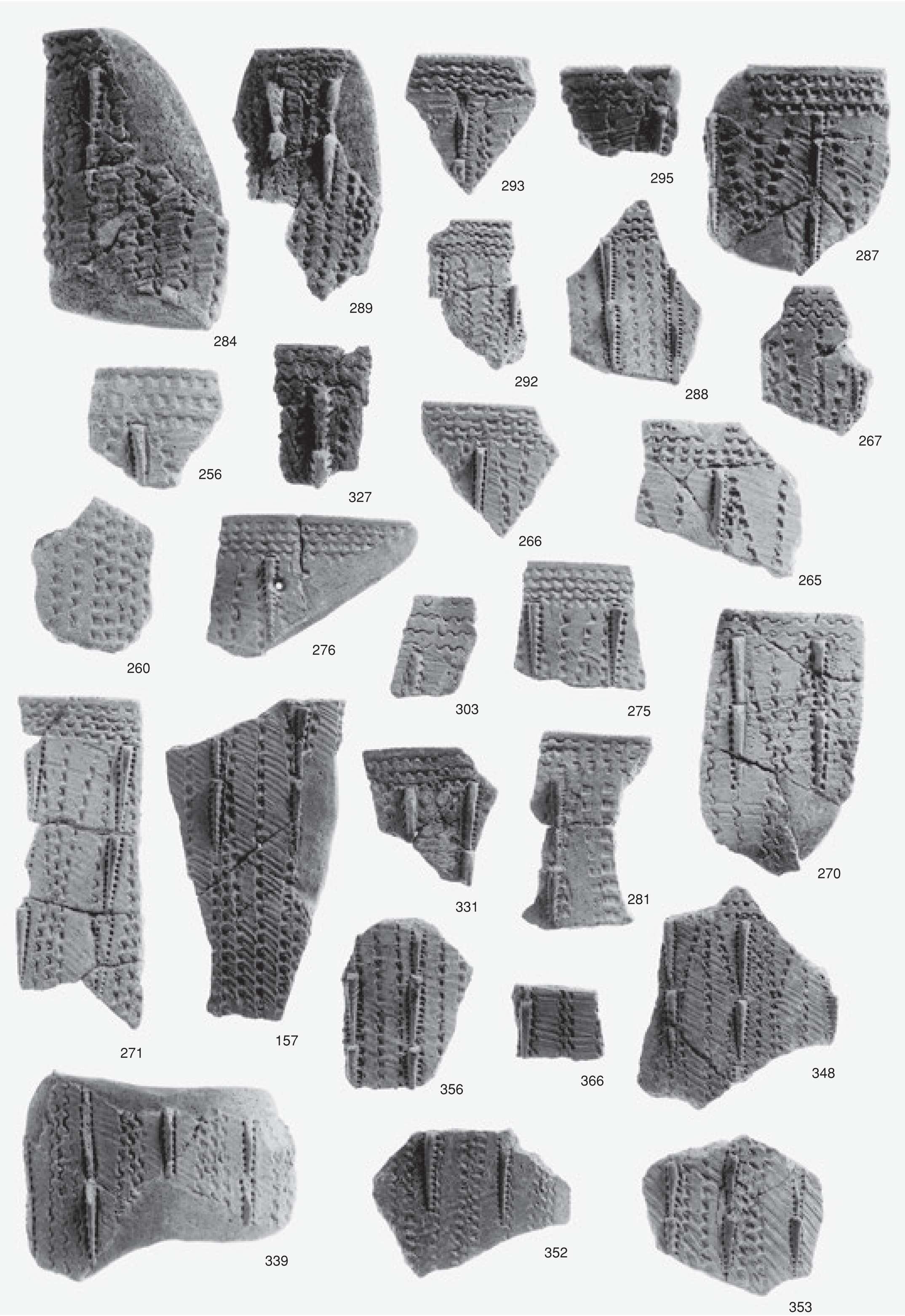
図版64

Ⅱａ－１類土器（３）



Ⅱａ－１類土器（４）

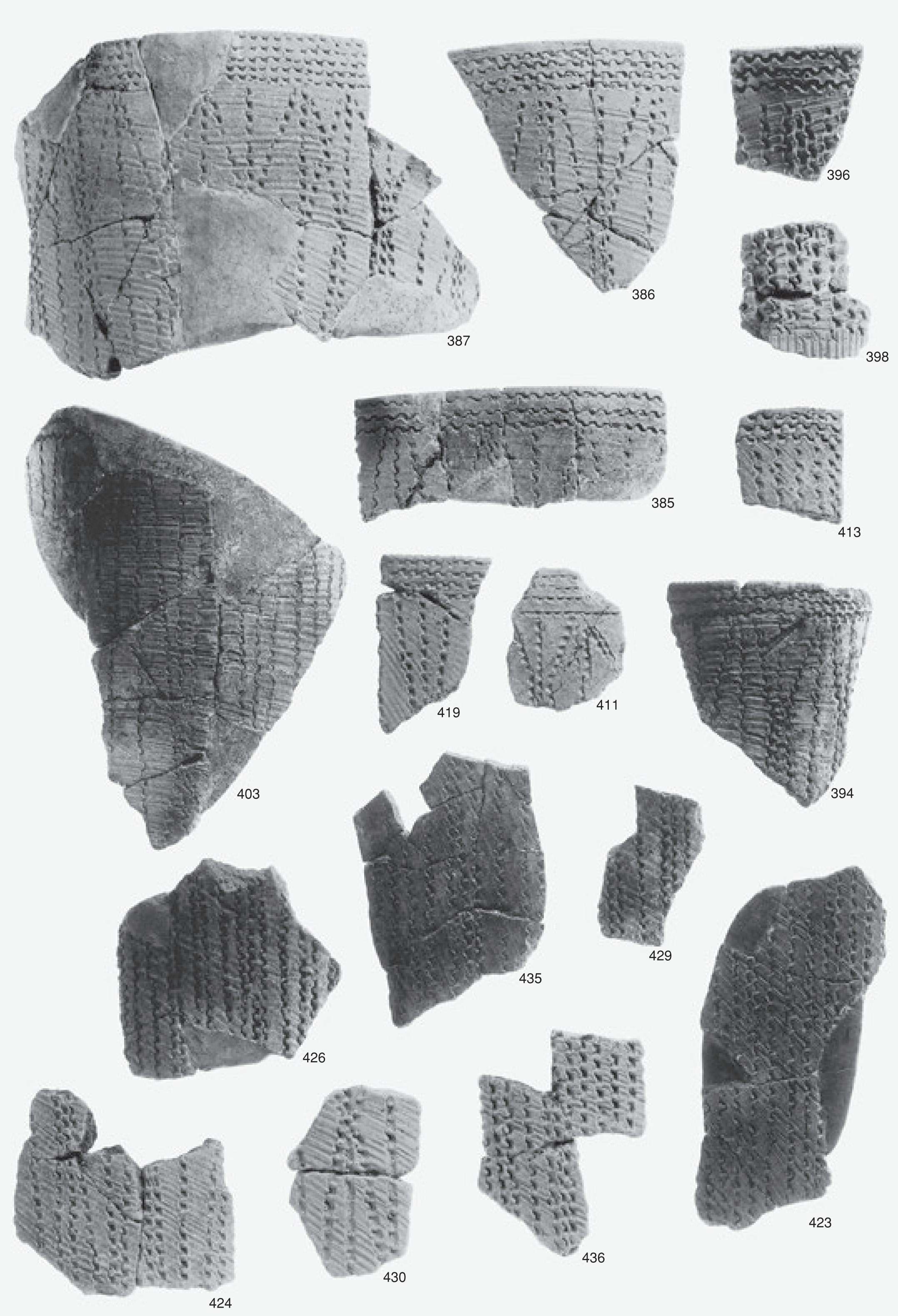
図版66



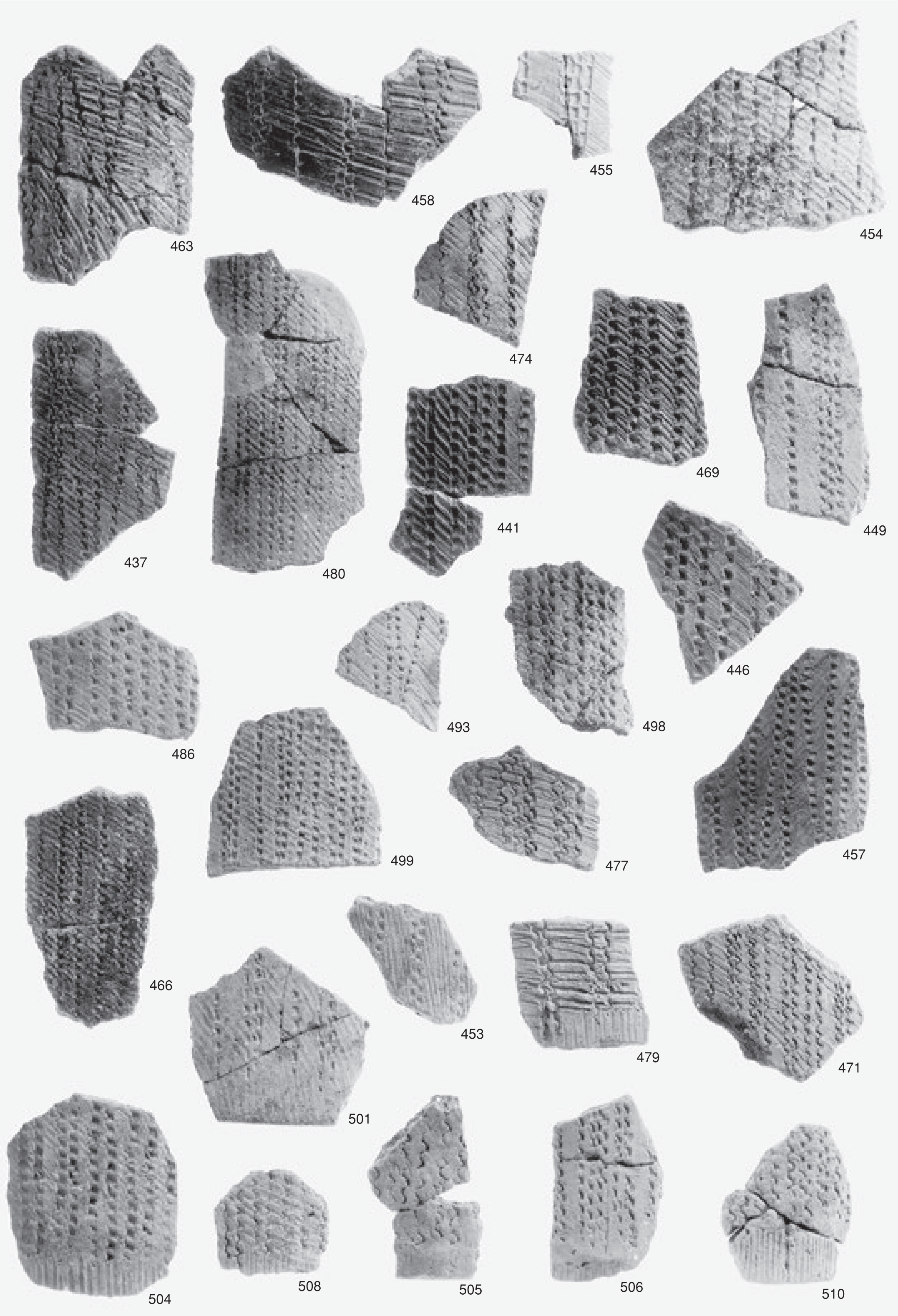
Ⅱａ－１類土器（５）

Ⅱａ－２類土器（１）

図版68



Ⅱａ－２類土器（２）

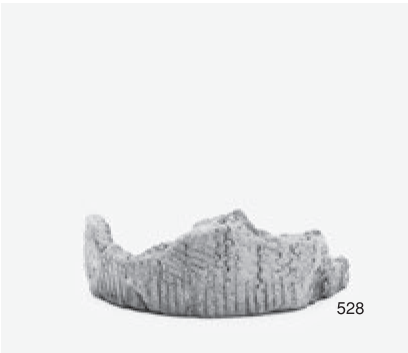

463
458
455
454
474
480
437
469
441
449
446
486
493
498
499
477
457
466
453
479
471
501
504
508
505
506
510

Ⅱａ類土器（１）

図版70


548


535

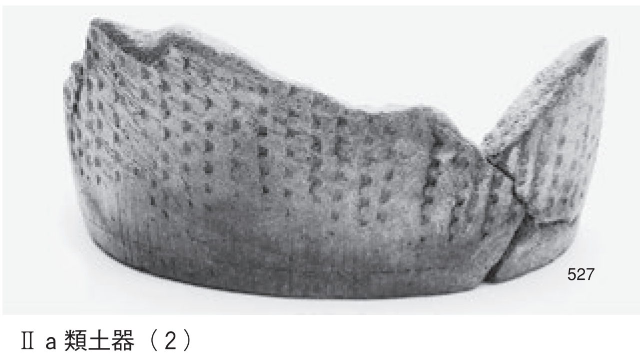

528


526

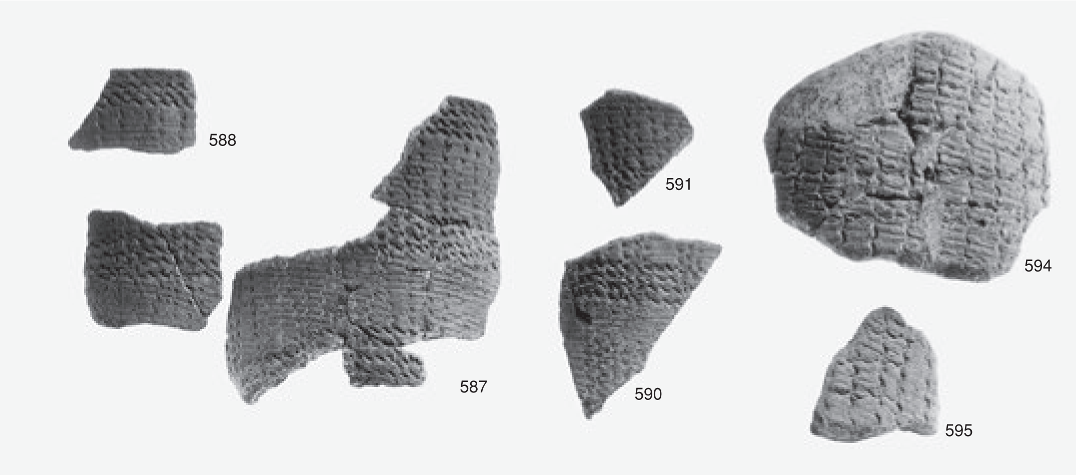

538

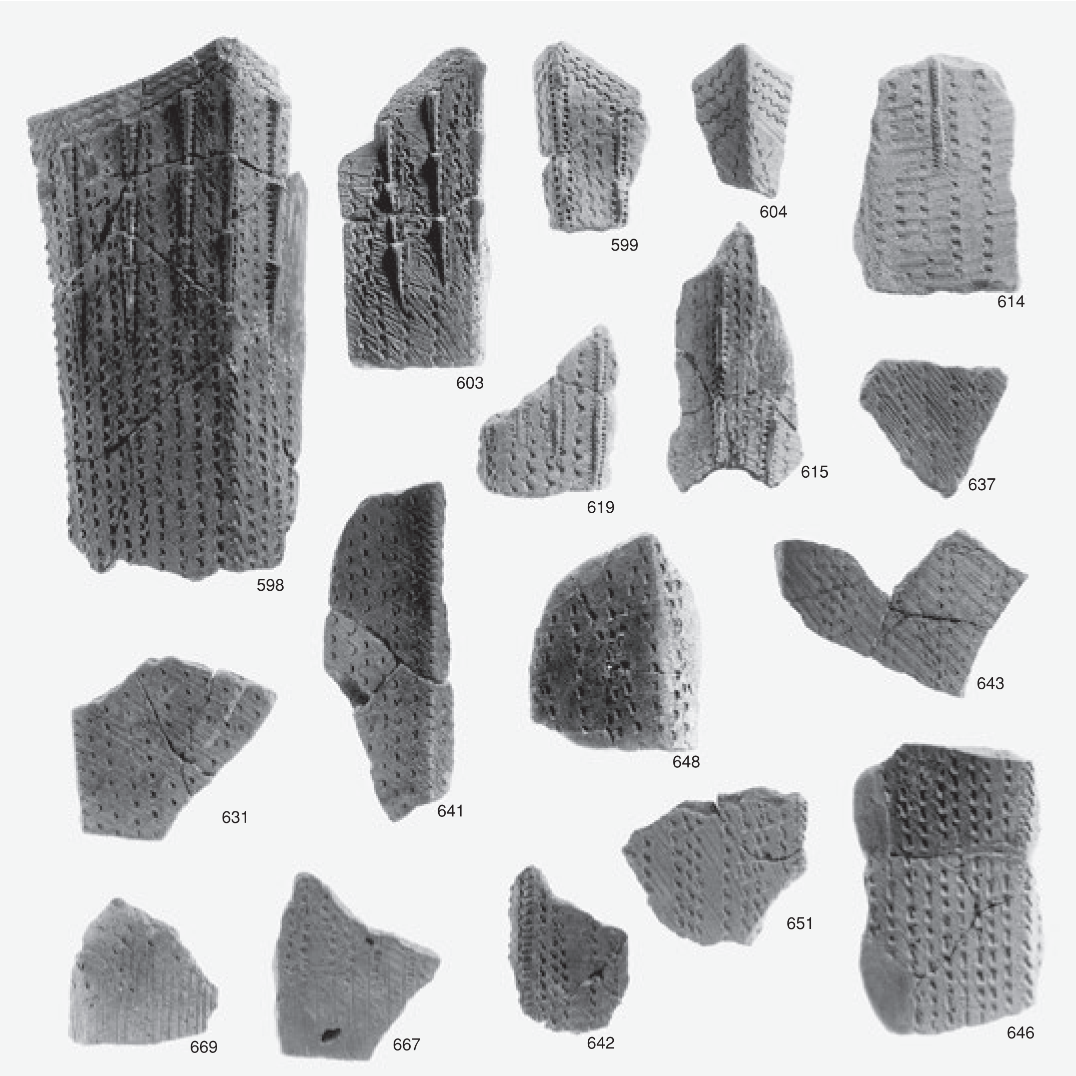

524


555


527

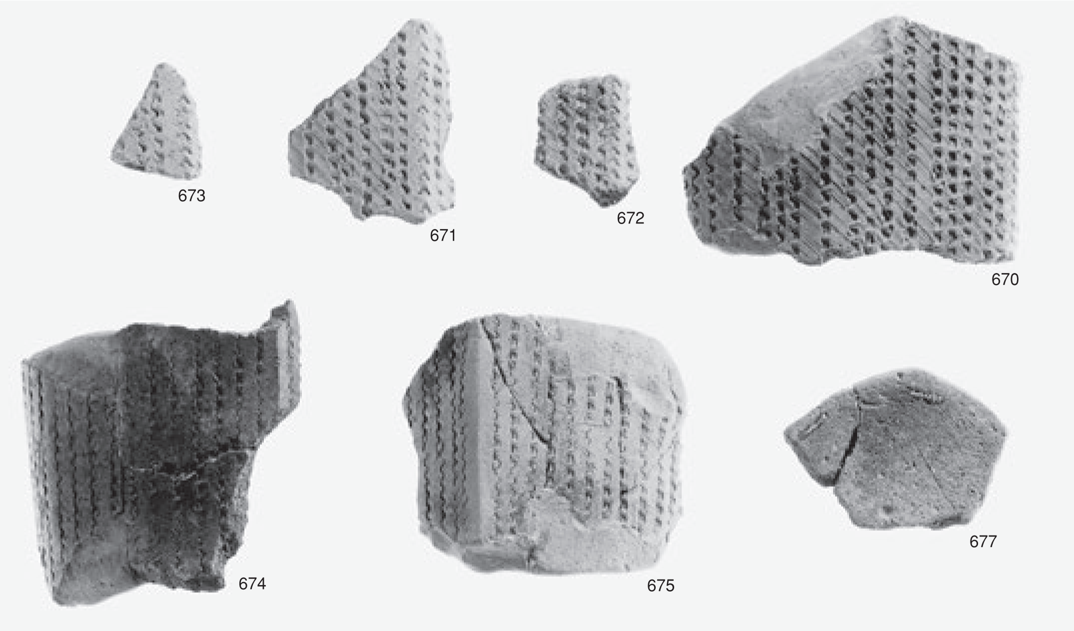
Ⅱ a 類土器（２）

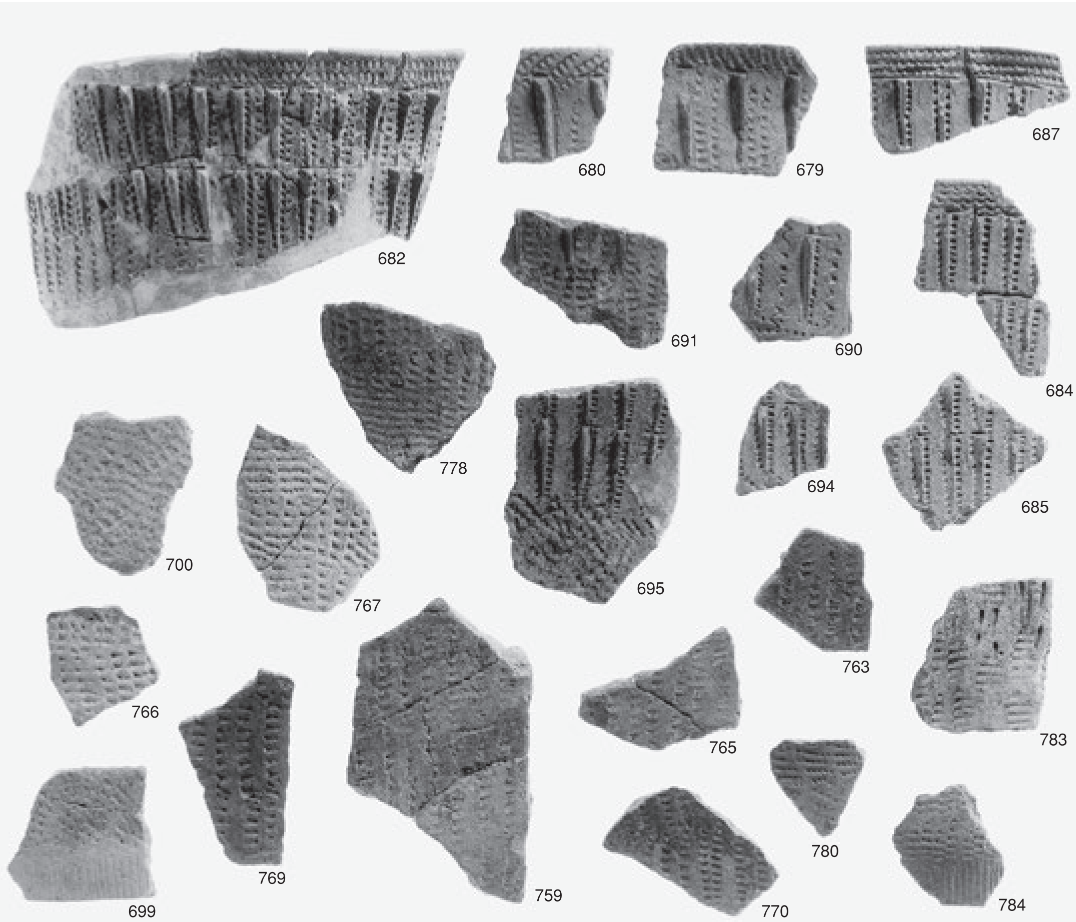

588
591
594
587
590
595


599
604
614
603
619
615
637
598
643
648
631
641
651
646
669
667
642

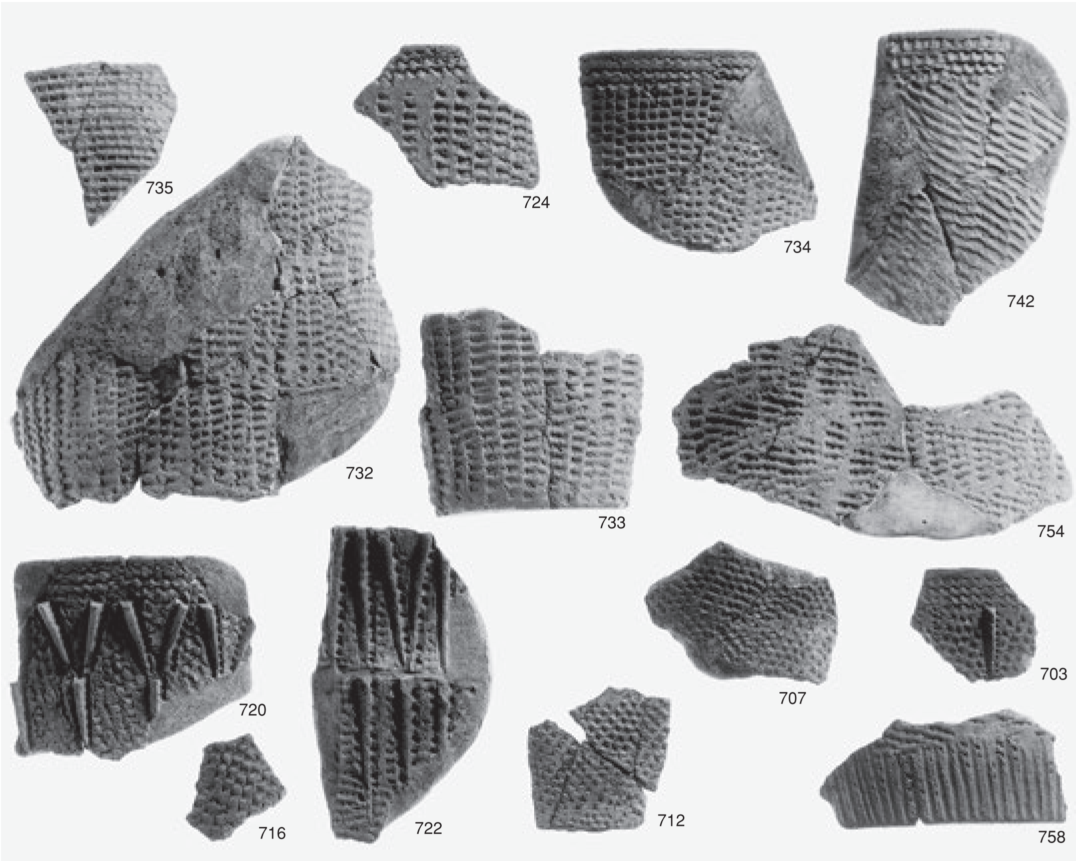
Ⅱａ・Ⅱｂ類土器

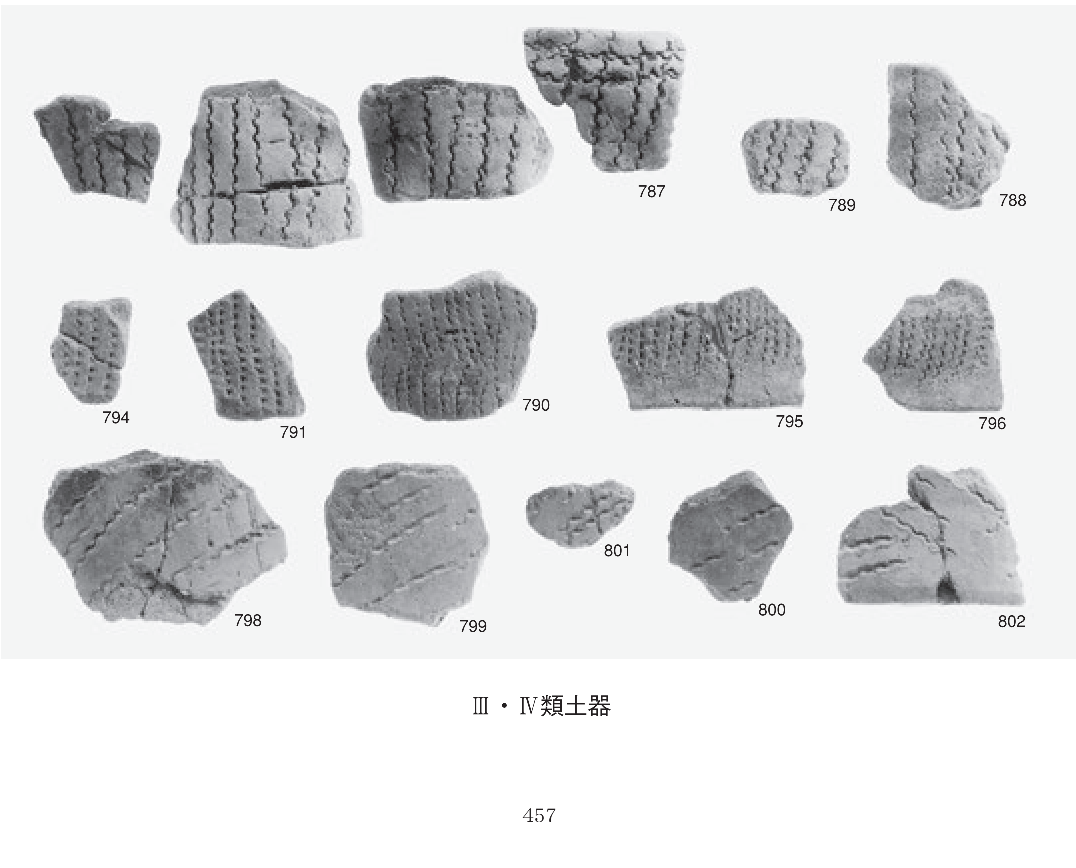
図版72


673
671
672
670
674
675
677


682
680
679
687
691
690
684
778
694
685
700
767
695
763
766
765
783
769
759
780
699
770
784

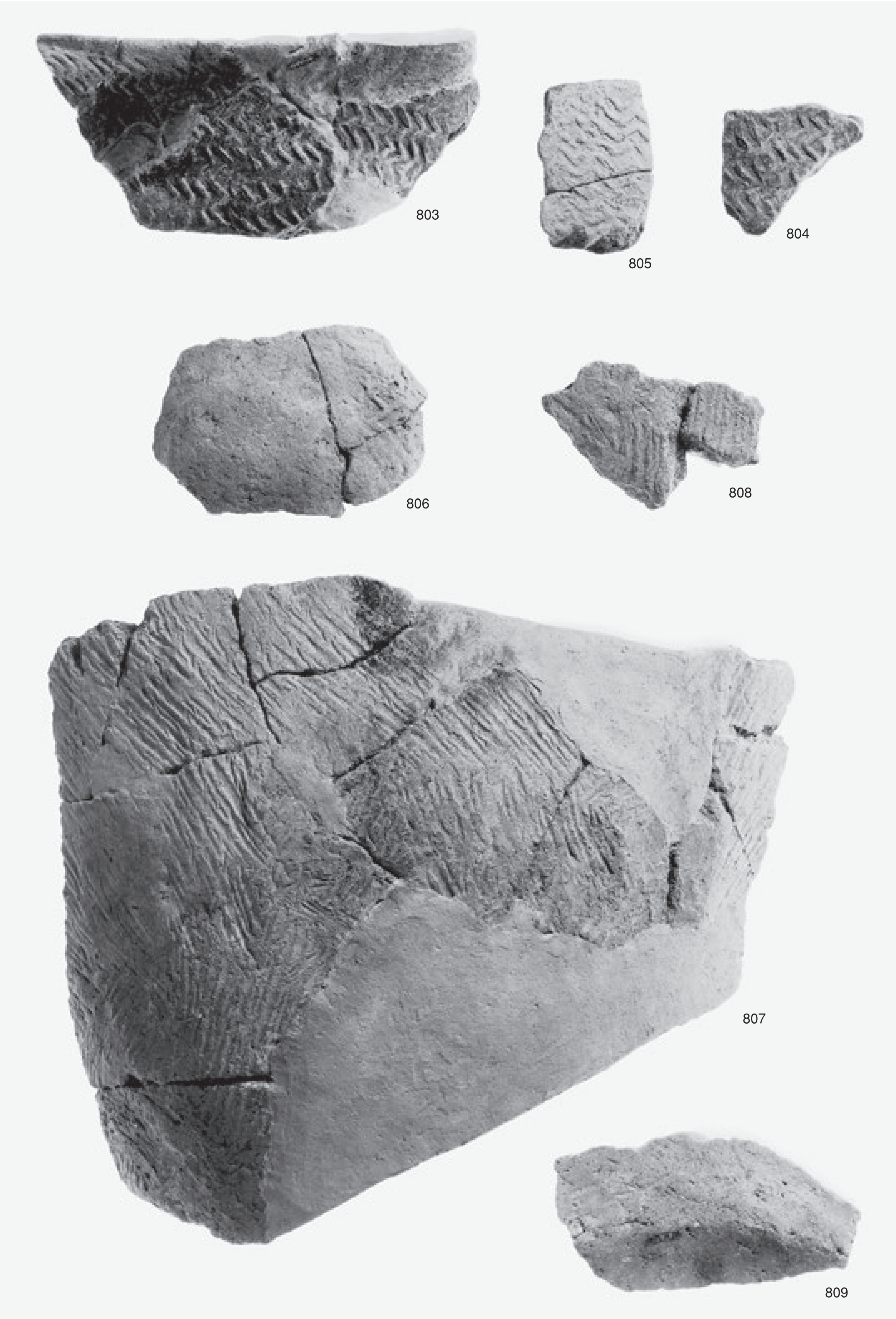
Ⅱｃ・Ⅲ類土器


735
724
734
742
732
733
754
720
722
707
703
716
712
758


787
789
788
794
791
790
795
796
798
799
801
800
802

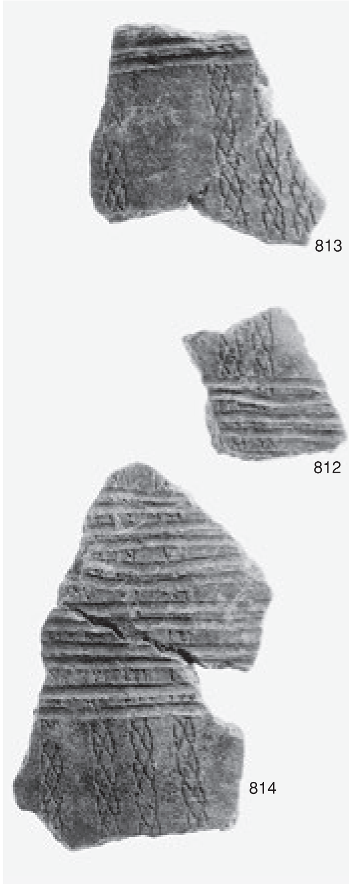
Ⅲ・Ⅳ類土器

図版74



Ⅴ・Ⅵ類土器


810


813

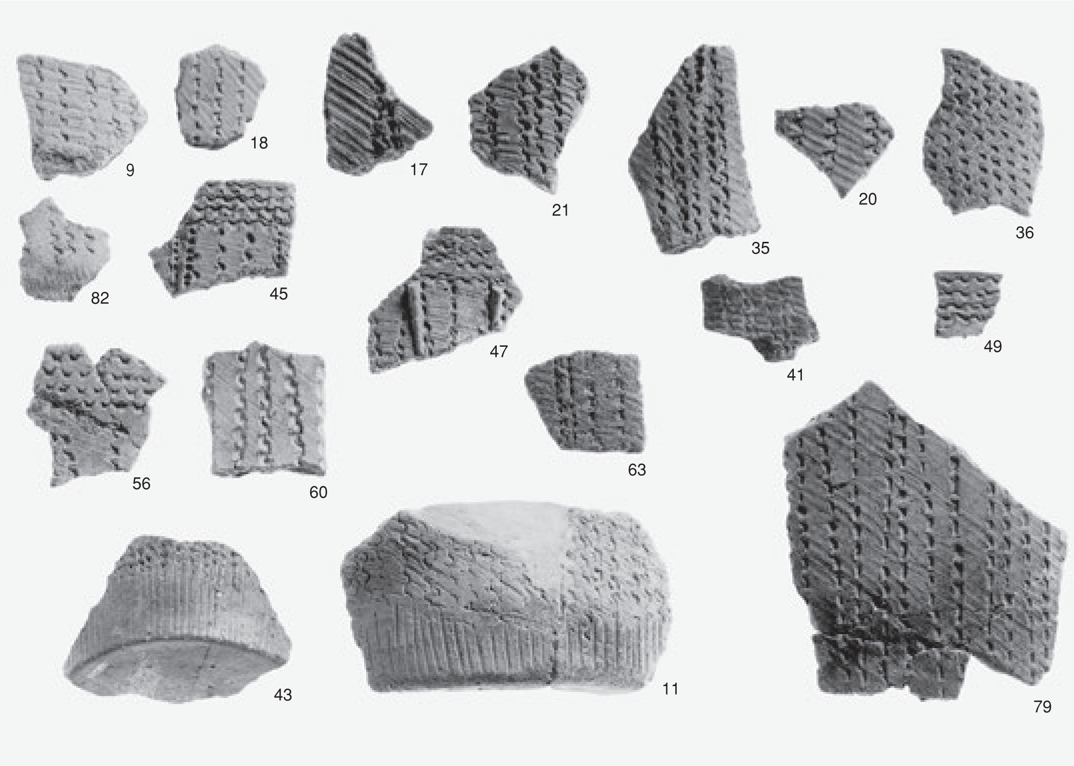
812

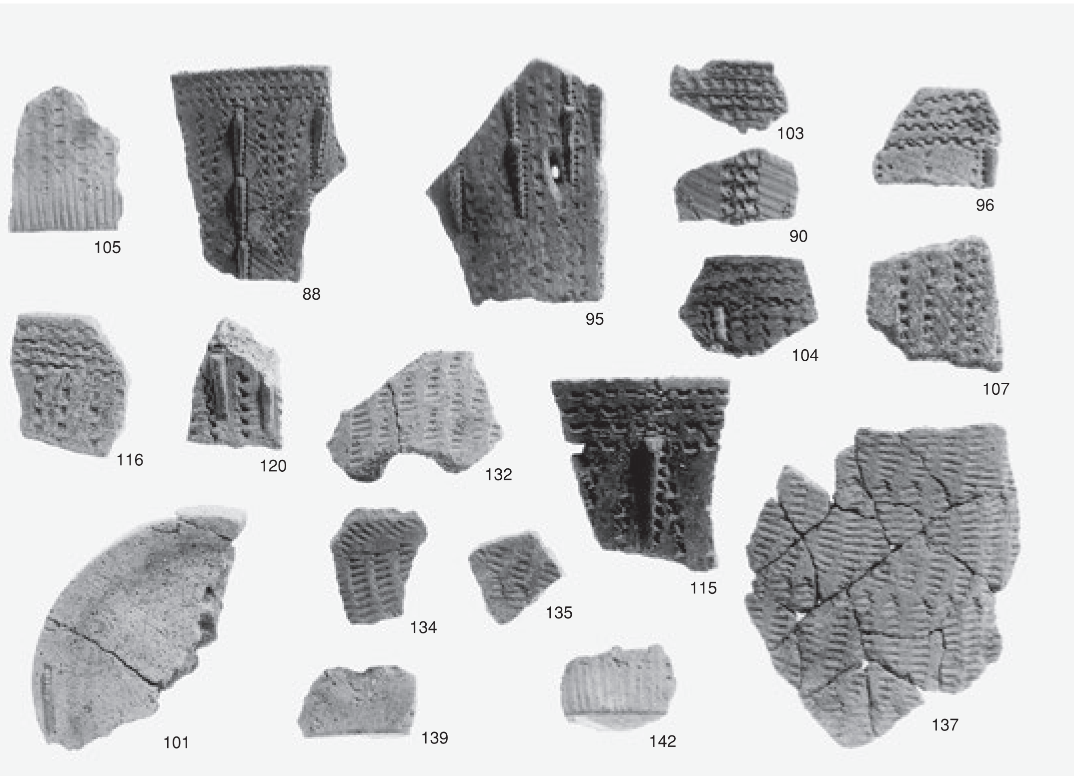
814


811

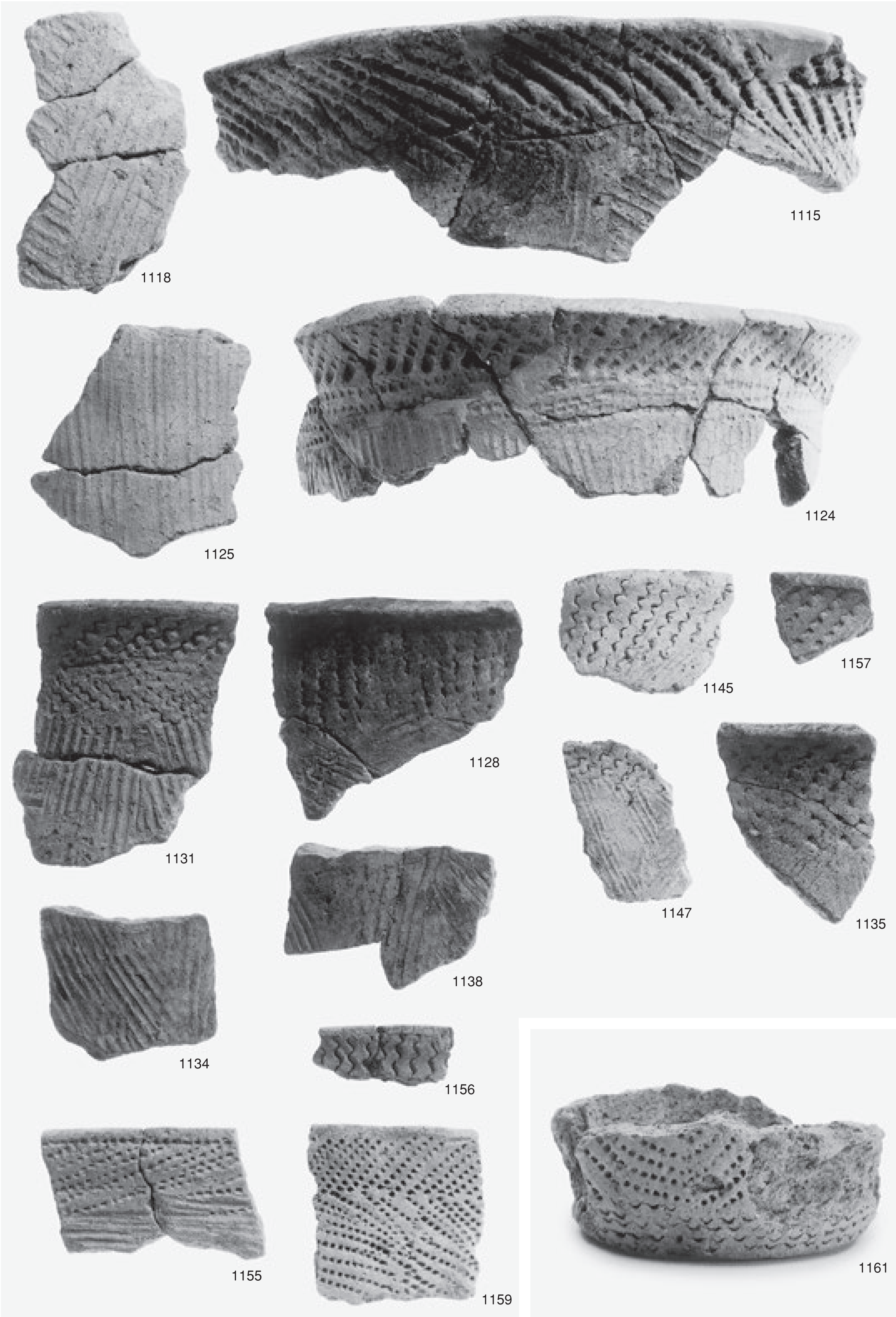
Ⅶ類土器

図版76



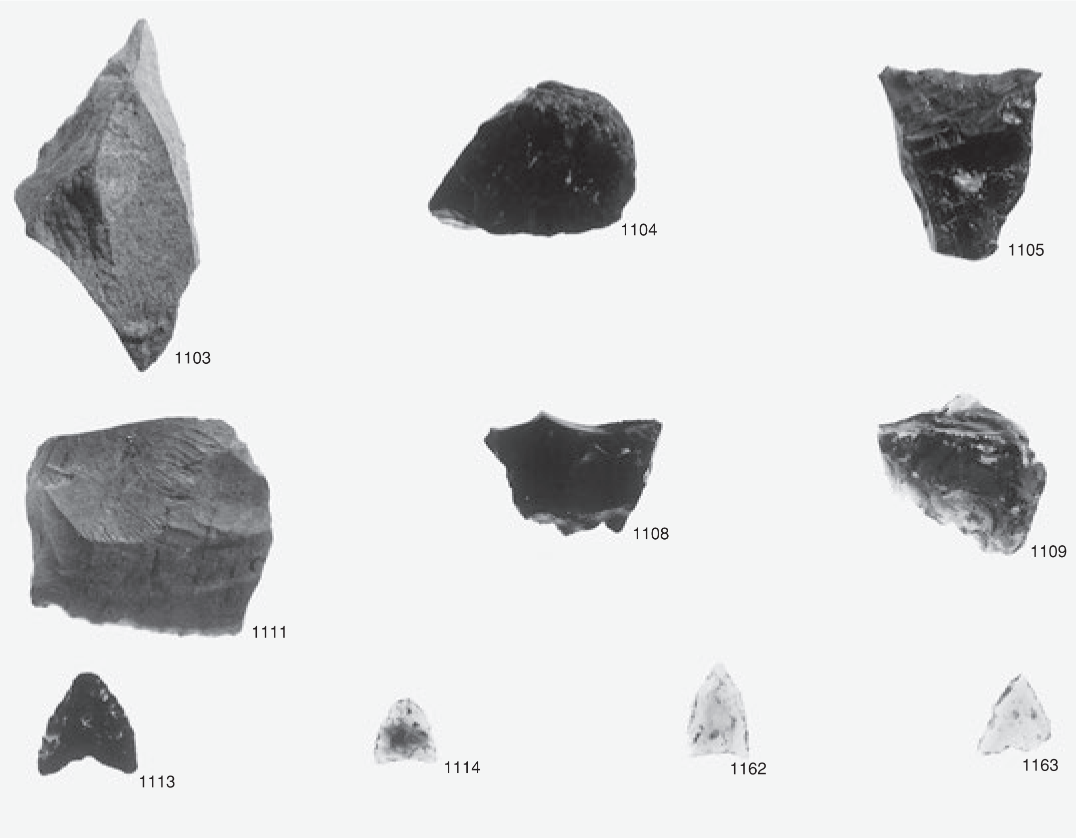


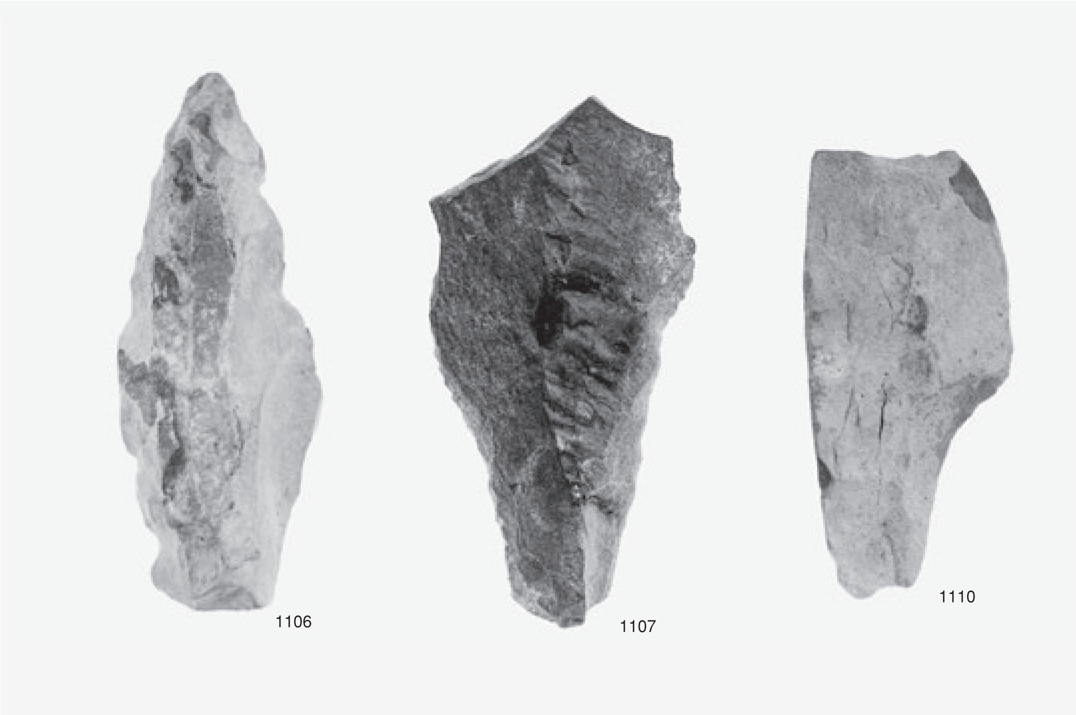
遺構内出土の土器


1118
1115
1125
1124
1145
1157
1131
1128
1147
1135
1138
1134
1156
1155
1159
1161

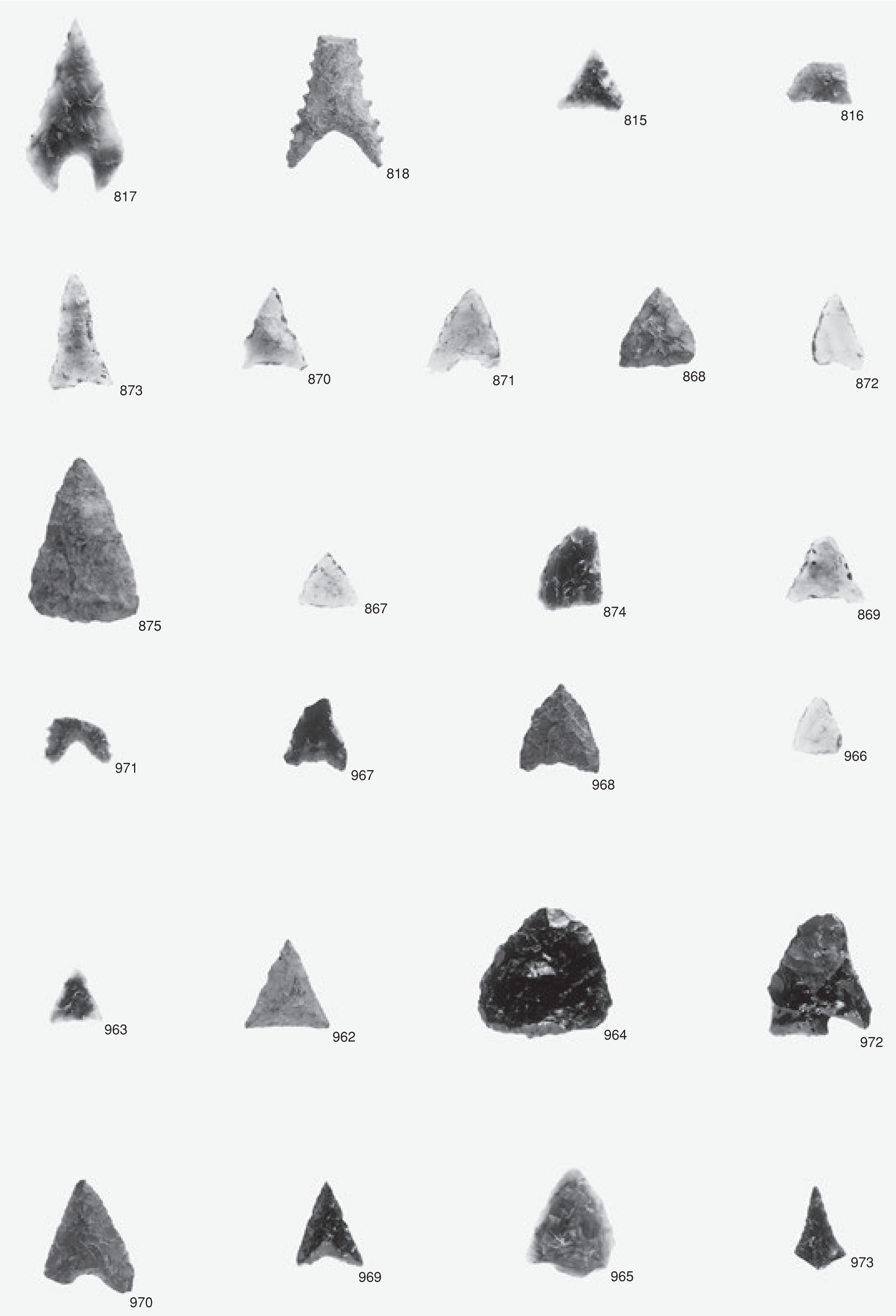
ＸⅦ・ＸⅧ・ＸⅨ類土器

図版78



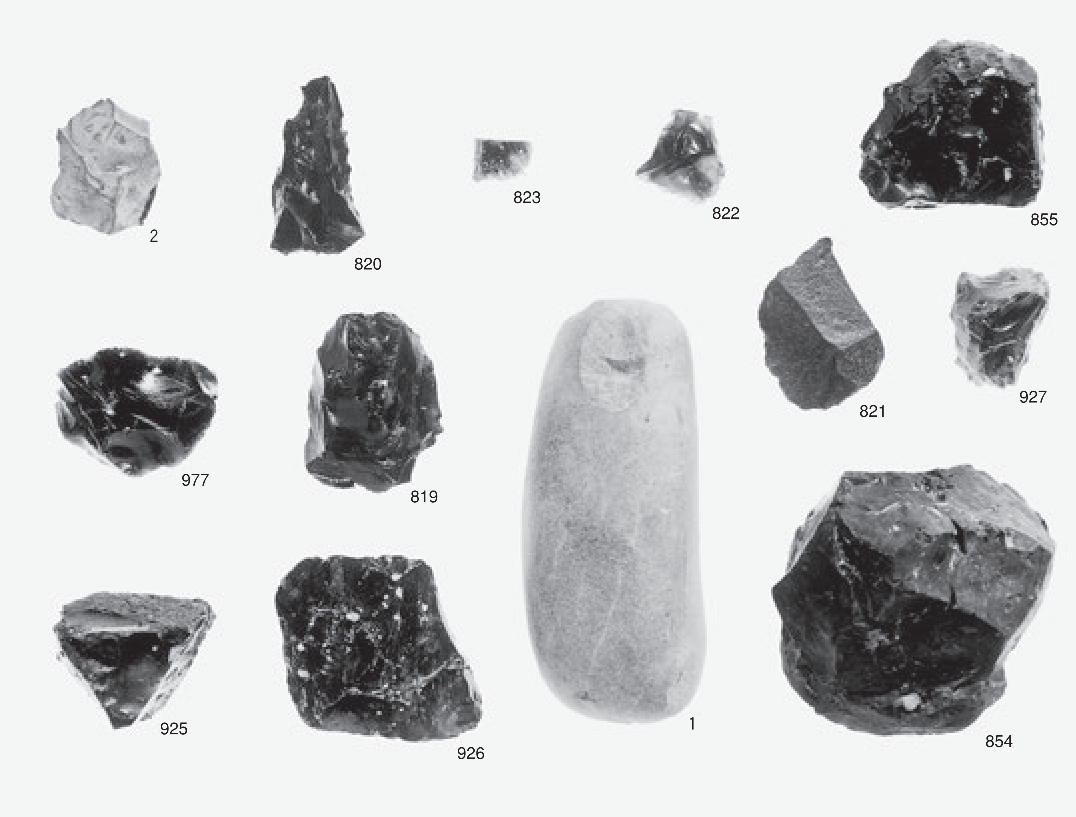


旧石器時代の石器


817
818
815
816
873
870
871
868
872
875
867
874
869
971
967
968
966
963
962
964
972
970
969
965
973

縄文時代の石器（１）

図版80



縄文時代の石器（２）

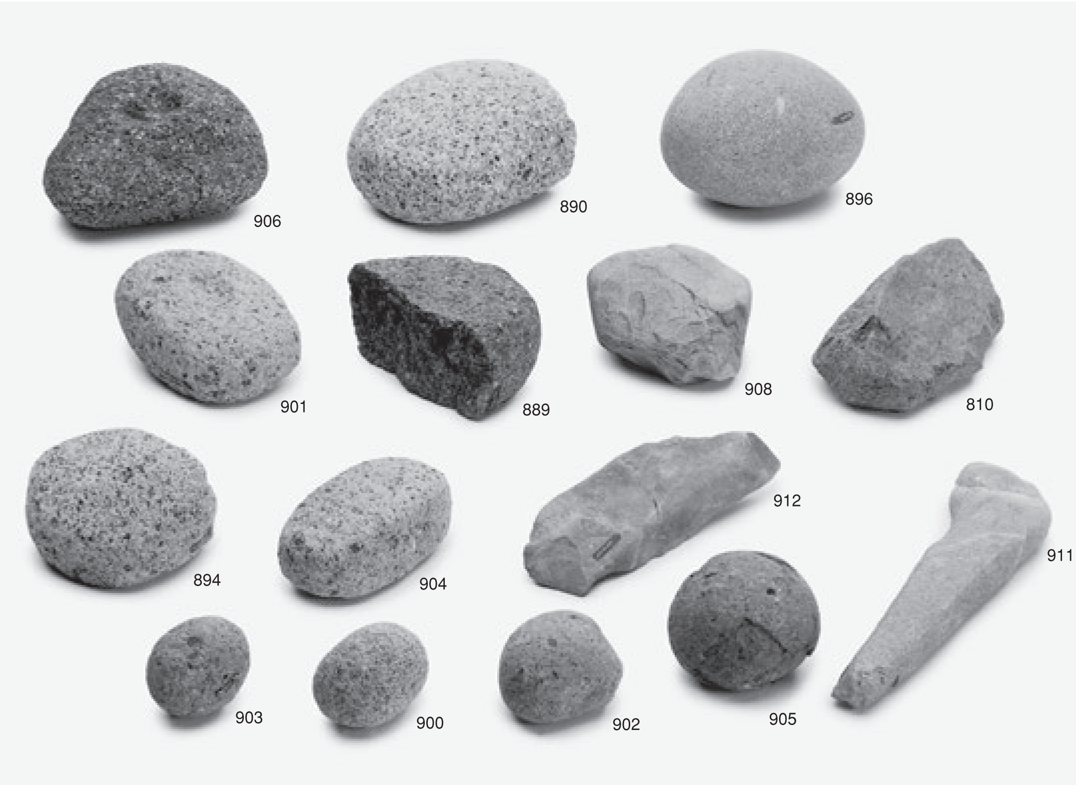
図版81

縄文時代の石器（３）

図版82

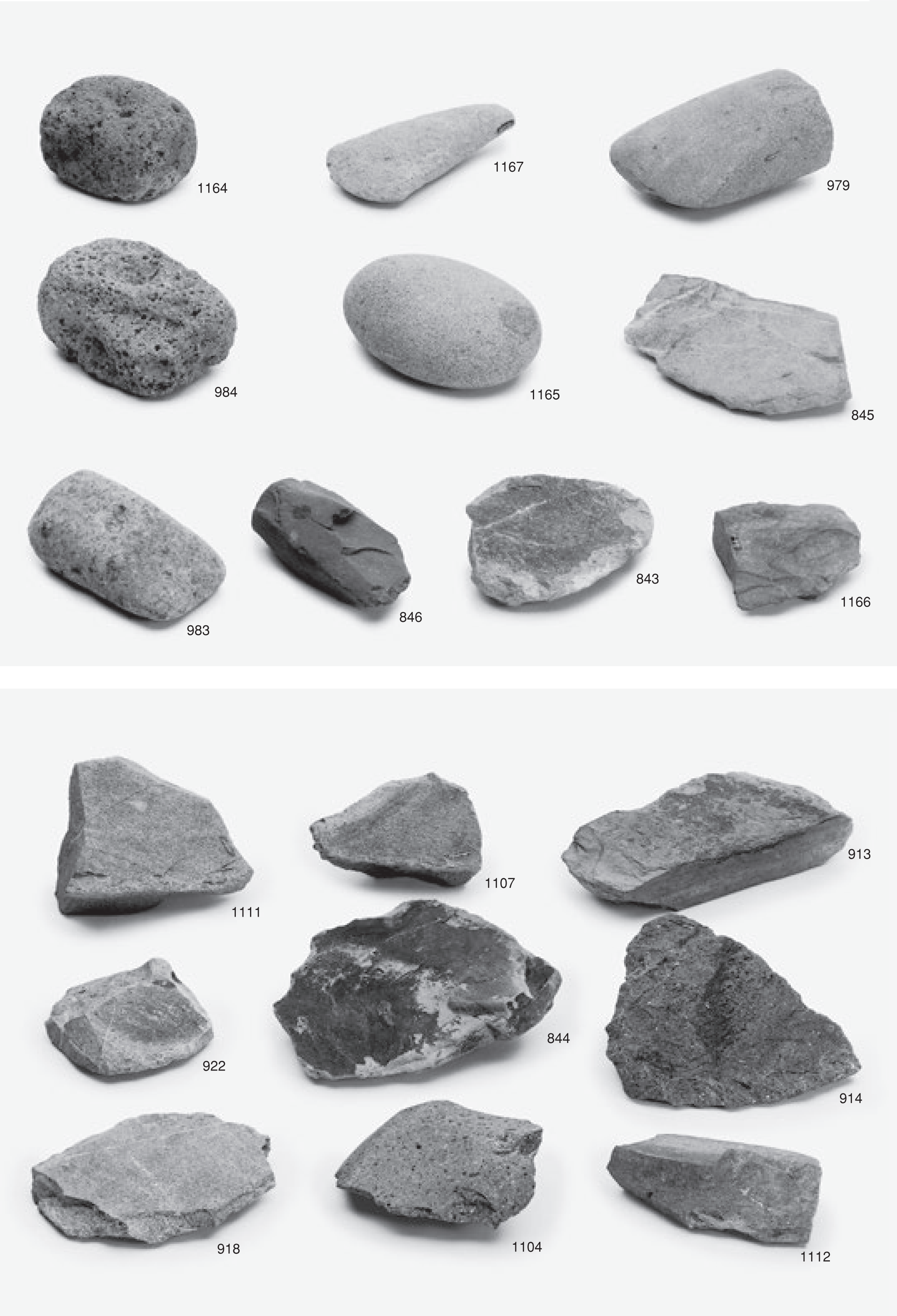
縄文時代の石器（4）


836
829
825
824
832
828
827
831
834
833
838

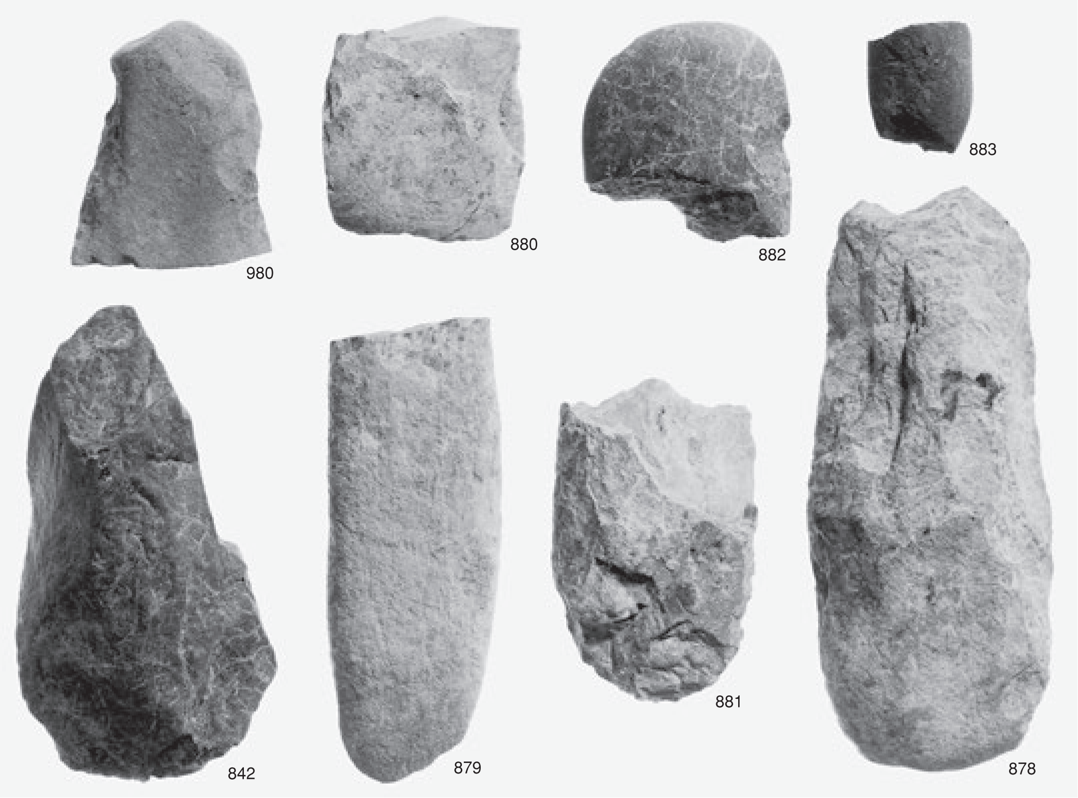

906
890
896
901
889
908
810
912
911
894
904
903
900
902
905

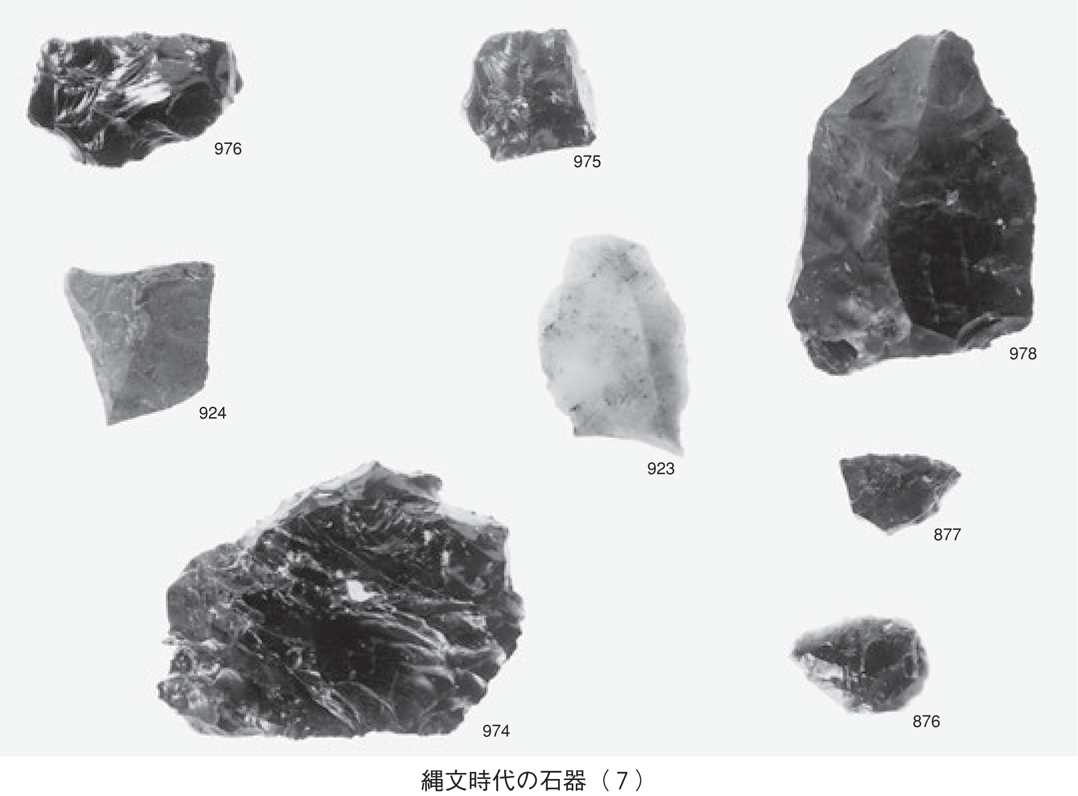
縄文時代の石器（５）

図版84



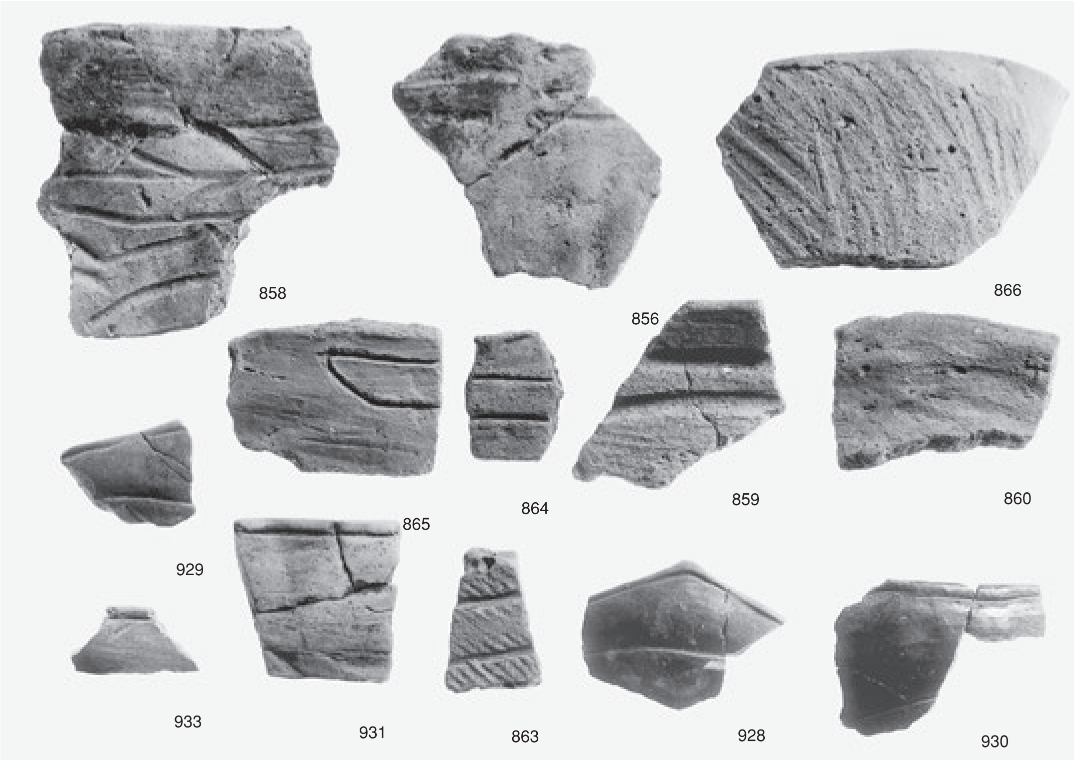
縄文時代の石器（6）

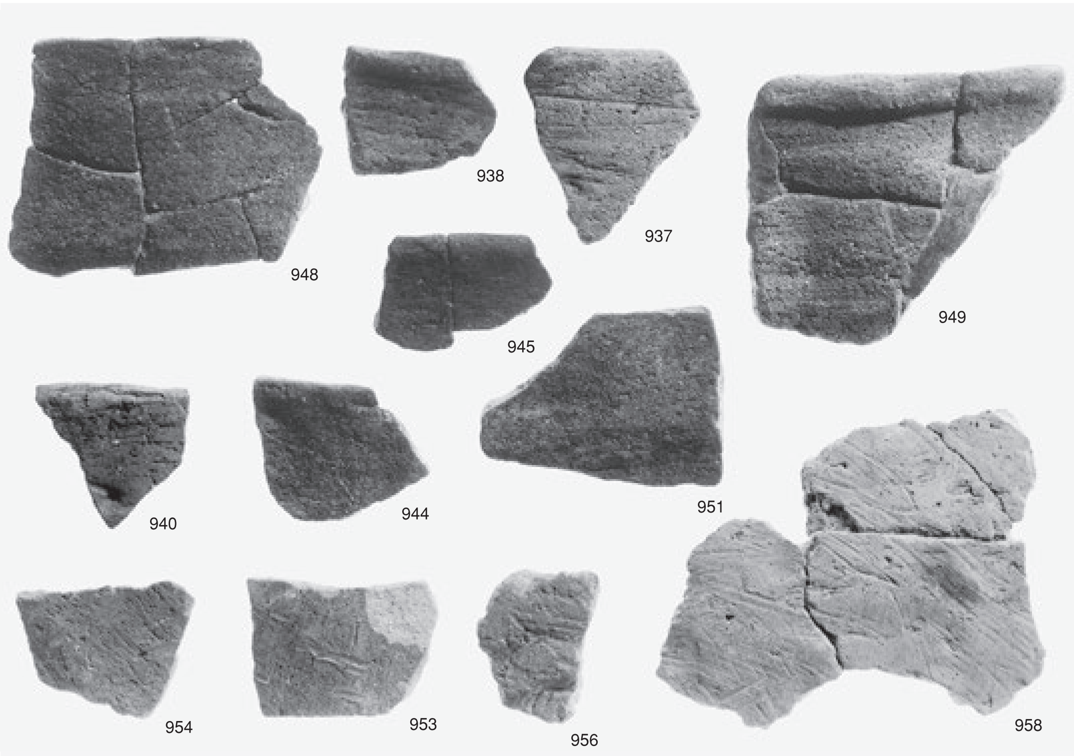




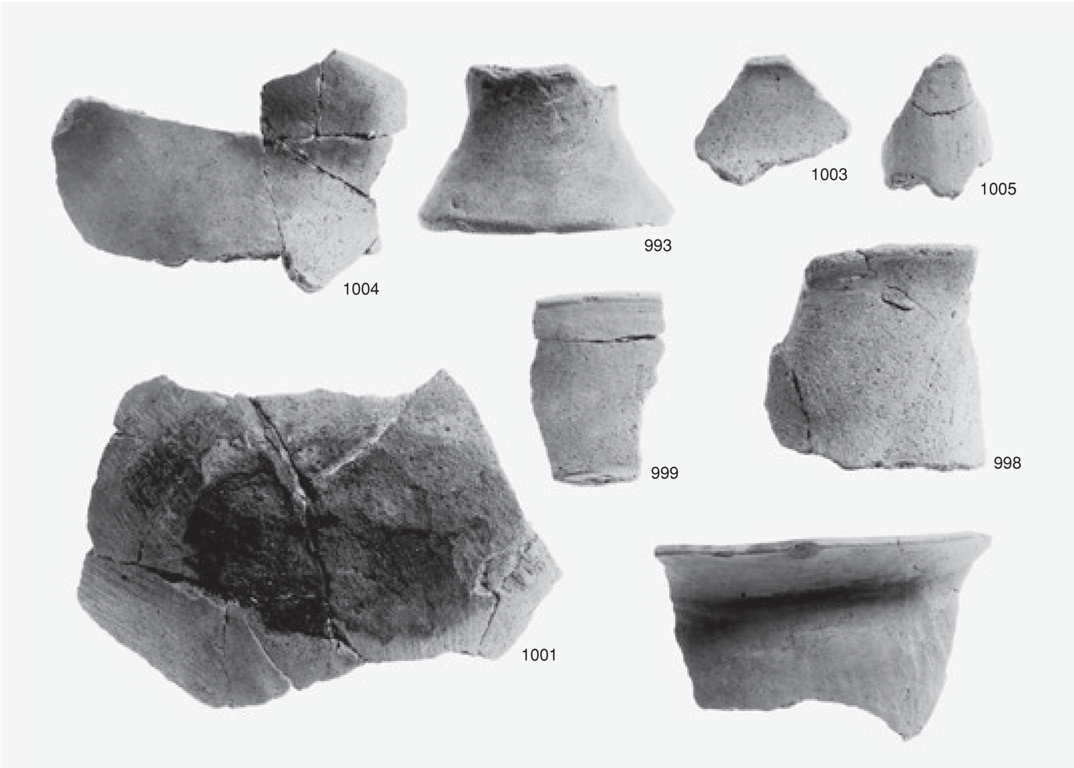
縄文時代の石器（７）

図版86



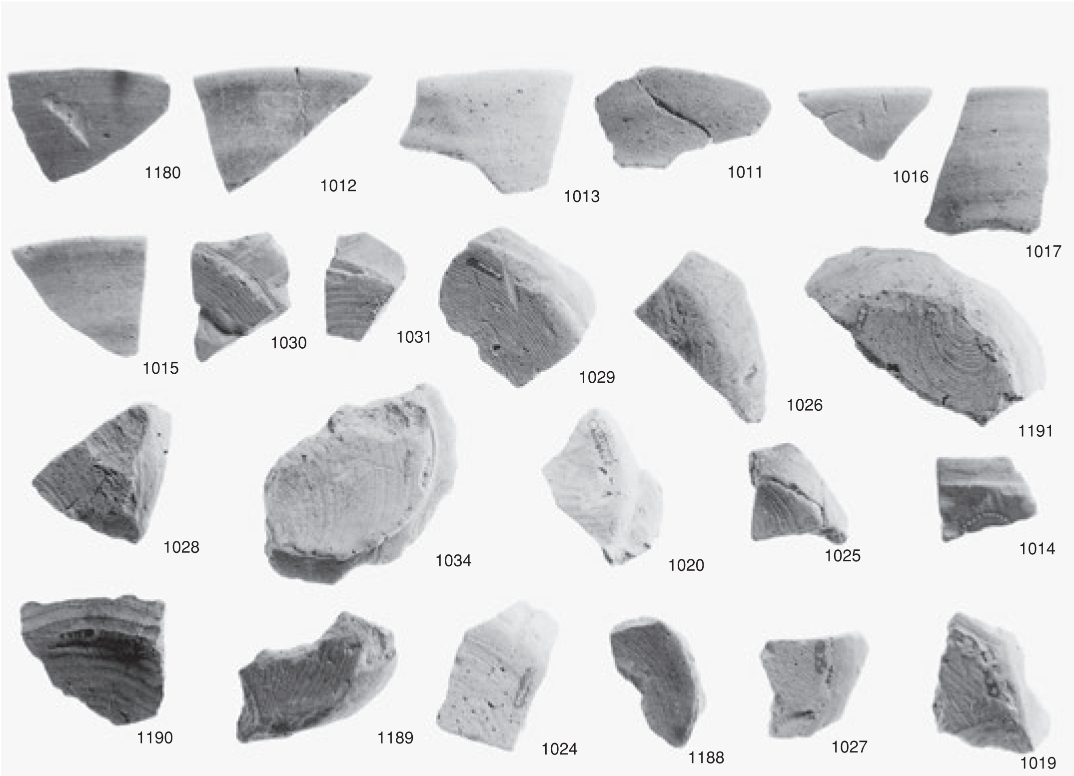


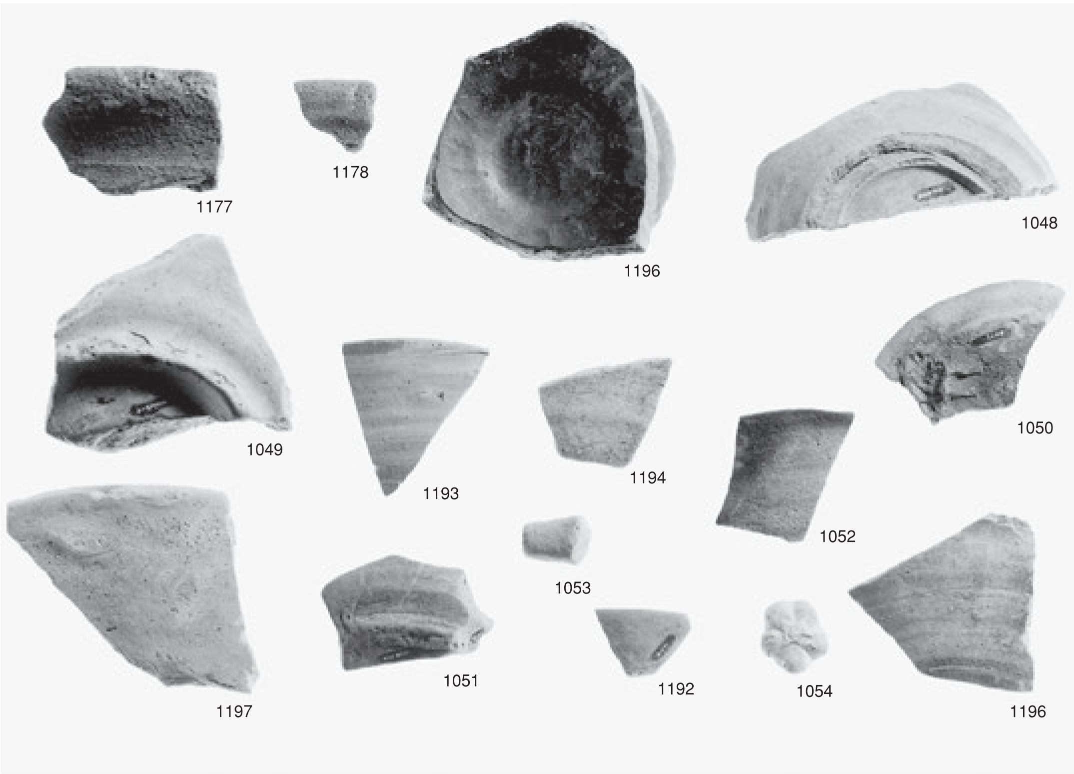
Ⅷ～Ⅹ・ⅩⅢ・ⅩⅣ～ⅩⅥ類土器



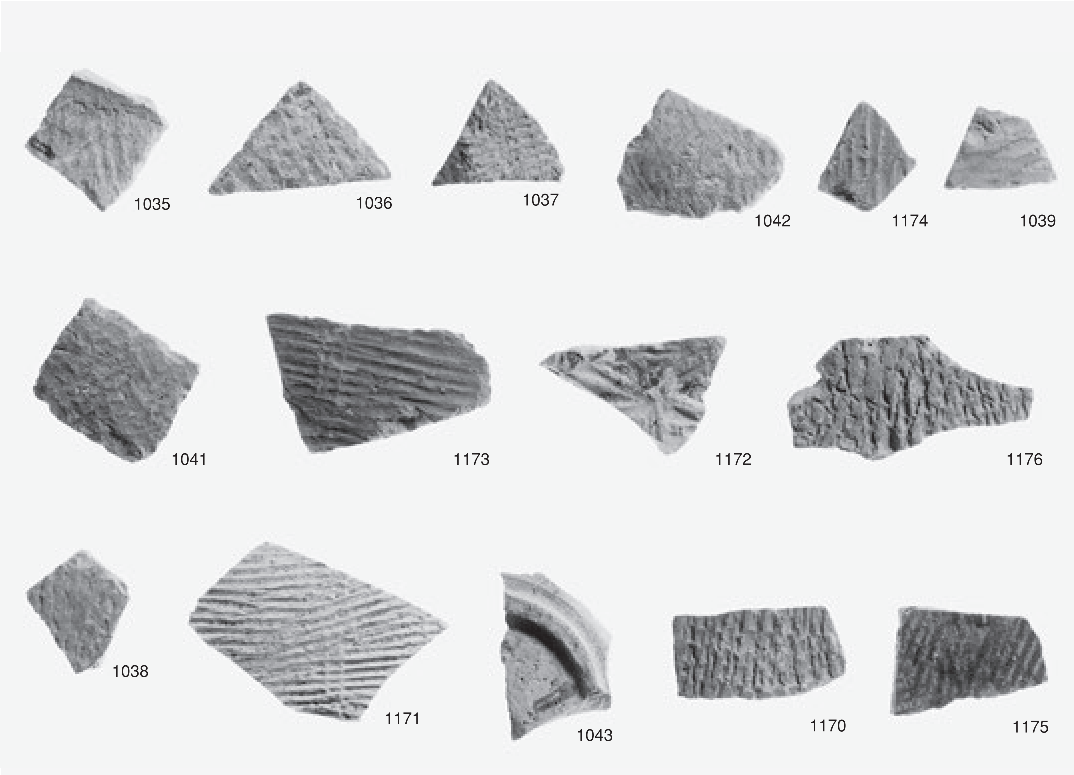
古墳時代・古代の土器

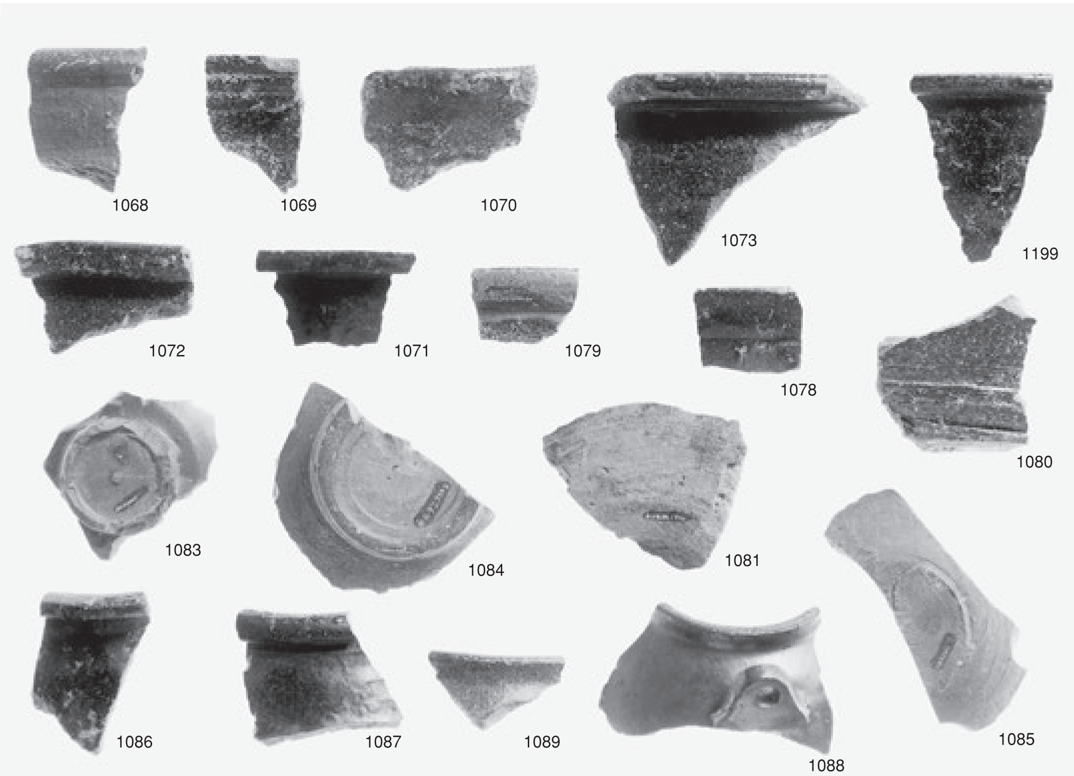
図版88


1180
1012
1013
1011
1016
1017
1015
1030
1031
1029
1026
1191
1028
1034
1020
1025
1014
1190
1189
1024
1188
1027
1019


1177
1178
1196
1048
1049
1193
1194
1050
1052
1197
1053
1051
1192
1054
1196

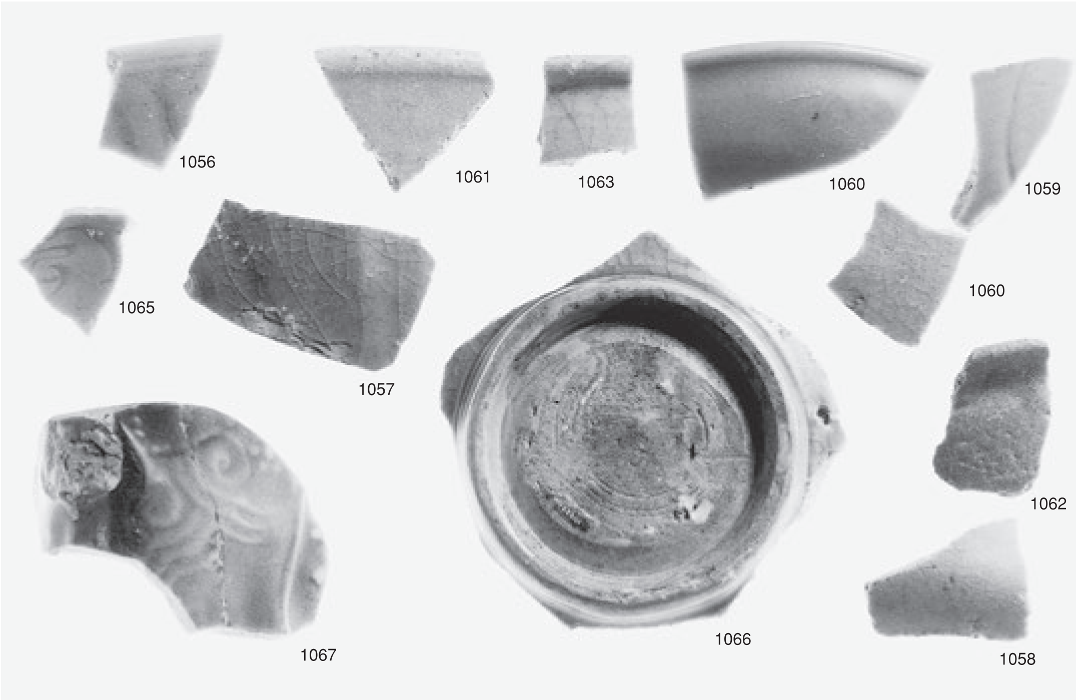
土師器

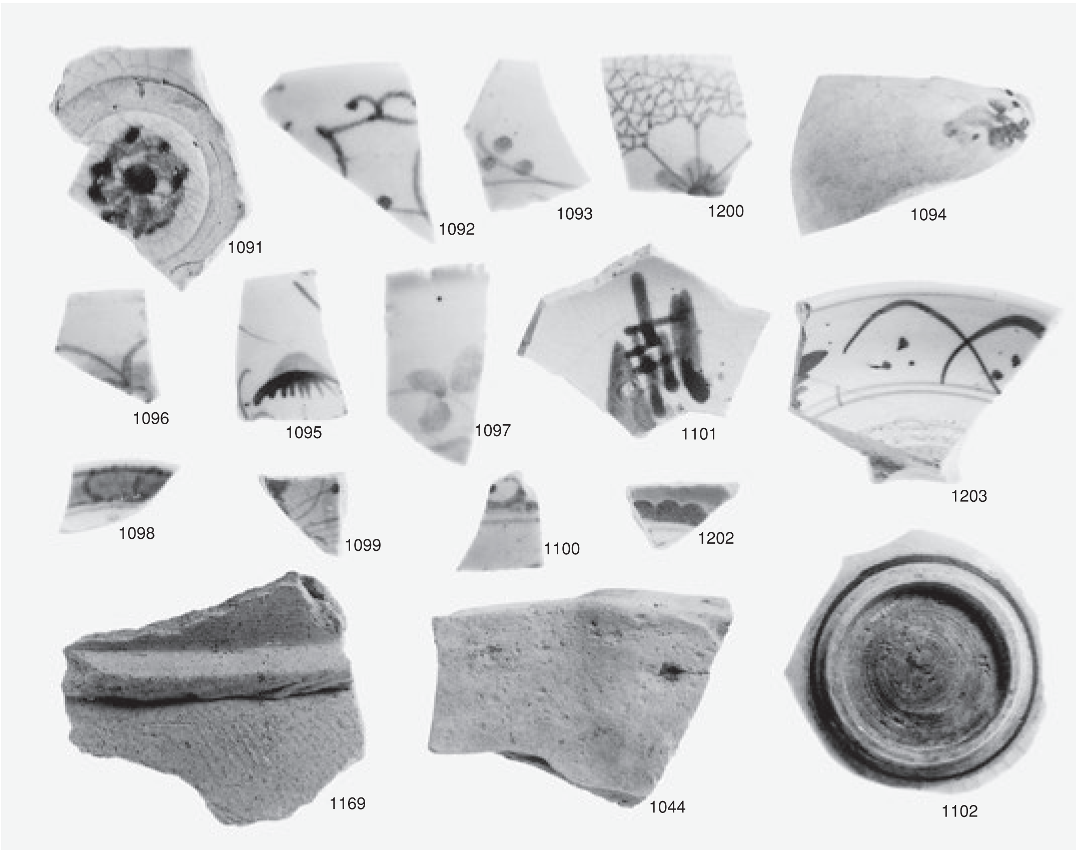

1035
1036
1037
1042
1174
1039
1041
1173
1172
1176
1038
1171
1043
1170
1175


1068
1069
1070
1073
1199
1072
1071
1079
1078
1080
1083
1084
1081
1086
1087
1089
1088
1085

須恵器・陶器

図版90


1056
1061
1063
1060
1059
1065
1057
1060
1062
1067
1066
1058


1091
1092
1093
1200
1094
1096
1095
1097
1101
1203
1098
1099
1100
1202
1169
1044
1102

青磁・染付

接合資料（1）

図版91

接合資料（2）

あ　と　が　き

南九州西回り自動車道建設に伴う遺跡の調査は平成２年度の分布調査に始まり，翌平成３年度の確認調査及び全面調査（現在の本調査）で本格的な発掘調査が開始され，以後は年次的・計画的に調査が行われて昨年度の栫城跡の調査終了で一区切りを迎えた。

この間，仁田尾遺跡や前原遺跡などマスコミからも注目された遺跡は数多かったが，この永迫平遺跡もマスコミに取り上げられ，注目された遺跡であった。ただ，その取り扱いについてオープンにできなかったことがほかの遺跡とは異なっていた。それは，とりもなおさず，上野原遺跡の影響であった。当時は，最古最大級の遺跡として国の史跡指定に向けて動きを加速していた時期であったため，上野原と同時期の遺跡の出現は何とも望まれないことであった。そのため，テレビ局や新聞社の記者達が取材に訪れても，「上野原とは比較にならない，一般的な遺跡である。」として対応していたことを，昨日のことのように鮮明に覚えている。

それでは，実際にはどうか。それは，本報告書を詳細に読んでいただければ明確となるはずである。この報告書は，事実以外何ものも加えてはいないし，逆に，何事も減らしてもいない。ありのままの「永迫平遺跡」そのものである。

足掛け２年にわたっての整理・報告書作成作業は，決して短いものではなかったものの，縄文時代早期の集落の様相を知る良好な資料を提供する遺跡の解明という点からは，やはり時間が足りなかったというのが本音である。竪穴住居跡は９軒，連穴土坑３基，集石でも12基といった主要な遺構と，メインがほぼ１時期という土器型式だけであればさほど苦しまずに済んだはずである。

しかし，実際には，一般の土坑が約400基，竪穴住居跡ほどの規模を持つ方形土坑と仮に呼称した大型の土坑も約100基検出されるなど，調査区域が約14,000㎡程度の遺跡としては，また，同時期とされる上野原遺跡や加栗山遺跡，同じ西回りの調査で発掘調査の行われた前原遺跡などと比較しても，面的な広がりという点からも，遺構や遺物といった内容の的からも遜色のない遺跡であることから，時間不足を痛感させられた。もちろん，自らの力量不足によるものである。

縄文時代早期の集落跡と判明した第１地点がメインであったことは事実であるが，台地部から西に向かって少しだけ離れた第２地点の遺跡の様相は，また第１地点とは大きく異なったものであった。旧石器時代には２つのブロックが検出され，いろいろな石器も見つかり，また時期が少し新しくなっただけで地面に残された遺構が極端に減少するなど，集落の様相も人の動きもこれほどまでに変化するものか，と驚くほどのありようであったのだから。

永迫平遺跡の報告書刊行にようやくこぎつけた。現場での多くのできごと，四季を通して遺構・遺物と正面から立ち向かっていただいた作業員さん一人一人のこと，それらをひっくるめて１つの終焉を迎えたことを実感している。

西回り自動車道の路線となった部分は消滅した。しかし,遺跡自体は北と南に厳然と残っている。それを一縷の心の救いとして，精一杯取り組みはしたものの，それでもやはり「完全」なものではあり得ないという慚愧の念を振り払っていくことにしたい。（繁昌）

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（93）
南九州西回り自動車道建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書ＸⅢ

永　迫　平　遺　跡

発行日　2005 年 3 月
発　行　鹿児島県立埋蔵文化財センター
〒 899-4461 鹿児島県国分市上之段 1175 番地 1
TEL（0995）48-5811
印刷所　濱島印刷株式会社
〒 891-0122　鹿児島市南栄 3 丁目 1 番地
TEL（099）268-6191